



HP DesignJet T2600 MFP

ユーザーガイド

法律に関する注記

ここに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

HP 製品およびサービスの保証は、該当する製品およびサービスに付属する明示された保証書の記載内容に限られるものとします。本書中のいかなる記載も、付加的な保証を構成するものとして解釈されないものとします。弊社は、本書に含まれる技術上または編集上の誤りおよび欠落について、一切の責任を負いません。



IPv6 対応



商標

Adobe®、Acrobat®、Adobe Photoshop®および Adobe® PostScript® 3™は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

ENERGY STAR および ENERGY STAR マークは、米国における商標です。

Microsoft®および Windows®は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

PANTONE®は、Pantone, Inc.の測色基準の商標です。

Apple および AirPrint は Apple Inc.の米国およびその他の国/地域の登録商標です。

「Works with Apple」バッジは、そのアクセサリがバッジに示されたテクノロジーで確実に動作するように設計されており、Apple のパフォーマンス基準を満たしていることが開発者によって認定されていることを意味します。

目次

1 はじめに	1
プリンタの概要	2
プリンタ モデル	2
安全に関する注意事項	3
メイン コンポーネント	6
プリンタをオンオフする	7
フロントパネル	8
HP Utility	12
HP 印刷プレビュー	12
内蔵 Web サーバ	13
デモ印刷	13
プリンタを設定する	14
モバイル印刷	34
ユーザ補助機能	35
その他の情報源	35
2 用紙の取り扱い	36
一般的なヒント	37
ロール紙をスピンドルに取り付ける	37
ロール紙をプリンタに取り付ける	40
ロール紙を取り外す	43
カット紙を取り付ける	43
スタッカ	46
バスケット	48
用紙に関する情報を表示する	49
用紙プリセット	49
用紙情報の印刷	50
用紙の移動	50
用紙を保守する	51
乾燥時間を変更する	51
自動カッターのオン/オフを切り替える	51
クリーンカット	52

3 2本のロール紙の取り扱い (T2600dr のみ)	53
マルチロールプリンタのメリット	54
プリンタによるロール紙へのジョブの割り当て方法	54
4 ネットワーク接続	56
はじめに	57
ネットワークプロトコルの制御	57
フロントパネルのメニュー項目	57
リンク設定方法	61
トラブルシューティング	61
Wi-Fi アクセサリ	65
5 印刷時	71
はじめに	72
USB フラッシュドライブから印刷する	72
ネットワークフォルダから印刷する	74
My Home フォルダからの印刷	75
プリンタドライバを使用したコンピュータからの印刷	76
詳細印刷設定	76
6 モバイル印刷	87
はじめに	88
Android からの印刷	88
Chrome OS からの印刷	88
HP Smart アプリから印刷、スキャン、共有	89
電子メールで印刷 (HP ePrint)	89
モバイルの仕様	90
7 ジョブキューの管理	91
フロントパネルのジョブキュー	92
内蔵 Web サーバーまたは HP DesignJet Utility でのプリントジョブキュー	97
内蔵 Web サーバーまたは HP DesignJet Utility でのスキャンキュー	100
8 スキャンとコピー	101
クイックセット	102
スキャン	102
コピー	108
スキャナ環境設定	113
スキャナのトラブルシューティング	113
スキャナ診断プロット	124

9 カラーマネジメント	127
はじめに	128
色が表される仕組み	128
カラーマネジメント プロセスの概要	128
カラー キャリブレーション	128
プリンタ ドライバからのカラーマネジメント	130
フロントパネルからのカラーマネジメント	132
10 実際の印刷の例	134
正しい倍率で試し印刷する	135
Adobe Acrobat Reader または Adobe Acrobat Pro から PDF 複数ページ ジョブを印刷します	135
適切な色を使用してドキュメントを印刷する	138
プロジェクトの印刷	144
プレゼンテーションの印刷	147
Microsoft Office からの印刷および拡大縮小	150
11 プリンタの使用状況に関する情報を取得する	154
プリンタのアカウント情報	154
使用状況に関する情報を確認する	154
ジョブの使用状況に関する情報を確認する	157
コストの割り当ての確認	158
12 インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い	160
インクカートリッジについて	161
インクカートリッジのステータスを確認する	161
インクカートリッジを取り外す	161
インクカートリッジを取り付ける	162
プリントヘッドについて	164
プリントヘッドのステータスを確認する	164
プリントヘッドを取り外す	165
プリントヘッドを挿入する	168
匿名の使用状況に関する情報の格納	171
セーフモード	171
13 プリンタの保守	172
プリンタ ステータスを確認する	173
プリンタの外部をクリーニングする	173
インクカートリッジを保守する	173
プリンタを移動または保管する	173
ファームウェアをアップデートする	174
ソフトウェアをアップデートする	175
プリンタ保守キット	175

安全なファイル消去	175
ディスク拭取り	176
14 スキャナの保守	177
スキャナのガラスプレートをクリーニングする	177
スキャナのキャリブレーションを行う	179
15 サプライ品とアクセサリ	181
サプライ品およびアクセサリの注文方法	182
アクセサリ	185
16 用紙に関するトラブルシューティング	187
用紙がうまく給紙されない	188
用紙の種類がドライバに含まれていない	189
プリンタが間違った用紙の種類に印刷した	190
自動カットを使用できない	190
適当な用紙を待っています	190
用紙が印刷プラテンに詰まっている	192
用紙がスタッカに詰まっている	195
プリンタからスタッカがいっぱいであることが予期せず報告される	196
帯が排紙トレイに残り、紙詰まりが発生する	196
プリンタに用紙があるときに用紙切れと表示される	196
印刷物がバスケットにきちんと排出されない	196
印刷が完了してもカット紙がプリンタに留まる	196
印刷が完了すると用紙がカットされる	196
カッターで正しくカットされない	197
ロール紙がスピンドルでたるむ	197
用紙送りのキャリブレーションを行う	197
17 印刷品質に関するトラブルシューティング	199
一般的なヒント	201
イメージに横線(バンディング)が見られる	201
イメージ全体がぼやけているかざらついている	202
用紙が平らになっていない	203
印刷が擦り切れる、または傷がつく	203
用紙にインクが残る	203
黄色の背景に黒色の横線	204
印刷部に触れると黒インクが擦れる	204
オブジェクトの端が段状になっているかまたは鮮明ではない	205
オブジェクトの端が予期したよりも暗い	205
カット紙の端に横線が印刷される	205
異なる色の縦線が印刷される	205

印刷物に白色の点がある	206
色が正確に再現されない	206
カラーの色あせ	207
イメージが不完全 (下部の一部が印刷されない)	207
イメージがクリップされます	207
一部のオブジェクトがイメージ内に印刷されない	208
描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない	209
線画が段状またはギザギザに表示される	209
線画が二重または間違った色で印刷される	210
線が不連続になる	210
線がぼやけている	211
線の長さが不正確	211
イメージ診断の印刷	211
問題が解決されない場合	214
18 インクカートリッジとプリントヘッドに関するトラブルシューティング	215
インクカートリッジを取り付けられない	216
インクカートリッジのステータス メッセージ	216
プリントヘッドを取り付けられない	216
フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される	216
プリントヘッドをクリーニングする	217
プリントヘッドの軸合わせ	217
プリントヘッドのステータス メッセージ	218
19 一般的なプリンタに関するトラブルシューティング	219
印刷されない	220
フロントパネルが初期化に失敗する	220
プリンタが遅く感じる	221
コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある	221
内蔵 Web サーバにアクセスできない	222
インターネットに接続できない	222
Web サービスの問題	222
ファイルシステムの自動確認	222
アラート	223
20 フロントパネルエラー メッセージ	224
システム エラー ログ	224
21 HP Customer Care	225
はじめに	226
HP プロフェッショナル サービス	226

カスタマー セルフ リペア	227
HP のサポートに問い合わせる	227
22 プリンタ仕様	229
プリンタ機能の仕様	230
モバイル印刷仕様	232
物理的仕様	232
メモリの仕様	232
電源の仕様	233
動作環境の仕様	233
動作音に関する仕様	233
用語集	234
索引	237

1 はじめに

- [プリンタの概要](#)
- [プリンタモデル](#)
- [安全に関する注意事項](#)
- [メインコンポーネント](#)
- [プリンタをオンオフする](#)
- [フロントパネル](#)
- [HP Utility](#)
- [HP 印刷プレビュー](#)
- [内蔵 Web サーバ](#)
- [デモ印刷](#)
- [プリンタを設定する](#)
- [モバイル印刷](#)
- [ユーザ補助機能](#)
- [その他の情報源](#)

プリンタの概要

このプリンタは、最大幅 914mm の用紙に高品質のイメージを印刷するために設計されたカラー インクジェット プリンタです。主な機能を以下に示します。

- 入力時 1200 × 1200dpi のイメージを最大 2400 × 1200dpi の最適化された解像度で印刷 (**[高品質]** 印刷品質オプション、**[高精細]** オプション、およびフォト用紙を使用した場合)
- 内蔵 Web サーバ、HP DesignJet Utility、または HP Click Printing Software (<http://www.hp.com/go/designjetclick> 参照) を使用して、フロントパネルまたはリモート コンピュータからプリンタを管理可能。
- 直観的なグラフィカルユーザ インタフェースを備えた、カラーのタッチセンサー式フロントパネル
- フロントパネルでのジョブのプレビュー
- リモート コンピュータ上のジョブのプレビュー
- 自動ファームウェア更新、HP ePrint、モバイル印刷などの Web コネクテッド機能を含む
- ドライブレス印刷: 一般的なグラフィック形式のファイルをプリンタ ドライバを必要とせずに直接印刷が可能。USB フラッシュドライブを挿入するか、HP Click Printing Software を使用します。
- 用紙の適応性と簡単な自動給紙機能 ([36 ページの「用紙の取り扱い」](#) を参照)。情報およびプリセットは、フロントパネルと HP DesignJet Utility から利用できます。
- カット紙およびロール紙の使用
- 6 色インク システム
- 自動カラーキャリブレーションによる、正確で一貫したカラー再現
- 節約して印刷するためのエコノモード
- 2 本のロール紙を同時に取り付けることで (T2600MFP dr のみ)、迅速かつ簡単なロール紙の切り替えと、長時間の無人印刷が可能に。
- HP Click Printing Software を使ったジョブのプレビュー、ネスティングなどの生産性を向上させる各種機能
- インクと用紙の使用状況を、内蔵 Web サーバから確認可能 ([13 ページの内蔵 Web サーバ](#) を参照)
- オンラインの HP サポート センターへのアクセス ([226 ページの HP サポート センター](#) を参照)

プリンタ モデル

このガイドでは、次のプリンタ モデルについて説明しています。通常は、それらのモデルを略して短縮名称で呼びます。

正式名称	短縮名称
HP DesignJet T2600	T2600
HP DesignJet T2600 PostScript プリンタ	T2600 PS
HP DesignJet T2600dr	T2600dr
HP DesignJet T2600dr PostScript プリンタ	T2600dr PS

安全に関する注意事項

プリンタをご使用になる前に、これらの安全に関する注意事項をお読みください。また各地の環境、健康および安全規定も併せてご確認ください。

この装置は、子供が立ち入る可能性がある場所での使用に適していません。

保守または部品交換を行う場合は、安全上のリスクを抑え、プリンタの損傷を防ぐために HP のマニュアルに記載されている手順に従ってください。

一般的な安全に関するガイドライン

プリンタ内部には、HP のカスタマー セルフ リペア プログラムで取り扱う部品以外にオペレータが保守をするような部品はありません(<http://www.hp.com/go/selfrepair> を参照)。他の部品の保守作業については、資格を有するサービス担当者に依頼してください。

以下のいずれかの場合は、プリンタの電源をオフにして、サービス担当者に連絡してください。

- 電源コードまたはプラグが損傷した。
- プリンタがなんらかの衝撃によって破損した。
- 機械的な破損またはエンクロージャの破損が発生している。
- プリンタに液体が入った。
- プリンタから煙が出る、または変な臭いがする。
- プリンタを落とした。
- プリンタが正常に動作しない。

以下の場合は、プリンタの電源をオフにしてください。

- 雷雨時
- 停電時

警告ラベルが付いている部分には特に注意してください。

オフィス、コピー室、印刷室のいずれであっても、換気方法は地域の環境衛生安全 (EHS) ガイドラインおよび規定を満たしている必要があります。

感電の危険

⚠ 警告！ 内蔵電源および電源インレットの内部回路は、死亡または重大な人身事故につながる可能性のある危険な電圧で動作します。

プリンタの保守作業前にプリンタの電源コードを抜いてください。

プリンタには建物に設置されたブレーカーが必要です。このブレーカーは、プリンタの要件を満たしている必要があり、プリンタを設置する国の地域管轄の電気工事規定に従っている必要があります。

感電の恐れを防止するため、以下の点を守ってください。

- プリンタは、接地された電源コンセントのみに接続する必要があります。
- プリンタの電源コンセントに複数のデバイスを接続して、過負荷をかけないようにしてください。
- 閉じられたシステムのカバーや差し込み口を取り外したり開いたりしないでください。

- 異物をプリンタのスロットに差し込まないでください。
- プリンタの後ろを歩く際にケーブルにつまづかないように注意してください。
- 壁のコンセントとプリンタのソケットに、電源コードをしっかりと奥まで差し込みます。
- 濡れた手で電源コードを触らないでください。

発火の危険

発火の恐れを防止するため、以下の注意事項に従ってください。

- プリンタがインストールされる国の法律に準拠したプリンタの要件および電気規則の要件を満たす責任は、顧客にあります。製品プレートに示された電源電圧を使用してください。
- プリンタ付属の HP が提供する電源コード以外は使用しないでください。破損した電源コードを使用しないでください。他の製品の電源コードを使用しないでください。
- 異物をプリンタのスロットに差し込まないでください。
- 液体がプリンタにこぼれないように注意してください。清掃後、すべてのコンポーネントが乾いていることを確認してからプリンタの使用を再開してください。
- 可燃性ガスを含むエアゾール製品を、プリンタの内部または周囲で使用しないでください。爆発性ガスが大気中に存在する場合はプリンタを使用しないでください。
- プリンタの開口部を遮断したり、覆わないでください。

機械的危険

プリンタには怪我の原因になる可能性のある可動部分があります。怪我の防止のため、プリンタの近くで作業する場合は、以下の注意事項に従ってください。

- 衣服や身体を可動部分に近づけないようにしてください。
- ネックレス、ブレスレットなど、垂れ下がる物体の着用は避けてください。
- 髪が長い方は、頭髮がプリンタ内に落ちないように束ねてください。
- 袖や手袋が可動部分に巻き込まれないように注意してください。
- カバーがかかっている状態でプリンタを動作させないでください。
- カッター アセンブリを交換する必要がある場合、切断刃が鋭利なため手などを切らないよう十分注意してください。
- 内部のファン ブレードは動く部品で危険です。保守の前にプリンタの接続を解除してください。
- 内部に可動部品が含まれるため、印刷中のプリンタの内部に手を入れないようにしてください。

重量のある用紙による危険

怪我を避けるため、重量のある用紙を扱う場合は特に注意が必要です。

- 重いロール紙を扱う際は、2人以上の手が必要ながあります。背中に負担をかけたり痛めたりしないように注意してください。
- 重いロール紙を扱うときは、長靴や手袋などの保護用具を着用してください。
- 重いロール紙を扱う場合は、地域の環境、衛生、安全に関する規則に従ってください。

インクの取り扱い

インクサプライを扱う場合は、手袋の着用をお勧めします。

警告および注意

このマニュアルでは、プリンタを適切に使用して破損を防ぐために、以下の記号が使用されています。これらの記号の付いた指示に従ってください。

⚠ 警告！ この記号の付いたガイドラインに従わない場合、重大な人身事故または死亡につながる恐れがあります。

⚠ 注意： この記号の付いたガイドラインに従わない場合、軽度の人身事故またはプリンタの破損につながる恐れがあります。

警告ラベル


ラベル紙	説明
	感電の危険。内部電源は危険な電圧で動作しています。プリンタの保守作業を行う前には、すべての電源を抜いてください。 始める前に、操作および安全に関する注意事項を読んでください。
	可動部分。移動する用紙システムに手や指を近づけないでください。
	可動部分。回転ロールバー。手を触れないでください。
	持ち上げないでください。指や手をはさんだり傷つけたりする恐れがあります。

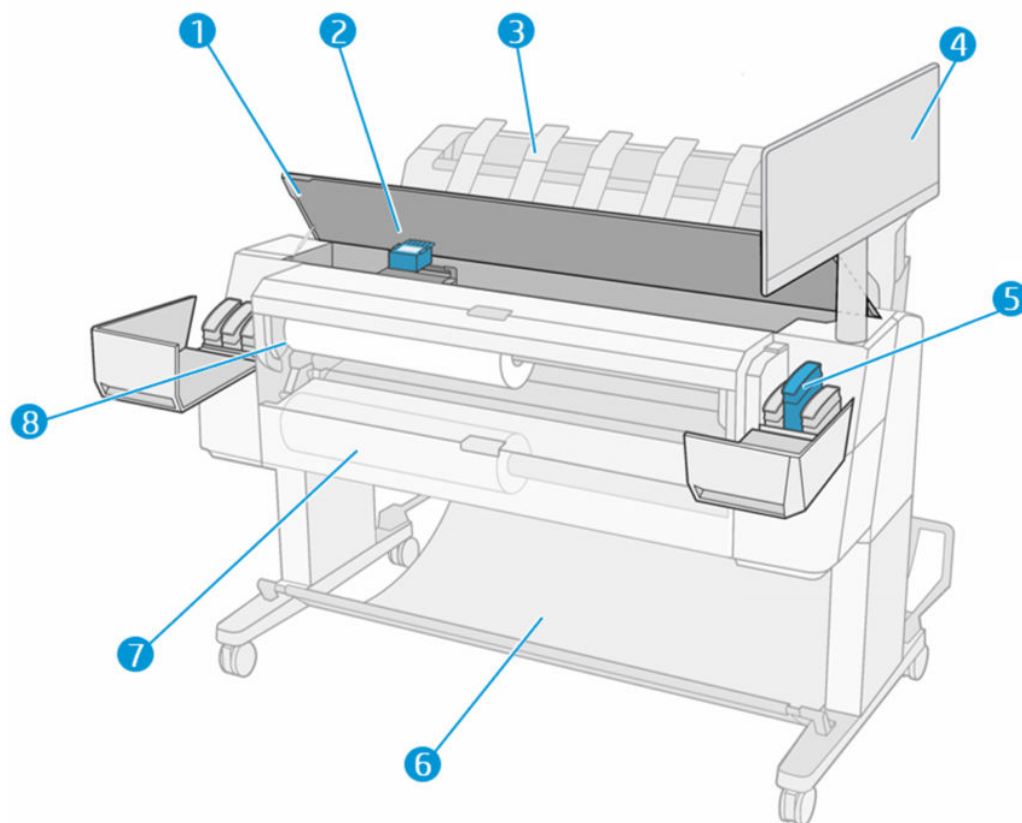
📄 注記： プリンタの最終的なラベルの位置およびサイズは、多少異なる場合がありますが、必ず潜在的な危険のある場所の近くで見えるようになっています。

メインコンポーネント

以下のプリンタ前面図および背面図は主なコンポーネントを示します。

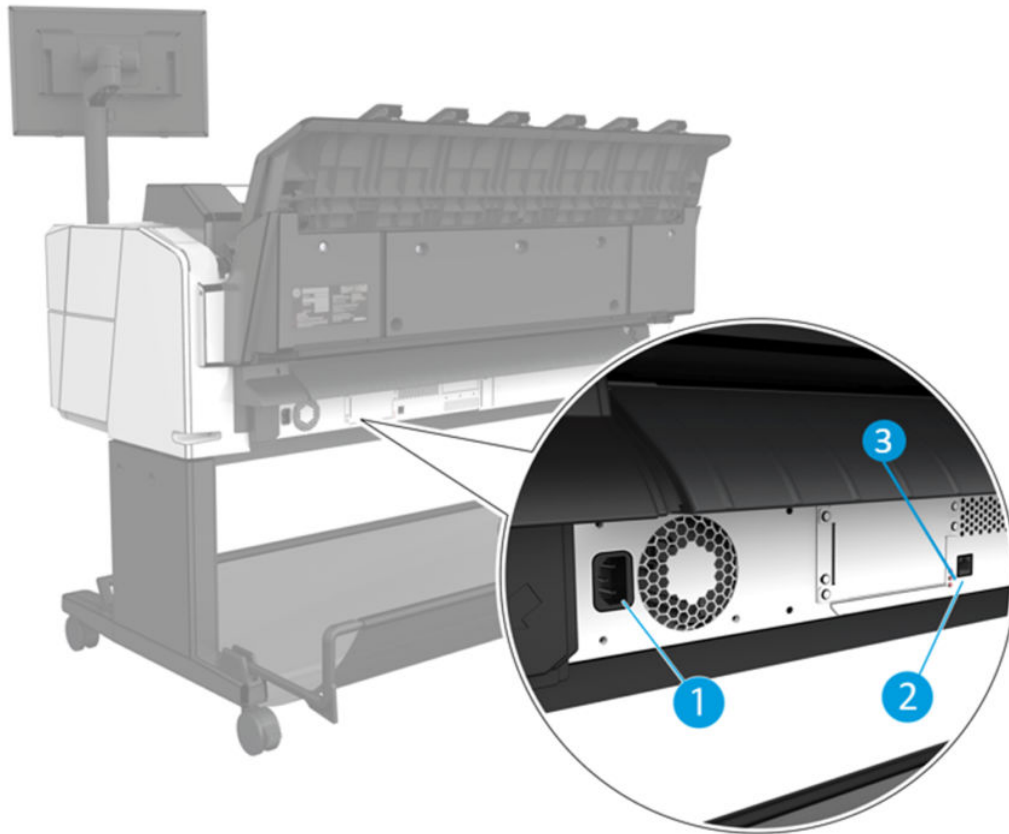
前面図

 注記：この図は、T2600dr を示しています。



1. スキャナ
2. プリントヘッド
3. スタッカー
4. フロントパネル
5. インクカートリッジスロット
6. バスケット
7. 下側ロールカバー (T2600dr のみ)
8. 上側ロールカバー

背面図



1. 電源ソケット
2. ギガビットイーサネットポート(ネットワーク接続用)
3. 診断LED(サービスエンジニアが使用)

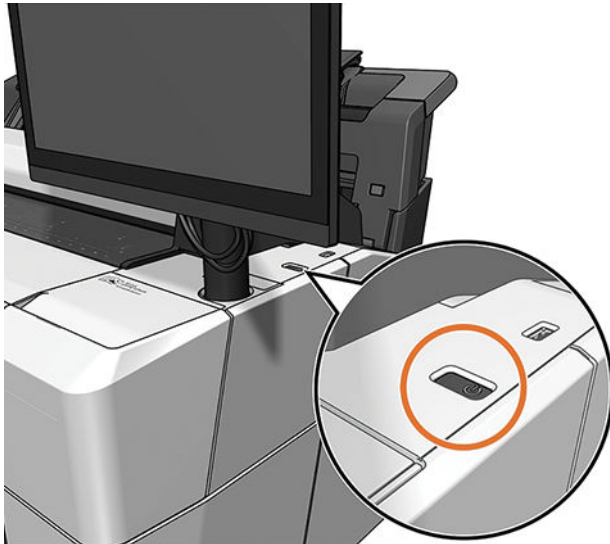
高速USBホストポートはプリンタの反対側、フロントパネル脇に配置されています。

プリンタをオンオフする

※ ヒント：電源を入れたままでもかなりの消費電力を抑えることができます。電源をオンのままにすることにより、応答時間とシステム全体の信頼性が向上します。一定時間(デフォルトの時間はEnergy Starによって指定される)使用しない場合、プリンタはスリープモードに移行して電力を節約します。ただし、プリンタのフロントパネルの表示で何らかの操作を行うか、新しい印刷ジョブを送信すると、直ちにアクティブモードに戻り、印刷を再開することができます。スリープモード時間を変更するには、[11 ページのシステムオプションを変更する](#)を参照してください。

📖 注記：スリープモードでは、プリンタは随時プリントヘッドの保守サービスを実行します。これにより、長時間のアイドル後に印刷の準備を長時間実行する必要がなくなります。このため、インクと時間を節約するために、プリンタの電源をオンにするかスリープモードにしておくことを強くお勧めします。

プリンタの電源をオンまたはオフにしたり、プリンタをリセットする場合は、通常はフロントパネル横の電源ボタンを使用することを推奨します。



ただし、プリンタを長期間保管する場合、または電源ボタンが動作していないように思われる場合は、背面の電源コードを抜くことをお勧めします。

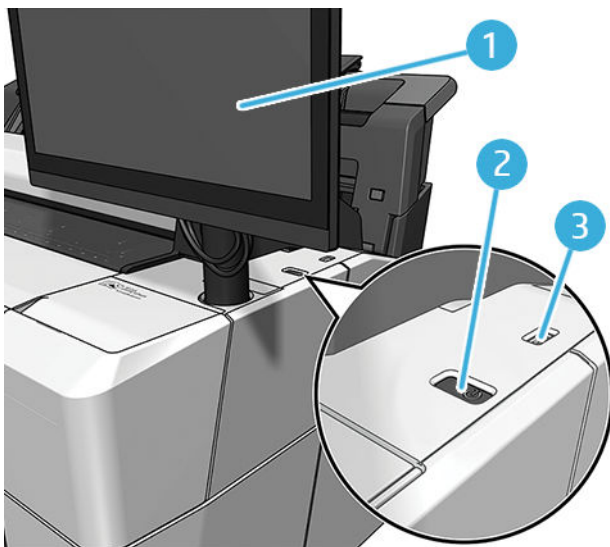
電源をオンに戻すには、電源コードを差し込みます。

プリンタの電源を入れ直すと、初期化、およびプリントヘッドのチェックと準備に約3分かかります。プリントヘッドの準備には、約1分15秒かかります。ただし、プリンタを6週間以上使用していない場合は、プリントヘッドの準備に最大45分かかることがあります。


フロントパネル

フロントパネルはグラフィカルユーザインタフェースを備えたタッチセンサー式画面で、プリンタ前面の右側にあります。

ここでは、プリンタを完全に管理することができます。プリンタに関する情報の確認、プリンタの設定変更、プリンタステータスのモニター、サプライの交換やキャリブレーションなどのタスクの実行ができます。必要に応じてフロントパネルには、アラート(警告およびエラーメッセージ)が表示されます。



フロントパネルには以下のコンポーネントがあります。

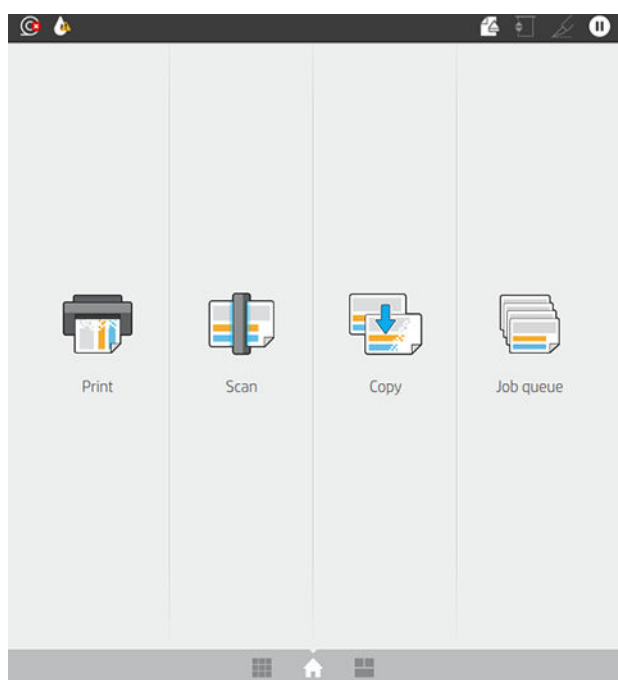
1. フロントパネル本体：グラフィカルユーザー インタフェースを備えた、15.6 インチ、フルカラー、タッチセンサー式画面。
2. 電源ボタン。電源をオン/オフにしたり、スリープモードから復帰することができます。
3. 高速 USB ホスト ポート (印刷対象のファイルが格納された USB フラッシュ ドライブの接続用)。USB フラッシュドライブを挿入すると、USB アイコン  がフロントパネルの全アプリページに表示されます。

フロントパネルには、動的な情報およびアイコンを表示するための大きな中央領域があります。

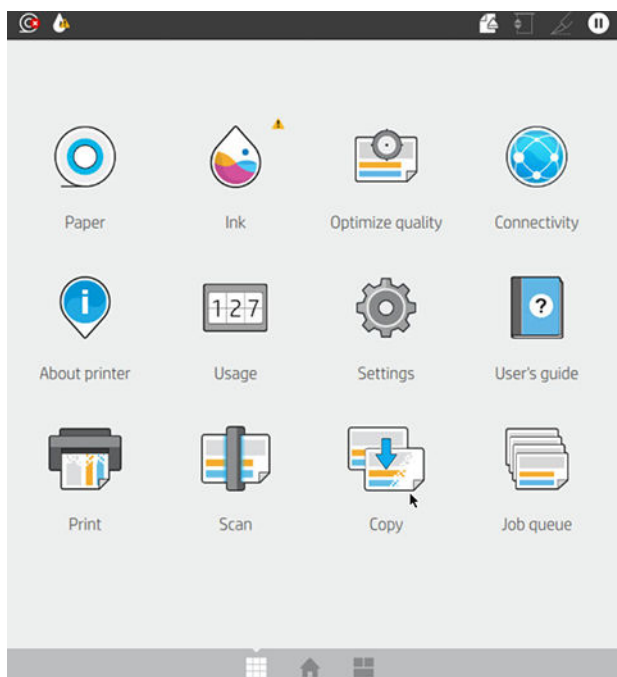
ホームページ

トップレベルのページは3つあり、画面上で指をスライドさせることで切り替えることができます。

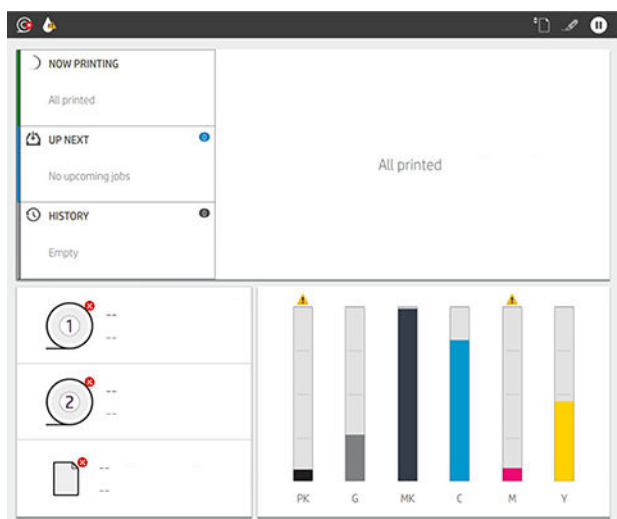
- メイン画面からは、最も重要な機能に直接アクセスできます。



- すべてのアプリページには、プリンタで使用できるすべてのアプリのリストとそれぞれのステータスが表示されます。



- 画面を左にスワイプしてウィジェットページを表示すると、インク、用紙のサプライ、ジョブキューのステータスを一目で確認できます。



- すべてのアプリ ページの上には、プリンタの主な機能に関連するアラートを表示するダッシュボードが用意されています。ダッシュボードを下にスワイプすると、[ステータスセンター]が表示されます。

調光モード

プリンタをしばらく使用しないと(デフォルトで5分)、プリンタは調光モードになり、フロントパネルの明るさが25%下がります。フロントパネルの使用や印刷ジョブの受信など、何らかの操作があると調光モードが終了し、通常の明るさに戻ります。調光モードがしばらく続いた後(デフォルトで15分)、プリンタはスリープモードになります。フロントパネルでこの時間設定を変更できます。

スリープモード

スリープモードでは、操作のない状態が一定時間続いた後プリンタが省電力状態になり、ディスプレイの一部が消えるため、節電状態になります。プリンタの機能はこのモードになっても有効です。プリンタのネットワーク接続は維持され、必要に応じて復帰します。

プリンタは、以下の方法でスリープモードから復帰できます。


- 電源ボタンを押す
- カバーを開く
- 印刷ジョブを送信する

プリンタは数秒で復帰します。完全に電源をオフにした場合より早く復帰できます。スリープモードになっていると、電源ボタンは点滅します。

スリープモードに移行するまでの時間を変更するには、[11 ページのシステム オプションを変更する](#)を参照してください。

プリンタの監視(印刷スプーラを使用)とリモートプリンタの管理(HP Utility と Web JetAdmin を使用)は、スリープモード時でも使用できます。一部のリモート管理タスクには、タスクを実行する必要がある場合にプリンタをリモートで復帰するオプションが用意されています。


フロントパネルの表示の言語を変更する

現在フロントパネルに表示されている言語が理解できる場合は、 をタップし、**[システム]** > **[言語]** を選択します。

フロントパネルの表示に言語選択メニューが表示されます。希望する言語をタップします。

選択可能な言語は、英語、ポルトガル語、スペイン語、カタロニア語、フランス語、オランダ語、イタリア語、ドイツ語、ポーランド語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、および日本語です。

システム オプションを変更する

フロントパネルでプリンタのさまざまなシステム オプションを変更できます。 をタップし、**[システム]** を選択します。

- **[言語]**
- **[ディスプレイの輝度]** では、フロントパネルディスプレイの明るさを変更できます。
- **[日付と時刻オプション]** では、プリンタの日付と時刻を表示または設定できます。
- **[単位の選択]** では、フロントパネルに表示される測定単位を変更できます。**[インチ]** または **[メートル]** を選択します。デフォルトで、単位は **[メートル]** に設定されています。
- **[スピーカ音量]** では、プリンタのスピーカの音量を変更できます。**[オフ]**、**[低]**、**[高]** から選択できます。
- **[電源オプション]** > **[プリンタのスリープモード待ち時間]** を選択すると、スリープモードに移行するまでプリンタが待機する時間を変更できます([11 ページのスリープモード](#)を参照)。待機時間は 5 ~ 60 分に設定できます。デフォルトの時間は 15 分未満です (調光モードの 5 分を含む合計時間)。
- **[電源オプション]** > **[非アクティブ時の自動オフ]** を選択すると、非アクティブ状態が 120 分間続いた場合に、自動的にプリンタの電源がオフになります。


- **[工場出荷時の設定に戻す]**では、プリンタの設定を工場出荷時に設定された元の値に戻すことができます。このオプションは、管理者パスワードおよび用紙のプリセットを除く、すべてのプリンタの設定を元に戻します。
- 自動ファームウェアアップデートを設定するための**[ファームウェアアップデート]**。

HP Utility

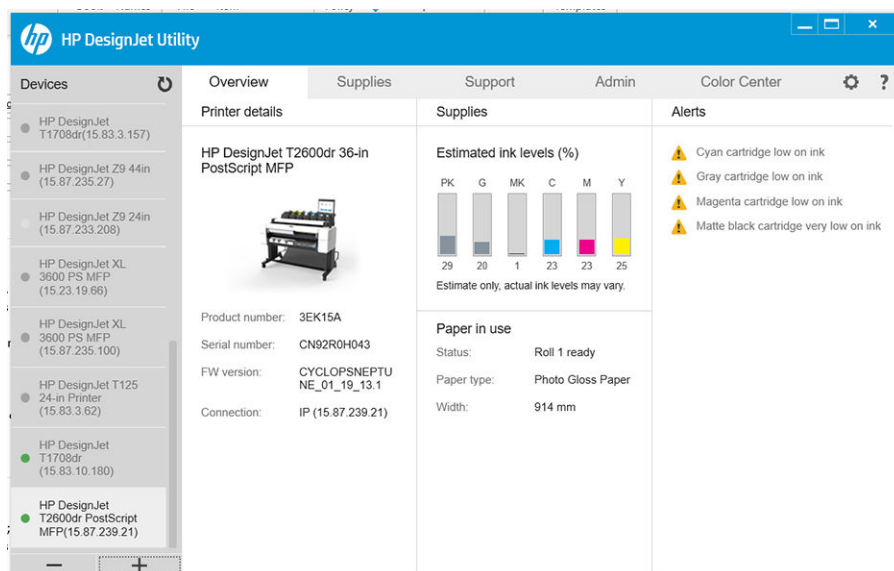
HP Utility は、TCP/IP 接続を使用しているコンピュータからプリンタを管理できる Windows 専用ツールです。

HP Utility は <http://www.hp.com/go/DesignJetT2600/drivers> からインストールできます。

HP Utility の起動方法

タスクバーの  アイコンを押すか、またはスタートメニューから **[HP] > [HP DesignJet Utility]** を選択して、HP DesignJet Utility を起動します。これにより、HP DesignJet Utility が起動し、コンピュータにインストールされたプリンタが表示されます。HP DesignJet Utility を初めて開いた場合、機能強化の自動アップデートを促される場合があります。この自動アップデートを実行することをお勧めします。

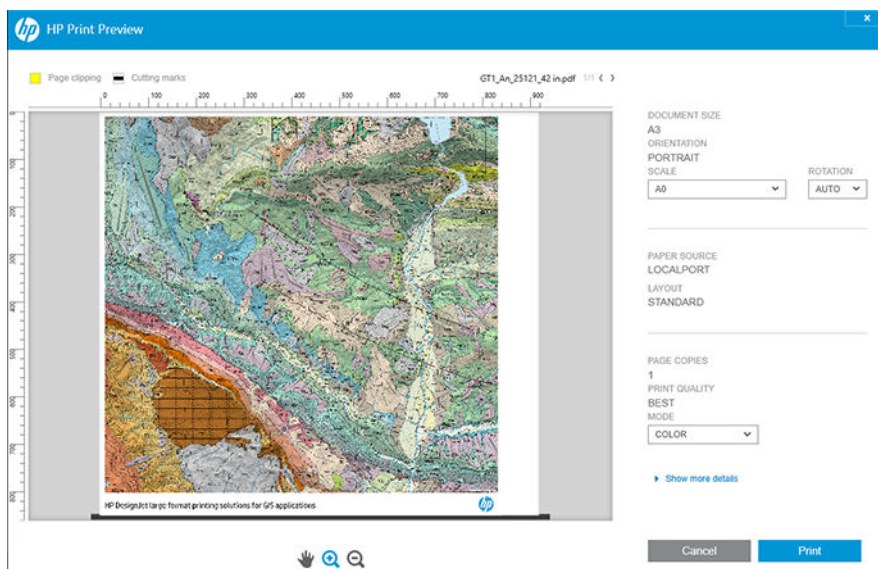
左側のパネルでプリンタを選択すると、右側のパネルに表示される内容がすべてそのプリンタ固有のものになります。



HP 印刷プレビュー

HP 印刷プレビュー アプリケーションを使用すると、ジョブがどのように印刷されるかの基本的なプレビューを表示できます。このアプリケーションを使用できるのは、Windows のみです。HP 印刷プレビューをインストールするには、統合インストーラーを <http://www.hp.com/go/DesignJetT2600/drivers> からダウンロードします。


V4 PDF ドライバを使用している場合、印刷前にアプリケーションで回転、拡大縮小、カラーモード、および給紙方法設定を変更できます。




内蔵 Web サーバ

内蔵 Web サーバは、以下のブラウザでアクセスできます。

- Windows 7 以降に対応する Microsoft Internet Explorer 11 以降
- OS X 10.10 以降に対応する Apple Safari 8 以降
- Mozilla Firefox (最新版)
- Google Chrome (最新版)

コンピュータで内蔵 Web サーバを使用するには、Web ブラウザを開き、ブラウザのアドレスバーにプリンタの IP アドレスを入力します。プリンタの IP アドレスを確認するには、プリンタのフロントパネルで  を選択し、次に **[ネットワーク]** を選択します。[14 ページのプリンタを設定する](#)を参照してください。

 **注記** : IP アドレスを入力すると、お使いのブラウザがセキュリティ警告を表示する場合があります。正しいアドレスを入力している場合は、警告を無視して問題ありません。そのまま内蔵 Web サーバにアクセスできます。

内蔵 Web サーバのウィンドウには、サポートされているすべての機能にアクセスするためのメニューが表示されます。サポートされている言語は、英語、ポルトガル語、スペイン語、カタロニア語、フランス語、オランダ語、イタリア語、ドイツ語、ポーランド語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、日本語です。Web ブラウザのオプションで指定した言語が使用されます。対応していない言語を指定した場合は、プリンタで選択された言語、もしくは英語で表示されます。


言語を変更するには、Web ブラウザの言語設定を変更します。変更を完了するには、Web ブラウザを閉じてから再び開きます。

デモ印刷

デモ印刷により、プリンタに関するさまざまな情報を理解することができます。フロントパネルから呼び出すことができます。

デモ印刷を呼び出す前に、プリンタと用紙の印刷準備ができていることを確認します。

- 幅が A3 横置き(419mm、16.53 インチ)以上の用紙を使用します。それより小さい用紙では、イメージの一部が印刷されないことがあります。
- フロントパネルには、「印刷可能です」というメッセージが表示されている必要があります。


デモ印刷をおこなうには、をタップして、下へスクロールしてから【内部印刷】、【デモ印刷】の順にタップして、印刷を選択します。以下の印刷が利用できます。


- CAD カラー
- GIS
- レンダリング
- 建築プレゼンテーションパネル

プリンタを設定する

ネットワークにプリンタを接続する



プリンタは、同一ネットワークのすべてのコンピュータと同様の方法で、ほとんどのネットワークに対して自動的に設定されます。ネットワークに初めて接続する場合は、この処理に数分かかる場合があります。

プリンタに動作しているネットワーク設定がある場合は、フロントパネルから  をタップしてネットワークアドレスを確認できます。



 **ヒント** : Windows または Mac OS のコンピュータクライアントへの接続設定中に必要になることがあるため、プリンタの IP アドレスをメモしておいてください。

Gigabit Ethernet	
Connected	
SUMMARY	
HOST NAME HP100003275	IP ADDRESS 175.83.4.104
BONJOUR NAME HP100003275.local	MAC ADDRESS 48:5c:4c:6d:03:25
GENERAL INFORMATION	
STATUS NIC card ready	MAC ADDRESS 48:5c:4c:6d:03:25
LINK SPEED 1000BT FULL	AUTONEGOTIATION On
TCP/IP	
HOST NAME HP100003275	IPv4 DOMAIN NAME hp100003275.net
PRIMARY DNS SERVER	SECONDARY DNS SERVER

ネットワーク構成を変更する

現在のネットワーク構成を変更するには、フロントパネルで 、 をタップし、【ネットワーク】>【Gigabit Ethernet】を選択します。ここでは、通常は必要ありませんが、設定を手動で変更することができます。これは、内蔵 Web サーバを使用してリモートで行うこともできます。

使用可能な接続設定の詳細は、[56 ページの「ネットワーク接続」](#)を参照してください。

プリンタのネットワーク設定を間違っ設定した場合、フロントパネルから 、 の順にタップし、【工場出荷時の設定に戻す】をタップします。次に、プリンタを再起動する必要があります。これ

により、ほとんどのネットワークに対して動作するネットワーク設定が自動的に提供されます。プリンタの他の設定は変わりません。

Windows でのプリンタのインストール

以下の指示は、プリンタドライバを使用して、ソフトウェアアプリケーションから印刷する場合に該当します。別の印刷方法については、[71 ページの「印刷時」](#)を参照してください。

手順を実行する前に、以下のことを確認してください。

- プリンタがセットアップされ、電源が入っている。
- イーサネットスイッチまたはルータの電源が入っていて、正常に動作している。
- プリンタとコンピュータがネットワークに接続されている([14 ページのネットワークにプリンタを接続する](#)を参照)。

上記を確認したら、プリンタソフトウェアをインストールしてプリンタに接続できます。

プリンタソフトウェアをインストールする

1. フロントパネルに表示されるプリンタのホスト名と IP アドレスをメモしておいてください ([14 ページのネットワークにプリンタを接続する](#)を参照)。
2. ソフトウェアのインストール手順に従って、プリンタのソフトウェアを <http://www.hp.com/go/DesignJetT2600/drivers> からインストールします。次のドライバがデフォルトでインストールされます。
 - Non-PostScript プリンター：ラスタドライバ
 - Windows 7 または Windows Server 2008R2 での PostScript プリンタ：PostScript ドライバ
 - Windows 8、Windows Server 2012 以降での PostScript プリンタ：PDF ドライバ
3. ダウンロードしたらソフトウェアを開き、画面の手順に従います。

コンピュータがネットワーク上でプリンタを検出できない場合は、**[プリンタが見つかりません]**ウィンドウが表示されます。このウィンドウでプリンタの検出を再試行できます。ファイアウォールが有効になっている場合、プリンタを検出するために、ファイアウォールを一時的に無効にする必要があることがあります。プリンタのホスト名、IP アドレス、または MAC アドレスによってプリンタを検出するオプションもあります。

プリンタソフトウェアを Windows からアンインストールする

他のソフトウェアをアンインストールする場合と同じ方法で、コントロールパネルを使用してソフトウェアをアンインストールします。

Mac OS X での AirPrint のインストール

手順を実行する前に、以下のことを確認してください。

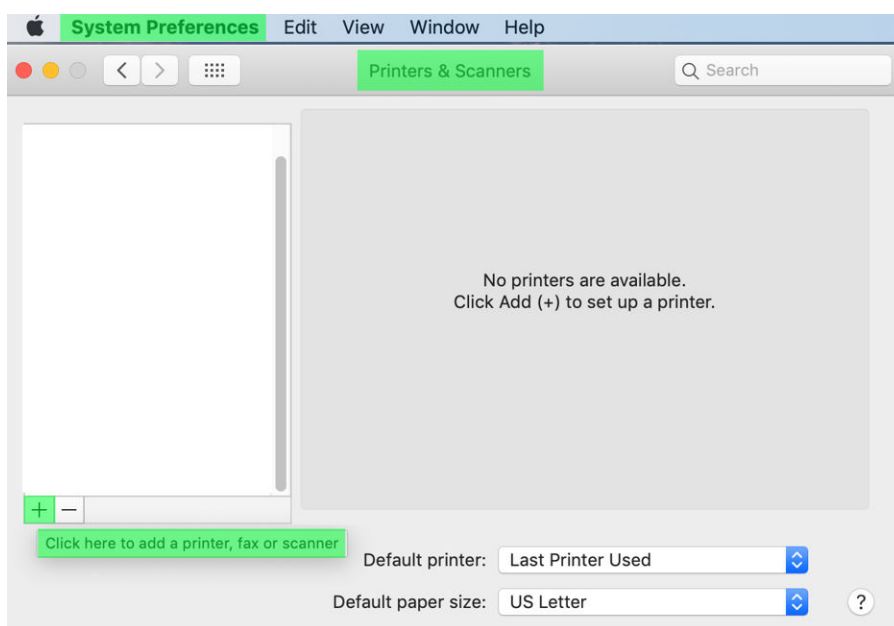
- プリンタがセットアップされ、電源が入っている。
- イーサネットスイッチまたはルータの電源が入っていて、正常に動作している。
- プリンタとコンピュータがネットワークに接続されている([14 ページのネットワークにプリンタを接続する](#)を参照)。

上記を確認したら、プリンタソフトウェアをインストールしてプリンタに接続できます。

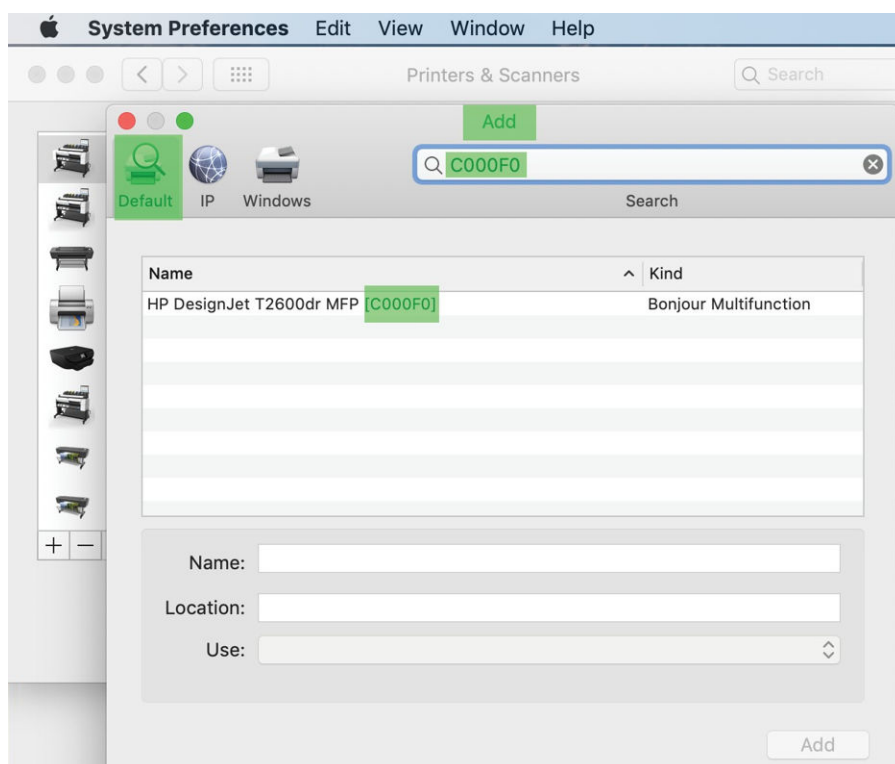
1. フロントパネルで、[ネットワーク]>[接続]>[Bonjour 名]を選択して、プリンタの Bonjour 名をローカライズします。



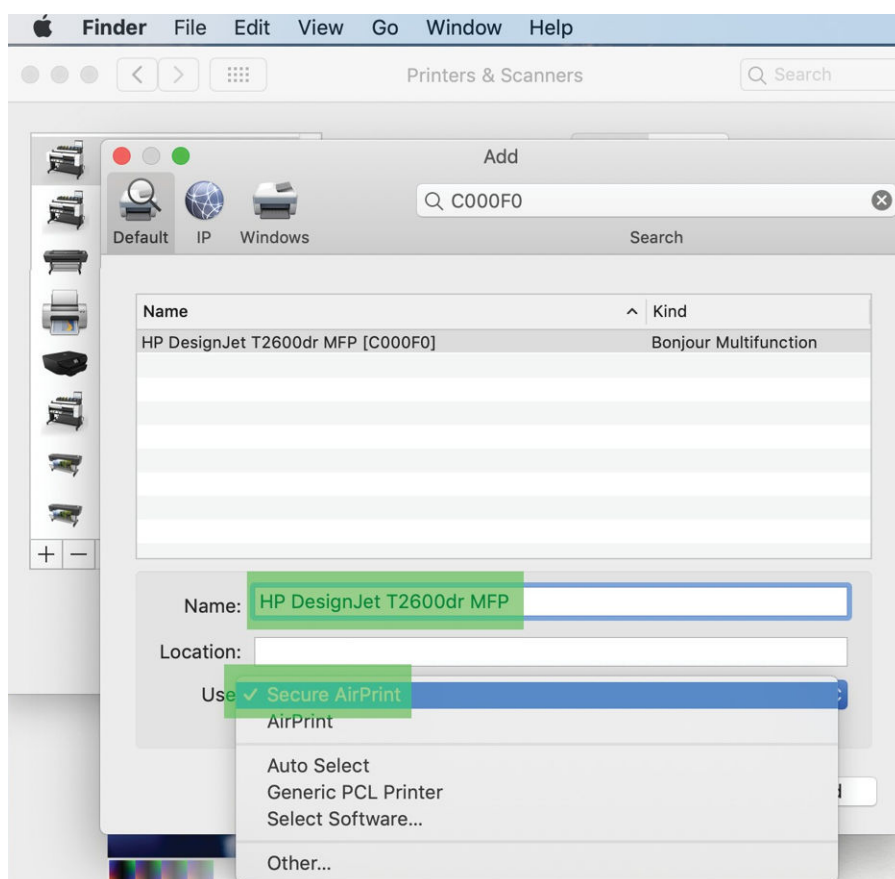
2. Mac とプリンタの両方が同じネットワークに接続されていることを確認した後、[システム環境設定]>[プリンタとスキャナ]に移動し、+ をタップして新しいプリンタを追加します。



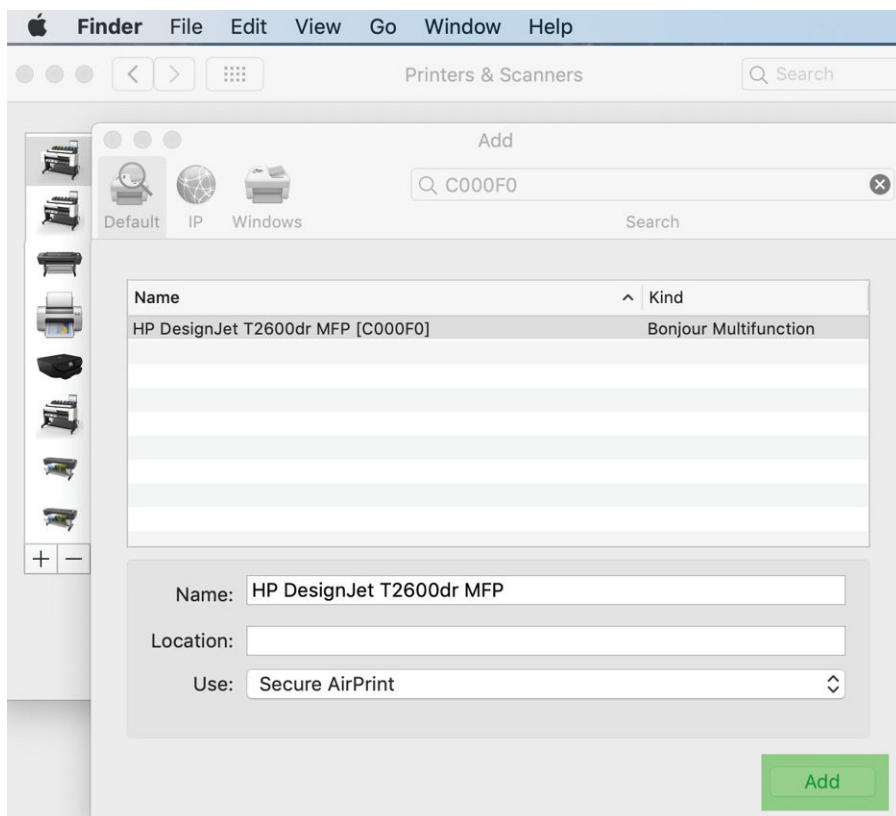
3.  をタップし、検索ボックスに Bonjour 名 (C000F0) を追加します (または、 アイコンを選択し、IP アドレスを挿入できます)。



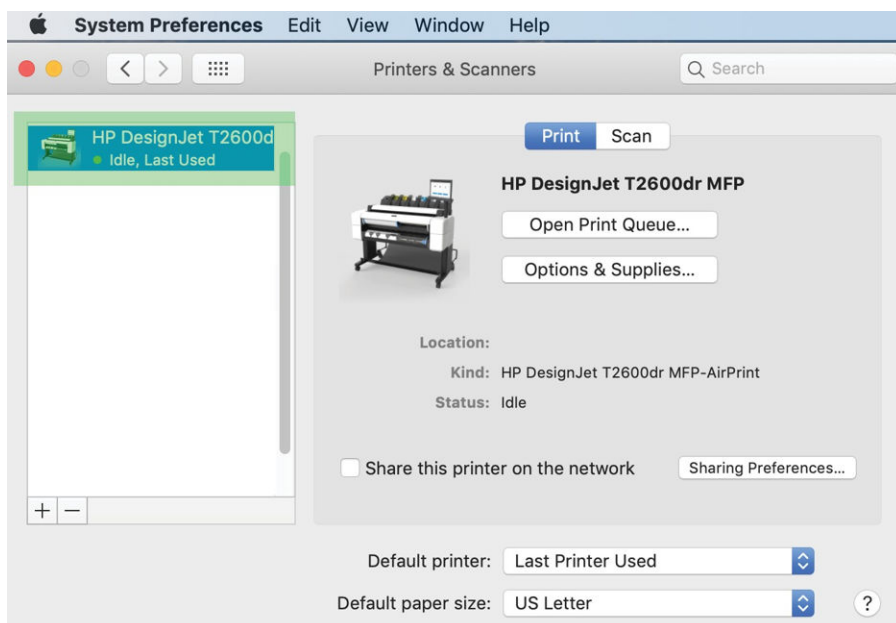
4. [名前] にプリンタが表示されます (必要に応じて編集できます)。



5. [使用]メニューで、[AirPrintの選択]または[AirPrint]を選択し、[追加]をタップします。



6. プリンタリストにプリンタが表示されます。



ネットワーク経由でプリンタにコンピュータを接続する(Mac OS X の場合)

プリンタをネットワークに接続するには HP Click の使用をお勧めします。インストール手順については、<http://www.hp.com/go/clickDesignJet> を参照してください。



プリンタサービスのセットアップ




以下のサービスが設定できます。

- ファームウェアアップデートの自動受信
- 電子メール印刷の有効化
- プリンタの追加サービスの有効化


プリンタの接続をテストするには、ネットワーク接続が必要です。ネットワークケーブルをプリンタに忘れずに接続してください。

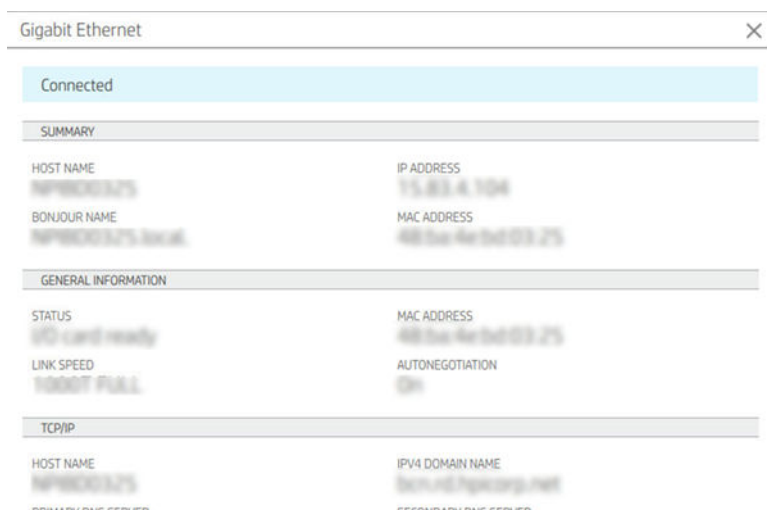
以下の説明に従って、各プリンタサービスを個々に有効または無効にすることができます。

プリンタの最初のセットアップ時に、このサービスを有効にするかどうかを尋ねられます。これを後で変更したい場合は、 をタップしてから、 をタップして、[サービス]>[データ収集および HP のプライバシーに関する声明]の順にタップします。

HP Partner Link Pay-per-use サービスをご利用いただいている場合、 をタップしてから、、、[新しいサービスの登録]の順にタップし、プリンタサービスを登録してください。

HP へのプリンタの接続を確認する

プリンタから HP のサービスに接続できるかどうかは、 をタップし、そこに表示されるステータスを確認します。詳細情報はネットワークカードまたはサービスカードをクリックすることで確認できます。







HP への接続に問題がある場合は、問題の詳細と可能ないくつかの解決方法が提供されます。

HP ePrint を使用した電子メール印刷の有効化

HP Connected サービスを使うと、ジョブを電子メールメッセージに添付して、プリンタに簡単に送信できます。



HP Connected を使用するには、[データ収集および HP のプライバシーに関する声明]を受け入れる必要があります。

電子メール印刷を有効にするには、フロントパネルで、 をタップして、ページの右上隅にある  をタップし、[サービス]>[HP Connected]>[Web サービスのセットアップ]をタップします。プリンタの電子メールアドレスおよびプリンタコードがプリンタに割り当てられます。

プリンタの電子メールアドレスを確認するには、ページの右上隅にある  >  をタップし、次に [サービス] > [HP Connected] > [プリンタの電子メールアドレス] をタップします。



または、内蔵 Web サーバーから設定することもできます。[HP Web サービス] メニューに移動し、[HP Web サービスの有効化] をクリックして HP ePrint を登録および有効化します。



プリンタ管理者の場合、HP Connected (<http://www.hpconnected.com>) にログインし、プリンタの電子メールアドレスをカスタマイズするか、プリンタのリモート印刷のセキュリティを管理します。フロントパネルからプリンタの電子メールアドレスを更新するには、ページの右上隅にある  >  をタップし、[サービス] > [HP Connected] > [プリンタの電子メールアドレス] をタップします。



<http://www.hpconnected.com> で、プリンタ コードを使用して、ユーザーとプリンタを登録する必要があります。

HP ePrint ジョブのポリシー

デフォルトでは、電子メールで送信されたジョブは直接印刷されます。設定を変更するには、 をタップしてから、ページの右上隅にある  をタップし、[サービス] > [HP Connected] > [HP ePrint ジョブ] の順にタップします。

HP ePrint ジョブに使用するロール紙を選択するか、または自動的に決定(用紙を節約)できます。

ePrint 接続サービスの設定


セキュリティ上の理由で必要な場合は、HP ePrint への接続を削除できます。フロントパネルの  をタップしてから、ページの右上隅にある  をタップして、[サービス] - [HP Connected] - [Web サービスの削除] の順にタップします。

リモート印刷をもう一度使用するには、一から設定し直す必要があります。

ファームウェアのアップデートを設定する


内蔵 Web サーバまたはフロントパネルから、ファームウェアのアップデートをダウンロードするかとその方法を選択できます。

 **注記**：管理者パスワードが設定されている場合は、以下の設定を変更する必要があります。

- 内蔵 Web サーバの場合：[プリンタについて] > [ファームウェアのアップデート] をクリックします。
- フロントパネルを使用する場合： をタップして、[システム] > [ファームウェアのアップデート] を選択します。

以下の設定があります。

- **[更新があるかどうかを自動的にチェック]**：新しいファームウェアが入手可能になるとプリンタに通知が表示されます。
- **[新規ファームウェアの自動ダウンロード]**：プリンタは、新しいファームウェアが入手可能になった時点で自動的にダウンロードします。手動で新しいファームウェアをダウンロードするには、このオプションを無効化します。

 **注記**：ファームウェアをダウンロードしても、プリンタにインストールされるわけではありません。新しいファームウェアをインストールするには、インストールを手動で確認する必要があります。

- **[ファームウェアのアップデート履歴]**：

電子メールアドレス帳の LDAP 設定

プリンタでは Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) が使用されます。これにより、スキャンして電子メールで送信して認証する場合にネットワークのアドレス帳にアクセスできます。

以下の説明は、LDAP を使用して、プリンタをネットワークの電子メールアドレス帳に接続する方法、および LDAP 資格情報を使用してプリンタのユーザーを認証する方法を示します。

電子メールを検索する

プリンタでスキャンして電子メールで送信するために LDAP を使用する場合、電子メールアドレスのデータベースが検索されます。電子メールアドレスを入力し、**[検索]**ボタンをクリックすると、LDAP は電子メールアドレスのリストを検索し、一致する文字を探します。追加の文字を入力したり、新しい検索を実行して、検索結果を絞り込むことができます。

LDAP をサポートしているプリンタは、標準の送信電子メール プロファイルの使用にも対応しています。そのため、そういったプリンタから電子メールを送信するために、LDAP サーバに接続する必要はありません。

開始する前に必要な情報

設定を開始する前に、以下の情報があることを確認します。

- サーバー アドレス (ホスト名または IP)
- サーバー 認証の要件
- 検索を開始するパス (BaseDN、検索ルート) (たとえば、o=mycompany.com)。
- 入力した名前的一致 (cn または samAccountName など)、電子メールアドレスの取得 (mail など)、コントロールパネルに表示される名前 (displayName など) の属性。

アドレス帳を設定する

内蔵 Web サーバーで、**[設定]** > **[アドレス帳]** をクリックします。ここでは、LDAP サーバーから電子メールアドレス帳を取得するように、プリンタを設定できます。それにより、**[電子メールにスキャン]** 画面で検索を行うと、電子メールアドレスが選択できるようになります。

1. 内蔵 Web サーバを開きます。
2. **[設定]** > **[アドレス帳]** をクリックします。
3. LDAP サーバーを有効にします (LDAP 設定を続行するには必須)。

[ネットワークディレクトリサーバー]セクション：

4. **[ネットワーク ディレクトリ サーバー]** セクションで、LDAP サーバー アドレスの名前 (たとえば、ldap.mycompany.com) や **[ポート]** を入力します。

[サーバー認証の要件] セクション :

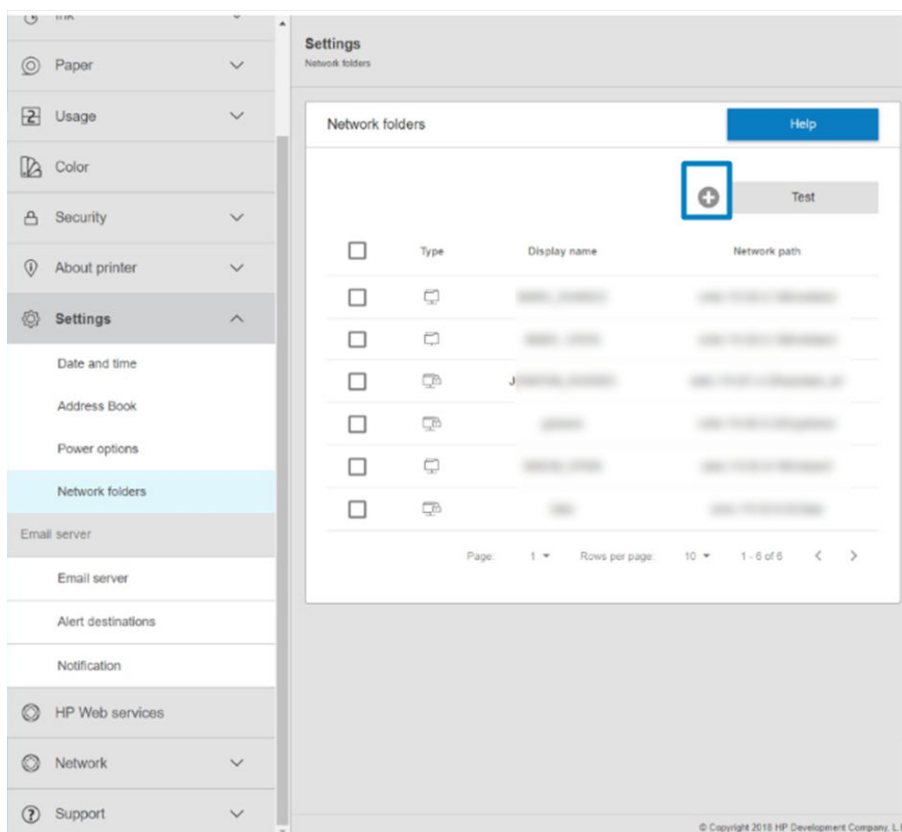
5. **[サーバー認証の要件]** セクションでは、サーバーの適切な認証方法を選択できます (Windows 資格情報、簡易資格情報、プリンタ ユーザーの資格情報)。ドメイン名、ユーザー名、およびパスワードを入力する必要があります。

[LDAP データベース検索設定] セクション :

6. 以下のフィールドに入力します。
 - **[検索を開始するパス (BaseDN、検索ルート)]** ボックスに、データベースを検索するパス (たとえば、o=mycompany.com) を入力します。
 - **[受信者の表示名]** ボックスには、その人の名前を含む属性の名前 (たとえば、displayName) を入力します。
 - **[受信者の電子メールアドレス]** ボックスには、その人の電子メールアドレスを含む属性の名前 (たとえば、mail または rfc822Mailbox) を入力します。
 - 電子メールアドレスを取り出すために、オプションのフィルタをセットアップするには、LDAP フィルタ条件ボックスを使用します。
7. **[適用]** ボタンをクリックして、設定を保存します。これでセットアップは終了しました。
8. LDAP 検索が正しく設定されていることを確認するには、**[テスト]** ボックスに最低 3 文字のネットワーク コンタクト名を入力し、**[テスト]** ボタンをクリックします。テストに成功した場合、メッセージが表示されます。


ネットワーク フォルダの構成

プリンタの内蔵 Web サーバーで、**[設定]** タブと **[ネットワーク]** フォルダをクリックします。
[35 ページの内蔵 Web サーバ](#)を参照してください。



[ネットワーク フォルダ] ページで、ページ上部の **+** をクリックし、次のフィールドに入力します。



- **[名前を表示:]** ファイルの印刷先/印刷元 (機能の用途により異なります) を選択するときにフロントパネルに表示される名前。
- **[ネットワークパス:]** リモート コンピュータのネットワーク名が含まれる必要があります。先頭の//の後にパスが続く必要があります。
- **[プロトコル:]** SMB
- **[機能の用途:]** [印刷のみ]、[スキャンのみ]、[印刷とスキャン]、[なし]のいずれかを選択します。
- **[デフォルトのネットワーク保存先:]** このフォルダをファイルのデフォルトの保存先として設定するには、このオプションを有効にします。
- **[ネットワーク フォルダ構造を参照する:]** フォルダの構造を参照できます。
- **[認証要件:]** ネットワーク フォルダ内のドキュメントやイメージにアクセスするには、プリンタのログイン ユーザー名とパスワードを入力します。ユーザー名とパスワードは、プリンタのメモリに保存されており、暗号化されています。次の3つのオプションがあります。
 - **[なし:]** ネットワーク上の保護されていないフォルダには、この設定を使用してください(資格情報は必要ありません)。
 - **[以下の資格情報を使用して自動ログイン:]** 設定時にユーザー名とパスワードを1回だけ入力し、後で資格情報を入力せずにフロントパネルのフォルダを使用します。
 - **[必要に応じて資格情報を求める:]** 使用するたびにフロントパネルでユーザー名とパスワードを入力します。

 **注記** : ユーザー パスワードには、**ユーザー**のパスワードが含まれている必要があります。ドメインには、ユーザー名が存在するドメインの名前が含まれている必要があります。**ユーザー**がどのドメインにも属していない場合は、このフィールドは空白のままにします。

- **[セキュリティ PIN オプション :**] 4 桁のセキュリティ PIN を作成し、許可されていないユーザーがこのネットワーク フォルダ内のドキュメントやイメージにアクセスできないようにします。

ネットワーク フォルダの場合、リモート コンピュータの名前または IP アドレス、共有フォルダの名前、およびリモート コンピュータ上ですでに作成している **ユーザー**のユーザー名とパスワードを入力します。ユーザが Windows ドメインのメンバーである場合を除いて、ユーザのドメイン フィールドは空白のままにします。ユーザがリモート コンピュータの唯一のローカル ユーザである場合、このフィールドは空白のままにします。共有フォルダが同じローカル ネットワークの Windows コンピュータ上にある場合のみ、サーバ名フィールドに (IP アドレスではなく) 名前を使用できます。

- 設定を保存するには、**[適用]** をクリックします。
- プリンタはネットワーク フォルダにアクセスできることを自動的に確認します。アクセスできない場合は、[123 ページのネットワーク フォルダにアクセスできない](#)を参照してください。

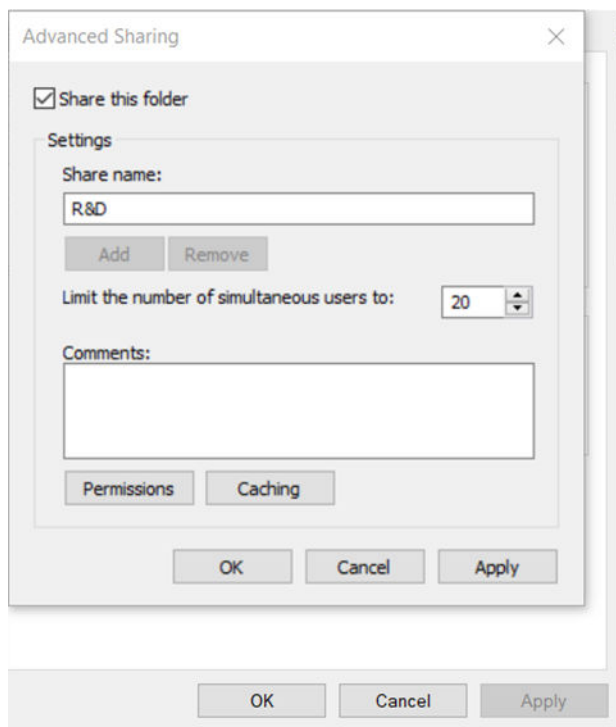
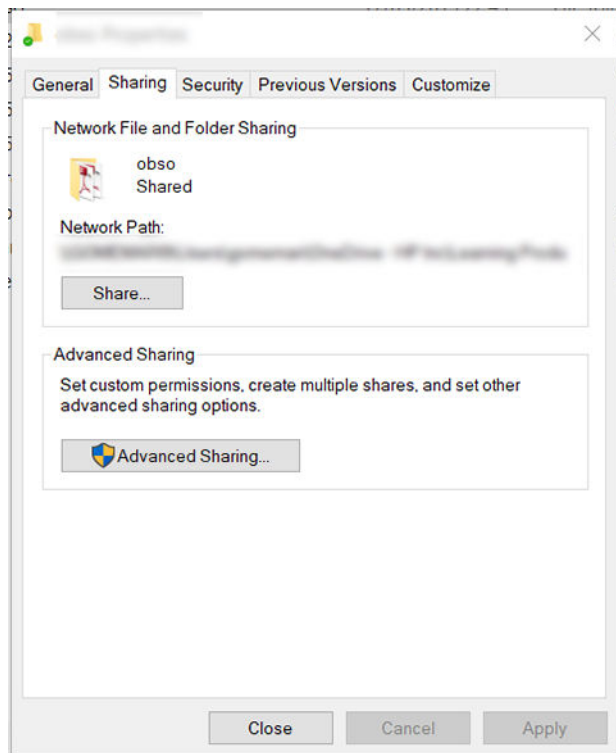
 **注記** : 製品がすでにネットワークにスキャンまたはネットワークから印刷するように設定されている場合に、異なる共有フォルダを使用するには、 をクリックします。

内蔵 Web サーバーで**[確認]** をクリックして、共有フォルダにアクセス可能であることをいつでも確認できます。正しく設定された共有フォルダは、ユーザのパスワードが変更された場合、または共有フォルダが移動もしくは削除された場合には、アクセスできなくなる可能性があります。

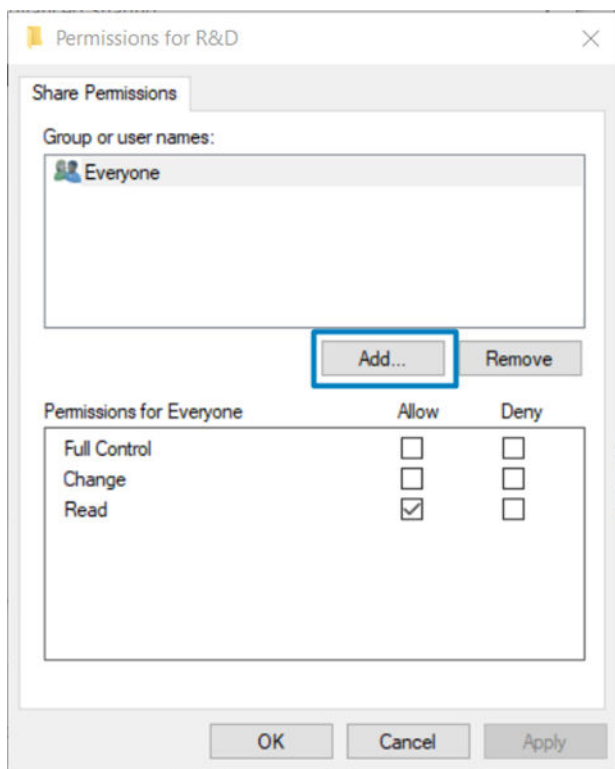
例: Windows でネットワーク フォルダを作成する

1. リモート コンピュータ上に新しいユーザー アカウントを作成します。この目的に既存のユーザー アカウントを使用できますが、推奨されません。
2. リモート コンピュータ上に新しいフォルダを作成します(既存のフォルダを使用しない場合)。
3. フォルダを右クリックして、**[プロパティ]** をクリックします。

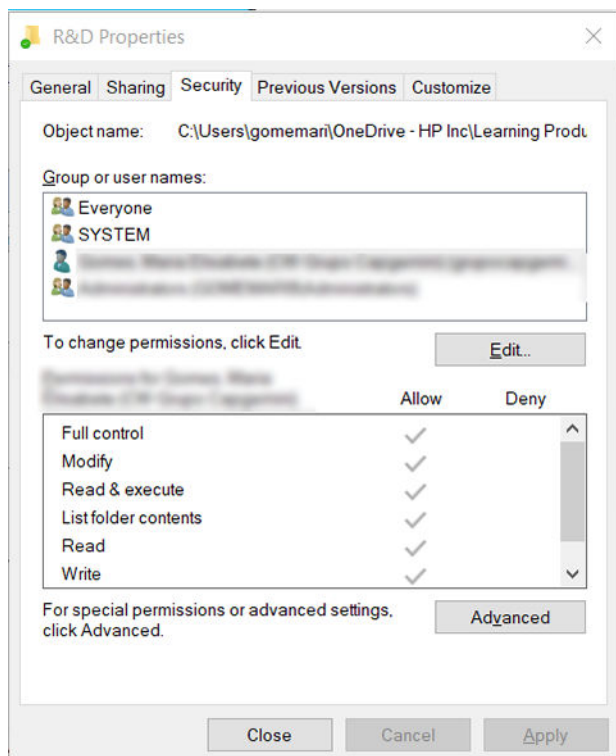
4. [共有]タブで、[詳細な共有]ボタンをクリックします。



5. ネットワークフォルダの機能の用途に応じて、ユーザーが正しいアクセス権設定を持っていることを確認してください。フォルダへのスキャンを設定した場合、ユーザーがファイルをフォルダに追加できるように、共有フォルダに対する読み取り/書き込みフルコントロールを持っていることを確認する必要があります。権限を付与するには、**【権限】**をクリックし、ユーザ(または、そのユーザを含む適切なグループ)に対して**【フルコントロール】**を選択します。ユーザーがフォルダを使用してドキュメントを印刷する場合、読み取り専用のアクセス権で十分です。



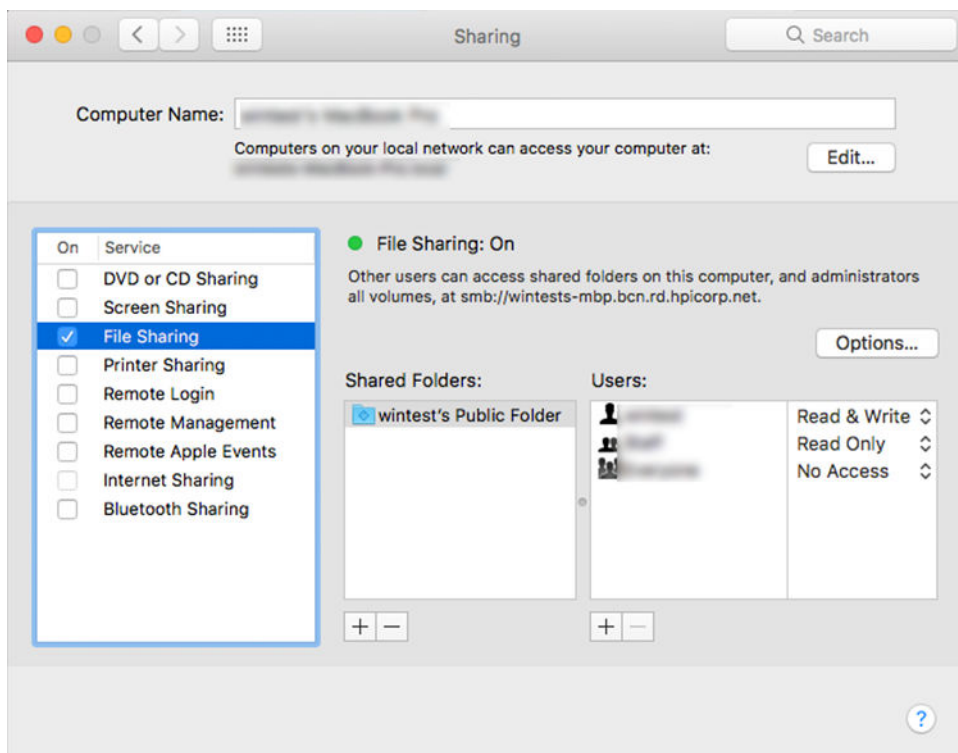
6. スキャナユーザーの場合、フォルダの[プロパティ]ウィンドウに[セキュリティ]タブがある場合、[セキュリティ]タブで、このフォルダに対する[フルコントロール]を同一ユーザーに付与する必要もあります。NTFS などの一部のファイルシステムのみにこれが可能です。



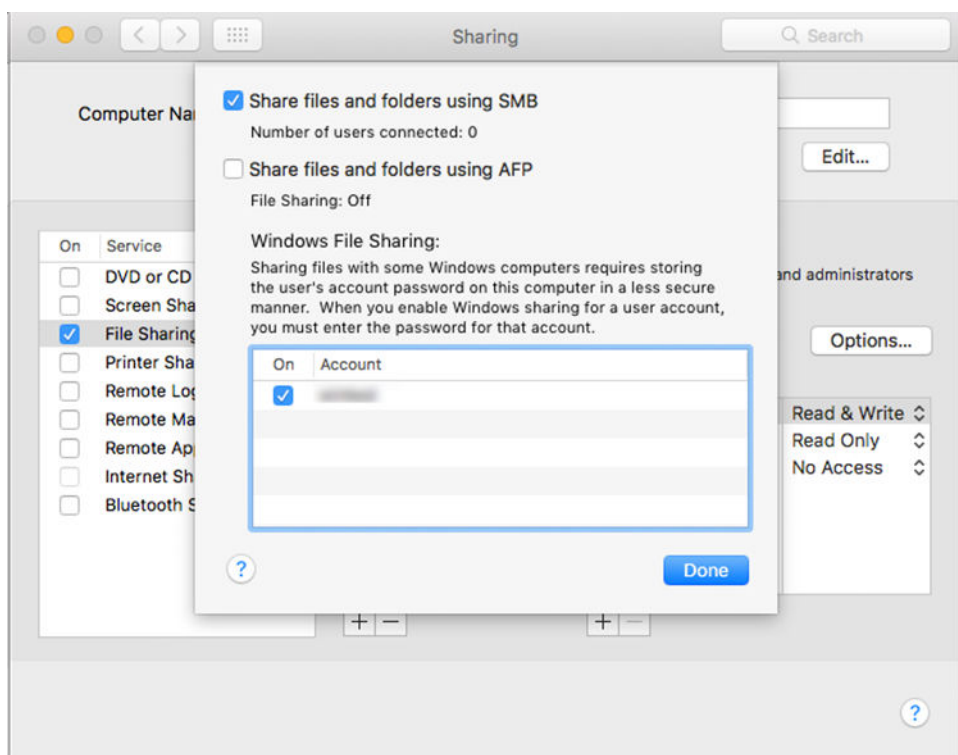
例: Mac OS で、スキャン先のネットワークフォルダを作成する

1. リモートコンピュータ上でスキャナユーザーの新しいユーザーアカウントを作成します。この目的に既存のユーザーアカウントを使用できますが、推奨されません。
2. リモートコンピュータ上でフォルダを作成するか、選択します。デフォルトで、Mac OS ユーザーには、この目的のために簡単に使用可能な「共有フォルダ」があります。

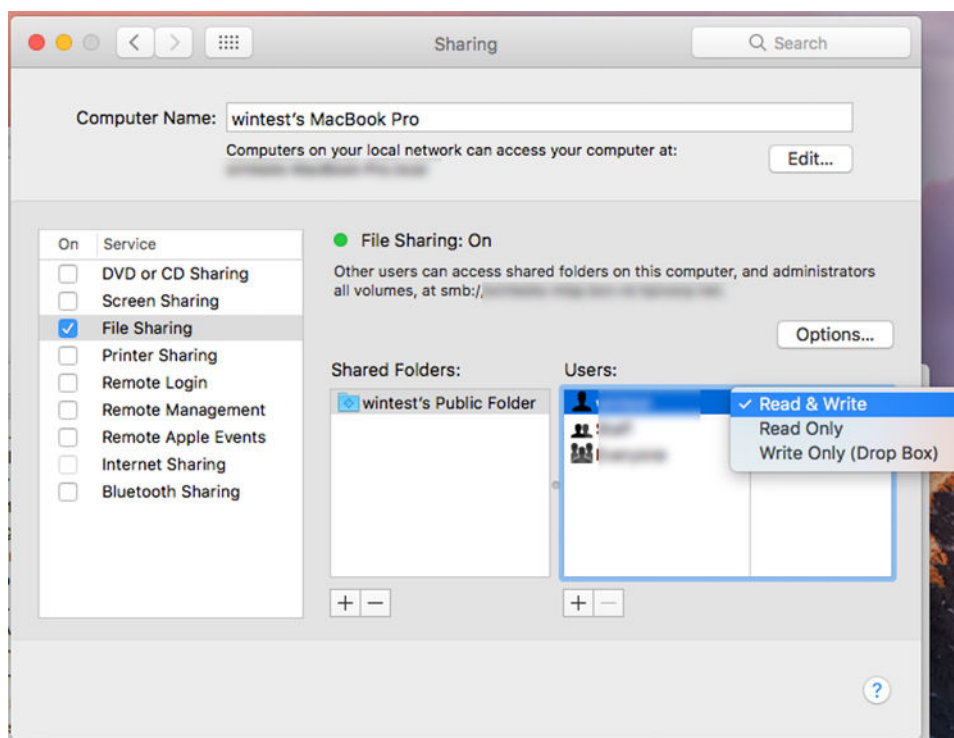
3. [システム環境設定]アプリケーションを開いて、[共有]アイコンをクリックします。



4. フォルダの機能に応じて、ユーザーが適切なアクセス権を持っていることを確認してください。スキャンするには、フォルダにアクセスするために[読み取り/書き込み]が必要です。
5. [オプション]をクリックします。
6. [SMB を使用してファイルとフォルダを共有する] ボックスを選択し、スキャナユーザーが[オン]列で選択されていることを確認します。



7. **[完了]**をクリックします。これで、ファイルの共有が有効になっていて、Windows 共有がオンになっていることが確認されます。



8. フォルダにスキャンを送信できるようにプリンタを設定する必要があります。

電子メールサーバーの設定

内蔵 Web サーバを使用して電子メールサーバを設定するには、**[設定] > [電子メールサーバ]**をクリックし、以下のフィールドに入力します(通常は電子メールサーバプロバイダにより入力されています)。

- **[SMTP サーバおよびポート番号]**：プリンタから送信されるすべての電子メールメッセージを処理する送信メールサーバ(SMTP)の IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名。メールサーバが認証を必要とする場合、電子メール通知は機能しません。
- **[プリンタのメールアドレス]**：プリンタで設定されたアカウントに割り当てられている電子メールアドレス。この電子メールアドレスは、プリンタによって送信されるすべての電子メールメッセージの [送信者] フィールドに表示されます。これは、HP Connected によって使用される電子メールアドレスと同じものではありません。
- **[添付ファイルのサイズ制限]**：電子メールメッセージに添付されるファイルの最大サイズ。フロントパネルから電子メールをスキャンした場合、添付ファイルがこの制限より大きいと警告が表示されます。ただし、警告を無視してメッセージを送信することもできます。
- **[SSL 証明書を使用]**：サーバに暗号化接続が必要な場合は、このボックスをオンにして SSL 証明書を使用します。リンクをクリックして、詳細な証明書設定を構成します。
- **[認証]**：認証を選択した場合は、ユーザ名とパスワードも求められます。

電子メールサーバを設定したら、設定を確認することを強く推奨します。

プリンタへのアクセスを制御する

HP Connected でプリンタのセキュリティを管理する

Web サービスを設定すると、プリンタがロック解除モードになります。ロック解除モードでは、プリンタの電子メールアドレスを知っていればだれでもファイルを送信するだけで、そのプリンタで印刷することができます。HP ではスパム フィルタリング サービスを提供していますが、そのアドレスに送信された内容がすべてプリンタで印刷されるため、プリンタの電子メールアドレスを口に出すときは注意してください。

プリンタ管理者は、<http://www.hpconnected.com> から HP Connected にアクセスすることにより、プリンタのセキュリティを管理したり、プリンタ ステータスをロック モードに変更したりすることができます。ここでは、プリンタの電子メールアドレスをカスタマイズしたり、印刷ジョブを管理することもできます。最初のアクセス時、プリンタのコードを使って HP Connected でアカウントを作成する必要があります。

内蔵 Web サーバのセキュリティ設定

内蔵 Web サーバのメニューから **[セキュリティ]** をクリックし、**[管理者パスワード]** をクリックして管理者アカウントを指定し、内蔵 Web サーバおよびプリンタのフロントパネルへのアクセスを制御することで、プリンタへのアクセスを制御できます。

また管理者は **[アクセス コントロール]** メニューオプションからコントロールパネルのその他の種類の権限を定義できます。このセクションでは、管理者は新しいプリンタのユーザアカウントを作成して、ユーザの役割に応じて特定の権限を割り当てることが可能です。

その他のセキュリティ設定は、すべてのユーザーに適用される **[セキュリティ設定]** メニューオプションからアクセスできます。

LDAP – サインイン サーバー

開始する前に必要な情報

設定を開始する前に、以下の情報があることを確認します。

- サーバー アドレス (ホスト名または IP)
- サーバー 認証の要件
- 検索を開始するパス (BaseDN、ルート) (たとえば、o=mycompany.com)。
- 入力した名前的一致 (cn または samAccountName など)、電子メールアドレスの取得 (mail など)、コントロールパネルに表示される名前 (displayName など) の属性。

セットアップ

内蔵 Web サーバーで、**[設定]** > **[LDAP サインイン サーバー]** をクリックします。

1. LDAP サーバーを有効にします (LDAP 設定を続行するには必須)。

[ネットワーク ディレクトリ サーバー] セクション :

2. **[ネットワーク ディレクトリ サーバー]** セクションで、LDAP サーバー アドレスの名前 (たとえば、ldap.mycompany.com) や **[ポート]** を入力します。
 - LDAP サーバーがわからない場合は、サーバー管理者にお問い合わせください。
 - 安全な接続 (SSL) を有効にする場合、**[安全な接続の使用 (SSL)]** をクリックします。

[サーバー認証の要件] セクション :

3. **[サーバー認証の要件]** セクションでは、サーバーの適切な認証方法を選択できます (プリンタユーザーの資格情報を使用する、LDAP 管理者の資格情報を使用する)。ドメイン名、ユーザー名、およびパスワードを入力する必要があります。

[LDAP データベース検索設定] セクション :

4. 以下のフィールドに入力します。
 - **バインドと検索のルート** に、データベースの検索を開始するパスを入力します (たとえば、o=mycompany.com)。
 - **この属性を使用してプリンタユーザーの名前を取得する** ボックスに、その人の名前を含む属性の名前 (たとえば、displayName) を入力します。
 - **入力した名前とこの属性をマッチングする** に、サインイン時にそのコンテンツとマッチングする必要がある属性の名前を入力します。
 - **この属性を使用してユーザーの電子メールアドレスを取得する** ボックスに、その人の電子メールアドレスを含む属性の名前 (たとえば、mail または rfc822Mailbox) を入力します。
 - **この属性を使用してプリンタユーザーグループを取得する** ボックスに、そのユーザーが属するグループを含む属性の名前を入力します。
5. **[適用]** ボタンをクリックして、設定を保存します。これでセットアップは終了しました。
6. LDAP 検索が正しく設定されていることを確認するには、**[テスト]** ボックスに最低 3 文字のネットワーク コンタクト名を入力し、**[テスト]** ボタンをクリックします。テストに成功した場合、メッセージが表示されます。

Windows サインイン設定

開始する前に必要な情報

設定を開始する前に、以下の情報があることを確認します。

- Windows ドメイン。
- 入力した名前的一致 (cn または samAccountName など)、電子メールアドレスの取得 (mail など)、コントロールパネルに表示される名前 (displayName など) の属性。

セットアップ

内蔵 Web サーバーで、**[設定] > [Windows サインイン設定]** をクリックします。


1. Windows サインインステータスを有効にします (Windows サインイン設定で続行する場合は必須)。

Windows サインイン設定セクション :

2. **[デフォルトの Windows ドメイン]** の名前を入力します (たとえば、mycompany.com)。
 - Windows ドメインがわからない場合は、サーバー管理者にお問い合わせください。
 - 安全な接続 (SSL) を有効にする場合、**[安全な接続の使用 (SSL)]** をクリックします。
3. **[入力した名前とこの属性をマッチングする]** に、属性の名前を入力します。サインイン時にそのコンテンツとマッチングする必要があります。
4. **[この属性を使用してユーザーの電子メールアドレスを取得する]** ボックスに、その人の電子メールアドレスを含む属性の名前 (たとえば、mail または rfc822Mailbox) を入力します。

5. **[この属性を使用してプリンタ ユーザーの名前を取得する]** ボックスに、その人の名前を含む属性の名前(たとえば、displayName)を入力します。
6. **[適用]** ボタンをクリックして、設定を保存します。これでセットアップは終了しました。
7. LDAP 検索が正しく設定されていることを確認するには、**[テスト]** ボックスに最低 3 文字のネットワーク コンタクト名を入力し、**[テスト]** ボタンをクリックします。テストに成功した場合、メッセージが表示されます。


フロントパネルのセキュリティ設定

フロントパネルで、 をタップし、**[セキュリティ]** をタップすると、プリンタの一部の機能を制御できます。


- **[ユーザセッション]** : 1 分、3 分、または 5 分後の自動ログアウトを有効または無効にします。
- **[内蔵 Web サーバ]** : 内蔵 Web サーバを有効または無効にします。
- **[印刷と Web サービスの管理]** : HP Utility、HP Click、SDK for RIP などの印刷および管理ツールで使用する Web サービスを有効または無効にします。

管理者パスワードが設定されている場合は、以下の操作の実行権限が付与されている必要があります。

- セキュリティ設定を変更する(管理者パスワード自体を含む)
- インターネット接続の設定を変更する
- 自動ファームウェアアップデートの設定を変更する
- 自動ファームウェアアップデートの自動的なダウンロードまたはインストールを有効または無効にする
- 以前のファームウェアバージョンに戻す
- 出荷時デフォルトへのリセット

 **注記** : 管理者パスワードは、フロントパネルのオンスクリーン キーボードに存在する文字のみを使用できます。内蔵 Web サーバで新しいパスワードを設定する場合、その制限された文字セットに存在しない文字は拒否されます。

アカウント ID の要求

ユーザ別にプリンタの使用状況を記録したい場合、それぞれのジョブに対してアカウント ID を要求するようにプリンタを設定することができます。フロントパネルで  をタップし、**[ジョブ管理]** > **[アカウント ID が必要]** の順にタップします。

この設定をオンにした場合、アカウント ID フィールドの入力が必須になります。アカウント ID のないジョブは、アカウント ID 保留状態になります。

ジョブの送信時にアカウント ID をプリンタ ドライバに設定することができます。プリンタ側でジョブが「アカウント ID 保留」状態に設定されている場合、ジョブ キューを選択し、保留状態のジョブをクリックすることで、ドライバまたはフロントパネルにアカウント ID を通知することができます。ウィンドウに表示されるテキスト ボックスに、アカウント ID を入力することができます。

ドライバ

このプリンタには、さまざまなドライバがあり、最適なドライバはお使いの環境によって異なります。

- オペレーティングシステム
- 印刷に使用するアプリケーションの種類
- 所有するプリンタの数
- 所有する出力アクセサリ

必要に応じて、1つ以上のドライバをインストールしてください。

最新のドライバソフトウェアは、<http://www.hp.com/go/DesignJetT2600/drivers/>からダウンロードできます。

特定の Windows ドライバ

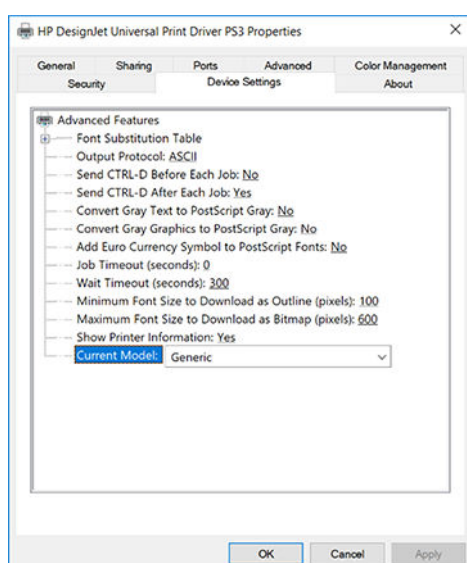
以下のドライバが推奨されます：

- Non-PostScript プリンター: ラスタ ドライバ
- Windows 7 または Windows Server 2008R2 での PostScript プリンタ : PostScript ドライバ
- Windows 8、Windows Server 2012 以降での PostScript プリンタ : PDF ドライバ

HP Universal Print Driver 設定ツール

HP Designjet Universal Print Driver をインストールするには、<http://www.hp.com/go/DesignJetT2600/support> に移動し、[ソフトウェアとドライバ]>[ドライバ - Universal Print Driver]>[ダウンロード]をクリックします。PostScript を使用している場合は、[HP DesignJet UPD PostScript ドライバ]を選択することをお勧めします。

インストールの最後に、[プリンタ]>[デバイス設定]>[プロパティ]に移動し、汎用 が [現在のモデル] に表示されていることを確認します。



ツールをインストールするには、<http://www.hp.com/go/DesignJetT2600/support> に移動し、[ソフトウェアとドライバ]>[ソフトウェア - ユーティリティ]>[UPD 設定ツール]>[ダウンロード]の順にクリックします。


ツールのインストール方法および使用方法については、<https://support.hp.com/us-en/document/c05658213> を参照してください。

Windows ドライバの環境設定を設定する

必要に応じてプリンタドライバでデフォルトの設定を変更できます。例えば、色や用紙の節約に関するオプションなどです。この作業を行うには、お使いのコンピュータの画面からスタートまたは検索ボタンをクリックして、**[デバイスと設定]**または**[デバイスとプリンター]**をクリックします。次のウィンドウで、お使いのプリンタのアイコンを右クリックし、**[印刷設定]**をクリックします。**[印刷設定]**ウィンドウで変更した設定は、現在のユーザのデフォルト値として保存されます。

システムのすべてのユーザのデフォルト値を設定するには、プリンタのアイコンを右クリックし、**[プリンターのプロパティ]**をクリックし、**[詳細設定]**タブに移動し、**[標準の設定]**をクリックします。標準の設定で変更した設定は、すべてのユーザに対して保存されます。

グラフィック言語の設定を変更する

フロントパネルからグラフィック言語の設定を変更できます。 をタップし、**[デフォルトの印刷設定]** > **[グラフィック言語]** をタップします。

次に、以下のオプションから1つ選択します。

- **[自動]** を選択すると、プリンタにより受信ファイルの種類が特定されます。これはデフォルトの設定です。この設定は、大半のソフトウェアアプリケーションに適用されます。通常は、デフォルトの設定を変更する必要はありません。
- プリンタドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、**[PS]** (PostScript) を選択します。
- プリンタドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、**[PDF]** を選択します。
- プリンタドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、**[HP-GL/2]** を選択します。
- プリンタドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、**[CALS/G4]** を選択します。
- プリンタドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、**[TIFF]** を選択します。
- プリンタドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、**[JPEG]** を選択します。

モバイル印刷

HP モバイル印刷ソリューションを使用すると、どこにいてもスマートフォンやタブレットから少しの手順で直接印刷することができます。その際、モバイルデバイスの OS を使用するか、電子メールに PDF、TIFF、JPEG を添付してプリンタに送信します。

- Android で印刷する場合、Google Play から「HP プrint サービス アプリ」をインストールします。すでにインストールされている場合、最新であることを確認します。最新バージョンは、<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.hp.android.printservice> から入手できます。
- HP Smart アプリをダウンロードしてスマートフォンやタブレットの印刷機能を強化することもできます。

- 最新 iOS バージョンは、<https://itunes.apple.com/app/id469284907> から入手できます
- 最新 Android バージョンは、<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.hp.printercontrol> から入手できます
- 電子メール印刷を有効にするには、サービスが有効になっていることを確認し、フロントパネルからプリンタの電子メールアドレスを取得します。

詳しくは、<http://www.hp.com/go/designjetmobility> を参照してください。

ユーザ補助機能

フロントパネル

必要に応じて、フロントパネルの表示の明るさやスピーカの音量を変更できます([11 ページのシステムオプションを変更する](#)を参照)。

内蔵 Web サーバ

フロントパネルを使用しなくても、内蔵 Web サーバからプリンタのステータスを確認したり、その他の操作を実行できます。

内蔵 Web サーバのユーザ補助機能の詳細については、**[サポート]** > **[ユーザ補助機能]** をクリックします。

Area	Access key combination
Header	ALT + 1
Menu	ALT + 2
Content	ALT + 3
Move through elements	TAB

Note: Keyboard shortcuts are supported under Windows and Mac OS

HP ユーザ補助機能プログラムに関する情報や、障害を抱えるお客様を対象とした製品およびサービスに関する HP の取り組みについては、<http://www.hp.com/hpinfo/abouthp/accessibility/> をご覧ください。

その他の情報源

以下のドキュメントは、<http://www.hp.com/go/DesignJetT2600/manuals/> からダウンロードできます。

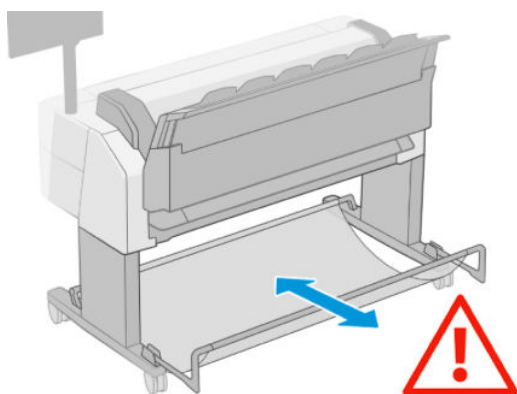
- 基本情報
- ユーザーガイド
- 法律に関する情報
- 限定保証

2 用紙の取り扱い

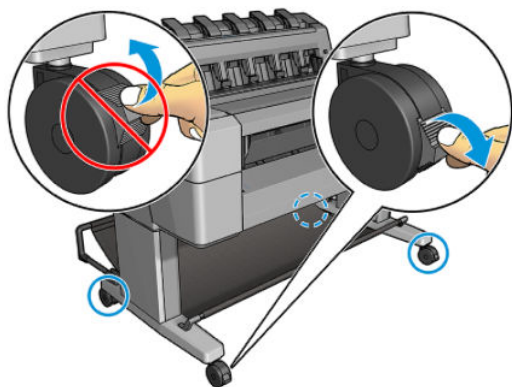
- [一般的なヒント](#)
- [ロール紙をスピンドルに取り付ける](#)
- [ロール紙をプリンタに取り付ける](#)
- [ロール紙を取り外す](#)
- [カット紙を取り付ける](#)
- [スタッカ](#)
- [バスケット](#)
- [用紙に関する情報を表示する](#)
- [用紙プリセット](#)
- [用紙情報の印刷](#)
- [用紙の移動](#)
- [用紙を保守する](#)
- [乾燥時間を変更する](#)
- [自動カッターのオン/オフを切り替える](#)
- [クリーンカット](#)

一般的なヒント

⚠ **注意**：用紙の取り付けを開始する前に、プリンタの周辺(プリンタの前後の両方)に十分な空間があることを確認してください。少なくともプリンタの背面にバスケットを完全に開くことができるスペースが必要です。

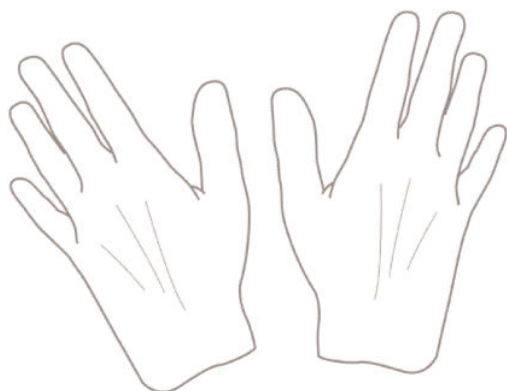


⚠ **注意**：プリンタのキャスターがロックされ(ブレーキレバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。



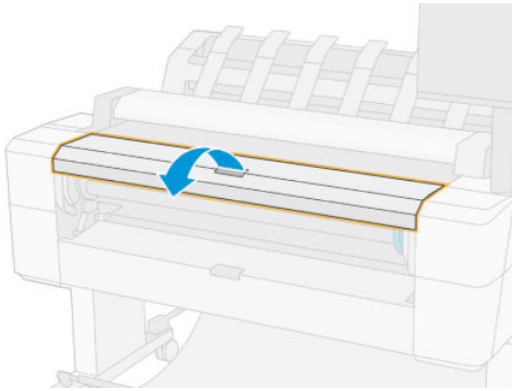
⚠ **注意**：すべての用紙は、280mm 以上である必要があります。A4 およびレター用紙は、横置きに取り付けられません。

💡 **ヒント**：フォト用紙では、用紙に油が付着しないように、綿製の手袋を着用します。



ロール紙をスピンドルに取り付ける

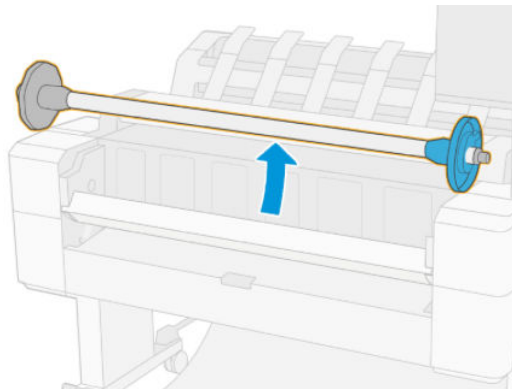
1. ロールカバーを開きます。



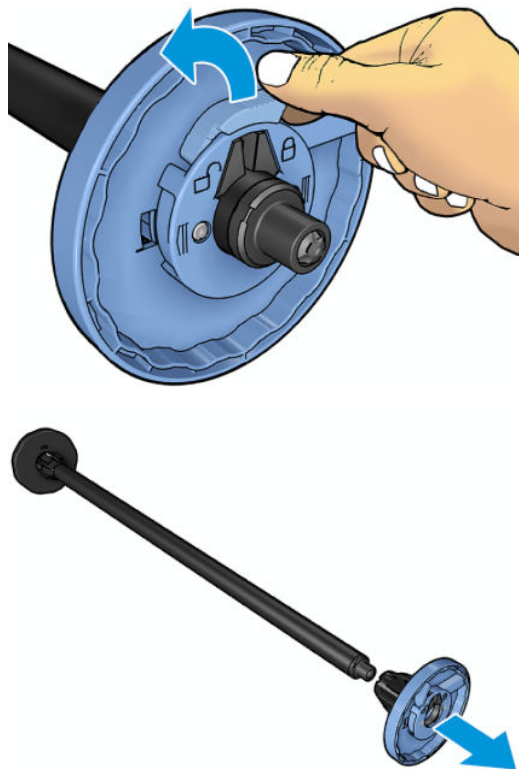
2. プリンタからスピンドルを、黒色側、青色側の順で取り外します。

⚠ 注意：必ず黒色側から取り外してください。青色側から取り外すと、黒色側が破損する場合があります。

⚠ 警告！取り外し作業の最中に、スピンドルサポートに指を入れしないでください。



3. スピンドルの両端にはストoppaがあります。青いストoppaはスピンドルに沿って移動でき、所定の位置でロックするためのラッチが付いています。ラッチを開けて、スピンドルの端から青いストoppaを取り外します。

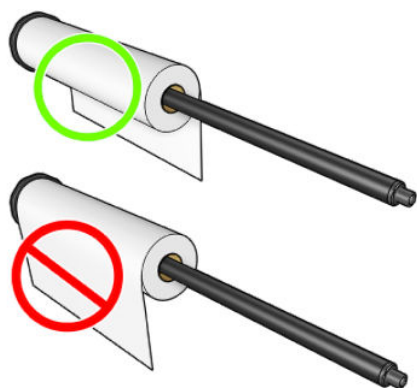


4. スピンドルに既にロール紙または芯が乗っている場合は、取り出します。
5. ロール紙が長い場合は、台の上に水平に置いて、スピンドルを取り付けるようにしてください。

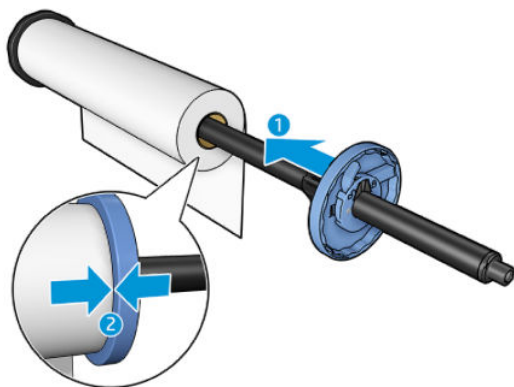
💡 **ヒント**：大きなロール紙の作業には、2人必要な場合があります。

6. 新しいロール紙をスピンドルに取り付けます。用紙の向きは、図のようになるように注意してください。向きを間違えた場合は、ロール紙を外して180度回転し、取り付け直します。スピンドルには、正しい向きを示すラベルが付貼されています。

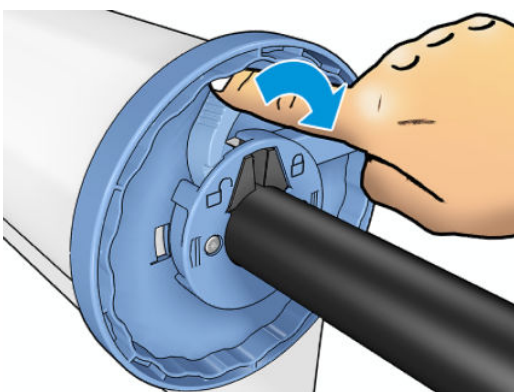
📌 **注記**：プリンタの背面から、青いストoppaを右端のホルダーに差し込みます。



7. スピンドルの空いている端に青いストッパを取り付け、ロール紙の端に向けて押し込みます。



8. 青いストッパができるだけ奥に押し込まれていることを確認します。両端がストッパに向くまで押し込み、ラッチを閉じます。




さまざまな種類の用紙を日常的に使用する場合は、異なる種類の用紙をあらかじめ取り付けられたスピンドルを複数準備しておく、ロール紙の交換をすばやく行うことができます。追加のスピンドルは別途購入できます ([181 ページの「サプライ品とアクセサリ」](#)を参照)。


ロール紙をプリンタに取り付ける

この手順を始める前に、ロール紙をスピンドルに取り付けておく必要があります。 [37 ページのロール紙をスピンドルに取り付ける](#)を参照してください。

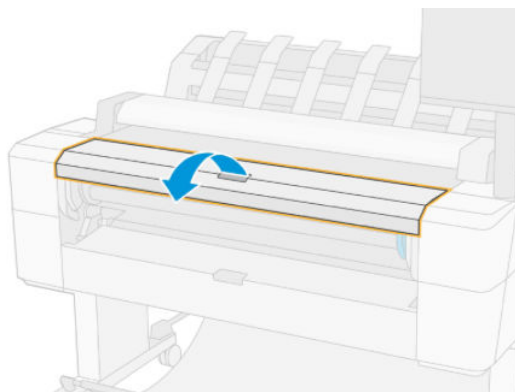
✪ ヒント : 両方のロールカバーを一度に開こうとしないでください。問題が発生する場合があります。常に、一方のカバーを閉じてから、他方のカバーを開いてください。

📖 注記 : 以下の最初の 2 つの手順はオプションです。手順 3 から開始できます。ただし、この場合はプリンタによりロール紙の長さが記録されず、次回取り外すときにロール紙の上にバーコードが印刷されません。このため、**[用紙情報の印刷]** オプションをオフにした場合を除き、手順 1 からすべての手順に従うことをお勧めします。 [50 ページの用紙情報の印刷](#)を参照してください。

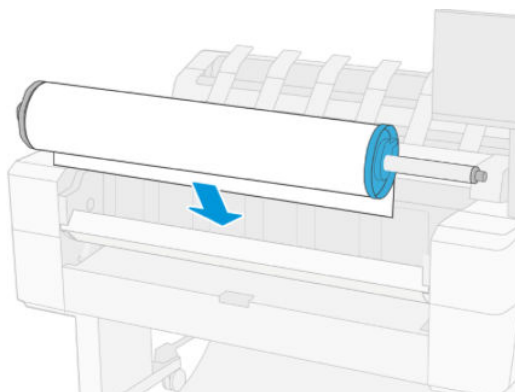
1. フロントパネルで、 を押し、ロールアイコンを押して、**[取り付け]** を押します。
選択したロール紙が既に取り付けられている場合、自動的に取り外されるまで待つ必要があります。
2. ロール紙 2 が既に取り付けられているときにロール紙 1 の取り付けを開始した場合、ロール紙 2 はスタンバイ位置に引き出され、必要な場合は取り付け直さなくても再度印刷できるようになります。ロール紙 1 と 2 が逆の場合も同様です。

 **注記：** ロール紙が取り付けられているが印刷中でないときにそのロールカバーを開いた場合は、ロール紙が自動的に取り外され、次回そのロール紙に印刷するときに取り付け直す必要があります。

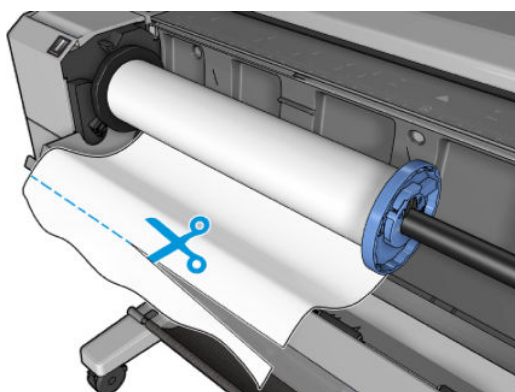
3. ロールカバーを開きます。



4. 青いストッパが右側になるように、スピンドルをプリンタに取り付けます。スピンドルを中央ではなく端に固定し、用紙に触れてマークが付かないようにします。

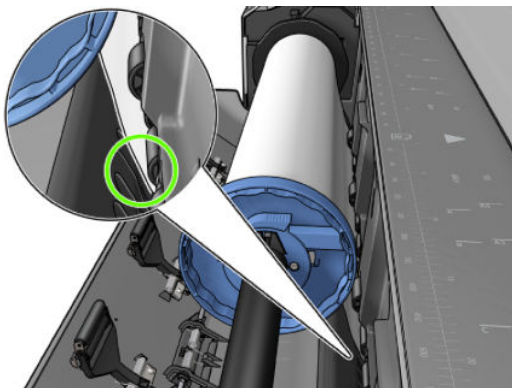
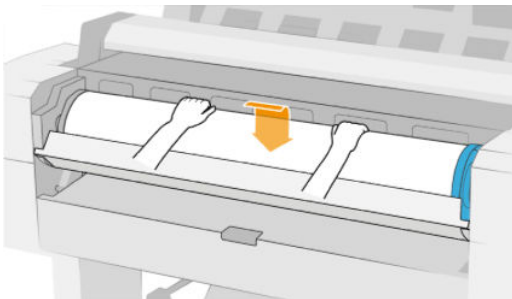


5. ロール紙の端が水平にならない場合 (ロール紙の端を固定するためのテープが原因で起こる場合があります)、用紙を少しだけ送り、端を水平にカットします。

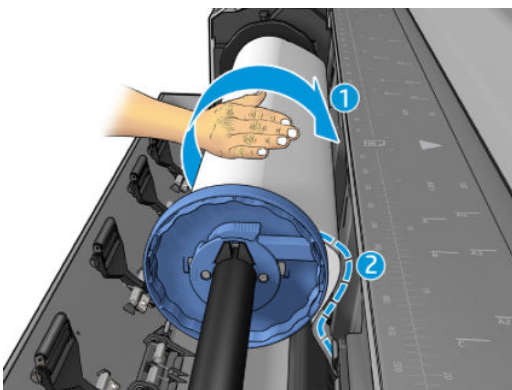


6. 用紙の端をプリンタに差し込みます。

⚠ 警告！ プリンタの用紙経路に指を入れないでください。



7. 用紙がそれ以上入らなくなってわずかに曲がるようになるまで、用紙をプリンタに巻きつけます。プリンタが用紙を検出すると、用紙が自動的に給紙されます。ブザーが聞こえます。



8. 用紙の先端にバーコードがある場合、プリンタにより読み取られ、バーコードがカットされてバスケットに落ちます。
9. 用紙の先端にバーコードがない場合、フロントパネルに用紙のカテゴリと種類を選択するように要求するメッセージが表示されます。

💡 ヒント： 用紙リストにない用紙の種類を取り付けた場合は、[189 ページの用紙の種類がドライバに含まれていない](#)を参照してください。

10. フロントパネルに、ロール紙の長さを指定するよう求めるメッセージが表示されることがあります。[50 ページの用紙情報の印刷](#)を参照してください。[OK]を押します。
11. フロントパネルで要求された場合はロールカバーのみ閉じます。

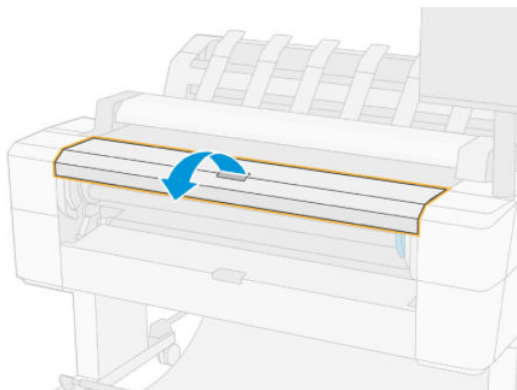
📄 注記： 用紙の取り付けのいずれかの段階で予想外の問題が発生したときは、[188 ページの用紙がうまく給紙されない](#)を参照してください。


ロール紙を取り外す


ロール紙を取り外す前に、ロールに用紙があるかどうか、またはロールの用紙がなくなったかどうかを確認し、以下に説明する適切な手順に従ってください。

ロールに用紙がある場合の簡単な手順

ロールに用紙がある場合、ロールカバーを開くだけでロール紙が自動的に取り外されます。フロントパネルに新しいロール紙またはカット紙を取り付けるように求めるメッセージが表示されます。




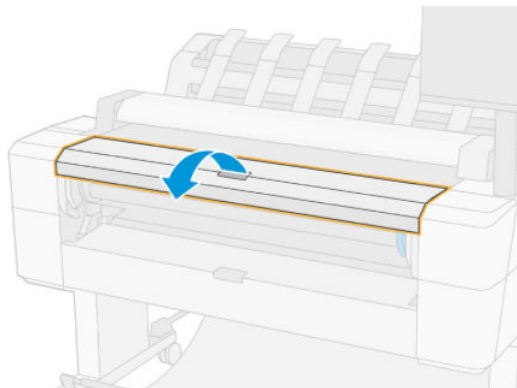
 **注記**：この方法でロール紙を取り外すと、ロール紙の上にバーコードが印刷されないため、次回取り付けたときにプリンタがロール紙の長さを認識しません。[50 ページの用紙情報の印刷](#)を参照してください。

 **注記**：カット紙が取り付けられているときにロール紙のカバーを開いた場合、カット紙も取り外されます。

ロールに用紙がある場合のフロントパネルの手順

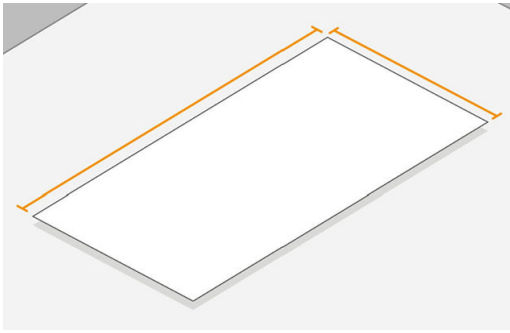
ロールに用紙があるときは、フロントパネルから用紙を取り外すことができます。

1.  を押し、ロールアイコンを押して、**[取り外し]**を押します。
2. 場合によっては、ロールカバーを開く必要があります。




カット紙を取り付ける

1. 取り付ける前にカット紙の長さを測定します (標準サイズでない場合)。



2. 両方のロールカバーが閉じていることを確認します。カット紙が取り付けられているときにロールカバーを開いた場合、カット紙はすぐに取り外されます。

⚠ 警告！ フロントパネルから用紙の取り付け処理が始まる前に、用紙を取り付けないでください。

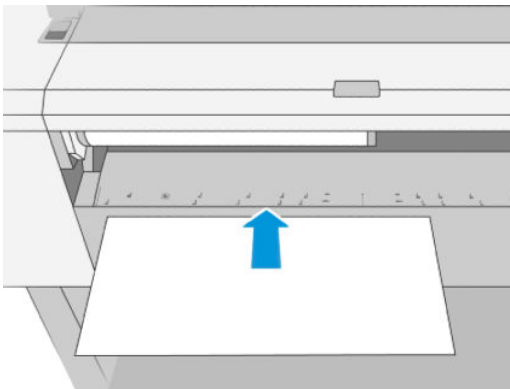
3. フロントパネルで、 を押し、カット紙アイコンを押して、**[取り付け]>[カット紙の取り付け]** を選択します。
4. ロール紙が既に取り付けられている場合、自動的に取り外されるまで待つ必要があります。ロール紙が取り外されずにスタンバイ位置に引き出されるため、カット紙が取り外された後すぐに取り付け直さなくても再度印刷できます。

📝 注記： ロール紙が取り付けられているが印刷中でないときにそのロールカバーを開いた場合は、ロール紙が自動的に取り外され、次回そのロール紙に印刷するときに取り付け直す必要があります。

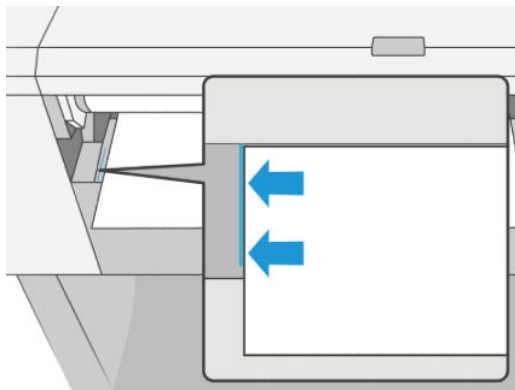
5. 用紙のカテゴリおよび種類を選択します。

💡 ヒント： 用紙リストにない用紙の種類を取り付けた場合は、[189 ページの用紙の種類がドライバに含まれていない](#)を参照してください。

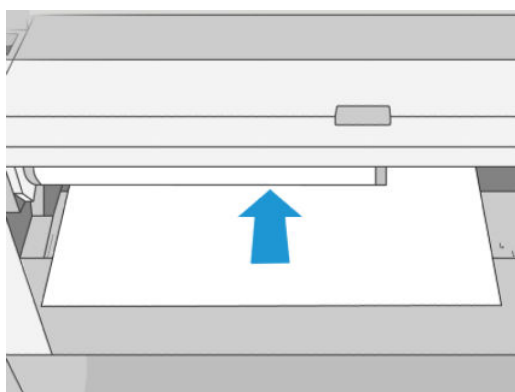
6. フロントパネルに指示が表示されたら、プリンタの前面にカット紙を挿入します。



7. カット紙の左端を、プリンタの左側の青い線に揃えます。



8. それ以上奥に進まなくなるまでカット紙をプリンタに押し込みます。

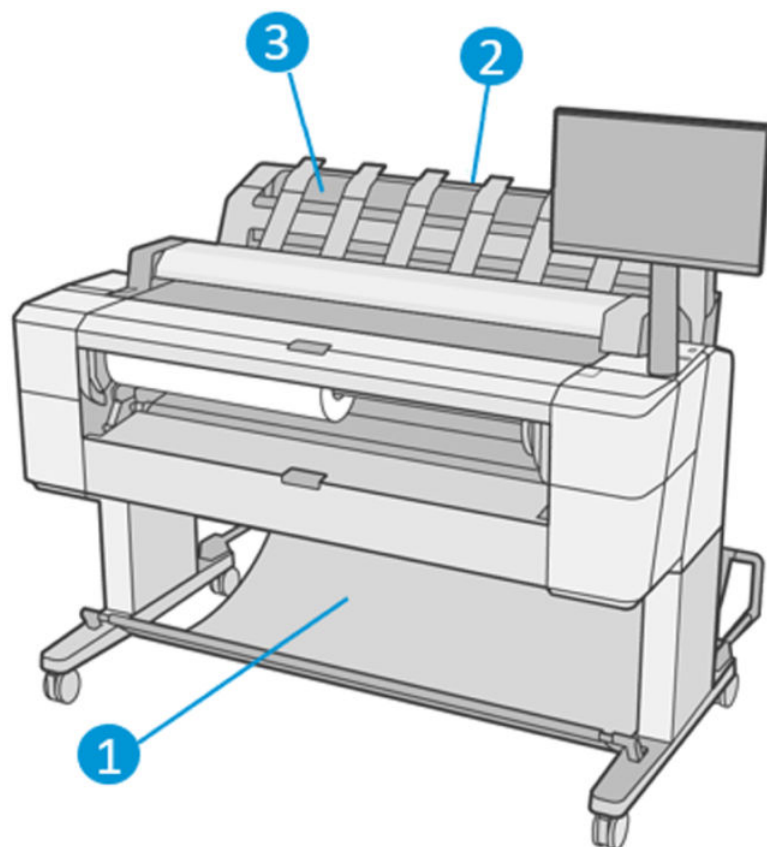


⚠ 警告！ プリンタの用紙経路に指を入れないでください。

9. プリンタのブザーが鳴って用紙が引き込まれるまで、カット紙をプリンタに差し込みます。
10. プリンタによって位置の確認が行われます。
11. 用紙の位置が正しくない場合は排出されるので、もう一度行ってください。

📖 注記： 用紙の取り付け作業中に予期しない問題が発生した場合は、[188 ページの用紙がうまく給紙されない](#)を参照してください。

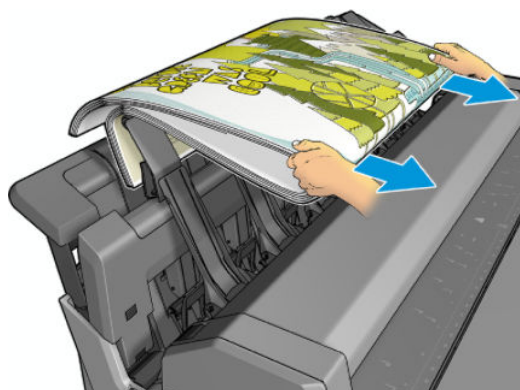
スタッカ



1. バスケット
2. スタッカ回転カバー
3. スタッカ

デフォルトでは、印刷ジョブが終了するたびにプリンタにより紙がカットされます。印刷された用紙は、スタッカにより印刷済みの他のカット紙の上にきれいに積み重ねられます。

スタッカを空にするには、プリンタの前に立ち、印刷されたカット紙の束をスタッカから引き出します。このとき、スタッカカバーが開くことがあります。カット紙を取り出したら閉じていることを確認してください。通常は、伸縮ばねによって自動的に閉じます。



✎ **ヒント**：印刷中でもカット紙をスタッカから取り出すことができますが、印刷中でないときにすべての印刷物をまとめて取り出すことをお勧めします。

ヒント：スタッカカバーを開いた状態でロックして、特殊なジョブを取り出すことができます。終わった後は閉じていることを確認してください。

ヒント: 通常印刷モードの印刷でフォト用紙を使用してスタッカに積み重ねる場合は、HP 速乾性フォト用紙を使用することをお勧めします。

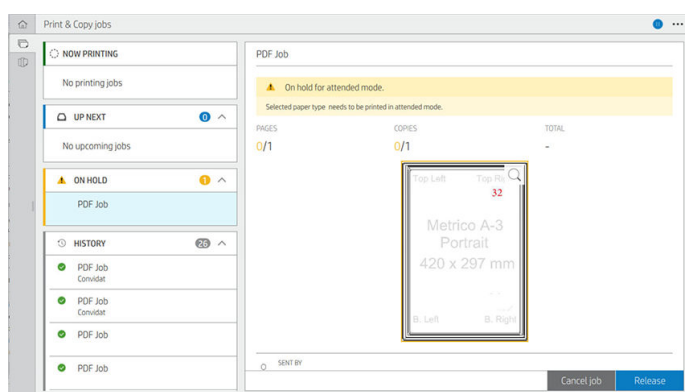
ヒント: 75g/m² 以下の用紙を使用する場合は、スタッカカバーの側面にある青いセパレータを有効にします。これより大きな用紙を使用する場合は、セパレータを無効にします。

スタッカが開いた状態での手動印刷

スタッカの手動印刷モードは、できる限り高品質な印刷をフォト用紙に行う場合に使用することができます。プリンタの前に立って確実に行うことができます。

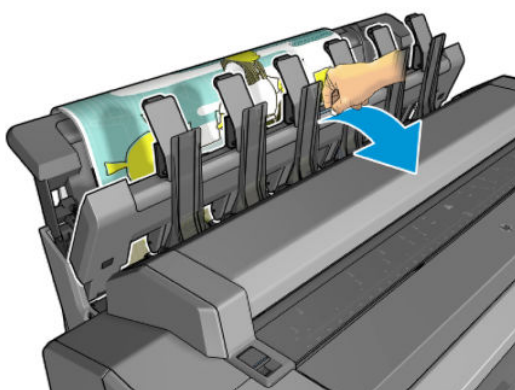
特定のジョブ(たとえば、プリンタドライバからなど)に手動モードを選択するか、フロントパネルからプリンタを手動モードにすることができます。

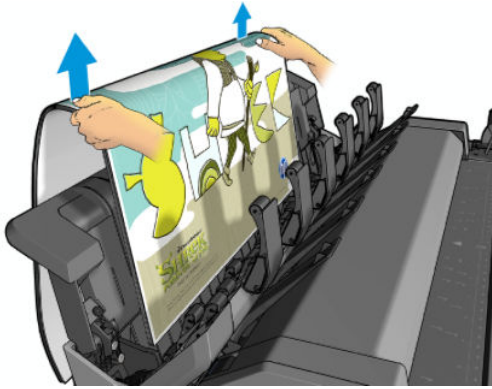
- 手動モードを選択してジョブを送信した場合、ジョブが保留状態になり、フロントパネルからそのジョブの印刷を選択して(フロントパネルにこの手順が表示されます)スタッカカバーを開くまで、他のジョブが印刷を続行できるようになります。



- プリンタをフロントパネルから手動モードにした場合は、キュー内のすべてのジョブが手動モードの保留状態になるため、キューから印刷することができます。手動モードを修了すると、キューに残っているすべてのジョブが前のステータスに戻ります。


注記: 手動モードにするためにスタッカを開くとき、スタッカカバーを開いた状態で固定します。

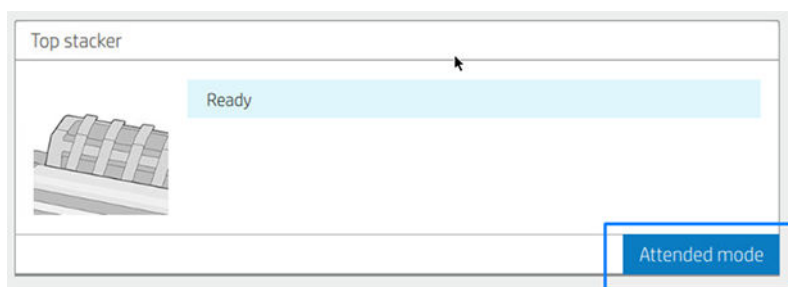




手動モードでは、次のような状態になります。

- 一度に1ページしか印刷できません。フロントパネルから各ページを手動で開始する必要があります。
- スタッカカバーを開いたまま印刷し、プリンタの前に立って印刷物が出てきたときに確認します。
- スタッカカバーが開いていると、印刷物が出てきたときに確認しやすくなりますが、印刷物が正しい用紙経路を通ることが保証されないため、破損しないようにしっかり見守る必要があります。
- スタッカカバーがスキャナをブロックしているため、スキャンまたはコピーを実行できません。
- プリンタがアイドル状態になり、15分以上手動モードのままの場合、手動モードがキャンセルされ、スタッカを閉じるように勧めるメッセージが表示されます。
- 手動モードは、フロントパネルから終了するか、スタッカを閉じることで終了できます。

手動モードであることは、各種フロントパネル画面に  アイコンで示されます。



手動モードを開始するには、フロントパネルで  をタップし、[出力オプション]>[上部スタッカ]>[手動モード]をタップします。

バスケット

印刷物を集めるには、通常スタッカが使用されます。スタッカを使用しない場合は、印刷物をバスケットに送ることができます。スタッカがいっぱいになっている場合、またはスタッカに印刷される他のジョブと分けてジョブを印刷する場合、バスケットを使用することがあります。

バスケットには、A1用紙またはDサイズ普通紙が最大10枚入ります。大きい印刷物は、印刷後すぐにバスケットから取り出してください。

※ **ヒント**：バスケットに落ちる用紙にぶつからないように、すべてのケーブルが正しく配線されていることを確認します。そうしないと、紙詰まりが生じる可能性があります。

用紙に関する情報を表示する

取り付けた用紙の情報を表示するには、 を押し、ロールアイコンを押します。

フロントパネルに、以下の情報が表示されます。

- 選択した用紙の種類
- ロール紙またはカット紙のステータス
- 用紙の幅 (mm) (推定値)
- 用紙の長さ (mm) (推定値)
- キャリブレーション状況

同じ情報は、HP DesignJet Utility (Windows) ([概要] タブ - [サプライ品] タブ) と HP Utility (Mac OS X) (情報グループ - [サプライ品のステータス]) に表示されます。


用紙プリセット

サポートされている用紙の種類にはそれぞれ独自の特徴があるため、最適な印刷品質を実現するために、用紙の種類によってプリンタの印刷方法が変更されます。用紙には、多量のインクを必要とする用紙もあれば、乾燥に長い時間を要する用紙もありますが、用紙の種類ごとに必要な設定の詳細をプリンタに伝える必要があります。この詳細のことを *用紙プリセット* といいます。用紙プリセットには、用紙の色の特徴を記述する ICC プロファイルが含まれます。また、色とは直接関連がない用紙の特徴および要件も含まれています。このプリンタの既存の用紙プリセットは、プリンタのソフトウェアにすでにインストールされています。


ただし、プリンタで使用可能なすべての用紙を表示するとスクロールしにくいため、このプリンタでは、一般的に最もよく使用される用紙の種類のみが用意されています。プリンタにないプリセットの用紙の種類がある場合は、その用紙の種類を選択できません。

新しい用紙の種類にプリセットを割り当てるには2つの方法があります。

- フロントパネルまたはプリンタドライバで、使用する用紙になるべく近いカテゴリと種類を選択して、既存の HP 工場出荷時用紙プリセットのいずれかを使用します。[189 ページの用紙の種類がドライバに含まれていない](#)を参照してください。


 **注記：** カラーが正確ではない場合があります。この方法は、高品質の印刷には向いていません。

- <http://hp.globalbmq.com/paperpresets> から正しい用紙プリセットをダウンロードします。

 **注記：** HP では、HP 用紙の種類に対するプリセットのみを提供しています。必要な用紙プリセットが Web 上にない場合、プリンタの最新のファームウェアに追加されている場合があります。ファームウェアのリリースノートを参照して、情報を確認してください ([174 ページのファームウェアをアップデートする](#)を参照)。

ダウンロードした用紙プリセットをインストールするには

1. <http://www.globalbmq.com/hp/paperpresets>、または用紙製造元の Web サイトに該当する用紙のプリセットが見つかったら、**[今すぐダウンロード]** ボタンをクリックして用紙プリセット (.oms ファイル) をコンピュータに保存します。

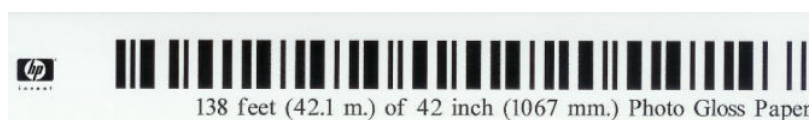
 **注記**：必要な用紙プリセットが Web 上にない場合、プリンタの最新のファームウェアに追加されている場合があります。ファームウェアのリリースノートを参照して、情報を確認してください (174 ページの [ファームウェアをアップデートする](#) を参照)。


2. 新しいプリセットのインストールを開始する前に、プリンタがアイドル状態であり、プリンタ キューが停止していることを確認してください。新しい用紙プリセットをインストールすると、印刷の実行が中断します。
3. HP DesignJet Utility または内蔵 Web サーバを開始します。
 - Windows 用 HP DesignJet Utility で、**[Color Center]**、**[用紙プリセットのインポート]** の順に選択します。
 - 内蔵 Web サーバーで、**[用紙]** タブをクリックします。[用紙管理] セクション内の **[用紙プリセットのインポート]** タブをクリックします。
4. [インポート] ページで、手順 1 でダウンロードした用紙プリセット ファイルを選択します。
5. **[インポート]** ボタンをクリックし、アップデート処理が終了するのを待ちます。時間がかかることがあります。
6. プリンタのフロントパネルで、**[追加の用紙]** または **[カスタム用紙]** のカテゴリに新しい用紙の種類が表示されていることを確認します。


用紙プリセットをインポートしたので、フロントパネルおよびドライバから用紙の種類を選択できます。新しい用紙の種類は ICC プロファイルは、アプリケーションで使用できます。


用紙情報の印刷


プリンタの未使用分のロール紙の推定の長さ、用紙の幅と種類を表示するには、**[用紙情報の印刷]** を有効にします。情報はバーコードとテキストの組み合わせから構成され、用紙をプリンタから取り外すとロールの上端に印刷されています。



 **注記**：未使用分の長さに関する情報は、ロール紙を取り付けるときの用紙の長さをプリンタに指定した場合のみ使用できます。この情報をプリンタに提供するには、用紙を取り付ける際にロール紙の長さをフロントパネルで指定するか、用紙データバーコードが印刷されているロール紙を取り付けます。

 **注記**：バーコードとテキストは、取り付けと取り外しをフロントパネルの **[用紙]** メニューから行った場合のみロール紙に印刷されます。



 **注記**：このオプションは、完全に不透明な用紙を使用する場合のみ有効です。透明または半透明な用紙を使用する場合は失敗する可能性があります。

[用紙情報の印刷] オプションを有効にするには、フロントパネルで  をタップし、次に **[給紙方法]** > **用紙情報の印刷** > **[有効化]** を選択します。

 **注記**：このオプションを有効にすると、用紙の取り付けと取り外しの手順がわずかに変化します。

用紙の移動


プリンタがアイドル状態 (印刷可能) のときに、フロントパネルから用紙を前または後ろに移動できます。カッターを使用できない場合に、最後に印刷したものと次に印刷するものとの間に余白をとりたいときや、次の印刷物の上部余白を大きくしたいときに行います。

用紙を移動するには、 を押し、次に【用紙】-用紙を移動 を押します。または、用紙を移動するには、フロントパネルの上部にある  をタップします。

用紙を保守する


用紙の品質を保守するには、以下の推奨事項に従ってください。

- ロール紙を別の紙または布で覆って保管する
- カット紙をカバーで覆って保管し、プリンタに取り付ける前にクリーニングまたはブラッシングする
- 入出力プラテンをクリーニングする
- 何らかの理由で持ち上げる必要がある場合を除き、スキャナは置いたままにする


 **注記**：フォト用紙とコート紙の取り扱いには注意が必要です (203 ページの印刷が擦り切れる、または傷がつくを参照)。


乾燥時間を変更する

複数印刷で時間がより重要な場合、取り扱う前にインクが乾燥している必要がある場合など、印刷状況によっては、乾燥時間を変更する必要があります。

 をタップし、[デフォルトの印刷設定] > [用紙の取り扱い] > [乾燥時間] を選択します。選択肢は次のとおりです。


- **[長い]**：インクが完全に乾燥するように、推奨時間より長く設定します。
- **[最適]**：選択した用紙のデフォルト時間 (推奨) に設定します (デフォルト設定)。
- **[短い]**：品質の重要性が低い場合は、推奨時間より短く設定します。
- **[なし]**：乾燥時間を無効にして、印刷が終了するとすぐに印刷された用紙を取り出します。

 **注意**：印刷された用紙が取り出される際にインクが乾燥していない場合は、出力トレイにインクを付いたり、印刷された用紙にインクを残したりすることがあります。

 **注記**：印刷中に乾燥時間をキャンセルすると、同時に実行されているプリントヘッド保守が原因で、プリンタが用紙を正しく排紙/カットできなくなります。乾燥時間がゼロの場合は、プリンタは用紙をカットして、次にプリントヘッド保守を実行します。ただし、乾燥時間がゼロより大きい場合、プリントヘッド保守が終了するまでは、プリンタは用紙をカットしません。


自動カッターのオン/オフを切り替える

プリンタの用紙カッターのオン/オフを切り替えるには、以下の手順に従ってください。

- フロントパネルで、 を押し、[デフォルトの印刷設定] > [カッター] > [水平カッター] を押しします。

デフォルト設定は、**[オン]** です。


カッターがオフの場合、ジョブ間で用紙がカットされなくなりますが、取り付け、取り外し、ロール紙の交換、およびスタックとバスケットの切替時には用紙がカットされ続けます。


 **ヒント**：自動カッターが無効になっているときにロール紙をカットするには、[52 ページのクリーンカット](#)を参照してください。


クリーンカット

フロントパネルに移動し、ページの上にあるカッター アイコンをタップした場合、プリンタから用紙が排出されて、先端が水平にカットされます。この操作を行う理由として、次の場合が考えられます。

- 用紙が破れていたりまっすぐでない場合に、用紙の先端をカットするためカットされた切れ端がバスケットに落ちます。
- 自動カッターが無効な場合に、用紙を排紙/カットするため
- プリンタが他のページのネスティングを待機中であるとき、待機時間をキャンセルして、印刷可能なページを直ちに印刷するため。

 **注記**：印刷されるたびにプリントヘッドで保守サービスが行われ、この処理が終了するまで用紙がカットできなくなるため、遅くなることがあります。

 **注記**：フォト用紙とコート紙の取り扱いには注意が必要です ([203 ページの印刷が擦り切れる、または傷がつく](#)を参照)。

 **ヒント**：カットせずに用紙を移動するには、[50 ページの用紙の移動](#)を参照してください。


3 2本のロール紙の取り扱い (T2600dr のみ)




- [マルチロールプリンタのメリット](#)
- [プリンタによるロール紙へのジョブの割り当て方法](#)

マルチロールプリンタのメリット

マルチロールプリンタは、さまざまな方法で役立ちます。

- 必要に応じて、プリンタで用紙の種類を自動的に切り替えることができます。
- 必要に応じて、プリンタで用紙幅を自動的に切り替えることができます。これにより、小さいイメージを幅の狭い用紙に印刷して用紙を節約することができます。
- 同じ種類のロール紙をプリンタに取り付けると、最初のロール紙を使い切ると自動的に次のロール紙に切り替わるため、長時間の無人での印刷が可能になります。[86 ページの無人印刷/夜間印刷](#)を参照してください。

 をタップすると、両方のロール紙の現在のステータスがフロントパネルに表示されます。

-
-  **注記：**その用紙の種類が具体的に要求されない限り、用紙の種類は使用できないように保護されている点に注意してください。[85 ページの保護する用紙の種類](#)を参照してください。
 -  **注記：**お使いのプリンタでサポートされていない用紙を使うと、自動切り替え対応が無効になる場合があります。その場合はスタンバイロールに送られたジョブがロールを手動で取り外すまで保留状態になります。
 -  **注記：**USB フラッシュドライブから印刷するか、または HP Direct Print を使用して印刷する場合、マルチロール印刷がかなり簡単に行えます。使用するロールを手動で指定するか、または **[用紙の節約]** を選択できます。どちらの場合も、プリンタは印刷に適する最も幅の狭いロールを選択します。用紙の種類を指定することはできません。
-


プリンタによるロール紙へのジョブの割り当て方法

プリンタドライバから印刷ジョブを送信するときに、特定の用紙の種類への印刷を指定できます (**[用紙の種類]** または **[用紙の種類]** オプションを使用)。特定のロール紙 (1 または 2) への印刷も指定できます (**[給紙]**、**[給紙方法]**、または **[給紙トレイ]** オプションを使用)。プリンタでは、これらの要件を満たすように試行され、イメージを途切れないように印刷できる十分な大きさのロール紙が検索されます。

- 両方のロール紙がジョブに適している場合は、ロール切替ポリシーに従ってロール紙が選択されます。[95 ページのロールポリシー](#)を参照してください。
- いずれかのロール紙のみがジョブに適している場合は、そのロール紙に印刷されます。
- どちらのロール紙もジョブに適していない場合は、用紙が一致しない場合の動作に応じて、一時停止されるか、適切でないロール紙に印刷されます。[96 ページの用紙の不一致を解決する](#)を参照してください。

Windows のプリンタドライバでは、現在プリンタに取り付けられている用紙の種類と幅、および印刷先のロール紙が通知されます。

通常の場合で使用される可能性がある設定を以下に示します。

-
-  **注記：****[用紙]** 設定は、プリンタドライバにあります。**[ロール紙切替ポリシー]** は、フロントパネルで設定します。
-
- さまざまな種類の用紙が取り付けられている場合

- **【用紙の種類】**: 必要な用紙の種類を選択
- **【用紙トレイ】**: プリンタ設定を使用する
- **【ロール紙切替ポリシー】**: 無効
- さまざまな幅の用紙が取り付けられている場合
 - **【用紙の種類】**: プリンタ設定を使用する
 - **【用紙トレイ】**: プリンタ設定を使用する
 - **【ロール紙切替ポリシー】**: 用紙の消費を最小化

💡 **ヒント**: イメージの回転またはネスティングによって用紙を節約できる場合もあります。
[83 ページの用紙を節約する](#)を参照してください。

- 同じロール紙が取り付けられている場合
 - **【用紙の種類】**: プリンタ設定を使用する
 - **【用紙トレイ】**: プリンタ設定を使用する
 - **【ロール紙切替ポリシー】**: ロールの変更を最小化

4 ネットワーク接続

- [はじめに](#)
- [ネットワークプロトコルの制御](#)
- [フロントパネルのメニュー項目](#)
- [リンク設定方法](#)
- [トラブルシューティング](#)
- [Wi-Fi アクセサリ](#)

はじめに

このプリンタには、ネットワーク接続用の RJ-45 コネクタ ポートが 1 つ装備されています。Class B 制限の要件を満たすため、シールド I/O ケーブルを使用する必要があります。

内蔵 Jetdirect プリント サーバでは、IEEE 802.3 10Base-T Ethernet、IEEE 802.3u 100Base-TX Fast Ethernet および 802.3ab 1000Base-T Gigabit Ethernet 準拠ネットワークへの接続がサポートされます。プリンタを接続して電源をオンにすると、ネットワークとのオートネゴシエーションが実行され、10、100 または 1000Mbps のリンク速度で動作し、全二重または半二重モードで通信が行われます。ただし、ネットワーク通信の確立後に、プリンタのフロントパネルを使用したり他の設定ツールを使用して、リンクを手動で設定することもできます。

プリンタは、TCP/IP v4 や TCP/IP v6 など、複数のネットワーク通信プロトコルを同時にサポートすることができます。セキュリティ上の理由から、プリンタとの間で IP トラフィックを制御する機能が用意されており、IP Security (IPsec) プロトコルの設定がサポートされます。

ネットワークプロトコルの制御

プリンタでは、複数のネットワーク通信プロトコルを同時にサポート可能です。これにより、異なるプロトコルを使用しているネットワークコンピュータが同じプリンタと通信することができます。

プリンタがネットワークで通信するには、プロトコルごとに設定が必要な場合があります。プロトコルによっては、必要なパラメータが自動的に検出されるため、ユーザ指定の設定が必要ありません。しかし、それ以外のプロトコルには多くのパラメータを設定する必要があります。



ネットワークプロトコルを有効または無効にする

ネットワークプロトコルが有効になっている場合、そのプロトコルを使用するコンピュータがネットワーク上に存在しなくても、ネットワーク上で積極的に通信を行う場合があります。これにより、ネットワークトラフィックが増加する可能性があります。不要なトラフィックをなくすには、使用されていないプロトコルを無効にします。使用しないプロトコルを使用不可能にすると、以下のことが可能になります。

- ネットワークの混雑を軽減するために、使用しないプロトコルからのブロードキャストメッセージを排除できます。
- プリンタでジョブを印刷する他のネットワークのユーザを排除することで、そのプリンタで印刷するユーザを適切に制限できます。
- 有効なプロトコルのプロトコル固有のエラー状態のみ表示されます。

デバイスのコントロールパネルメニューから使用されていないプロトコルを無効にするには、[57 ページのフロントパネルのメニュー項目](#)を参照してください。ネットワークプロトコルをより細かく制御するには、プリンタの内蔵 Web サーバーの **[ネットワーク]** セクション Web ページで行います。内蔵 Telnet サーバへのシステムコマンドアクセスなど、他のツールについては、お使いのプリントサーバモデルの『*HP Jetdirect Print Server Administrator's Guide*』（HP Jetdirect プリントサーバ管理者ガイド）を参照してください。

フロントパネルのメニュー項目

プリンタのネットワーク構成にアクセスするには、フロントパネルで 、 をタップし、**[ネットワーク]** > **[ギガビットイーサネット]** > **[設定の変更]** を選択します。

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
情報	セキュリティレポートの印刷		はい：レポートを印刷します。 いいえ(デフォルト)：レポートを印刷しません。
TCP/IP	ホスト名		デバイスを識別するために使用される、最大 32 文字の英数字です。この名前は、HP Jetdirect 設定ページに表示されます。デフォルトのホスト名は NPIxxxxxx です。ここで、xxxxxx は LAN ハードウェア(MAC)アドレスの末尾 6 桁です。
	IPv4 設定	設定方法	HP Jetdirect プリント サーバ上で TCP/IPv4 パラメータを設定する方法を指定します。 Bootp：BootP (Bootstrap Protocol)を使用して、BootP サーバから自動設定します。 DHCP(デフォルト)：DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)を使用して、DHCPv4 サーバから自動設定します。これが選択されていて、DHCP リースが存在する場合、 DHCP リリース メニューおよび DHCP 更新 メニューを使用して DHCP リース オプションを設定できます。 自動 IP：自動リンク ローカル IPv4 アドレスを使用します。169.254.x.x 形式のアドレスが自動的に割り当てられます。 手動：手動設定メニューを使用して TCP/IPv4 パラメータを設定します。
		DHCP リリース	このメニューは、 設定方法 が DHCP に設定されていて、プリントサーバの DHCP リースが存在する場合に表示されます。 いいえ(デフォルト)：現在の DHCP リースが保存されます。 はい：現在の DHCP リースおよびリースされた IP アドレスが解放されます。
		DHCP 更新	このメニューは、 設定方法 が DHCP に設定されていて、プリントサーバの DHCP リースが存在する場合に表示されます。 いいえ(デフォルト)：プリントサーバが DHCP リースの更新を要求しません。 はい：プリントサーバが現在の DHCP リースの更新を要求します。
		手動設定	(設定方法が手動に設定されている場合のみ使用可能)プリンタのコントロールパネルから直接パラメータを設定します。 IP アドレス：プリンタの一意の IP アドレス(n.n.n.n)です。 サブネットマスク：プリンタのサブネット マスク(n.n.n.n)です。 Syslog サーバ：syslog メッセージの受信およびログに使用される syslog サーバの IP アドレス(n.n.n.n)です。 デフォルトゲートウェイ：他のネットワークとの通信に使用されるゲートウェイまたはルータの IP アドレス(n.n.n.n)です。 アイドルタイムアウト：アイドル状態の TCP 印刷データ接続が切断されるまでの時間です(デフォルトは 270 秒、0 にするとタイムアウトは無効になります)。
		デフォルト IP	強制 TCP/IP の再設定時(BootP や DHCP を使用するように手動で設定された場合などに、プリントサーバがネットワークから IP アドレスを取得できない場合のデフォルトの IP アドレスです。 自動 IP：リンク ローカル IP アドレス 169.254.x.x が設定されます。 既存：以前の HP Jetdirect デバイスに合わせて、アドレス 192.0.0.192 が設定されます。

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
		プライマリ DNS	<p>プライマリ DNS サーバの IP アドレス(n.n.n.n)を指定します。</p> <p>注記: この項目は、内蔵 Web サーバから 手動設定の優先度が [設定 優先順位] テーブルの DHCP より高く設定されている場合にのみ表示されます。</p>
		セカンダリ DNS	<p>セカンダリ ドメイン ネーム システム(DNS)サーバの IP アドレス(n.n.n.n)を指定します。</p> <p>注記: この項目は、内蔵 Web サーバから 手動設定の優先度が [設定 優先順位] テーブルの DHCP より高く設定されている場合にのみ表示されます。</p>
	IPv6 設定	有効	<p>プリントサーバでの IPv6 の動作を有効または無効にするには、この項目を使用します。</p> <p>オフ: IPv6 は無効です。</p> <p>オン(デフォルト): IPv6 は有効です。</p>
		アドレス	<p>IPv6 アドレスを手動で設定するには、この項目を使用します。</p> <p>手動設定: TCP/IPv6 アドレスを有効にして手動で設定するには、手動設定メニューを使用します。</p> <p>有効: この項目を選択して、オンを選択すると手動設定は有効になり、オフを選択すると手動設定は無効になります。</p> <p>アドレス: コロンおよび 16 進数の表記を使用する 32 桁の 16 進数 IPv6 ノードアドレスを入力するには、この項目を使用します。</p>
		DHCPv6 Policy	<p>ルータ指定: プリントサーバで使用されるステートフル自動設定方法が、ルータにより決定されます。ルータは、プリントサーバが自身のアドレス、設定情報、またはその両方を DHCPv6 サーバから取得するかどうかを指定します。</p> <p>ルータ使用不能: ルータが使用できない場合、プリントサーバは自身のステートフル設定を DHCPv6 サーバから取得しようとします。</p> <p>常にオン: ルータが使用できるかどうかにかかわらず、プリントサーバは常に自身のステートフル設定を DHCPv6 サーバから取得しようとします。</p>
		プライマリ DNS	<p>プリントサーバが使用するプライマリ DNS サーバの IPv6 アドレスを指定するには、この項目を使用します。</p> <p>注記: この項目は、内蔵 Web サーバから 手動設定の優先度が [設定の優先順位] テーブルの DHCP より高く設定されている場合にのみ表示されます。</p>
		セカンダリ DNS	<p>プリントサーバが使用するセカンダリ DNS サーバの IPv6 アドレスを指定するには、この項目を使用します。</p> <p>注記: この項目は、内蔵 Web サーバから 手動設定の優先度が [設定の優先順位] テーブルの DHCP より高く設定されている場合にのみ表示されます。</p>
	プロキシサーバ		<p>デバイスの内蔵アプリケーションにより使用されるプロキシサーバを指定します。一般に、プロキシサーバはインターネットアクセス時に、ネットワーククライアントにより使用されます。プロキシサーバが Web ページをキャッシュするため、クライアントのインターネットセキュリティがある程度高まります。</p> <p>プロキシサーバを指定するには、IPv4 アドレスまたは完全に記述したドメイン名を入力します。名前は最大 255 オクテットにすることができます。</p> <p>ネットワークによっては、独立系サービスプロバイダ(ISP)にプロキシサーバアドレスを問い合わせる必要があります。</p>
	プロキシポート		<p>クライアントをサポートするプロキシサーバによって使用されているポート番号を入力します。ポート番号は、ネットワークでのプロキシアクティビティ用に予約されたポートを識別し、使用可能な値は 0 ~ 65535 です。</p>

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
セキュリティ	セキュリティページの印刷		はい: HP Jetdirect プリント サーバの現在の IPsec セキュリティ設定を含むページを印刷します。 いいえ(デフォルト): セキュリティ設定ページは印刷されません。
	セキュア Web		設定管理の目的で、内蔵 Web サーバで HTTPS (Secure HTTP)を使用した通信のみ許可するか、HTTP および HTTPS の両方を受け入れるかを指定します。 HTTPS 必須: セキュアな暗号化通信では、HTTPS アクセスのみが許可されません。プリントサーバはセキュアなサイトとして表示されます。 HTTP/HTTPS オプション: HTTP および HTTPS のどちらかを使用したアクセスが許可されます。 注記: 工場出荷時のデフォルト設定は、プリントサーバのモデルで異なります。
	IPSEC		プリントサーバの IPsec またはファイアウォールの状態を指定します。 保持: IPsec/ファイアウォールの状態が、現在の設定と同じままになります。 無効: プリントサーバでの IPsec/ファイアウォールの動作が無効になります。
	802.1x	拭取りの有効化	
セキュリティのリセット			プリントサーバの現在のセキュリティ設定を保存するか、工場出荷時のデフォルト値にリセットするかを指定します。 いいえ(デフォルト): 現在のセキュリティ設定を維持します。 はい: セキュリティ設定が工場出荷時のデフォルト値にリセットされます。
リンク速度			プリントサーバのリンク速度および通信モードは、ネットワークと一致している必要があります。利用可能な設定は、デバイスおよびインストールされているプリントサーバで異なります。以下のいずれかのリンク設定を選択します。 注意: リンク設定を変更すると、プリントサーバおよびネットワークデバイスとのネットワーク通信が失われる可能性があります。 自動(デフォルト): プリントサーバは、オートネゴシエーションを使用して、許可される最速のリンク速度と通信モードを自動的に設定します。オートネゴシエーションに失敗した場合、ハブ/スイッチポートの検出リンク速度に応じて 100TX HALF または 10TX HALF が設定されます。(1000T 半二重の選択はサポートされていません)。 10T 半二重: 10Mbps、半二重で動作します。 10T 全二重: 10Mbps、全二重で動作します。 100TX 半二重: 100Mbps、半二重で動作します。 100TX 全二重: 100Mbps、全二重で動作します。 100TX 自動: オートネゴシエーションでリンク速度を最大 100Mbps に制限します。 1000TX 全二重: 1000Mbps、全二重で動作します。

リンク設定方法

プリンタでは、全二重または半二重通信モードを使用した 10Mbps、100Mbps、または 1000Mbps のネットワーク リンク速度がサポートされます(1000T 半二重の選択はサポートされません)。デフォルトでは、ネットワークとのリンク動作のオート ネゴシエーションが試みられます。

オート ネゴシエーションがサポートされないネットワーク ハブおよびスイッチに接続されている場合、プリンタは 10Mbps または 100Mbps 半二重動作で設定されます。例えば、ネゴシエーションを行わない 10Mbps ハブに接続されている場合、プリント サーバーは 10Mbps 半二重で動作するように自動的に設定されます。

プリンタがオート ネゴシエーションを介してネットワークに接続できない場合は、次のいずれかの方法を行うことでリンク設定を行うことができます。

- フロントパネル
- 内蔵 Web サーバ
- システムのコマンド プロンプトを使用した Telnet インタフェース
- HP Web Jetadmin などのネットワーク管理ツール

トラブルシューティング

I/O 設定カード

I/O 設定カードには、全体的なプリント サーバ ステータスが表示されます。提供される情報は、特にネットワーク通信が使用できない場合、重要な診断ツールになります。カードに表示される可能性のあるメッセージについては、お使いのプリント サーバ モデルの『*HP Jetdirect Print Servers Administrator's Guide*』(HP Jetdirect プリント サーバ 管理者ガイド)を参照してください。

接続の詳細な情報については、**[接続]**メニューに移動し、**[ネットワークカード]**または**[サービスカード]**をクリックして利用できるすべての情報を確認します。

ネットワークカードからはネットワーク設定およびステータスに関する詳細情報が提供されます。サービスカードからは HP ePrint などの HP サービスへの接続状態に関する情報が提供されます。

正しい動作の確認



1. ネットワークカード上でステータスメッセージ「**I/O カード準備完了**」を探します。
2. 「**I/O カード準備完了**」が表示されている場合、プリントサーバが正しく動作しています。次のセクションに進みます。

「**I/O カード準備完了**」以外のメッセージが表示されている場合、以下の手順を試してください。

- a. プリンタの電源を切り、再度電源を入れて、プリントサーバを再度初期化します。
- b. ステータスインジケータランプ(LED)に適切なステータスが表示されていることを確認します。

他のメッセージの説明とトラブルシューティングについては、お使いのプリントサーバモデルの『*HP Jetdirect Print Servers Administrator's Guide*』(HP Jetdirect プリントサーバ管理者ガイド)を参照してください。

ネットワークパラメータをリセットする

プリンタのネットワーク設定を間違えて設定した場合、、、**[ネットワーク]**>**[工場出荷時の設定に戻す]**を選択することで工場出荷時の値にリセットできます。

⚠注意：工場出荷時にインストールされた HP Jetdirect X.509 証明書は、工場出荷時のデフォルト値にリセットされた後も保存されます。ネットワーク認証サーバを検証するためにユーザがインストールした証明機関 (CA) 証明書は保存されません。

リンクのトラブルシューティング

プリンタには、ネットワーク コネクタの横にリンクのステータスおよびネットワーク アクティビティを示すステータスランプ(LED)があります。

- 緑色のランプが点灯している場合、プリンタは正常にネットワークにリンクされています。
- ランプが黄色に点滅している場合、ネットワーク転送アクティビティがあります。

プリンタがネットワークに正常に接続されていない場合は、以下のようになります。

- 両方の LED がオフになります。
- 「ネットワークケーブルが接続されていません」というアラートがフロントパネルに表示されません。

リンクに障害があることが示された場合、次の手順を試してください。

1. 両端でケーブルの接続状態をチェックします。
2. 良好であることがわかっているケーブルに交換してみます。
3. プリンタが接続されているネットワーク スイッチ、ハブ、またはデバイスで、別のネットワーク コネクタに切り替えてみます。
4. リンク設定を手動で設定して、ネットワークハブまたはスイッチのポート設定と合わせます。手動設定の方法については、[61 ページのリンク設定方法](#)を参照してください。プリンタの電源を切ってから再度電源を入れて、設定を再度初期化します。
5. 接続設定ページを印刷して、リンク設定を確認します。

項目	説明
ポート設定	<p>プリンタが正しくリンクされている場合、この項目の値は以下のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 10BASE-T 半二重 : 10Mbps、半二重 ● 10BASE-T 全二重 : 10Mbps、全二重 ● 100TX 半二重 : 100Mbps、半二重 ● 100TX 全二重 : 100Mbps、全二重 ● 1000TX 全二重 <p>プリンタが正しくリンクされていない場合、以下のいずれかのメッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 不明 : プリンタが初期化状態になっています。 ● 切断 : ネットワーク接続が検出されませんでした。ネットワークケーブルを確認します。リンク設定を再設定するか、プリンタを再起動します。
オートネゴシエーション	<p>リンク設定のオートネゴシエーションがオンかオフかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オン(デフォルト) : プリンタのネットワーク設定が、適切な速度および通信モードで自動的に試みられます。 ● オフ : フロントパネルを使用してリンク速度と通信モードを手動で設定する必要があります。正しく動作するには、設定がネットワークの設定と一致している必要があります。

6. リンク設定が不明であったり、間違っている場合は、ネットワークパラメータを工場出荷時の設定にリセットします。[61 ページのネットワークパラメータをリセットする](#)を参照してください。

コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある

問題の例を以下に示します。


- プリンタにイメージを送信しても、フロントパネルのディスプレイに「**データを受信しました**」というメッセージが表示されない。
- 印刷しようとする、コンピュータにエラーメッセージが表示される。
- 通信が確立された状態で、コンピュータまたはプリンタのいずれかがハングしている(アイドル状態)。
- コンピュータのプリントスプーラで印刷ジョブが止まっている。
- 印刷結果に不規則なエラーまたは原因不明なエラーが発生する(線が正しく表示されない、グラフィックの一部だけ表示されるなど)。

通信の問題を解決するには、以下の処理を実行します。


- ジョブを送信するときに、正しいプリンタを選択していることを確認します。
- 問題が起きているアプリケーションとは別のアプリケーションで印刷した場合に、プリンタが正しく動作することを確認します。
- プリンタとコンピュータの間に、スイッチボックス、バッファボックス、ケーブルアダプタ、ケーブルコンバータなどの中間デバイスがある場合は、それらを取り外し、プリンタとコンピュータを直接接続して印刷してみます。
- 別のネットワークケーブルを試してみます。

- 大判印刷の場合は、受信、処理、印刷に時間がかかる場合があります。
- 対処が必要な警告やエラーメッセージがプリンタに表示された場合は、印刷を行う前に必要な操作を行います。

内蔵 Web サーバにアクセスできない

1. まだお読みでない場合は、まず[13 ページの内蔵 Web サーバ](#)をお読みください。
2. 内蔵 Web サーバの機能がプリンタで有効になっていることを確認します。フロントパネルで、 をタップし、**[セキュリティ]** > **[接続]** > **[内蔵 Web サーバ (EWS)]** > **[オン]** をタップします。
3. プリンタとの通信エラーが起きている場合、Web ブラウザでプロキシ設定を確認します。
4. 問題が起きているアプリケーションとは別のアプリケーションで印刷またはアクセスした場合に、プリンタが正しく動作することを確認します。
5. 対処が必要な警告やエラーメッセージがプリンタに表示された場合は、問題を解決するために必要な操作を行います。
6. どれもうまくいかない場合は、フロントパネルの電源ボタンでプリンタの電源を切り、もう一度オンにします。

HP Utility からプリンタにアクセスできない

1. まだお読みでない場合は、まず[12 ページの HP Utility](#) をお読みください。
2. プリンタがスリープモードでないことを確認してください。
3. プリンタドライバが使用できること、および HP Utility (Windows) で正しく機能することを確認します。
4. フロントパネルで  をタップし、**[セキュリティ]** > **[Web サービス]** > **[印刷と管理]** を選択し、印刷と管理が有効になっていることを確認します。無効になっている場合は、HP Utility の一部が適切に動作していない可能性があります。

プリンタが印刷ジョブを受信するまでに時間がかかる

非常に大判の印刷ジョブをプリンタに送信した場合、通常は印刷が開始されるまで若干の遅れが発生します。ただし、異様に長い遅れが発生している場合、いくつかの事項を確認することができます。

- プリンタに接続されているネットワークケーブルが Cat5e 以上の品質であることを確認します。
- ギガビット速度のネットワーク機器とケーブルによりコンピュータクライアントがプリンタに接続されていることを確認します。
- ネットワークのリンクに問題がないことを確認します。[62 ページのリンクのトラブルシューティング](#)を参照してください。
- プリンタで有効にされ設定された IPSec セキュリティ プロトコルを使ったネットワークのデプロイメントでは、ネットワーク通信を保護するために使用される暗号化アルゴリズムによってパフォーマンスが低下する可能性があることに注意してください。
- 標準的なネットワーク環境の大半に適しているデフォルトの設定を取得するために、ネットワーク設定を工場出荷時の設定にリセットしてみます。[61 ページのネットワークパラメータをリセットする](#)を参照してください。
- また、イーサネットスイッチやルータを通過させず、標準のイーサネット (Cat5e または Cat6) ケーブルのポイントツーポイント接続によりコンピュータとプリンタを直接接続しテストすると役に立つ場合もあります。この設定では、プリンタとコンピュータの両方の IPv4 アドレスが


169.254.x.x の形式に自動的に変更される必要があります。このポイントツーポイントの設定で、他のネットワーク機器によって生じた問題を排除することができます。

Wi-Fi アクセサリ


このプリンタは、オプションの HP Jetdirect 3100w/BLE/NFC/ワイヤレス アクセサリによるワイヤレス ネットワーク (Wi-Fi) の使用をサポートしています。

ワイヤレス機能

Wi-Fi アクセサリを使用すると、プリンタは既存の 2.4GHz または 5GHz 802.11b/g ワイヤレス ネットワークに直接接続することができます。ギガビット イーサネット LAN ケーブルとワイヤレスでは、同じ ネットワーク プロトコルをほぼすべて使用できます。プリンタに LAN ケーブルを接続しなくても、プリンタの検出、設定、管理、印刷キューのインストール、印刷またはスキャンを実行できます。

 **注記**：このプリンタは、ギガビット イーサネット ケーブル ネットワークとワイヤレス ネットワークに同時に接続できます。イーサネットとワイヤレスが同時に使用されている場合、プリンタはそれぞれ別の IP アドレス設定を取得します。

プリンタは、Wi-Fi Direct もサポートしています。Wi-Fi Direct を使用すると、プリンタと同じ Wi-Fi ネットワークに接続しなくてもデバイスでワイヤレス印刷を行うことができます。WiFi Direct は、プリンタが Wi-Fi ネットワークに接続されているかどうかにかかわらず使用することができます。

 **注記**：このプリンタは現在、このアクセサリで説明されている近距離無線通信 (NFC) または Bluetooth Low Energy (BLE) 機能をサポートしていません。

ワイヤレス データ速度

ワイヤレス通信の最高速度は、ギガビット LAN ケーブル接続よりも低くなります。ワイヤレス チャネルで利用できるデータ容量は、他のデバイスと共有されるため時間の経過とともに変化します。Wi-Fi 接続の品質と速度は、プリンタと Wi-Fi アクセス ポイント間の距離に加えて、領域内の無線妨害の量に応じて決まります。


アクセサリの取り付け

手順 1 - プリント ファームウェアをアップデートする

プリンタ ファームウェアをアップデートし、プリンタの互換性を確認して法令遵守を維持します。

Jetdirect アクセサリがプリンタから取り外されていることを確認してください。『*HP Jetdirect プリントサーバ管理者ガイド*』を参照してください。

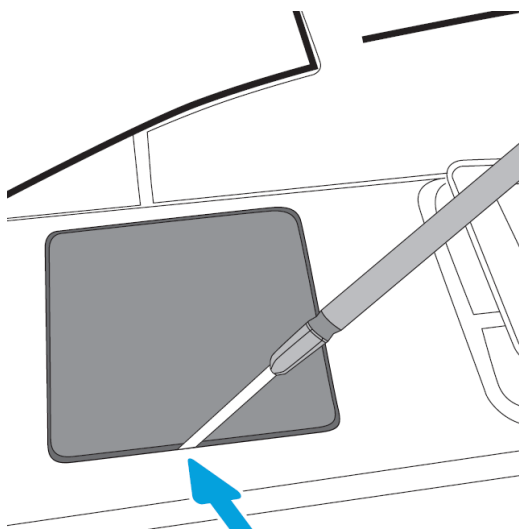
手順 2 - 電源をオフにしてアクセサリを接続する

 **重要**：Wi-Fi アクセサリを接続する前に、プリンタの電源を切ります。

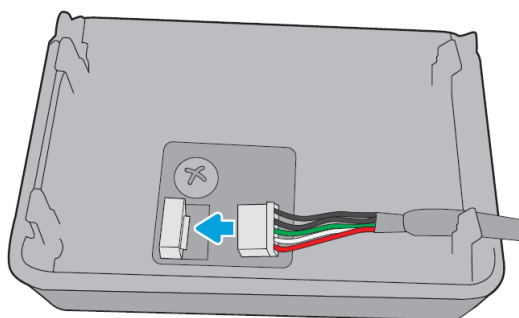
Jetdirect アクセサリは、フロントパネル付近の取り外し可能なカバーの下にあるハードウェア統合ポケット (HIP2) に接続されています。

1. プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。
2. アクセサリに同梱されている白色 5 ピン コネクタ付きの短い USB ケーブルを取り出します。
3. プリンタのハードウェア統合ポケット (HIP2) の位置を確認します。

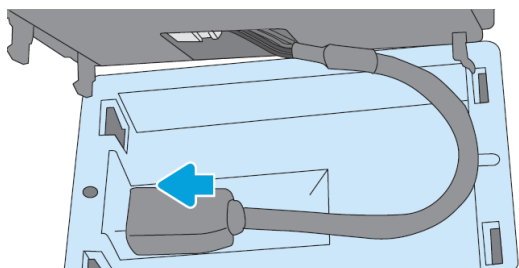
4. 薄型マイナスドライバーを使用して、カバーを短辺に沿ってゆっくりと開き、ハードウェア統合ポート (HIP2) を開きます。



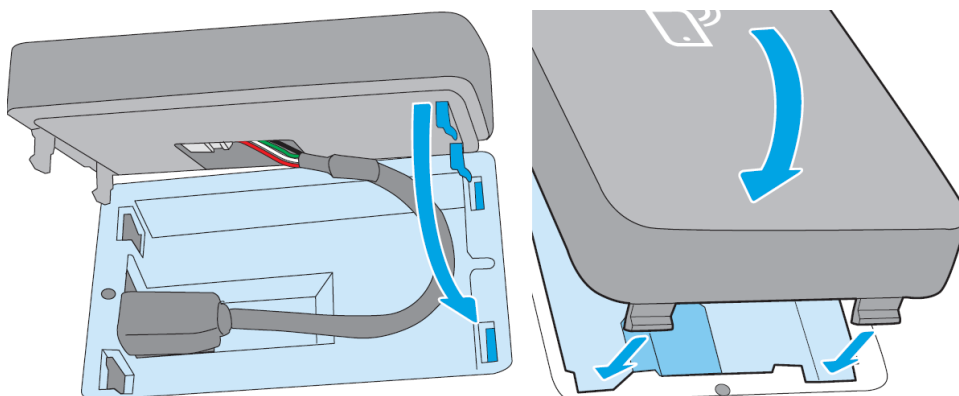
5. 短い USB ケーブルから HP Jetdirect スロットに白色 5 ピン コネクタを接続します。




6. ケーブルの USB Type-A (フラット) 側を HIP2 内のポートに接続します。




7. HP Jetdirect のフック型クリップを HIP2 に合わせて挿入し、所定の位置に固定されるまで、丸みのあるクリップに HP Jetdirect をゆっくりと押し込みます。




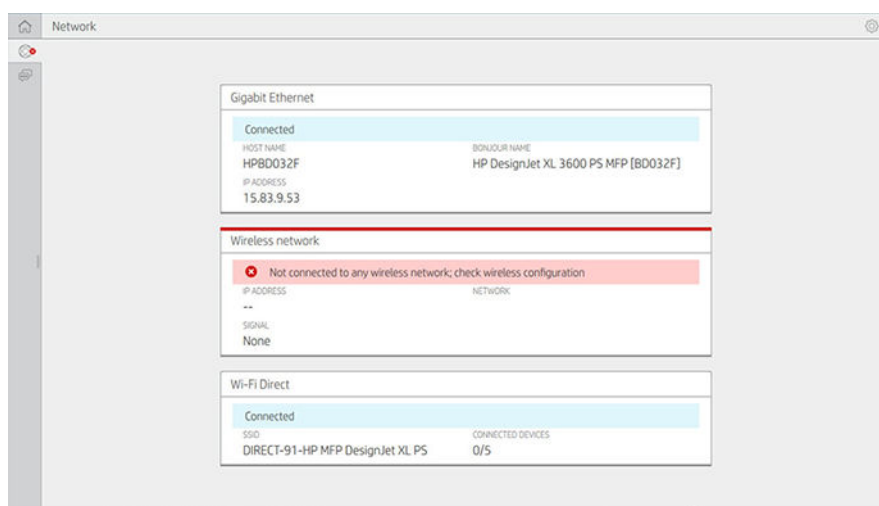
8. プリンタの電源コードを接続し、プリンタの電源をオンにします。



 **注記：** フロントパネルに USB エラー メッセージが表示された場合、最新のプリンタ ファームウェアがインストールされていることを確認してください。

9. 以下の手順を実行して、HP Jetdirect が正しくインストールされていることを確認します。

10. フロントパネルの  をタップし、2つのインターフェイス(ワイヤレスおよび Wi-Fi Direct と有線 Gigabit Ethernet)の詳細が表示されることを確認します。Wi-Fi インターフェイスが表示される場合、HP Jetdirect が正しくインストールされています。

 **注記：** フロントパネルに **[ワイヤレスネットワークに接続されていません。ワイヤレス設定を確認してください]** というメッセージが表示されます。設定に関連する手順がないため、これは正常です。





 **注記：**  にワイヤレスインターフェイスが表示されない場合、プリンタの電源をオフにし、USB ケーブルが HP Jetdirect とプリンタにしっかりと接続されていることを確認してください。

Wi-Fi ネットワークへのプリンタの接続

フロントパネルの使用

プリンタを Wi-Fi ネットワークに接続するには、プリンタのフロントパネルから接続するのが最も簡単です。ネットワークを選択し、Wi-Fi パスワードを入力します。

1. Wi-Fi ネットワーク名 (SSID) と Wi-Fi セキュリティパスワード (WPA または WPA2) を知っていることを確認してください。
2. フロントパネルで  > **[ワイヤレスネットワーク]** をタップし、**[接続]** を選択します。ワイヤレス セットアップ ウィザードに領域内のワイヤレス ネットワークの一覧が表示されます。
3. 一覧からワイヤレス ネットワークの名前を選択します。
4. ワイヤレス ネットワークが一覧にない場合、ネットワーク名を手動で入力できます。右下隅にある **[オプションアイコン]** をタップし、**[ネットワークの追加]** を選択します。名前は、大文字と小文字を含めて正確に入力する必要があります。
5. WPA パスワードを入力します。大文字と小文字を含めてキーまたはパスワードを正確に入力し、**[次へ]** をタップします。プリンタがワイヤレス ネットワークに接続されます。



 **注記：** WPA エンタープライズパスワードを使用するには、内蔵 Web サーバ経由で設定する必要があります。

WPS を使用した Wi-Fi ネットワークへの接続

WPS (Wi-Fi で保護されたセットアップ) には、ワイヤレス接続を介してデバイスを接続するための 2 つのモード (**プッシュボタン**と **PIN**) があります。プッシュボタンの方がはるかに簡単です。以下の手順では、PIN の方法ではなく、WPS プッシュボタンの方法を使用して接続する方法について説明します。

- プリンタとワイヤレスルータが両方とも WPS プッシュボタン モードをサポートしている必要があります。プリンタとワイヤレスルータのマニュアルを参照してください。
- ワイヤレスルータに物理的な WPS プッシュボタンが搭載されている必要があります。
- ネットワークで WPA または WPA2 セキュリティが使用されている必要があります。WEP やセキュリティが使用されていない場合、ほとんどの WPS ワイヤレスルータは WPS の方法を使用して接続されません。
- ネットワーク名として製造元のデフォルトを使用していて、セキュリティを使用していない場合、ほとんどの WPS ワイヤレスルータは WPS の方法を使用して接続されません。

WPS を使用してワイヤレス プリンタをワイヤレスルータに接続するには、次のようにします。

- フロントパネルで、 をタップし、、**[プッシュボタン]** の順にタップします。**[ネットワーク]** メニューで、**[ワイヤレスステーション]** > **[設定の変更]** > **[ワイヤレスステーション]** > **[Wi-Fi で保護されたセットアップ]** > **[プッシュボタン]** を選択します。
- **[適用]** をタップします。
- 2 分以内にルータの WPS ボタンを押します。


プリンタの内蔵 Web サーバを使用した Wi-Fi ネットワークへの接続

WPA/WPA2 Enterprise などのより高度なワイヤレス ネットワーク設定を使用する場合、最初にイーサネット ケーブルを使用してプリンタを接続し、プリンタの **[内蔵 Web サーバページ]** > **[ネットワーク設定]** > **[ワイヤレスステーション]** にアクセスして詳細な Wi-Fi 設定を完了する必要があります。

Wi-Fi Direct を使用した印刷

Wi-Fi Direct は、プリンタとホストがネットワーク (有線またはワイヤレス) に接続されていない場合でも使用することができます。印刷中、両方のデバイス間に一時的な Wi-Fi 接続が自動的に確立されます。

手順 1 - プリンタをセットアップする

1. プリンタで Wireless Direct をオンにします。
2. フロントパネルで Wireless Direct 名 (SSID) とパスワードを取得します。フロントパネルで Wi-Fi Direct カードを参照し、 をタップします。


手順 2a - (Android 4.4 以降) ラップトップ、携帯電話、タブレットをセットアップする

1. プリンタで Wi-Fi Direct を有効にする必要があります。接続モードは **[自動]** または **[手動]** に設定できます。
2. モバイルデバイス (Android 4.4 以上) で Wi-Fi Direct を有効にする必要があります。
3. 最新バージョンの HP Print プラグインをモバイル デバイスにインストールする必要があります (バージョン 1.0.48 以降)。

4. モバイルデバイスで、印刷対応アプリケーションからドキュメントを選択します。Wi-Fi 範囲内の利用可能なプリンタの一覧に、プリンタが自動的に表示されます (Direct-xx-HP-<プリンタ モデル>)。
5. プリンタを選択し、**[印刷]** を選択します。Wi-Fi Direct モードが**[自動]** に設定されている場合、モバイルデバイスは自動的にプリンタに接続してドキュメントを印刷します。プリンタの Wi-Fi Direct モードが**[手動]** に設定されている場合、接続を承認する必要があります。メッセージが表示されたらプリンタのディスプレイまたは Wi-Fi Direct ボタンをタップするか、プリンタに表示された PIN コードをモバイルデバイスに入力します。
6. この方法で接続すると、モバイルデバイスは現在のネットワーク接続を維持しながら、印刷中にインターネット接続を確立することができます。


手順 2b - (Windows 8.1 以降) Windows Wi-Fi Direct を使用して印刷する

1. プリンタで Wi-Fi Direct を有効にする必要があります。
2. Windows の [スタート]/[Metro] メニューから、右上隅の虫めがねをタップします。
3. 検索フィールドに「デバイスとプリンタ」と入力し、**[Enter]** をタップします。
4. **デバイスとプリンタ** ウィンドウの左上隅にある **[デバイスの追加]** をタップします。
5. インストールするプリンタの Wi-Fi Direct 名を選択し、**[次へ]** をタップします。


 **注記** : Wi-Fi Direct 名は、プリンタのフロントパネルにある Wi-Fi Direct メニューから取得できません。

6. フロントパネルに PIN コードが表示されます。
7. メッセージが表示されたら、コンピュータのデバイスの追加ウィザードに PIN コードを入力し、**[次へ]** をタップします。
8. プリンタドライバがインストールされ、**デバイスとプリンタ** ウィンドウに新しくインストールされたプリンタのアイコンが表示されます。

Wi-Fi Direct のオン/オフの切り替え

 **注記** : Wi-Fi ステーション モードをオフにした場合 (Wi-Fi アクセスポイントへの接続に使用されます)、Wi-Fi Direct はオフになりません。

方法 1 : コントロールパネルを使用して Wi-Fi (Wi-Fi Direct ではなく) のオン/オフを切り替える

1. フロントパネルで  をタップし、**[ネットワーク]** > **[ワイヤレスステーション]** > **[設定の変更]** > **[ステータス]** > **[有効化/無効化]** をタップします。
2. **[適用]** をタップします。

方法 2 : HP 内蔵 Web サーバを使用して Wi-Fi (Wi-Fi Direct ではなく) のオン/オフを切り替える

1. 有線、Wi-Fi、または Wi-Fi Direct 接続を使用してプリンタの内蔵 Web サーバに接続します。
2. ページの左側にあるメニューから、**[ネットワーク]** > **[ワイヤレスステーション]** を選択します。
3. Wi-Fi を **[有効]** にするか **[無効]** にするかを選択します。
4. **[適用]** をタップします。

詳細

モバイル印刷 : www.hp.com/go/MobilePrinting

Wireless Direct 印刷 : ワイヤレス印刷センター - Wireless Direct 印刷 HP Jetdirect 3000w : www.hp.com/support/jd3100w

5 印刷時

- [はじめに](#)
- [USB フラッシュドライブから印刷する](#)
- [ネットワークフォルダから印刷する](#)
- [My Home フォルダからの印刷](#)
- [プリンタドライバを使用したコンピュータからの印刷](#)
- [詳細印刷設定](#)

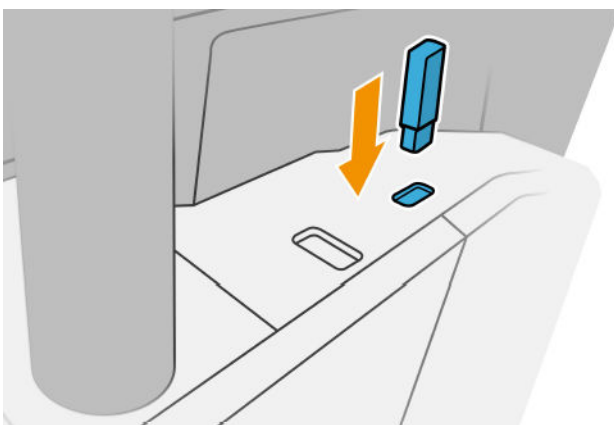
はじめに

お使いの環境および設定に応じて、選択可能なさまざまな印刷方法があります。


- USB フラッシュドライブから直接、TIFF、JPEG、HP-GL/2、RTL、PDF、または PostScript ファイルを印刷します。[72 ページの USB フラッシュドライブから印刷する](#)を参照してください。
- HP Click を使用してプリンタに接続されたコンピュータから直接、TIFF、JPEG、HP-GL/2、または PDF ファイルを印刷します。<http://www.hp.com/go/DesignJetclick> を参照してください。
- ファイルを開くことができるソフトウェアアプリケーション、およびプリンタ付属のプリンタドライバを使用して、プリンタに接続されているコンピュータからあらゆる種類のファイルを印刷します。[76 ページのプリンタドライバを使用したコンピュータからの印刷](#)を参照してください。
- スマートフォンまたはタブレットから印刷します。[87 ページの「モバイル印刷」](#)を参照してください。
- ネットワークフォルダから印刷します。[74 ページのネットワークフォルダから印刷する](#)を参照してください。
- **My Home フォルダ** から印刷します。[75 ページの My Home フォルダからの印刷](#)を参照してください。


USB フラッシュドライブから印刷する


1. 1 つ以上の TIFF、JPEG、HP-GL/2、RTL、PDF、または PostScript ファイルを含む USB フラッシュドライブをプリンタの USB ポートに挿入します。




 **注記** : PDF または PostScript ファイルを印刷するには、PostScript プリンタが必要です。

 **注記** : プリンタで USB フラッシュドライブを使用することは、管理者によって無効になっている場合があります。




2. フロントパネルでホームページに移動し、 をタップします。


フォルダをタップして、その内容を参照します。ファイルはドキュメントのサムネールとして表示され、[プレビュー]アイコンをタップすると、ファイルをプレビューできます。プレビューが表示されたら、拡大および縮小することができます。印刷できないファイルには、 が付いています。詳細については、[情報]ボタンを押してください。

3.  を選択します。
4. 印刷するファイルを選択します。ドキュメントのプレビューが表示されます。複数ページのドキュメントは PDF ファイルでのみサポートされています。このような場合は、印刷するページを


選択することもできます。ツールバーのボタンを使用し、拡大縮小を行ったり、選択したジョブの情報を表示します。事前定義済みのズームモード **[画面に固定]**、**[ピンチしてズーム]**、または **[元のドキュメント サイズ]** を選択することもできます。**[OK]** を押してクイックセット選択に移動します。

5. USB から印刷クイックセットのリストが表示されます。選択したジョブのいずれかのクイックセットを選択したり、編集したりすることができます。


 **注記** : ジョブを選択した後にクイックセットを編集した場合、変更された設定は現在のジョブにのみ適用され、永続的には保存されません。自分のクイックセットを永続的に変更するには、、**[クイック設定の管理]** の順にタップするか、、**[クイックセット]** の順にタップします。




 **注記** : 工場出荷時のクイックセットは変更できません。


以下の設定があります。

- **[クイックセット名]**では、使用するクイックセットに名前を付けることができます。
 - **[印刷品質]**では、印刷品質を**[高速]**、**[標準]**、または**[高品質]**に設定できます。
 - **[出力スケール]**では、「元のサイズに対する比率」または「特定の用紙サイズに合わせる」の2つの方法で、印刷のサイズを変更できます。デフォルト値は100%です(元のサイズ)。
 - **[カラー オプション]**では、カラーまたはグレースケールを選択できます。
 - **[給紙方法]**では、ロール紙1またはロール紙2で印刷を指定するか、または**[用紙の節約]**を選択して、印刷に適する最も幅の狭いロール紙を自動的に選択できます(2つのロール紙が取り付けられている場合)。
 - **[用紙のカテゴリ]**では用紙の種類が選択できます。
 - **[ページ順序]**では、最初のページが上になるように印刷するか、最後のページが上になるように印刷するかを選択できます。
 - **[丁合い]**では、丁合いをオンまたはオフにすることができます。
 - **[回転]**では、印刷対象を90度ごとに回転させることができます。また、**[自動]**を選択すると、印刷対象を自動的に回転させて、用紙が節約されます。
 - **[印刷マージン]**では、プリンタのデフォルトのマージンを変更できます。
 - **[ストレージモード]**には、印刷して削除(ジョブはジョブキューに保持されません)と印刷して保存(ジョブはジョブキューに保持されます)の2つのオプションがあります。
 - **[排紙先]** :
6. クイックセットの設定に満足したら、**[OK]**をタップして続行します。 をタップし、**[クイックセット詳細パネルの表示]**をタップして最もよく使用されているクイックセットを表示します。
 7. 画面の右側の列で**[部数]**、**[ページの順序]**、**[丁合い]**を選択できます。**[印刷]**をタップして次に進みます。
 8. 印刷後、別のファイルを印刷するか、またはジョブキューに移動するかを選択できます。ホームページに戻らずに直ちに別のファイルを印刷する場合は、前のファイルに使用された一時的な設定が再び使用されます。


ネットワークフォルダから印刷する

1. ネットワークフォルダが設定されていることを確認します。[22 ページのネットワークフォルダの構成](#)を参照してください。
2. フロントパネルでホームページに移動し、 をタップします。
3. [ネットワーク]を選択します。
4. 印刷するファイルを選択します。複数ページのドキュメントはPDFでのみサポートされています。このような場合は、印刷するページを選択することもできます。
5. ネットワークから印刷クイックセットのリストが表示されます。選択したジョブのいずれかのクイックセットを選択したり、編集したりすることができます。

 **注記**：ジョブを選択した後にクイックセットを編集した場合、変更された設定は現在のジョブにのみ適用され、永続的には保存されません。自分のクイックセットを永続的に変更するには、、[クイック設定の管理]の順にタップするか、、[クイックセット]の順にタップします。


 **注記**：工場出荷時のクイックセットは変更できません。


以下の設定があります。




- [クイックセット名]では、使用するクイックセットに名前を付けることができます。
 - [印刷品質]では、印刷品質を[高速]、[標準]、または[高品質]に設定できます。
 - [出カスケール]では、2つの方法で印刷のサイズを変更できます(元のサイズに対する割合を設定するか、特定の用紙サイズに合わせる)。デフォルト値は100%です(元のサイズ)。
 - [カラーオプション]では、カラーまたはグレースケールを選択できます。
 - [給紙方法]では、ロール紙1またはロール紙2で印刷を指定するか、または[用紙の節約]を選択して、印刷に適する最も幅の狭いロール紙を自動的に選択できます(2つのロール紙が取り付けられている場合)。
 - [用紙のカテゴリ]では用紙の種類が選択できます。
 - [ページ順序]では、最初のページが上になるように印刷するか、最後のページが上になるように印刷するかを選択できます。
 - [丁合い]では、丁合いをオンまたはオフにすることができます。
 - [回転]では、印刷対象を90度ごとに回転させることができます。また、[自動]を選択すると、印刷対象を自動的に回転させて、用紙が節約されます。
 - [印刷マージン]では、プリンタのデフォルトのマージンを変更できます。
 - [ストレージモード]には、印刷して削除(ジョブはジョブキューに保持されません)と印刷して保存(ジョブはジョブキューに保持されます)の2つのオプションがあります。
 - [排紙先]：
6. クイックセットの設定に満足したら、[OK]をタップして続行します。 をタップし、[クイックセット詳細パネルの表示]をタップして最もよく使用されているクイックセットを表示します。


7. 画面の右側の列で**[部数]**、**[ページの順序]**、**[丁合い]**を選択できます。**[印刷]**をタップして次に進みます。
8. 印刷後、別のファイルを印刷するか、またはジョブキューに移動するかを選択できます。ホームページに戻らずに直ちに別のファイルを印刷する場合は、前のファイルに使用された一時的な設定が再び使用されます。

My Home フォルダからの印刷

 **注記** : **[My Home フォルダ]**から印刷できるようにするには、**[LDAP - サインインサーバ]**または**[Windows サインイン設定]**を設定する必要があります。[30 ページの LDAP - サインインサーバ](#)または[31 ページの Windows サインイン設定](#)を参照してください。

1. フロントパネルでホームページに移動し、をタップします。
2. **[My Home フォルダ]**を選択します。
3. **[LDAP - サインインサーバ]**または**[Windows サインイン設定]**を使用して認証します。ページの上部にある **...** に移動し、認証に使用するオプションを選択します。[30 ページの LDAP - サインインサーバ](#)または[31 ページの Windows サインイン設定](#)を参照してください。
4. 印刷するファイルを選択します。複数ページのドキュメントは PDF でのみサポートされています。このような場合は、印刷するページを選択することもできます。
5. **[My Home フォルダから印刷]**クイックセットのリストが表示されます。選択したジョブのいずれかのクイックセットを選択したり、編集したりすることができます。

 **注記** : ジョブを選択した後にクイックセットを編集した場合、変更された設定は現在のジョブにのみ適用され、永続的には保存されません。自分のクイックセットを永続的に変更するには、、**[クイック設定の管理]**の順にタップするか、、**[クイックセット]**の順にタップします。

 **注記** : 工場出荷時のクイックセットは変更できません。

以下の設定があります。

- **[クイックセット名]**では、使用するクイックセットに名前を付けることができます。
- **[印刷品質]**では、印刷品質を**[高速]**、**[標準]**、または**[高品質]**に設定できます。
- **[出力スケール]**では、2つの方法で印刷のサイズを変更できます(元のサイズに対する割合を設定するか、特定の用紙サイズに合わせる)。デフォルト値は 100%です(元のサイズ)。
- **[カラー オプション]**では、カラーまたはグレースケールを選択できます。
- **[給紙方法]**では、ロール紙 1 またはロール紙 2 で印刷を指定するか、または**[用紙の節約]**を選択して、印刷に適する最も幅の狭いロール紙を自動的に選択できます(2つのロール紙が取り付けられている場合)。
- **[用紙のカテゴリ]**では用紙の種類が選択できます。
- **[ページ順序]**では、最初のページが上になるように印刷するか、最後のページが上になるように印刷するかを選択できます。
- **[丁合い]**では、丁合いをオンまたはオフにすることができます。
- **[回転]**では、印刷対象を 90 度ごとに回転させることができます。また、**[自動]**を選択すると、印刷対象を自動的に回転させて、用紙が節約されます。
- **[印刷マージン]**では、プリンタのデフォルトのマージンを変更できます。

- **[ストレージモード]**には、印刷して削除(ジョブはジョブキューに保持されません)と印刷して保存(ジョブはジョブキューに保持されます)の2つのオプションがあります。
 - **[排紙先]**：
6. クイックセットの設定に満足したら、**[OK]**をタップして続行します。**...**をタップし、**[クイックセット詳細パネルの表示]**をタップして最もよく使用されているクイックセットを表示します。
 7. 画面の右側の列で**[部数]**、**[ページの順序]**、**[丁合い]**を選択できます。**[印刷]**をタップして次に進みます。
 8. 印刷後、別のファイルを印刷するか、またはジョブキューに移動するかを選択できます。ホームページに戻らずに直ちに別のファイルを印刷する場合は、前のファイルに使用された一時的な設定が再び使用されます。

プリンタドライバを使用したコンピュータからの印刷

これはコンピュータから印刷する従来の方法です。正しいプリンタドライバがコンピュータにインストールされる必要があります(15ページの[Windowsでのプリンタのインストール](#)を参照)、またコンピュータはプリンタに接続される必要があります。

プリンタドライバがインストールされ、コンピュータがプリンタに接続されている場合は、アプリケーション独自の**[印刷]**コマンドを使用し、正しいプリンタを選択して、ソフトウェアアプリケーションから印刷できます。

詳細印刷設定

この章の残りの部分では、プリンタドライバ、またはフロントパネルを使用して印刷する場合に使用可能なさまざまな印刷設定について説明します。これらの方法は、すべての要件を満たすために比較的多数の設定を提供しています。

✦ **ヒント**：要件を満たさないことがわかっている場合を除いて、通常はデフォルト設定を使用することを推奨します。

ヒント：特定の設定グループを繰り返し使用する場合は、独自に選択した名前でこれらの設定を保存し、後で呼び出すことができます。保存された設定グループは、Windows プリンタドライバでは「クイックセット」、また Mac OS プリンタドライバでは「プリセット」と呼ばれています。

印刷品質を選択する

高品質の印刷では印刷速度が遅くなりますが、高速の印刷では印刷品質が低下するので、プリンタにはさまざまな印刷品質オプションが用意されています。

したがって、標準の印刷品質セレクトはスライダになっており、これを使用して品質と速度間の選択が可能です。用紙の種類によって適切な調整ができます。

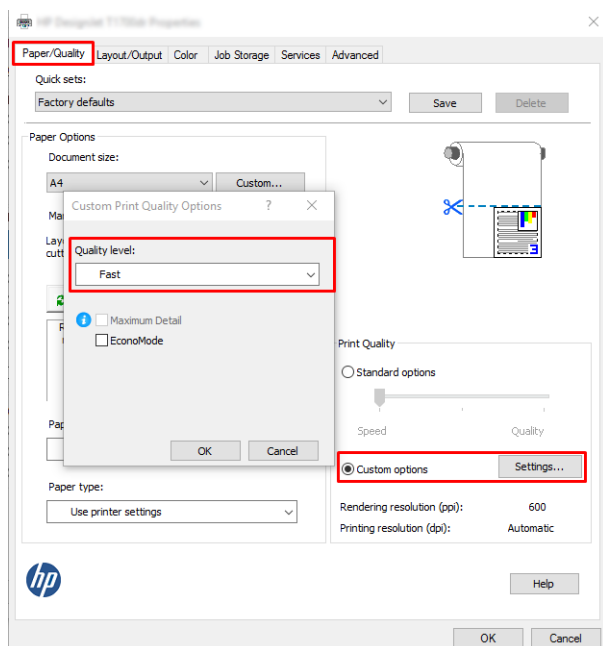
その他の方法としては、ユーザ定義オプションの**[高品質]**、**[標準]**、および**[高速]**の中から選択します。**[高速]**を選択した場合、**[Economode]**を選択することもできます。Economodeでは、より低いレンダリング解像度が使用され、消費するインクが少なくなります。したがって、印刷速度はさらに向上しますが、印刷品質は下がります。**[Economode]**はユーザ定義オプションからのみ選択できます(スライダから選択することはできません)。

印刷品質に影響する追加カスタム オプションとして、**[高精細]**も提供されています。[82 ページの高品質で印刷する](#)を参照してください。

📄 **注記**：Windows ドライバのダイアログでは、ジョブに対するレンダリング解像度が[ユーザ定義オプション]に表示されます([ユーザ定義オプション]>**[設定]**をクリック)。

印刷品質オプションは、以下の方法で指定することができます。

- Windows ドライバのダイアログの場合：[用紙/品質]または[用紙]タブ(ドライバのバージョンによって異なります)に移動して、[印刷品質]セクションを確認します。[標準オプション]を使用した場合は、簡単なスライダが表示されます。このスライダで品質または速度を選択できます。カスタムオプションまたは[詳細設定](ドライバのバージョンによって異なります)を使用した場合は、前述の特定のオプションが表示されます。



- フロントパネルを使用する場合：⚙️をタップし、[デフォルトの印刷構成]>[印刷品質]をタップします。

📌 注記：コンピュータで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。


📌 注記：プリンタに送信中または送信済みのページの印刷品質は、印刷がまだ開始されていない場合でも変更できません。

用紙サイズの選択

用紙サイズは、以下の方法で指定することができます。

📌 注記：ここでは、文書が作成された用紙サイズを指定する必要があります。印刷するために文書を拡大縮小できます。80 ページの印刷を拡大縮小するを参照してください。

- Windows ドライバのダイアログの場合：[用紙/品質]または[用紙]タブ(ドライバのバージョンによって異なります)を選択して、[文書サイズ]リストから該当する用紙のサイズを選択します。
- 📌 注記：V4 ドライバと Adobe Acrobat を使用して印刷した場合、ページサイズと印刷の向きがアプリケーションにより決定されます。
- 📌 注記：アプリケーションに[ページ設定]ダイアログがない場合は、[印刷]ダイアログを使用してください。
- フロントパネルを使用する：⚙️をタップし、[デフォルトの印刷設定]>[用紙オプション]>[用紙サイズ]をタップします。

 **注記**：コンピュータで用紙サイズが設定されている場合、フロントパネルで設定した用紙サイズよりもこちらが優先されます。

カスタム用紙サイズ

標準の用紙サイズ一覧にない用紙サイズを選択する場合は、さまざまな方法で指定できます。

Windows プリンタ ドライバを使用する (バージョン 3)

1. **[用紙/品質]** タブをクリックします。
2. **[Custom]** をクリックします。
3. 新しい用紙サイズの名前と寸法を入力します。
4. **[OK]** をクリックします。新しい用紙サイズが自動的に選択されます。

Windows プリンタ ドライバを使用する (バージョン 4)

1. **[用紙]** タブをクリックします。
2. **[文書サイズ]** をクリックします。
3. 新しい用紙サイズの寸法をカスタム領域内の 2 か所のフィールドに入力します。
4. 矢印ボタンをクリックします。

プリンタ ドライバで作成するカスタム用紙サイズには次の特徴があります。

- 用紙サイズは不変です。ドライバが閉じているか、コンピュータの電源がオフの場合、用紙サイズは表示されません。
- 用紙サイズは、プリンタ キューに対してローカルです。用紙サイズは、同じコンピュータの他のプリンタ キューから参照されません。
- Domain サーバ ネットワークでは、用紙サイズは、コンピュータに対してローカルです。用紙サイズは、プリンタ キューを共有する他のコンピュータから参照されません。
- Workgroup ネットワークでは、用紙サイズは、プリント キューを共有するすべてのコンピュータ間で共有されます。
- プリンタ キューが削除されると、用紙サイズも削除されます。

Windows の用紙を使用する

1. **[スタート]** メニューまたは **[コントロールパネル]** から、**[プリンタと FAX]** を選択します。
2. **[ファイル]** メニューから、**[サーバのプロパティ]** を選択します。
3. **[用紙]** タブで、**[新しい用紙を作成する]** ボックスをオンにします。
4. 新しい用紙サイズの名前と寸法を入力します。マージンは 0.00 のままにします。
5. **[用紙の保存]** ボタンをクリックします。
6. プリンタドライバを表示して、**[用紙/品質]** または **[用紙]** タブ (ドライバのバージョンによって異なります) を選択します。
7. 用紙サイズのプルダウン メニューから **[詳細…]** を選択します。
8. カスタム サイズのグループから新しい用紙サイズを選択します。


Windows で作成するカスタム用紙サイズには次の特徴があります。

- 用紙サイズは不変です。ドライバが閉じているか、コンピュータの電源がオフの場合、用紙サイズは表示されません。
- 制限されたユーザは新しい用紙を作成できません。Windows Active Directory の「ドキュメントの管理」ロールが最小限必要です。
- 用紙サイズは、コンピュータに対してローカルです。用紙サイズは、コンピュータで作成されたすべてのプリンタ キューまたはそのサイズの用紙をサポートするすべてのプリンタ キューで表示されます。
- プリンタ キューが共有される場合、この用紙サイズは、すべてのクライアント コンピュータで表示されます。
- プリンタ キューが別のコンピュータから共有される場合、この用紙サイズは、ドライバの文書サイズ一覧では **表示されません**。共有されるキュー内の Windows 用紙は、サーバで作成される必要があります。
- プリンタ キューが削除されても、用紙サイズは削除されません。


マージン オプションを選択する

デフォルトでは、イメージの端と用紙の端の間には 3mm マージンがあります (カット紙の下端では 17mm まで広がります)。ただし、いくつかの方法でこの動作を変更できます。

3 ~ 5 mm のマージンを選択します

- Windows V3 ドライバのダイアログの場合：[詳細設定] タブを選択して、[高度な機能]-[ドキュメント オプション]-[プリンタ機能]-[マージン]の順にクリックし、マージンサイズを選択します。
- Windows V4 ドライバのダイアログの場合：[レイアウト] タブを選択し、[マージンを含める] リストからマージンを選択します。
- フロントパネルを使用する場合： をタップし、[デフォルトの印刷設定] > [マージン] を選択します。

マージン レイアウトのオプションの選択

- Windows V3 ドライバのダイアログの場合：[用紙/品質] タブを選択し、マージン/カッターの [設定] ボタンをクリックします。[マージン/レイアウト] ウィンドウが表示されます。
- Windows V4 ドライバのダイアログの場合：[レイアウト] タブを選択し、[レイアウト モード] 領域に移動します。
- フロントパネルを使用する場合： をタップし、[デフォルトの印刷設定] > [マージン レイアウト] をタップします。

以下のオプションのいくつかが表示されます。


- [アプリケーション設定の使用] (ドライバ)/[標準設定の使用] (フロントパネル)。イメージは選択したサイズのページに印刷され、イメージの端と用紙の端の間に狭いマージンが取られます。イメージは、マージン部分より小さいサイズにする必要があります。
- [オーバーサイズ]：イメージは、選択したサイズより若干大きいページに印刷されます。マージンを切り落とす場合は、イメージの端と用紙の端の間にマージンを入れずに、選択したサイズのページを保持します。
- [内容をマージンでクリップ]：イメージは選択したサイズのページに印刷され、イメージの端と用紙の端の間に狭いマージンが取られます。このオプションでは、イメージがページと同じサイ

ズの場合、プリンタでイメージの両端が白または重要でないとは判断され、印刷の必要がないと見なされます。これは、イメージにフチがある場合に役に立ちます。

取り付けられている用紙への印刷

プリンタに取り付けられている任意の用紙にジョブを印刷するには、プリンタ ドライバで以下の「用紙の種類」 オプションを選択します。

- **Windows ドライバのダイアログの場合：** [用紙/品質] または [用紙] タブ (ドライバのバージョンによって異なります) を選択して、「用紙の種類」 ドロップダウンリストから [プリンタ設定の使用] を選択します。


 **注記：** [プリンタ設定の使用] (Windows)。

印刷を拡大縮小する

イメージを特定のサイズでプリンタに送信し、プリンタの側でサイズを拡大縮小 (大体は拡大) するように指定することができます。これは、次のような場合に便利です。

- 使用しているソフトウェアで大判印刷がサポートされていない場合。
- ファイルサイズが大きすぎてプリンタのメモリでは対応できない場合。この場合は、ソフトウェアで用紙サイズを小さくし、印刷時にフロントパネルのメニューを使用して拡大することができます。

プリンタでの拡大縮小は、以下の方法で行うことができます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合：** [レイアウト出力] または [レイアウト] タブ (ドライバのバージョンによって異なります) に移動して、「サイズ変更オプション」 セクションを確認します。
 - [実際のサイズ] オプションでは、画像のサイズは変わりません。
 - [素材に合わせる] オプションを使用すると、選択した用紙サイズで印刷できるようにイメージサイズを調整できます。たとえば、用紙サイズで ISO A2 を選択し、A3 サイズのイメージを印刷する場合、A2 サイズに合うようにイメージが拡大されます。用紙サイズで ISO A4 を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合は、A4 サイズに合うようにイメージが縮小されます。
 - [% (元のサイズに対する比率)] または [スケール %] オプション (ドライバのバージョンによって異なります) を使用すると、元の用紙の印刷可能範囲 (ページからマージンをマイナスした範囲) を指定した比率で拡大/縮小し、マージンを追加して出力用紙サイズを調整できます。
- **フロントパネルを使用する場合：**  をタップし、[デフォルトの印刷設定] > [用紙オプション] > [サイズ変更] を選択します。


1 枚の用紙に印刷する場合は、イメージをページ内に収めることができるかどうかを確認してください。イメージが途切れる可能性があります。

重なった線の処理方法を変更する

 **注記：** このトピックは HP-GL/2 ジョブを印刷する場合にのみ適用されます。

マージオプションでは、イメージ内での重なった線の処理方法を設定できます。以下の 2 種類の設定があります。

- [オフ]：線が交差している場合、前面の線の色のみが印刷されます。これはデフォルトの設定です。
- [オン]：線が交差している場合、2 つの線の色がマージされます。

マージ設定をオンにするには、フロントパネルに移動して、をタップし、続いて**[デフォルトの印刷設定] > [HP-GL/2 の設定] > [マージ]**の順にタップします。一部のアプリケーションでは、ソフトウェアからマージオプションを設定できます。ソフトウェアでの設定がフロントパネルの設定を上書きします。

印刷をプレビューする


画面上で印刷をプレビューすると、印刷前に印刷のレイアウトを確認できます。これにより、誤った印刷による用紙やインクの無駄を防ぐことができます。

- Windows では、次のオプションで印刷をプレビューできます。

- HP 印刷プレビュー アプリケーションを使います。

ドライバダイアログの右下にある**[印刷プレビューの表示]**チェックボックスをオンにします。**[印刷]**をクリックすると、数秒後に HP 印刷プレビュー アプリケーションが起動します。

目的のジョブのプレビューを確認してください。問題ない場合は**[印刷]**をクリックし、そうでない場合は**[キャンセル]**をクリックしてください。ドライバの設定を再調整してから、再度実行することができます。

 **注記 :** **[印刷プレビューの表示]** ボックスは HP 印刷プレビューがお使いのコンピュータにインストールされている場合にのみ、ドライバダイアログに表示されます。[12 ページの HP 印刷プレビュー](#)を参照してください。

- アプリケーションの印刷プレビュー オプションを使用します。


- Mac OS X では、次のオプションで印刷をプレビューできます。

- アプリケーションの印刷プレビュー オプションを使用します。


- 印刷プレビューは常に、ほとんどのアプリケーションのプリント ダイアログ ボックスに表示されます。


試し印刷をする

高速の試し品質の印刷は、以下の方法で指定できます。

- Windows ドライバのダイアログの場合：**[用紙/品質]**または**[用紙]**タブ(ドライバのバージョンによって異なります)に移動して、**[印刷品質]**セクションを確認します。印刷品質のスライダを左端(**[速度]**)まで移動させます。
- フロントパネルを使用する場合：をタップし、次に**[デフォルトの印刷設定] > [印刷品質] > [品質レベルの選択] > [高速]**を選択します。


以下の手順で Economode を使用して、さらに高速で試し品質の印刷を指定できます。これは、テキストや線画のみを含む文書を主に想定しています。


- Windows ドライバのダイアログの場合：**[用紙/品質]**または**[用紙]**タブ(ドライバのバージョンによって異なります)に移動して、**[印刷品質]**セクションを確認します。**[カスタム オプション]**または**[詳細設定]**(ドライバのバージョンによって異なります)を選択し、品質レベルを**[高速]**に設定して**[エコノモード]**チェックボックスをオンにします。
- フロントパネルを使用する場合：をタップし、**[デフォルトの印刷設定] > [印刷品質] > [エコノモードの有効化]**を選択します。

 **注記 :** コンピュータで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

高品質で印刷する


高品質の印刷は、以下の方法で指定できます。


- Windows ドライバのダイアログの場合：[用紙/品質]または[用紙]タブ(ドライバのバージョンによって異なります)に移動して、[印刷品質]セクションを確認します。印刷品質のスライダを右端([品質])まで移動させます。
- フロントパネルを使用する場合：をタップし、[デフォルトの印刷設定]>[品質レベル]>[高品質]を選択します。

 **注記**：コンピュータで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

高解像度のイメージがある場合

イメージがレンダリング解像度より大きい解像度である場合 (Windows では「ユーザ定義オプション」で確認可能)、[高精細]オプションを選択すると、印刷の鮮明度を増すことができます。このオプションは、光沢紙に[高品質]印刷品質で印刷する場合にのみ使用できます。

- フロントパネルを使用する場合：をタップし、[デフォルトの印刷設定]>[印刷品質]>[高精細の有効化]を選択します。

 **注記**：[高精細]オプションを選択すると、フォト用紙の場合に印刷速度が遅くなりますが、使用するインク量が増えるわけではありません。

グレー階調で印刷する


イメージのすべてのカラーを、グレースケールに変換できます。[131 ページのグレースケールで印刷](#)を参照してください。

切り取り線付きで印刷する


切り取り線は、選択した用紙サイズまで縮めるにはどの位置で用紙をカットするべきかを示します。個々のジョブで自動的に切り取り線を印刷するには、以下の手順に従います。

- Windows V3 ドライバのダイアログの場合：[用紙/品質]タブをクリックしてから、マージン/カッターの[設定]ボタンをクリックします。[マージン/レイアウト]ウィンドウの[カッティングラインの描画]チェックボックスをオンにします。
- Windows V4 ドライバのダイアログの場合：[出力]タブを選択し、[カッティングライン]のチェックボックスをオンにします。

または、以下の手順に従って、デフォルトで切り取り線を印刷する設定にすることもできます。

- フロントパネルを使用する場合：をタップし、[デフォルトの印刷設定]>[用紙オプション]>[切り取り線の有効化]>[オン]をタップします。

ネスティングしたジョブ ([83 ページのジョブをネスティングしてロール紙を節約する](#)を参照) で切り取り線を印刷するには、以下の異なるオプションを選択する必要があります。

- フロントパネルを使用する場合：をタップし、[ジョブ管理]-[ネスティングの設定]-[切り取り線の有効化]-[オン]を選択します。

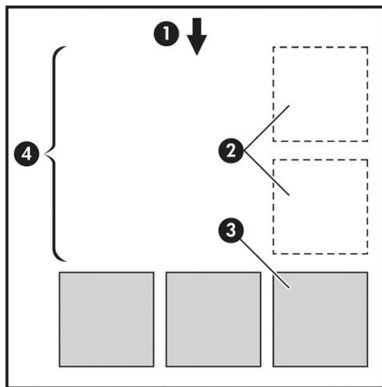
用紙を節約する

用紙を節約するための推奨方法は、次のとおりです。

- 比較的小さいイメージや文書ページを印刷する場合は、ネスティングを使用して、順々に印刷するのではなく並べて印刷できます。[83 ページのジョブをネスティングしてロール紙を節約する](#)を参照してください。
 - 以下のオプションを選択すると、ロール紙を節約できます。
 - Windows ドライバのダイアログの場合：
 - バージョン3 ドライバの場合：[用紙/品質]タブをクリックし、マージン/カッター [設定]ボタンをクリックして、[空白領域を削除] チェックボックスをオンにします。
 - バージョン4 ドライバの場合：[出力]タブをクリックし、[ロール紙オプション]をクリックして、[空白領域を削除] チェックボックスをオンにします。
- また、[レイアウト/出力]または[レイアウト]タブ(ドライバのバージョンによって異なります)を選択して、[回転]オプションのうちの1つを選択できます。
- 印刷前にコンピュータ上で印刷プレビューを確認することで、明らかな間違いのある印刷を避けることができ、用紙を節約できます。[81 ページの印刷をプレビューする](#)を参照してください。

ジョブをネスティングしてロール紙を節約する

ネスティングとは、イメージまたは文書の複数のページを順々にではなく同じ用紙に並べて自動的に印刷することです。これにより、用紙を節約することができます。



1. 用紙が進む方向
2. ネスティング オフ
3. ネスティング オン
4. ネスティングで節約される用紙

プリンタがページをネスティングする場合

次の両方に当てはまる場合：

- プリンタに、カット紙ではなくロール紙が取り付けられている。
- プリンタの[ネスティング]オプションの設定がオンになっている。[84 ページのネスティングのオン/オフの設定方法](#)を参照してください。

ネスティングが可能なページ

ページが大きすぎてロール紙に横に並べて収まらない場合やページが多すぎてロール紙の残りの長さに収まらない場合を除いて、すべてのページをネスティングできます。ネスティングによって1つのグループになったページは、2つのロール紙間で分割できません。


ネスティングに適したページ

同じネスト内にページを入れるには、個々のページが次のすべてに当てはまる必要があります。

- すべてのページが、同じ印刷品質の設定 ([Economode]、[高速]、[標準]、または [高品質]) であること。
- すべてのページで [高精細] の設定が同じであること。
- すべてのページで [レイアウト/マージン] の設定が同じであること。
- すべてのページで同じ [左右反転] 設定であること。
- すべてのページで [レンダリング用途] 設定が同じであること。
- すべてのページで [カッター] の設定が同じであること。
- ページはすべてカラーか、すべてグレースケールであること。つまり、一部がカラーで一部がグレースケールではないこと。
- すべてのページが次の2つのグループのいずれかに属している (2つのグループは同じネストに混在できない)。
 - PCL3、RTL、TIFF、JPEG
 - PostScript、PDF
- 解像度が 300dpi を超える解像度の JPEG および TIFF ページは、他のページとネスティングできない場合があります。

ネスティングのオン/オフの設定方法

ネスティングをオン/オフするには、まず印刷の開始が [処理後] に設定されていること ([95 ページのジョブを印刷するタイミングの選択](#)を参照) を確認します。

その後、フロントパネルで  をタップし、次に [ジョブ管理] > [ネスティングの設定] > [ネスティング] を選択します。


以下のオプションが表示されます。

- **[通常の順序]** : プリンタに送信された順にページがネスティングされます (デフォルトのオプションです)。ネスティングされたページは、以下の3つの条件のうちの1つが満たされると、ただちに印刷されます。
 - 次のページが、ネスティングされたページと同じ行に入らない場合。
 - 指定した待ち時間の間、ページがプリンタに送信されなかった場合。
 - 次のページと、既にネスティングされたページとの互換性がない場合 ([83 ページのジョブをネスティングしてロール紙を節約する](#)を参照)。
- **[最適化された順序]** : 必ずしもプリンタに送信された順にページがネスティングされるわけではありません。互換性がないページが送信された場合は保留状態となり、互換性があるページが送信されるまで待ってネスティングを完了します。ネスティングされたページは、以下の3つの条件のうちの1つが満たされると、ただちに印刷されます。

- 次のページが、ネスティングされたページと同じ行に入らない場合。
 - 指定した待ち時間の間、ページがプリンタに送信されなかった場合。
 - 互換性がないページのキューが満杯の場合。プリンタは互換性のあるページをネスティング中に、互換性のないページを最大6ページまでキューイングできます。プリンタは、互換性がないページを7ページ受信すると、ネスティングされたページをそのまま印刷します。
- **[オフ]**：ネスティングは無効です。

★ **ヒント**：[最適化された順序]では、最低限の量の用紙が使用されます。ただし、プリンタが互換性のあるページの到着を待機するため、印刷にかかる時間が長くなることがあります。

プリンタが別のファイルを待つ時間

プリンタはネスティングを最適化できるように、ファイルを受け取ってから待ち、その後続くページがファイルにネスティングされているか、またはすでにキューにあるページにネスティングされているかを確認します。この待ち時間はネスティング待ちと呼ばれ、デフォルトで2分に設定されています。これは、プリンタが最後のファイルを受け取ってから最後のネスティングを印刷するまで待機する最大時間が2分であることを意味します。この待ち時間は、プリンタのフロントパネルから変更できます。 をタップし、**[ジョブの管理]-[ネスティングの設定]** をタップして待ち時間を選択します。使用可能な範囲は、1~99分です。

プリンタがネスティングのタイムアウトまで待っている間、残り時間がフロントパネルと内蔵 Web サーバに表示されます。


インクを節約する


インクを節約するための推奨方法は、次のとおりです。

- 試し印刷を行うには、普通紙を使用し、印刷品質スライダをスケールの左端 ([速度]) まで移動させます。さらに経済的にするには、ユーザ定義オプションを選択し、**[高速]** および **[Economode]** を選択します。
- プリントヘッドのクリーニングは、必要なときだけ、クリーニングが必要なプリントヘッドのみ行います。プリントヘッドのクリーニングは便利ですが、少量のインクを消費します。
- プリンタの電源を入れたままにしておくと、プリンタが自動的にプリントヘッドを良好な状態に維持します。このプリントヘッドの定期保守では少量のインクが使用されますが、この定期保守を行わない場合、プリントヘッドの状態を回復するために、より多くのインクが使用される必要があります。
- プリントヘッドの保守では少量のインクが使用され、その頻度はプリントヘッドによって行われるパス数に関連するため、縦向きで印刷するより、横向きで印刷するほうがインクを節約できます。したがって、ジョブをネスティングすることで用紙を節約するとともにインクも節約できます ([83 ページのジョブをネスティングしてロール紙を節約する](#)を参照)。


保護する用紙の種類

誤って印刷することを防ぐために、選択した用紙の種類を保護することができます。保護されている用紙の種類は、その用紙の種類が明確にジョブに指定された場合にのみ印刷されます。

用紙の種類を保護するには、 をタップした後、**[ジョブ管理] > [ロールポリシー] > [用紙の種類を保護]** の順にタップし、保護する用紙のカテゴリを選択します。

用紙の種類を保護すると、用紙名の前に  アイコンが表示されます。

保護された用紙カテゴリに印刷するには、プリンタドライバまたはその他のジョブ送信ソフトウェアからジョブを送信する際に、明確に用紙の種類を選択します。


 **注記**：保護された用紙の種類を明確に選択せず、その他の用紙の種類が使用できない場合、用紙切れのメッセージが表示されます。


無人印刷/夜間印刷

このプリンタは、マルチロール機能、および信頼性の高い、一貫性のある印刷品質を提供し、長時間の無人印刷ジョブに最適です。

長い印刷ジョブのキューの処理を行う場合は、次の推奨事項を参考にしてください。

- 可能であれば、新品の長いロール紙を使用します。
- 一部使用済みのロール紙に印刷する場合は、内蔵 Web サーバまたはフロントパネルで用紙の種類と残りの長さをチェックし、すべてのジョブを印刷できる十分な長さの用紙があることを確認できます。

 **注記**：残りの長さに関する情報は、ロール紙を取り付けたときにその長さをプリンタに入力した場合、またはプリンタがロール紙に印刷されたバーコードからその長さを読み取った場合のみ確認できます。

- T2600dr プリンタの場合、ジョブに適したの2つのロール紙を取り付けてください。1つのロール紙が終了したら、もう1つのロール紙に自動的に切り替えられます。
- HP ではお使いのプリンタでの使用が認められている用紙の使用をお勧めします。[181 ページの「サプライ品とアクセサリ」](#)を参照してください。
- すべてのジョブを印刷できる十分な幅の用紙があることを確認します。幅が広すぎるジョブは、用紙が一致しない場合の動作が **[ジョブを保留にする]** に設定されている場合、一時停止することがあります ([96 ページの用紙の不一致を解決する](#)を参照)。
- インクカートリッジのインク残量を確認します。
- 印刷ジョブを送信したら、遠隔地から内蔵 Web サーバを使用して、そのステータスを監視できます。
- [乾燥時間] を **[最適]** に設定する必要があります。
- T2600dr のみ： をタップし、**[ジョブ管理]** > **[ロールポリシー]** > **[残量の最も少ないロール紙を使用]** > **[オン]** を選択します。

用紙および印刷の種類に応じて、以下の設定を推奨しています。

無人での印刷の推奨設定

印刷の種類	印刷品質	高精細	乾燥時間	用紙の種類
行	標準	オフ	最適	コート紙、普通紙、厚手コート紙、光沢紙
線と塗りつぶし	標準	オフ	最適	コート紙、普通紙、厚手コート紙、光沢紙
地図	高品質	オフ	最適	コート紙、厚手コート紙、光沢紙
レンダリング、写真	高品質	オフ	最適	コート紙、厚手コート紙、光沢紙

6 モバイル印刷

- [はじめに](#)
- [Android からの印刷](#)
- [Chrome OS からの印刷](#)
- [HP Smart アプリから印刷、スキャン、共有](#)
- [電子メールで印刷 \(HP ePrint\)](#)
- [モバイルの仕様](#)

はじめに

ほぼどこにいても、多くのモバイルデバイスからプリンタで印刷することができます。モバイル印刷には2つの主な方法があります。


- 同じネットワークに接続して直接印刷する
- 電子メールにより印刷する

プリンタは、Web に接続するとさまざまなメリットがあります。


- 自動ファームウェアアップデート ([174 ページのファームウェアをアップデートするを参照](#))
- ほとんどすべての場所から HP プリンタで印刷
- スマートフォン、タブレット、ラップトップなど、ほぼどのデバイスからでも HP プリンタで印刷

詳細については、<http://www.hp.com/go/designjetmobility> を参照してください。

プリンタのセットアップ時に Web サービスを有効にできます。詳細については、[19 ページのプリンタサービスのセットアップ](#)または「組み立て手順」を参照してください。

 **重要**：プリンタは、インターネットに接続されたネットワークに接続している必要があります。Ethernet ケーブルを選択してください。[14 ページのネットワークにプリンタを接続する](#)を参照してください。

Android からの印刷

 **注記**：印刷は、印刷または共有の機能を提供するアプリケーションからのみ行うことができます。


Android 印刷の場合、HP 印刷サービスアプリがまだデバイスにインストールされていない場合は Google Play からインストールして有効にします (<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.hp.android.printservice&hl=en>)。Android KitKat 4.4 以降が必要です。

1. 印刷するドキュメントまたは写真を開き、メニューアイコンを押して **印刷** を選択します。
2. リストからプリンタを選択します。
3. 印刷設定を選択し、**印刷** を押します。

Chrome OS からの印刷

Chromebook デバイスから印刷するには、Chrome Web ストア (<https://chrome.google.com/webstore/detail/hp-print-for-chrome/cjanmonomjogheabiocdamfknlpdehm>) から HP Print for Chrome 拡張をインストールするだけです。

1. コンテンツを選択します。印刷するドキュメントまたは写真を開き、**[メニューアイコン]** をタップして **[印刷]** を選択します。
2. プリンタを選択します。表示されたプリンタのリストから選択します。
3. 適切なプリンタと印刷設定が選択されていることを確認します。**[印刷]** をタップし、印刷されたドキュメントを回収します。

 **注記**：印刷は、印刷または共有の機能を提供するアプリケーションからのみ行うことができます。

HP Smart アプリから印刷、スキャン、共有

プリンタのスキャン機能と印刷機能をコントロールするには、モバイルデバイスの画面を使用します。スキャン結果をプリンタから直接モバイルデバイスに送信できます。事実上どこにいても、PDF、写真、電子メール添付ファイルなどを印刷できます。

HP Smart アプリは、次の場所からダウンロードできます。

- Android: <https://play.google.com/store/apps/details?id=com.hp.printercontrol>
- iOS: <https://itunes.apple.com/app/id469284907>

デバイスとプリンタが同じネットワーク上で動作していることを確認し、以下の手順に従います。


HP Smart アプリを使用した iOS および Android での印刷

1. HP Smart アプリを開き、プリンタを選択します。
2. ローカルデバイスからドキュメントと写真のどちらを印刷するかを選択するか、Google ドライブ、Dropbox、または他のアカウントをリンクしてコンテンツにアクセスします。
3. 編集オプションを使用し、必要に応じて品質、色、およびその他の設定を調整します。
4. **[印刷]** をタップし、印刷されたドキュメントを回収します。

HP Smart アプリを使用した iOS および Android でのスキャンと共有

1. スキャンする用紙をセットします。プリンタにスキャンするドキュメントを置きます。
2. HP Smart アプリを開き、スキャンを開始します。モバイルデバイスにドキュメントを保存する、電子メールで送信する、または希望のクラウドリポジトリに直接アップロードすることができます。

電子メールで印刷 (HP ePrint)

 **重要** : 電子メール印刷を有効にするには、[19 ページの HP ePrint を使用した電子メール印刷の有効化](#) を参照してください。

電子メールで送信できる場合は、それを印刷できます。PDF またはその他の印刷可能なファイルを電子メールメッセージに添付して、プリンタの専用アドレスに送信してください。

インターネット接続があれば、プリンタドライバがなくてもどこからでも印刷できますが、いくつかの制限がある点に注意してください。

- 印刷する添付ファイルは PDF 形式にする必要があります。
- 最大ファイルサイズは 10MB ですが、電子メールサーバ側の制限がそれより小さいことがあります。
- ファイルは、元のドキュメントサイズ(100%の倍率)、標準印刷、カラー、および通常は縦向き(一部のプリンタでは自動回転されます)で印刷されます。

詳しくは、<https://www.hpconnected.com> を参照してください。


モバイルの仕様

- モバイルデバイスには、インターネット接続と電子メール機能が必要です。
- 印刷、スキャンおよびコピーを制御するにはモバイルデバイスがプリンタと同じネットワーク上にある必要があります。
- 電子メールでの印刷には、プリンタがインターネットに接続されている必要があります。
- iOS 7.0 以上または Android KitKat4.4 以上が必要です。

7 ジョブキューの管理

- [フロントパネルのジョブキュー](#)
- [内蔵 Web サーバーまたは HP DesignJet Utility でのプリントジョブキュー](#)
- [内蔵 Web サーバーまたは HP DesignJet Utility でのスキャンキュー](#)

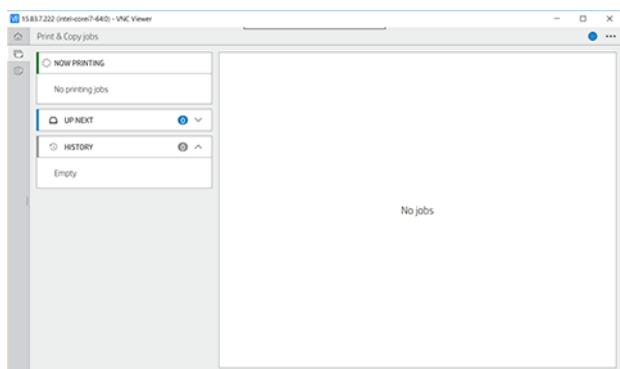
フロントパネルのジョブキュー

フロントパネルでジョブキューを表示するには、ホーム画面で  をタップします。

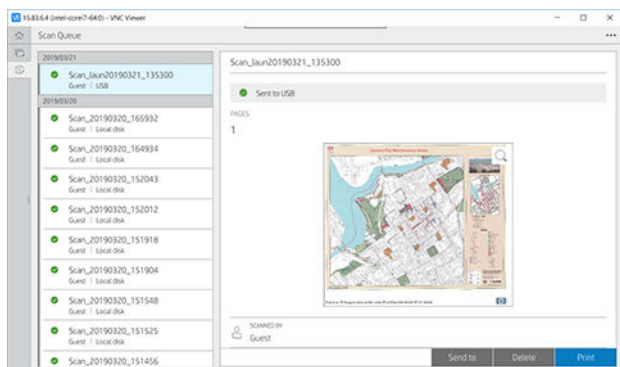
画面の左側にあるタブから [印刷およびコピー キュー] または [スキャン キュー] を選択できます。ジョブキューのページには、選択したジョブキューにあるすべてのジョブが表示されます。

印刷およびコピー キュー

印刷およびコピー キューには、受信中、解析中、レンダリング中、印刷中、およびすでに印刷されたジョブなど、さまざまなフェーズのジョブが含まれます。



ステータスに関する情報やプレビューなどを含む全ジョブの詳細を表示するには、ジョブ名をタップします。表示される詳細は、ジョブの種類によって異なります。



有効なキューでは、印刷中のジョブがキューの真中に、印刷済みのジョブがその下に、これから印刷されるジョブがその上に表示されます。上下にスクロールすることができます。スクロールすると、キューが静止し、自動的に移動しなくなります。

左側のパネルのジョブは、上から日付順に4つのカテゴリ(待機中、印刷中、保留、履歴)に分かれています。保留カテゴリは、保留中のジョブが1つ以上ある場合にのみ表示されます。ジョブ名の下にステータスが表示されます。


待機中

- **処理を待っています** : ジョブはプリンタによって受信され、レンダリングを待っています。
- **データを処理しています** : プリンタがジョブを解析し、レンダリングしています。
- **印刷待ちまたは一時停止** : ジョブは処理され、印刷エンジンが印刷に移行するのを待っています。

印刷中

ジョブが印刷されています。

- **一時停止**：ジョブは一時停止しています。

 **注記**：場合によっては、印刷中に**セルフサービス中**のステータスが表示されます。これは、あるジョブのページの印刷の間に、用紙種類の変更や印刷モードの変更など、プリンタが何らかのタスクを実行していることを意味します。

一時停止しています

ジョブは何らかの操作を行うまで印刷されません。以下のいずれかの操作を行います。

- **保留：プライベート ジョブ**：ジョブを印刷するのに必要な PIN を入力します。印刷後にジョブがキューから削除されます。
- **保留：個人ジョブ**：ジョブは自動的に印刷されません。キューからジョブを選択する必要があります。詳細は表示されません。
- **プレビュー待ち**：ジョブは自動的に印刷されません。キューからジョブを選択する必要があります。
- **用紙の不一致のため待機中**ジョブに必要な用紙を取り付けます。
- **アカウント情報待機中**：ジョブで使用するアカウント ID を入力します。
- **保留：復元されたジョブ**：プリンタの復元後に、印刷されなかったジョブが保留になっています。

履歴

- **印刷済み**：日付順に、今日、昨日、先週などのように分かれています。
- **キャンセル**：ユーザによりキャンセルされました。
- **失敗**：ジョブは1つ以上の理由で印刷されませんでした。


スキャンキュー

スキャンキュー構造は、印刷およびコピーキューに似ていますが、ファイルは日付順に整理されています。メインの詳細（選択されたスキャン先とそれに対応するステータス）は、左パネルの各ジョブの下に表示されます。

右パネルには、スクロール後に詳細情報が表示されます。

- a. スキャン者
- b. 日付と時刻
- c. ファイルの種類
- d. ファイルサイズ（複数のサイズがある場合、値は**[複数]**）
- e. コンテンツの種類
- f. サイズ
- g. カラーモード
- h. 解像度
- i. 送信先

スキャン キュー操作

一部のジョブ キュー操作は選択した設定により決定します。環境によっては、一部のデフォルト設定を変更した方がよい場合があります。これを行うには、ホーム画面で  をタップし、**[ジョブ管理]** を選択します。または、ジョブ キューで右上にある **...** をタップし、**[設定]** をタップします。

プリント

左パネルで、印刷するジョブをタップし、**[詳細画面]** で**[プリント]** を選択します。次の画面で、部数を選択してクイックセットを選択し、印刷設定を編集します。**[印刷]** を押すと、ジョブ キュー内のジョブを管理するオプションが表示されます。

削除

ジョブを手動で削除するには、ジョブを選択し、**[削除]** をタップします。

送信のキャンセル

ファイルの転送は、ステータス**[送信の待機中]** または**[送信中]** の場合にキャンセルできます。

送信先

ファイルがすでに送信されているか、失敗した場合にのみ使用できます。タップすると、**[送信先]** オプションが表示されます。

- **[ネットワーク フォルダ]** : ネットワーク フォルダが設定されている場合のみ使用できます。[22 ページのネットワーク フォルダの構成](#)を参照してください。
- **[電子メール経由]** : [29 ページの電子メールサーバーの設定](#)を参照してください。
- **[USB ドライブ]** : [101 ページの「スキャンとコピー」](#)を参照してください。


スキャン キュー オプション

スキャン ジョブをすべて削除


ジョブ キュー全体を削除するには、**...** をタップしてから**[すべてのジョブの削除]** をタップします。

リモートでの管理



画面の上部にある **...** をタップし、**[リモートで管理]** をタップします。QR コードが表示されます。EWS でスキャンしたファイルにアクセスするには、QR コードをスキャンするか、表示された URL を入力します。[100 ページの内蔵 Web サーバー](#)または[HP DesignJet Utility でのスキャン キュー](#)を参照してください。

 **注記** : このリンクへの接続に使用するデバイスは、プリンターと同じネットワークある必要があります。

ジョブ キューへの操作

ジョブ キューへの一部の操作は選択した設定により決定します。デフォルトの設定は、ご利用の環境に応じて変更することもできます。これを行うには、ホーム画面で  をタップし、**[ジョブ管理]** を選択します。または、ジョブ キューのアプリケーションの右上にある **...** をタップし、**[設定]** をタップします。

ジョブ キューの一時停止

ジョブ キューは、 をタップすると一時停止し、 をタップすると再開します。一時停止は、現在印刷中のページが終了すると有効になります。

再印刷

[履歴]のセクションから再印刷したいジョブをタップします。詳細画面で、**[再印刷]**をタップします。次の画面では部数、給紙方法、および排紙先を選択できます。

次に印刷


キュー内のジョブが現在の印刷ジョブのすぐ後に印刷されるように順序を変えるには、必要なジョブを選択し、**[次に印刷]**ボタンをタップします。

今すぐ印刷を有効化

[今すぐ印刷]を有効にすると、別の印刷ジョブを中断して、選択したジョブを直ちに印刷することができます。

ジョブを印刷するタイミングの選択

 **注記** : [印刷の開始] オプションは、PostScript ジョブでは使用できません。

キュー内にあるジョブを印刷するタイミングを選択できます。をタップし、**[ジョブ管理]** > **[印刷の開始]**を選択します。

選択可能な3つのオプションがあります。

- **[処理後]**が選択される場合、プリンタはページ全体が処理され印刷が開始されるまで待機します。これは最も時間がかかる設定ですが、大量で複雑な印刷の場合に最高の印刷品質を保証します。
- **[すぐに]**が選択される場合、プリンタはページの処理時に印刷します。これは最速の設定ですが、プリンタはデータを処理するために、印刷の途中で終了する場合があります。この設定は、濃い色の複雑なイメージには推奨されません。
- **[最適化]**が選択される場合 (これはデフォルト設定です)、プリンタはページの印刷を開始する最適な時間を計算します。通常は、**[処理後]**および**[すぐに]**の設定間で最適な調整を行います。


ジョブの詳細を表示する

ジョブ名をタップします。ステータスに関する情報、ページ、コピー部数、合計およびプレビューなどが表示できます。すべての情報を確認するには、必要に応じて下にスクロールします。

サムネールをタップすると、ジョブのすべてのページに移動できます。その場所で拡大縮小して (ピンチとズーム)、各ページの詳細情報を参照することができます。

有効なキューでは、印刷中のジョブがキューの真中に、印刷済みのジョブがその下に、これから印刷されるジョブがその上に表示されます。

ロールポリシー

フロントパネルで 、、、**[ロールポリシー]**の順にタップします。

別の方法として、をタップして、**[ジョブ管理]**-**[ロールポリシー]**をタップできます。




使用できるオプションは以下のとおりです。

- **[生産性の向上]** : プリンタの生産性を高めるために使用します。
 - **[ジョブの自動回転]** : 用紙を節約するために、ジョブが自動的に回転されます。
- **[自動ロール紙選択]** :

- **[ロール紙幅の選択]**：印刷するロール紙の幅を選択する際には、多少制約があります。次のオプションを選択できます。
 - o **[同幅の用紙のみ印刷]**：ページ幅が同じロール紙に各ページを印刷します。
 - o **[同幅以上の用紙のみ印刷]**：ページ幅が同じかそれ以上のロール紙に各ページを印刷します。
- **[残量の最も少ないロール紙を使用]**(T2600drのみ)：同じ種類で同じ幅の用紙が2本ある場合、残量の少ないロール紙が選択されます。
- **[用紙の種類の保護]**(T2600drのみ)：間違って印刷しないように、特別な用紙の種類を保護することができます。保護された種類は、ジョブで用紙の種類またはロール紙が指定された場合のみ印刷できます。

[85 ページの保護する用紙の種類](#)も参照してください。

用紙の不一致を解決する

プリンタに現在取り付けられている用紙が特定のジョブやページに適さない場合、プリンタのポリシーに応じて自動的に競合が解決されるか、多数の選択肢が提供されます。そのような競合は、ロール紙や用紙の種類を具体的に指定しないでジョブがプリンタに送信されたり、印刷中にロール紙がなくなりかけると生じる場合があります。用紙の不一致に関する設定メニューには、以下のオプションがあります。ジョブキューからこのメニューにアクセスするには、、 をタップし、**[不一致が起きた場合の対処]** > **[用紙の不一致]** を選択するか、 をタップし、**[ジョブ管理]** > **[不一致が起きた場合の対処]** > **[用紙の不一致]** を選択します。


- **[停止して、連絡]**(最も制約の高いオプション)：正しい用紙が取り付けられるまで印刷は停止します。プリンタを有人操作している場合に、このオプションを推奨します。メッセージが表示され、ジョブのキャンセル、印刷続行、印刷保留、用紙の取り付けの中でどれを行うかを尋ねられます。これらのオプションはジョブキューからも使用できます。
- **[ジョブを保留して、次を続行]**：正しい用紙が取り付けられるまで不一致が起きたジョブを保留にし、ジョブキューの残りの印刷を続けます。ジョブが保留になると、プリンタはアラートを送信します。ジョブの完全性が損なわれる可能性があっても、プリンタが無人で、キューの停止を避ける必要がある場合には、このオプションを推奨します。ジョブに必要な用紙が取り付けられると、ジョブまたはページの印刷が自動的に再開します。
- **[そのまま印刷をする]**(最も制約の少ないオプション)：取り付けられている種類の用紙にかかわらず、印刷されます。プリンタで印刷に使用されるロール紙の選択条件は、最初にページが収まる用紙で、次に同じ種類の用紙です。このオプションでは、保護されている用紙の種類は決して選択されません。

ジョブキューのオプション

ジョブキューのオプションを変更するには、 をタップし、**[ジョブ管理]** > **[ジョブキュー]** を選択します。または、 に移動し、、**[設定]** > **[ジョブキュー]** の順に選択します。

このオプションでは、キューに保持する最大数の印刷済みジョブ、印刷済みジョブを削除する時期、指定した時間の経過後に保留中のジョブを削除するかどうかを選択できます。

デフォルトの印刷設定

フロントパネルで をタップし、**[デフォルトの印刷設定]** を選択して、リモートの場所からプリンタに送信されたジョブのデフォルトプロパティを定義します。

設定を定義できるのは、印刷品質、カラー、用紙、マージン、PostScript、印刷の取得です。

ジョブの削除

プリンタに新しいジョブを保存する領域がなくなった場合、一番古い印刷済みジョブが自動的にキューから削除されます。

印刷済みジョブの合計数が指定した制限を超えた場合(履歴の最大数設定)、または指定した時間よりも前にジョブが印刷済みである場合(履歴の消去設定)、印刷済みのジョブが自動的にキューから削除されるようできます。

保留中のジョブを削除するには、**【保留中のジョブを削除】**設定で時間を設定すると、この時間(2~48時間)の経過後にジョブが削除されます。

ジョブを手動で削除するには、ジョブを選択し、右下にある**【削除】**をタップします。

【削除】オプションではキューのジョブが削除されますが、**【キャンセル】**オプションではジョブがキャンセルされるだけでキューには残り、「**ユーザの指示によりキャンセルしました**」と表示されます。

印刷中にジョブをキャンセルするには、**【X】**をタップします。[待機中]のカテゴリからジョブをキャンセルするには、リストのジョブ名をタップし、右下の**【キャンセル】**をタップします。

 **注記** : **【X】**をタップすると、現在の印刷ジョブのみがキャンセルされます。

内蔵 Web サーバーまたは HP DesignJet Utility でのプリントジョブキュー

HP DesignJet Utility は、内蔵 Web サーバのジョブ管理機能にアクセスする異なる方法を提供しますが、その機能は、内蔵 Web サーバまたは HP DesignJet Utility のどちらを使用してもまったく同じです。

内蔵 Web サーバでキューを表示するには、**【メイン】**メニューの**【ジョブキュー】**を選択します。

印刷

ジョブキューのページ

デフォルトでは、すべてのユーザがジョブキューにアクセスできます。管理者がパスワードを設定することによって、ページにアクセスする際にパスワードの入力を要求することができます。

ジョブキューのページには、キューにあるすべてのジョブが表示されます。キューには、受信中、解析中、レンダリング中、印刷中、およびすでに印刷されたジョブが含まれます。

内蔵 Web サーバでは、印刷ジョブごとに、以下の情報が表示されます。

- **【ファイル名】** : ジョブの名前。
- **【ステータス】** : ジョブの現在のステータス。
- **【ページ】** : ジョブのページ数。
- **【部数】** : 印刷される部数。
- **【合計】** : 合計ページ数(コピー含む)。
- **【送信者】** : ユーザー名。
- **【アカウント ID】** : ジョブのアカウント ID。
- **【日付】** : プリンタがジョブを受け取った日時、内蔵 Web サーバのタイムゾーンで表示。

- **[ファイルソース]**：ジョブをプリンタに送信したアプリケーション。
- **[排紙先]**：印刷されるジョブに対して選択された出力オプション。

キュー内の1つまたはすべてのジョブで以下の操作を実行できます。

- **[キャンセル]**：選択したジョブをキャンセルします。ジョブがキャンセルされる前に確認するように要求されます。ジョブはプリンタに保存されたままですが、**[再印刷]**をクリックしない限り印刷は行われません。
- **[保留]**：**[続行]**をクリックして印刷を続行するまで、選択したジョブを保留します。
- **[再開]**：保留状態にあるすべての選択したジョブが印刷を続行します。
- **[再印刷]**：ジョブのコピーをさらに印刷します。
- **[次に印刷]**：すべての選択したジョブをジョブキューの先頭に送信します。
- **[そのまま印刷をする]**：ジョブに問題が発生した場合でも、プリンタはジョブの印刷を試行します。
- **[削除]**：ジョブキューから選択したジョブを削除します。ジョブが削除される前に確認するように要求されます。

キュー内の特定ジョブを優先させる

キュー内の任意のジョブを選択して、次に印刷するジョブにすることができます。ジョブを選択したら、**[キューの先頭に移動する]**をクリックします。

ネスティングがオンになっている場合は、優先させたジョブも他のジョブと一緒にネスティングされます。このジョブをどうしても次に印刷する必要があり、他のジョブとネストしない場合は、まずフロントパネルでネスティングをオフにして、キューの先頭にジョブを移動します。

以下の場合には、**[次に印刷]** ボタンは表示されません。

- ジョブがすでにキューの先頭にある
- ジョブが保留状態にある：この場合には、代わりに、**[印刷の再開]** ボタンが表示されます。
- ジョブが終了している：この場合には、代わりに、**[再印刷]** ボタンが表示されます。
- ジョブが何らかのエラー状態にある

キューからジョブを削除する

通常的环境下、印刷後にキューからジョブを削除する必要はありません。これは、さらにファイルが送信されるとキューの末尾からジョブが消えていくためです。ただし、ファイルを間違えて送信し、それを印刷しないという場合は、ジョブを選択して、**[削除]**をクリックすることができます。

同じ方法で、まだ印刷されていないジョブを削除することもできます。

ジョブが現在印刷中(ステータスが「印刷しています」)の場合は、**[キャンセル]**をクリックし、次に**[削除]**を選択することができます。


キューからジョブを再印刷する

すでに印刷されたジョブを再印刷するには、キューからジョブを選択して、次に**[再印刷]**をクリックします。印刷ジョブを再印刷すると、ジョブがすでにラスタライズされているため、印刷設定を変更できません。

ジョブのステータス メッセージ

以下は、表示されるジョブのステータス メッセージです。メッセージはおおよそ、この順序で表示されます。

- **ダウンロード中**：プリンタがコンピュータからジョブを受信しています。
- **データを処理しています**：プリンタがジョブを解析し、レンダリングしています。
- **印刷待ち**：印刷エンジンが印刷に移行できるようになるのを待っています。
- **ネスト化**：プリンタでネスティングがオンに設定されているため、ネスティングが完了して印刷に移行するために他のジョブを待っています
- **印刷の準備を行っています**：プリンタがジョブの印刷前に出力システムのチェックを行っています。
- **プレビュー待ち**：ジョブが**[プレビュー待ち中]** オプション付きで送信され、保留中になっています

 **注記**：ジョブの印刷中にプリンタが停止した場合、キュー機能がオンになっていると、一部しか印刷されていないジョブはプリンタが再起動したときに、キューに「一時停止しています」と表示されます。ジョブを再開すると、中断したページから印刷が開始されます。

- **適当な用紙を待っています**：プリンタに適切な用紙が取り付けられていないため、ジョブを印刷できません。必要な用紙を取り付け ([36 ページの「用紙の取り扱い」](#)) を参照、**[続行]** をクリックしてジョブを再開します。
- **アカウント情報待機中**：すべてのジョブにアカウント ID が付いている必要があるため、ジョブを印刷できません。アカウント ID を入力し、**[続行]** をクリックしてジョブを再開してください。

 **ヒント**：アカウント ID を設定するには、[32 ページのアカウント ID の要求](#) を参照してください。

- **印刷**
- **乾燥**
- **用紙をカットしています**
- **素材を排出しています**
- **キャンセルしています**：ジョブはキャンセルされますが、プリンタのジョブ キューには残りません。
- **削除しています**：ジョブをプリンタから削除しています。
- **印刷済み**
- **キャンセル**：ジョブがプリンタによってキャンセルされました。
- **ユーザの指示によりキャンセルしました**
- **ジョブがありません**：ジョブに印刷するものが含まれていません。

保留中のジョブを再度有効にする

プリンタが保留中のジョブを置く場合、アラートを受信します ([223 ページのアラート](#) を参照)。これには、ジョブが保留中である理由が説明されています。画面に表示される指示に従って、保留を解除、印刷を続行します。

内蔵 Web サーバーまたは HP DesignJet Utility でのスキャンキュー

内蔵 Web サーバーでキューを表示するには、[ジョブキュー]>[スキャンキュー]を選択します。

デフォルトでは、すべてのユーザがジョブキューにアクセスできます。管理者は、ユーザーがページにアクセスするためのパスワードを設定できます。

内蔵 Web サーバーでは、ジョブごとに、以下の情報が表示されます。

- ファイル名：ジョブの名前。
- ステータス：ジョブの現在のステータス。
- ページ数：ジョブのページ数。
- 日付：スキャンされたジョブに関連付けられた日付と時刻。
- 保存先：保存場所。

キュー内の1つまたはすべてのジョブで以下の操作を実行できます。

- すべて削除：ジョブキュー内のすべてのジョブをウィンドウの上部から削除します。ジョブが削除される前に確認するように要求されます。
- 削除：選択したジョブをジョブキューから削除するには、ウィンドウの下部にあるボタンを押します。ジョブが削除される前に確認するように要求されます。
- ダウンロード：選択したジョブをダウンロードして、ローカルディスクに保存できます。
- プレビューをタップすると、全画面でジョブが表示されます。ジョブがマルチページの場合、プレビューするページを選択します。

スキャンしたファイルをリモートで管理する

スキャンプロセス中に、リモートでジョブを管理するための QR コードをリクエストすることができます。携帯電話で QR コードをスキャンして、プリンタの内蔵 Web サーバーにリモートでアクセスし、ジョブキューから管理するジョブを選択します。

 **注記：** デバイスは、プリンタと同じネットワークにある必要があります。

8 スキャンとコピー

- [クイックセット](#)
- [スキャン](#)
- [コピー](#)
- [スキャナ環境設定](#)
- [スキャナのトラブルシューティング](#)
- [スキャナ診断プロット](#)

クイックセット

スキャンとコピーではクイックセットを使用します。クイックセットは名前が付いた設定グループで、デフォルトの値が定義されています。これにより効率が高まり、経験が少ないユーザにとっても便利な機能です。

工場出荷時に定義されたクイックセット

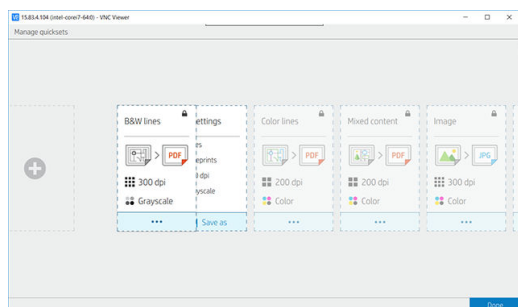
プリンタには工場出荷時に定義されたクイックセットが付属しており、一般的なユーザの要件をサポートします。クイックセットは、スキャン、コピー、印刷ジョブに使用できます。

ユーザー定義のクイックセット


プリンタに設定された許可に応じて、クイックセットを作成、削除、順序変更、変更できます。これらを行うには、設定のアプリケーションで、**[印刷、スキャン、コピーのクイックセット]**をタップするか、スキャン、コピー、印刷のワークフローから**[クイックセットの管理]**をタップします。

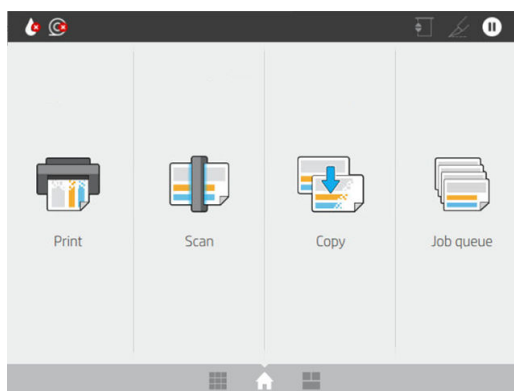
自分のクイックセットを複製して、一時的または永続的に編集したり、削除することができます。工場出荷時に定義されたクイックセットのみが複製できます。


[クイックセットの管理]からクイックセットの順序を変更することができます。クイックセット全体をタップし、目的の位置にドラッグします。**[最後の設定]**クイックセットは常に最初に表示されます。

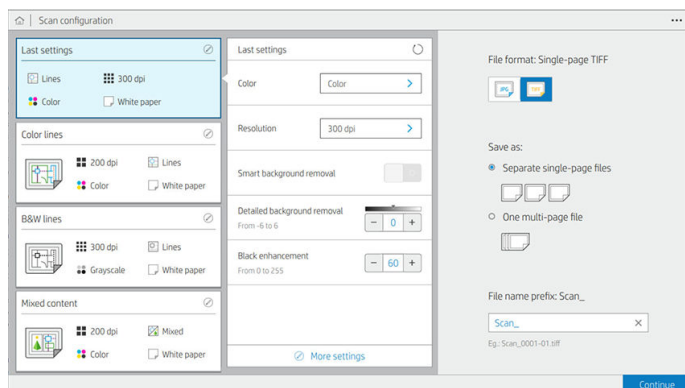



スキャン

1.  をタップします。

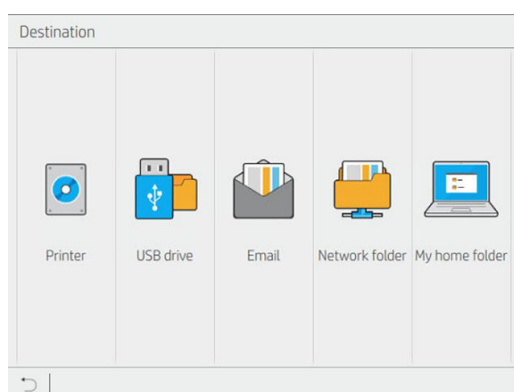


2. スキャンジョブに適したクイックセットを選択します。クイックセットは、すべて  をタップして変更できます。1 ページまたは複数ページでファイル形式を選択したり、デフォルトのファイル名を変更したりすることができます。




クイックセットを完全に変更するには、 をタップして、**[クイックセットの管理]**を選択します。

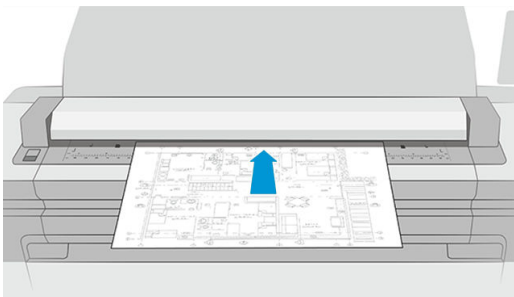
3. スキャンの送信先を選択します。



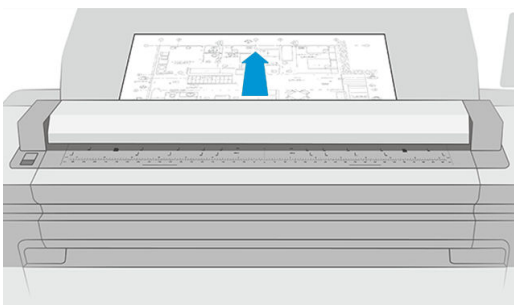
- プリンタにスキャン
- USB フラッシュドライブにスキャン
- 電子メールにスキャン (電子メールサーバーが設定されている場合)。[29 ページの電子メールサーバーの設定](#)を参照してください。アドレス帳を設定することもできます。[21 ページの電子メールアドレス帳のLDAP 設定](#)を参照してください。
- ネットワークフォルダにスキャン (ネットワークフォルダが追加されている場合)。[22 ページのネットワークフォルダの構成](#)を参照してください。
- **[My Home フォルダ]**にスキャン


 **注記** : **[My Home フォルダ]** にスキャンできるようにするには、**[LDAP - サインイン サーバ]** または **[Windows サインイン設定]** を設定する必要があります。[30 ページの LDAP - サインイン サーバ](#) または [31 ページの Windows サインイン設定](#) を参照してください。

4. 原稿を上向きにして挿入します。フロントパネルに、ページの**ライブ**プレビューが表示されます。**[スキャンの停止]**ボタンを押すと、プロセスを停止できます。



5. スキャナが原稿を排紙したら、受け取ります。



☀ **ヒント**：ページを排紙するには、クイックセットの自動排紙を選択するか、ページの上部にある  をタップするまで原稿を保留のままにするか、新しい原稿を挿入します。

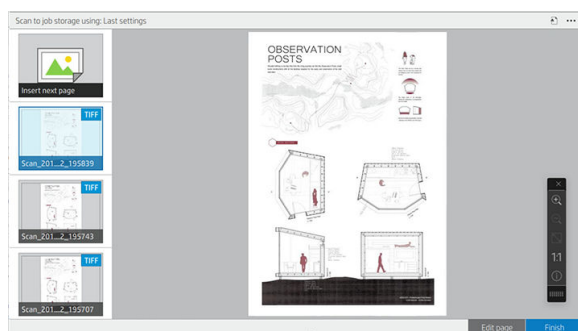
6. 最も役に立つオプションのひとつが、複数ページまたは1ページの原稿をスキャンするためのオプションです。
- マルチページの場合：スキャンの結果は、スキャンされたすべてのページが1つのファイルに格納されます。


複数ページのドキュメントをスキャンする場合は、指示されたら次のページを挿入します。画面右側のパネルに、**[新規ページの挿入]**と表示されます。





- 1 ページの場合：スキャンの結果は、スキャンされたページがそれぞれ 1 ページのファイルに格納されます。

1 ページをスキャンする場合、ドキュメントが自動的に保存されます。別のページを挿入すると、新しいドキュメントが作成されます。

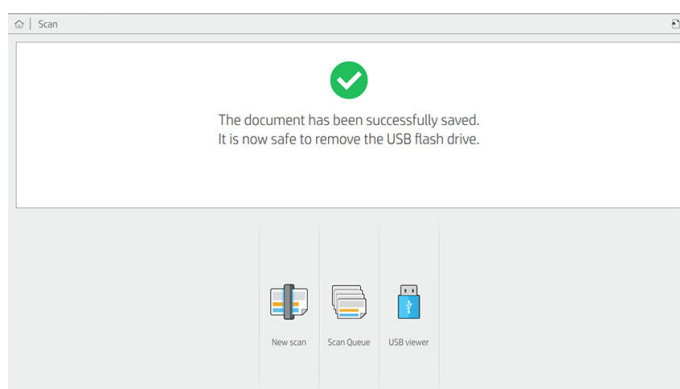


 **注記：** **...**をタップすると、ツールバーの表示または非表示、背景の除去設定の表示または非表示、および続くページのスキャン設定を変更することができます。必要に応じて設定を変更します。次にスキャンされたページに適用されます。

 **注記：** ツールバーのボタンを使用すると、拡大縮小を行ったり、選択したページのスキナ情報を表示できます。複数ページのドキュメントでは、ページを削除することができます。事前定義済みのズームモード **[画面に固定]**、**[元のドキュメントサイズ]**、または **[ピンチしてズーム]** を選択することもできます。

 **注記：** スキャンしたページは、**[ページの編集]** で編集できます。

7. 1 ページのドキュメントの場合は **[終了]** をタップし、マルチページのドキュメントの場合は **[完了と保存]** をタップしてスキャンを終了します。
8. もう一度同じ設定でスキャンするには、**[新しいスキャン]** をタップします。スキャン済みのジョブのステータスを確認するには、**[ジョブキュー]** をタップします。**[USB ビューワー]** (USB にスキャンする場合のみ) を使って、USB フラッシュドライブにジョブがあることを確認し、プレビューすることができます。スキャンジョブを管理する方法については、[93 ページのスキャンキュー](#) を参照してください。



スキャンのクイックセットで以下の設定を使用できます。

- **[クイックセット名]**では、使用するクイックセットに名前を付けることができます。
- **[コンテンツの種類]**では、コンテンツの種類を **[線]**、**[混在]**、**[イメージ]** に設定することができます。
- **[原稿の種類]**では、コンテンツの種類を **[白紙]**、**[フォト用紙]**、**[古紙/リサイクル紙]**、**[半透明紙]**、**[ブループリント]**、または **[アンモニア/古いブループリント]** に設定することができます。

- **[青写真の反転]**では、青写真を反転することができます。
- **[原稿の自動リリース]**では、スキャンしたページを自動リリースできます。
- **[給紙サイズ]**では、給紙ページサイズを**[自動]**、**[カスタムサイズ]**、取り付けられている使用可能なロール紙のリスト(**[ロール幅]**)、幅と長さによる標準サイズの固定リスト(**[標準サイズ]**)に設定することができます。

[カスタムサイズ]を選択すると、2つの新しい設定が表示されます。

- **[カスタム幅]**では、特定のスキャン領域幅を設定できます。0を入力すると幅が自動検出されます。
- **[カスタム長]**では、特定のスキャン領域の長さを設定できます。0を入力すると長さが自動検出されます。
- **[向き]**では、**[給紙サイズ]**が**[カスタムサイズ]**、**[標準サイズ]**(A0を除く)に設定されている場合のページの向きを**[横]**または**[縦]**に設定することができます。
- **[位置]**では、給紙サイズが自動でない場合に、給紙サイズ領域に配置する原稿ページの位置を設定することができます。オプションには、**[左上]**、**[上中央]**、**[右上]**、**[中央左]**、**[中央]****[中央右]**、**[左下]**、**[下中央]**、**[右下]**があります。

たとえば、A1の原稿をスキャンしたときに給紙サイズがこれよりも小さい(A2など)場合は、位置が左上であれば、原稿ページが左上からトリミングされます。

A2の原稿をスキャンしたときに給紙サイズがこれよりも大きい(A1など)場合は、位置が左上であれば、原稿が左上に配置され、右側と下側に余白が追加されたA1イメージになります。

- **[スキャン解像度]**では、解像度を200、300、600、1200 dpiに設定することができます。
- **[カラー オプション]**では、**[白黒]**、**[グレースケール]**、または**[カラー]**を選択することができます。

- 原稿の背景が完全な白でないか、半透明紙の原稿の場合は、[スマートな背景の除去と詳細な背景の除去]を使用することができます。

スマートな背景の除去では、スキャンした原稿のコンテンツを分析して、コンテンツ(線および領域)を除去することなく、背景を自動的に除去して完全に白い背景にします。スマートな背景の除去は、[グレースケール](カラー オプション)の[線]および[混在]イメージ(コンテンツの種類)でのみ使用できます。スキャン プロセス後にメイン ウィンドウが表示されたら、... に移動して、[背景の削除]を選択します。



詳細な背景の除去では、スマートな背景の除去をオンにしている場合の結果を微調整したり、スマートな背景の除去をオフにしている場合は、あらゆるタイプの原稿に対する手動背景除去レベルを設定することができます。これらの値は-6~+6 で表される濃いめからより淡めまでのスケールを使用して定義できます。これら両オプションのデフォルト値はゼロです。

たとえば、ブループリントの原稿(青い背景の線)をコピーした場合に、スマートな背景の除去を選択した結果、背景にノイズが示される場合は、詳細な背景の除去を増やして(+3 など)、背景を除去して白い背景にすることができます。スマートな背景の除去はページごとに分析されることに注意してください。そのため、背景が異なる複数のページがある場合は、各ページに自動的に異なる除去値が設定されます。

注記：より優れた結果を得るためには、ほとんどの原稿の種類で、コンテンツ(線、領域フィールド、タイトルボックス)が最初の長さ 8.4 cm のスキャン領域にくるように原稿を挿入する必要があります。

アンモニア/古いブループリントの場合は、原稿のスマートな背景の除去アルゴリズムが不均一な背景やノイズの多い背景用に最適化されているため、どちらのサイドからでも挿入することができます。

- [黒強調]は、濃いグレーを黒に変更するために使用できます。



たとえば、テキストと図を組み合わせたブローシャをコピーする場合、黒に見えても実際には濃いグレーにテキストがデジタル化されることがよくあります。プリンタがこのグレーのテキストを受け取ると、塗りつぶされた黒ではなく、分散したドットを使用するハーフトーンパターンで印刷されることがあります。

黒強調の値を大きくすることにより、実際の黒でテキストがコピーされ、したがってよりクリアになります。黒強調オプションを使用する場合は、(グレーではない)他の暗いカラーも黒に変化し、図に小さな暗い点が現れることがあるので、注意が必要です。

黒強調と背景はいずれも限界値として機能し、この設定の特定の値未満か特定の値を超えるピクセルが影響を受けます。これらの値は、黒強調には 0~255 で表される低明度から高明度までのスケールを使用し、詳細な背景の除去には-6~+6 で表されるスケールを使用して定義します。


たとえば、コピーした原稿のテキストをより黒く、背景をより白くすることで原稿を向上させたいとします。この場合は、黒強調の値をデフォルトのゼロから増加し(25 など)、詳細な背景の除去を増やして(6 など)、低明度のピクセルを黒にし、高明度のピクセルを白にします。

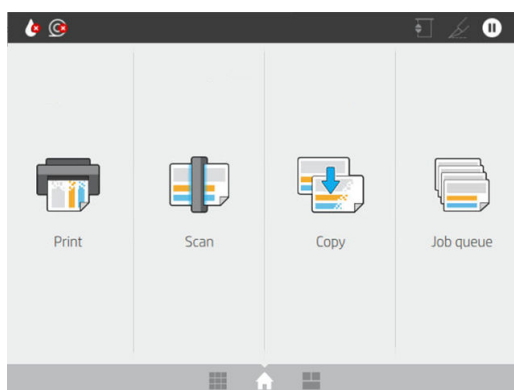
- [スキューの除去]では、デジタル スキュー補正をオンまたはオフにすることができます。
- [スキャン速度を低減して品質を向上]を使用すると、200、300 dpi でのスキャン時に、スキャン速度を落としてスキャン結果を向上することができます。
- [形式] では、ファイル形式を [シングルページ PDF]、[複数ページ PDF]、[JPG]、[シングルページ TIFF]、[マルチページ TIFF]、または [PDF/A] に設定することができます。

 **注記**：PDF ファイルへの出力は、適切なライセンスがある場合にのみ可能です。ライセンスがある場合は、フロントパネルで設定を有効にします。、[スキャナ環境設定] > [PDF/A] の順に選択します。

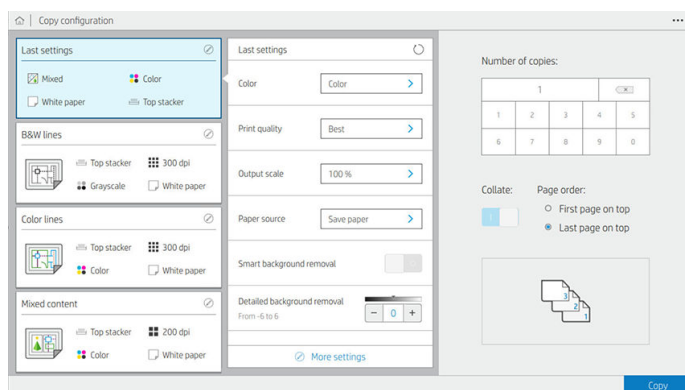
- [圧縮] では、圧縮のレベルを設定できます。
- [ファイル名のプリフィックス]では、生成したファイルのファイル名のプリフィックスを設定することができます。
- [ジョブストレージモード]には、2つのオプションがあります。
 - － [スキャンして削除]：スキャンされたファイルはスキャンキューに保存されません。
 - － [スキャンして保存]：スキャンされたファイルはスキャンキューに保存されます。

コピー

1.  をタップします。



2. コピー ジョブに適したクイックセットを選択します。クイックセットは、すべて🔵をタップして変更できます。



3. 部数、ページ順序(先頭/最終ページが上)、丁合いの有無を選択することができます。


画面の右側には、コピー部数、丁合い、順序、出力デバイスに応じたジョブの印刷方法が表示されます。

4. コピーモードは、... に続いて**[コピーモードの選択]**をタップすることで変更できます。

コピーモードでは、2種類のコピージョブ印刷方法のいずれかを選択することができます。

- **[スキャン中にコピージョブをプリントキューに直接送信]**

- ページのスキャン中にコピージョブを印刷します(排紙先と印刷設定に依存)。
- コピージョブは、キューの他のジョブより優先されます。
- コピージョブのページを削除するオプションは使用できません。
- 給紙サイズは常に自動です。手動値は設定できません。
- 現在印刷中のジョブを中断して、緊急のジョブを印刷する場合は、**[コピーが現在の印刷ジョブを中断できるようにする]**を選択します。

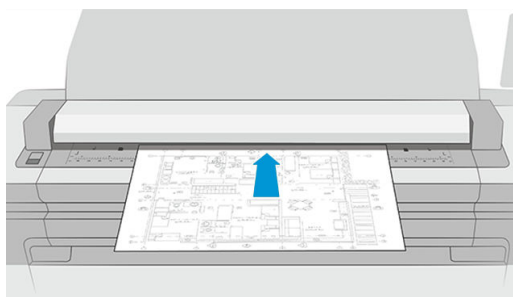
 **注記:** 選択したページの順序が出力デバイスに必要な順序と一致しない場合、または丁合いを使用する場合は、**[完了と印刷]**をタップした時にジョブがジョブキューに送信されます。

- **[すべてのページをスキャンしてからプリントキューに送信]**

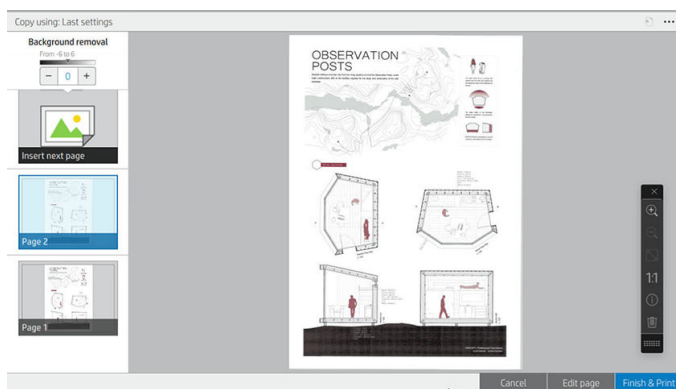
- すべてのページをスキャンした後に、コピージョブを印刷します。
- ジョブキューは、コピージョブの実行中に他のジョブの印刷を継続します。
- コピージョブのページを削除するオプションが使用できます。

5. **[コピー]**を押して次に進みます。

6. 原稿を上向きにして挿入します。



7. 次の画面では、コピーした各ページのプレビューを表示して、サムネールを参照できます。

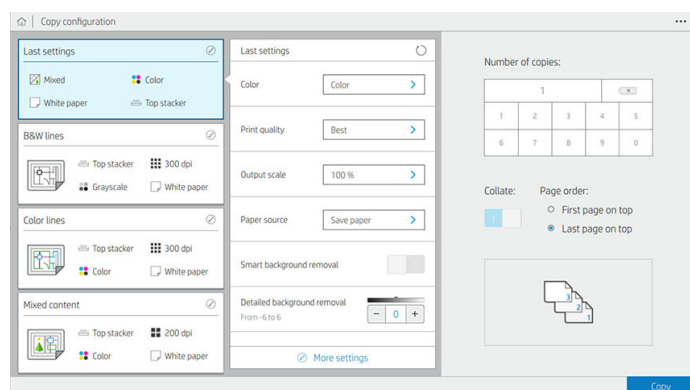


注記：…をタップすると、ツールバーの表示または非表示、背景の除去設定の表示または非表示、および続くページのコピー設定を変更することができます。必要に応じて設定を変更します。次にスキャンされたページに適用されます。

注記：ツールバーのボタンを使用すると、拡大縮小を行ったり、選択したページのスキャナ情報を表示できます。事前定義済みのズームモード【画面に固定】または【元のドキュメントサイズ】を選択することもできます。【すべてのページをスキャンしてからプリントキューに送信】コピーモードを使用している場合は、ページを削除することができます。

8. 他にコピーするページがない場合は、【終了】をタップします。

コピーを開始する前にクイックセットのメイン設定を変更する場合は、…をタップして【クイックセットの詳細パネルの表示】を選択できます。



コピーのクイックセットで以下の設定を使用できます。

- 【クイックセット名】では、使用するクイックセットに名前を付けることができます。
- 【コンテンツの種類】では、コンテンツの種類を【線】、【混在】、【イメージ】に設定することができます。
- 【原稿の種類】では、コンテンツの種類を【白紙】、【フォト用紙】、【古紙/リサイクル紙】、【半透明紙】、【ブループリント】、または【アンモニア/古いブループリント】に設定することができます。
- 【青写真の反転】では、青写真を反転(または反転を無効化)することができます。
- 【原稿の自動リリース】では、スキャンしたページを自動リリースできます。
- 【給紙サイズ】では、給紙ページサイズを【自動】、【カスタムサイズ】、取り付けられている使用可能なロール紙のリスト(【ロール幅】)、幅と長さによる標準サイズの固定リスト(【標準サイズ】)に設定することができます。

[カスタムサイズ]を選択すると、2つの新しい設定が表示されます。

- [カスタム幅]では、特定のスキャン領域幅を設定できます。0を入力すると幅が自動検出されます。
- [カスタム長]では、特定のスキャン領域の長さを設定できます。0を入力すると長さが自動検出されます。
- [向き]では、[給紙サイズ]が[カスタムサイズ]、[ロール幅]、[標準サイズ](A0を除く)に設定されている場合のページの向きを[横]または[縦]に設定することができます。
- [位置]では、給紙サイズが自動でない場合に、給紙サイズ領域に配置する原稿ページの位置を設定することができます。オプションには、[左上]、[上中央]、[右上]、[中央左]、[中央][中央右]、[左下]、[下中央]、[右下]があります。

たとえば、A1の原稿をスキャンしたときに給紙サイズがこれよりも小さい(A2など)場合は、位置が左上であれば、原稿ページが左上からトリミングされます。

A2の原稿をスキャンしたときに給紙サイズがこれよりも大きい(A1など)場合は、位置が左上であれば、原稿が左上に配置され、右側と下側に余白が追加されたA1イメージになります。

- [スキャン解像度]では、解像度を200、300、600 dpiに設定することができます。
- [カラーオプション]では、[白黒]、[グレースケール]、または[カラー]を選択することができます。

- 原稿の背景が完全な白でないか、半透明紙の原稿の場合は、[スマートな背景の除去と詳細な背景の除去]を使用することができます。

スマートな背景の除去では、スキャンした原稿のコンテンツを分析して、コンテンツ(線および領域)を除去することなく、背景を自動的に除去して完全に白い背景にします。スマートな背景の除去は、[グレースケール](カラー オプション)の[線]および[混在]イメージ(コンテンツの種類)でのみ使用できます。



詳細な背景の除去では、スマートな背景の除去をオンにしている場合の結果を微調整したり、スマートな背景の除去をオフにしている場合は、あらゆるタイプの原稿に対する手動背景除去レベルを設定することができます。これらの値は-6~+6で表される濃いめからより淡めまでのスケールを使用して定義できます。これら両オプションのデフォルト値はゼロです。

たとえば、ブループリントの原稿(青い背景の線)をコピーした場合に、スマートな背景の除去を選択した結果、背景にノイズが示される場合は、詳細な背景の除去を増やして(+3 など)、背景を除去して白い背景にすることができます。スマートな背景の除去はページごとに分析されることに注意してください。そのため、背景が異なる複数のページがある場合は、各ページに自動的に異なる除去値が設定されます。

注記：より優れた結果を得るためには、ほとんどの原稿の種類で、コンテンツ(線、領域フィールド、タイトルボックス)が最初の長さ 8.4 cm のスキャン領域にくるように原稿を挿入する必要があります。

アンモニア/古いブループリントの場合は、原稿のスマートな背景の除去アルゴリズムが不均一な背景やノイズの多い背景用に最適化されているため、どちらのサイドからでも挿入することができます。

- **[黒強調]**は、濃いグレーを黒に変更するために使用できます。


たとえば、テキストと図を組み合わせたブローシャをコピーする場合、黒に見えても実際には濃いグレーにテキストがデジタル化されることがよくあります。プリンタがこのグレーのテキストを受け取ると、塗りつぶされた黒ではなく、分散したドットを使用するハーフトーンパターンで印刷されることがあります。

黒強調の値を大きくすることにより、実際の黒でテキストがコピーされ、したがってよりクリアになります。黒強調オプションを使用する場合は、(グレーではない)他の暗いカラーも黒に変化し、図に小さな暗い点が現れることがあるので、注意が必要です。

黒強調と背景はいずれも限界値として機能し、この設定の特定の値未満か特定の値を超えるピクセルが影響を受けます。これらの値は、黒強調には 0~225 で表される低明度から高明度までのスケールを使用し、詳細な背景の除去には-6~+6で表されるスケールを使用して定義します。


たとえば、コピーした原稿のテキストをより黒く、背景をより白くすることで原稿を向上させたいとします。この場合は、黒強調の値をデフォルトのゼロから増加し(25 など)、詳細な背景の除去を増やして(6 など)、低明度のピクセルを黒にし、高明度のピクセルを白にします。

- [コントラスト]では、コントラストのレベルを設定できます。
- [スキューの除去]では、デジタルスキュー補正をオンまたはオフにすることができます。
- [スキャン速度を低減して品質を向上]を使用すると、200、300 dpi でのスキャン時に、スキャン速度を落としてスキャン結果を向上することができます。
- [印刷品質]では、印刷品質を[線画/高速]、[均一の塗りつぶし]、[高精細]に設定することができます。
- [出力スケール]では、出力ページサイズを選択できます。
- [給紙方法]では、ロール紙 1 またはロール紙 2 で印刷を指定するか、または[用紙の節約]を選択して、印刷に適する最も幅の狭いロール紙を自動的に選択できます(2つのロール紙が取り付けられている場合)。


 **注記：** プリンタの[ロール紙幅の選択]の設定には、[同幅の用紙のみ印刷]および[同幅以上の用紙のみ印刷]という2つの値があります。[同幅の用紙のみ印刷]を選択すると、ページと同じ幅のロール紙のみに各ページが印刷されます。

- [用紙のカテゴリ]では、印刷に使用する用紙のカテゴリを変更することができます。
- [回転]では、回転を[自動]、[0°]、[90°]、[180°]、または[270°]に設定することができます。
- [アライメント]を使用すると、ロール紙上のイメージの位置を決定することができます。
- [コピーのマージン]では、プリンタのデフォルトのマージンを変更できます。
- [ジョブストレージモード]には、2つのオプションがあります。
 - [印刷して削除]：ジョブはジョブキューに保持されません。
 - [印刷して保存]：ジョブはジョブキューに保持されます。
- [排紙先]では、プリンタに使用できるものの中から排紙先を選択できます。
- [折畳スタイル]では、折畳デバイスが取り付けられている場合に、折畳スタイルを選択することができます。折畳デバイスを使用するには、[排紙先]設定で[折畳デバイス]を選択する必要があります。

スキャナの環境設定

 をタップし、[スキャナの環境設定]を選択すると、次の設定を選択できます。

- [スキャナ IQ プロットのプリント]：詳細については、[124 ページのスキャナ診断プロット](#)を参照してください。
- [スキャナのキャリブレーション]：詳細については、[179 ページのスキャナのキャリブレーションを行う](#)を参照してください。
- [給紙の遅延]では、スキャナに原稿を給紙する前の遅延を追加することができます。

 **注記：** 最小ディレイは1秒です。必要に応じて追加することができます。

- [PDF/A]では、アーカイブ用の PDF/A 形式を有効にすることができます。
- [白紙用の拡張カラー]を使用すると、[原稿の種類]が[白紙]の場合に拡張カラーを再現できます。

スキャナのトラブルシューティング

このセクションでは、最も一般的な問題や障害モードを、関連性や出現頻度別に示します。不具合とは、CIS スキャナを使用した場合に通常発生する一般的なイメージアーティファクトです。これらの不具合は、設定が正しくないか、製品の限界であるか、または簡単に解決可能な間違いに起因します。障害モードは一部のスキャナ コンポーネントの故障に起因します。

ここで提案される修正措置の一部では、[124 ページのスキャナ診断プロット](#)で説明されているように、印刷およびスキャン可能なスキャナ診断プロットを使用する必要があります。スキャナをテストする場合、このガイドの印刷版を使用しないでください。印刷版に含まれているイメージの解像度はテストには不十分です。この章で説明されているエラーに応じて、推奨される場合は診断プロットを使用してください。

最初のインストール時、またはスキャナの品質が重要な場合に、CIS センサーのクリーニングを推奨します。

不規則な縦線

これはシートフィード スキャナの最も一般的な問題の 1 つです。通常、縦線は、スキャナ内部のほこりの粒子、またはスキャナのキャリブレーションエラーが原因で発生します(この場合は、問題を解決できます)。以下は、縦線ができていないイメージの例です。この例の黒い矢印は、スキャン方向を示しています。



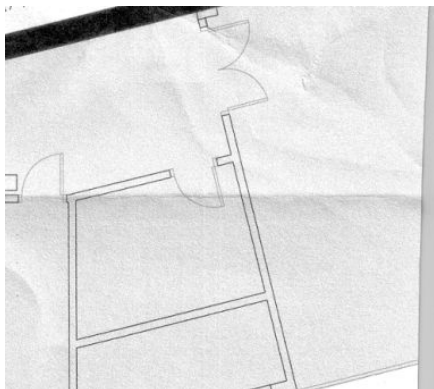
対処

1. [177 ページのスキャナのガラスプレートをクリーニングする](#)の説明に従って、スキャナのガラスプレートおよびスキャンする原稿をクリーニングします。その後、原稿を再度スキャンします。
2. 線がまだ残っている場合は、[179 ページのスキャナのキャリブレーションを行う](#)の説明に従って、スキャナの再キャリブレーションを実行します。スキャナのキャリブレーションを実行する前に、保守シートをクリーニングし、保守シートが破損していないことを確認します(破損している場合は、サポート担当者に連絡して、新しい保守シートを依頼してください)。キャリブレーションが完了したら、原稿を再度スキャンします。
3. 線がまだ残っている場合は、スキャナのガラスプレートを目で確認します。破損がある(傷がついていたり、割れている)場合は、サポート担当者に連絡してください。
4. 線が残っている場合は、ガラスプレート内部にほこりの粒子がある場合があります。[177 ページのスキャナのガラスプレートをクリーニングする](#)の説明に従って、ガラスプレートを取り外して、クリーニングしてください。

注記： CIS テクノロジーの技術的な限界が原因の場合は、縦線の問題を常に解決できるわけではありません。HP では、高い品質要件を満たすために、CCD テクノロジーを備えた HD スキャナを提供します。上記のような修正措置を行っても線が残る場合は、さらに高価な CCD スキャナを購入する以外に、イメージ品質を向上させる手段はありません。


しわや折れ

CIS テクノロジ ベースのスキヤナには、フィールドが非常に制限される代わりに、光学的に高い解像度を備えたフォーカス プレーンが備わっています。したがって、スキヤンされる原稿がガラス プレートに対して完全に平らである場合には、イメージは鮮明で詳細まで表現されます。ただし、原稿にしわや折れが含まれる場合には、以下の例に示す通り、スキヤンされたイメージにこれらの問題がはっきりと見えます。



対処

1. コンテンツの種類を【イメージ】に設定し、コントラストと白レベルを 0 に設定して、原稿を再スキヤンします。
2. 問題が解決しない場合は、スキヤナの解像度を下げて原稿を再スキヤンします(スキヤンする場合は「標準」品質、コピーする場合は「高速」または「標準」)。スキヤンをやり直す前に、原稿を可能な限り手で平らにしておくことを推奨します。

 **注記** : CIS テクノロジの技術的な限界が原因の場合は、しわの問題を常に解決できるわけではありません。HP では、高い品質要件を満たすために、CCD テクノロジを備えた HD スキヤナを提供します。上記のような修正措置を行ってもしわが残る場合は、さらに高価な CCD スキヤナを購入する以外に、イメージ品質を向上させる手段はありません。

線が不連続になる

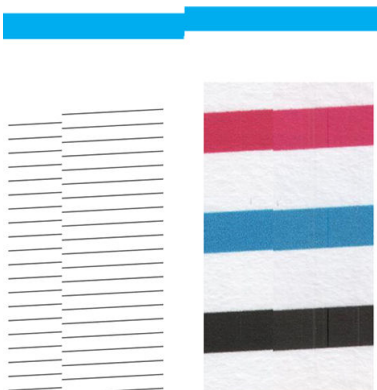
大きな原稿をスキヤンまたはコピーする場合は、以下のイメージに示されるような問題が見つかる場合があります。ここでは、直線(必ずしも水平であるとは限らない)が不連続または小さな筋で現れます。この例の黒い矢印は、スキヤン方向を示しています。



対処

1. プリンタが正しく配置され(床の上に平らに置かれ、動かない)、スキャン中に印刷していないことを確認した上で、可能であればより高い解像度を使ってスキャンをやり直します。原稿を 90 度または 180 度回転させて再びスキャンすると、問題が解決する場合があります。
2. 問題が解決しない場合は、スキャンする原稿にスキューが生じていないこと、またスキャン中にスキューが生じていないことを確認します。必要に応じて、[120 ページの不適切な用紙送り、スキャン中のスキュー、横のしわ](#)を参照してください。[123 ページのコピーしたイメージまたはスキャンイメージに多くのスキューが生じている](#)で説明されているように、自動デスクューアルゴリズムを無効にすることもできます。
3. スキューはないけれど問題が解決しない場合は、[177 ページの「スキャナの保守」](#)で説明されているように、スキャナのクリーニングとキャリブレーションを実行します。キャリブレーション中にプリンタを動かさないように気をつけてください(スキャナ キャリブレーション中にプリンタで印刷しないでください)、またキャリブレーションを開始する前に保守シートが正しく配置されていることを確認してください。また、スキャナのキャリブレーション前に保守シートが破損していないことを確認してください(古い保守シートまたは破損している保守シートによってこの問題が発生する可能性があります)。破損している場合は、サポート担当者に連絡して、新しい保守シートを依頼してください。
4. 問題が解決しない場合は、診断プロットの以下の領域の分析に進んでください。
 - a. 4 (モジュール A ~ E)
 - b. 10、モジュール間の接合部
 - c. 13 (モジュール A および E)、および 14 (モジュール B、C、D)

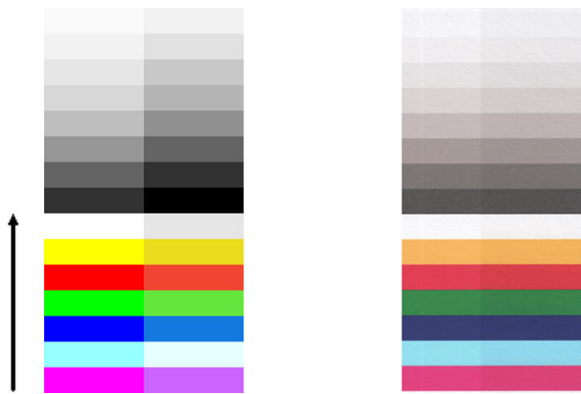
分析領域でこれらの問題が見られる場合は、サポート担当者に連絡して、キャリブレーション後に「線が不連続になる」エラーがあると報告してください。



診断プロットの最初と最後の 4 つの縦の黒線は、CIS モジュール間の接合部のおよその位置を示しており、この種のエラーは通常この接合部あたりに発生します。これらの領域の外側にエラーが表示される場合は、サポート担当者に連絡して、「CIS モジュール内で線が不連続になる」と報告してください。

隣接する CIS モジュール間のわずかな色の差異

ワイドプロットをスキャンする場合は、2 つの CIS モジュール間の接合部の両側にわずかに異なる色が見られる場合があります。この問題(存在する場合は)、CIS モジュール間の接合部の診断プロットのパターン 9 を分析することによって簡単に確認できます。以下にいくつか例を示します。この例の黒い矢印は、スキャン方向を示しています。



以下の例のように、隣接するモジュール間の色の不一致が非常に多く、重大なスキャナの異常を示す可能性があります。

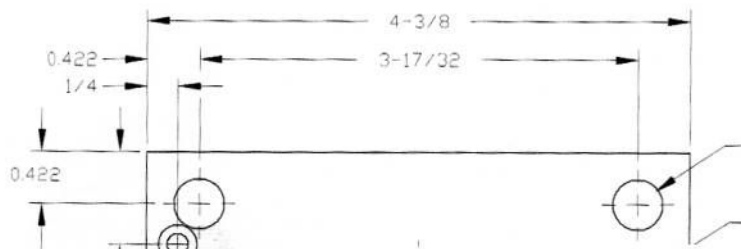


対処

1. コンテンツの種類を【**イメージ**】に設定し、白レベルを 0 に減らしてスキャンまたはコピーを繰り返すか、または再度スキャンする前に原稿を 90 度回転させます。
2. 問題が解決しない場合は、[177 ページの「スキャナの保守」](#)で説明されているように、スキャナのクリーニングとキャリブレーションを実行します。キャリブレーションがエラーなしで終了したら、診断プロットのパターン番号 9 およびモジュール A~E の分析に進んでください。
3. パターン 9 を分析した後で、中間色および鮮明な色のバーの左側および右側の間で多少の色の差異が見られる場合は、サポート担当者に連絡して、「隣接した CIS モジュール間のわずかな色の差異」について報告してください。

線の太さがまちまちである、または線が印刷されない

「標準」解像度で CAD プロットをスキャンする際、主に極細の線を含むグレースケールまたはモノクロ印刷の場合、線の太さがまちまちであったり、線が印刷されない場合があります。

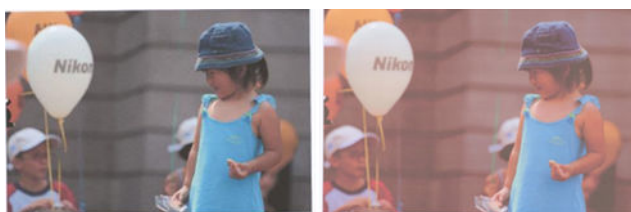


対処

1. より高い解像度を使用してスキャンまたはコピーを繰り返します(スキャンの場合は「高」または「最大」、コピーの場合は「標準」または「高品質」)。また、白レベルを2に設定するか、コンテンツの種類を【混在】に設定する必要もあります。[123 ページのコピーしたイメージまたはスキャンイメージに多くのスキューが生じている](#)で説明されているように、自動デスクューアルゴリズムを無効にすることもできます。モノクロモードで作業している場合は、代わりにグレースケールを使用することを推奨します。
2. 問題が解決しない場合は、スキャンをやり直す前に元のプロットをを90度回転させます。
3. 問題が解決しない場合は、[177 ページの「スキャナの保守」](#)で説明されているように、スキャナのクリーニングとキャリブレーションを実行します。

色が正確に再現されない

スキャンする原稿と、その結果として得られるコピーまたはスキャンファイルの色が完全に一致している必要がある場合、いくつかの異なる状態に対処する必要があります。以下の例のように、望ましくない色が見られる場合(左側が原稿、右側がスキャンイメージ)、ここでのガイドラインに従います。



対処

1. スキャンする前に、スキャン設定で正しい用紙の種類を選択したことを確認します。
2. コピーの場合、原稿とそのコピーの間で色が一致するのは、両方が同じ種類の用紙に印刷される場合のみであることに注意してください。スキャンファイルの場合、モニターでカラーキャリブレーションが実行されるか、sRGB または AdobeRGB 標準に準拠している場合にのみ、色が一致します。
3. 上記の条件が満たされていても、さまざまなスキャナ設定が、コントラスト、白レベル、コンテンツの種類、用紙の種類などの最終的なカラーの結果に影響を及ぼすことを考慮する必要があります。最高のカラーを取得するには、コントラストと白レベルを0に設定し、コンテンツの種類を【イメージ】に設定して、スキャンしている原稿に応じて最も適切な用紙の種類を選択します(用紙の種類が不確かな場合は、フォト用紙を使用します)。
4. イメージ調整設定は、一定の時間が経つと自動的にデフォルト値にリセットされるため、ジョブを開始する前に設定を確認しないと、同じ原稿をコピーしても異なる結果が表示される場合があります。
5. PDF ファイルにスキャンした場合は、Adobe Acrobat の PDF ファイルを開いて、それを PDF/A ファイルとして保存してください。詳細については、<http://www.adobe.com/products/acrobat/standards.html> を参照してください(英語のみ)。
6. 最適な色の結果を得るには、[177 ページの「スキャナの保守」](#)で説明されているように、スキャナのクリーニングとキャリブレーションを実行します。
7. スキャナは、直射日光が当たる場所や、冷熱源の近くには置かないでください。

色ぶち

「色ぶち」と呼ばれる問題は、適切ではない用紙送りやキャリブレーションエラーによってスキヤナが影響を受ける場合に発生します。ただし、特に高速スキヤンの場合には、若干の色ぶちは避けられません。色ぶちは、以下に示す例のように、シャープな黒色のテキストが白い背景に表示されている場合、その境界に見られます(左側が原稿、右側がスキヤンイメージ)。黒い矢印は、スキヤン方向を示しています。



対処

1. スキヤナの解像度を上げた後でスキヤンを繰り返します(スキヤンの場合は「最大」品質、コピーの場合は「高品質」を選択します)。必要な場合は、スキヤンをやり直す前に、原稿を90度回転させます。
2. 問題が解決しない場合は、[177ページの「スキヤナの保守」](#)で説明されているように、スキヤナのクリーニングとキャリブレーションを実行します。より高い解像度でスキヤンを繰り返し(スキヤンの場合は「最大」、コピーの場合は「高品質」)、問題がなくなるかどうか確認します。
3. それでも問題が解決しない場合は、診断プロットのパターン6および8(A~E)を分析することによってこの問題を診断できます。黒色の横線が上下の両端にわずかに色付いて見えます(以下の右側の例)。通常、上部は赤色、下部は青色または緑色に見えますが、反対の場合もあります。



この影響が見られる場合は、サポート担当者に連絡して、「キャリブレーション後の色ぶちの問題」について報告してください。

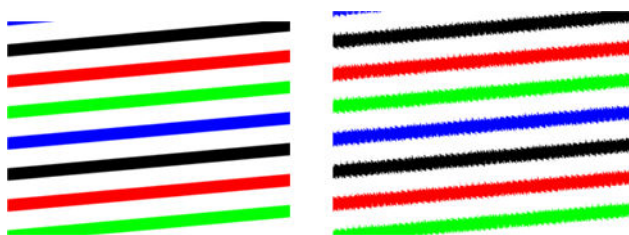
振動

プリンタが平らな面に正しく配置されない場合、またはスキヤナのふたが正しく閉まっていない場合、以下の例のように、スキヤンイメージに、振動による影響が見られる場合があります。左側が原稿、右側がスキヤンイメージです。



1. スキヤナが平らな面に配置されていて、スキヤナのふたが正しく閉められ、プリンタがスキヤン中に機能していないことを確認します。原稿をスキヤンし直します。
2. 問題が解決しない場合は、スキヤンの解像度を変更し(上げるか下げる)、原稿をスキヤンし直します。原稿のスキヤンをやり直す前に、90度回転させることも推奨します。

3. 問題が解決しない場合は、診断プロットのパターン4を分析します。右側に問題が見られる場合は、サポート担当者に連絡して、「振動の問題」について報告してください。




不適切な用紙送り、スキャン中のスキュー、横のしわ

厚い光沢原稿がスキャナ用の紙経路を移動する際に、問題が発生する場合があります。また、スキャンプロセス中に原稿にスキューが生じる場合があります。

用紙ローラーの一部が正しく機能していない場合、用紙が特定の場所で詰まり、スキャンしたイメージに小さな横のしわが現れる場合があります。

対処

1. 原稿を90度回転させて、スキャンをやり直します。

 **重要：**スキャン中に用紙を止めないでください。

2. 問題が解決しない場合は、スキャナのふたを開けます。移動キャスター(小さなグレーのラバー)と圧力ロール(幅広い白色のプラスチック)をクリーニングします。すべての圧力ロールが自由に動くかどうかを確認します。ローラーの動きの障害となるほこりの粒子または物体が見られる場合は、それらを取り除いて、スキャナのふたを閉じてから、スキャンをやり直します。
3. 問題が解決しない場合は、スキャナをオフにしてから再びオンにして、再起動してください。この操作中にフロントパネルにエラーメッセージが表示される場合は、サポート担当者に連絡して、エラーメッセージについて報告してください。エラーメッセージが表示されない場合は、スキャンをやり直してみてください。
4. 問題が解決しない場合は、診断プロットのパターン4、13、14を分析します。診断プロットは次のように見えるはずです。



以下の不正な例に似たイメージが表示される場合は、サポート担当者に連絡して、「用紙送りが正しく行われない」問題について報告してください。



20cm 幅の縦方向の黒いバンディング

スキャナにはさまざまな CIS モジュールがあり、それぞれが 20cm 幅の領域をカバーしています。モジュールの 1 つで障害が発生していても、スキャナハードウェアチェックでその障害が検出されない場合、1 つの CIS モジュールによってカバーされる領域に対応する、スキャンイメージまたはコピーの部分に黒い縦線が現れる場合があります。

以下に例を示します。左側が原稿、右側がスキャンイメージです。黒い矢印は、スキャン方向を示しています。



対処

1. スキャナのふたを開き、5 つの CIS モジュールの赤、緑、青のランプが交互に点滅していることを確認します。モジュールに障害が発生している場合、サポート担当者に連絡して、「CIS モジュールの照明」エラーを報告してください。
2. 前の手順ですべてのモジュールが正しく点灯している場合、スキャナをオフにしてから再びオンに切り替えて、再起動します。この操作中にフロントパネルにエラーメッセージが表示される場合は、サポート担当者に連絡して、エラーメッセージについて報告してください。エラーメッセージが表示されない場合は、スキャンをやり直してみてください。
3. 問題が解決しない場合は、[179 ページのスキャナのキャリブレーションを行う](#)で説明されているように、スキャナのキャリブレーションを実行してみてください。この操作が失敗したら、サポート担当者に連絡して、フロントパネルに表示されたエラーコードについて報告してください。エラーコードが表示されない場合は、スキャンをやり直してみてください。
4. 問題が解決しない場合は、サポート担当者に連絡して、「20cm 幅の縦方向の黒いバンディング」について報告してください。

スキャナが原稿に損傷を与える

HP では、このスキャナの使用により、厚い光沢紙のインクジェット原稿に縦の傷が生じる場合があることを認識しています。非常に薄いトレーシングペーパーまたは古い原稿も損傷を受ける可能性があります。これは、CIS テクノロジーには、正確な結果を取得して、ぶれやピンぼけの問題を避けるために高圧力で原稿を押さえる必要があるためです。

スキャンする原稿が貴重なものであったり、またその原稿が上記のタイプの 1 つに属している場合(インクジェット印刷、厚い原稿、光沢原稿、または古い/薄い/トレーシングペーパーの原稿)、HP DesignJet T1200 HD MFP などの CCD スキャナを使用することを推奨します。

二重になったオブジェクト(ゴースト)

このエラーは CIS スキャナではめったに現れません。ただし、以下のようなイメージの問題が見られる場合があります。左側が原稿、右側がスキャンイメージです。



許可により再現されたイメージ© www.convincingblack.com。

対処

1. プリンタを再起動します。次に、[179 ページのスキヤナのキャリブレーションを行う](#)で説明されているように、スキヤナのキャリブレーションを実行して、スキヤンを繰り返します。スキヤンをやり直す前に、可能であれば原稿を 90 度回転させます。
2. 問題が解決しない場合は、診断プロットのマジュール A~E のパターン 3 を分析します。右側にエラーの種類が表示される場合は、サポート担当者に連絡して、「二重になったオブジェクト」の問題を報告してください。



コピーまたは印刷で縮小する際に発生するクリッピングまたは不適切な倍率

コピーまたは印刷を実行する場合 (USB またはプリンタ ドライバから)、倍率設定には可能なさまざまなオプションがあります。境界近くのイメージが印刷されない問題が発生している場合、または印刷の倍率調整が正しく行われていない場合、今後のジョブで最適な倍率の設定値を選択するために、このセクションを注意してお読みください。

- **正確な倍率**：この場合は、元のイメージのコンテンツが、選択した割合によって縮小されます。例えば、元の CAD イメージが 1:100 の倍率の場合に、ユーザーが 50% の倍率を選択すると、印刷されたプロットは正確に 1:200 の倍率になります。ただし、固定の割合を選択して縮小すると、プリンタが用紙の端から端まで印刷できないため、プロット境界近くのコンテンツが切り取られる場合があります。
- **ページサイズに合わせてスケール**：この場合は、すべてのコンテンツが正しく印刷され、クリッピングが発生しないようにするために、必要な割合で元のイメージのコンテンツが拡大・縮小されます。ただし、[用紙に合わせる]を選択して縮小すると、調整された倍率は元の倍率を整数で除算したものにはならない場合があります。例えば、元の CAD プロットが A2 用紙サイズの 1:100 の場合に、ユーザーが A3 の用紙サイズに合わせるように倍率を選択すると、倍率は正確に 50% にはならず、印刷されたプロットは正確に 1:200 にはなりません。ただし、プロットはコンテンツのクリッピングなく完全に印刷されます。

トレーシングペーパーのスキャン時の正しくないエッジ検出


完全に透明な用紙はサポートされていませんが、トレーシングペーパーまたは半透明な用紙をスキャンして、良い結果が得られる場合があります。ただし、用紙の端の検出が正確でないと、場合によっては余分なマージンやコンテンツのクリッピングが生じます。ガラスプレートが汚れていると、普通紙をスキャンしても発生する可能性があります。これらの悪影響を避けるには、以下の推奨事項を実行します。

対処

1. スキャナのガラスプレートおよびスキャンする原稿を布で慎重にクリーニングします。可能な場合は、原稿を90度回転させてから、スキャンし直します。原稿が半透明である場合は、スキャナの用紙の種類として**[半透明]**を選択します。
2. 問題が解決しない場合は、スキャナのキャリブレーションを実行して、あとで原稿を再スキャンします。
3. 半透明紙の場合に問題が解決しない場合は、スキャンする原稿の裏に白紙を取り付けます。この場合にはスキャナの用紙の種類として、**[白紙]**を選択します。

コピーしたイメージまたはスキャンイメージに多くのスキューが生じている

多くの場合、原稿はある程度のスキューを伴ってスキャナに取り付けられます。この避けられない問題を修正するために、スキャナには自動デスキューアルゴリズムが内蔵されています。これは原稿のスキューを測定して、スキャンイメージを回転させ、完全にまっすぐな結果にするためのものです。ただし、場合によっては、デスキューアルゴリズムによりスキューが修正されるのではなく、むしろ増加することがあります。つまり、スキューが悪すぎるため自動的に修正できません。

原稿を最小のスキューで取り付けるには、原稿のイメージ側を上に向けて、左右の端を持ちます。スキャナの入カトレイに手や原稿を置かないでください。原稿の先端全体がスキャナのラバーロールに十分あたっていると感じるまで、原稿をスキャナの挿入スロットに入れます。0.5秒後に原稿が引き込まれます。これで原稿から手を放すことができます。原稿の固定方法を変更する場合は、をタップして、再び実行できます。

自動デスキューアルゴリズムの動作は、またはをタップすることで無効にできます。使用するクイックセットを選択し、**[詳細設定]**をタップして、**[デスキュー]**を無効にします。

ネットワークフォルダにアクセスできない

ネットワークフォルダを設定していても、プリンタがそれにアクセスできない場合は、以下の対処を試してください。

- 各フィールドに正しく入力していることを確認する。[22ページのネットワークフォルダの構成](#)を参照してください。
- プリンタがネットワークに接続されていることを確認する。
- リモートコンピュータがオンになっていて、正常に機能しており、ネットワークに接続されていることを確認する。
- フォルダが共有されていることと、そのフォルダに対して適切なアクセス権と機能の用途を持っていることを確認する。

- プリンタのログオン資格情報を使用して、ネットワーク上の別のコンピュータから同じフォルダにファイルの保存/読み取り(機能の用途に応じて)を行うことができるかどうかを確認する。
- プリンタとリモートコンピュータが同じネットワークサブネットにあることを確認します。同じサブネットにない場合、ネットワークルータがCIFSプロトコルトラフィック(Sambaとも呼ばれます)を転送するように設定されていることを確認します。

スキャンしてファイルに保存する処理が遅い

大判の原稿をスキャンすると、大きなファイルが作成されます。これは、ファイルへのスキャンが最適なシステム設定および条件下でさえも時間がかかる可能性があることを意味します。これは特に、ネットワークを介してスキャンする場合に当てはまります。ただし、お使いのシステムでのファイルへのスキャンが異常に低速であると思う場合は、以下の手順を実行すると、問題を見つけて、解決できる場合があります。


1. フロントパネルを使用して、スキャンジョブのステータスを確認します。異常に長い時間がかかっている場合は、ジョブを選択して、キャンセルできます。
2. **【解像度】**設定がジョブに対して適切であることを確認します。すべてのスキャンタスクに高解像度が必要なわけではありません。解像度を下げると、スキャン処理が高速化します。JPEGとPDFのスキャンのジョブの場合、**【品質】**設定を変更することもできます。低品質にすると、小さいサイズのファイルが作成されます。
3. ネットワーク設定を確認します。最適なスキャン速度を得るためには、ネットワークをギガビットイーサネットまたはより高速な転送レートのいずれかにする必要があります。ネットワークが10/100イーサネット設定である場合、スキャンデータの転送がより低速になると想定されるため、スキャン速度がより遅くなる可能性があります。
4. 速度を増すためのネットワーク設定、転送レート、ネットワーク上のスキャンファイルの保存先、および可能な解決策については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
5. ネットワーク上でファイルへのスキャンが非常に低速で、ネットワーク設定を変更してもそれを修正できない場合は、USBフラッシュドライブにスキャンすることによって速度を改善できます。
6. USBフラッシュドライブへのスキャンも低速な場合、USBフラッシュドライブインタフェースの互換性を確認してください。お使いのシステムは高速USBインタフェースをサポートしています。USBフラッシュドライブが高速USB(USB2と呼ばれる場合もある)と互換性がある必要があります。また、スキャンした大判のイメージを保存するための十分な領域がUSBフラッシュドライブにあることを確認してください。

スキャナ診断プロット

プリンタと診断シートを印刷する用紙を準備する

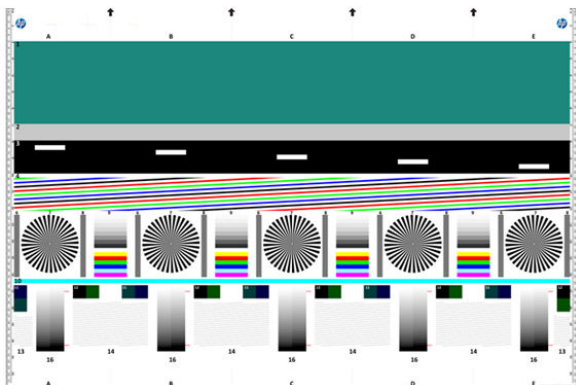
プリンタの電源をオンにして、操作できるようになるまで待ちます。診断プロットを印刷する用紙を選択します(診断プロットを大切に保存すれば、今後いつでも再利用できます)。診断プロットは、光沢紙に印刷するのが最適です。プリンタを主にフォト原稿(ポスター、光沢紙に印刷された写真など)のスキャンまたはコピーに使用する場合は、光沢紙の使用を強く推奨します。プリンタを主にマット原稿のスキャンまたはコピーに使用する場合は、診断プロットの印刷にマットの白紙を使用できます。このプロットを印刷する場合、再生紙やトレーシングペーパーを使用しないでください。診断プロットのサイズは、610×914mmです。914mmの横置きのリール紙または610mmの縦置きのリール紙に印刷できます。また、少なくとも610×914mmの単独のカット紙を使用することもできます。


正しい用紙を取り付けたら、この用紙がカラー キャリブレーションを許可している場合は、プリンタのカラー キャリブレーションを実行することを推奨します。

診断プロットは、フロントパネルから 、[スキヤナの環境設定]>[スキヤナ IQ プロット]をタップしてプリントできます。

診断シート印刷後のエラーのビジュアルチェック

診断プロットが印刷されたら、最初の手順は、それに含まれるすべてのパターンが正しく印刷されていることを確認することです。正しく印刷された場合、診断プロットは次のように見えるはずですが、



問題が見つかった場合は、推奨される回復手順に従う必要があります。この手順を実行するには、フロントパネルで 、[スキヤナの環境設定]>[スキヤナ IQ プロットのプリント]の順にタップします。プリンタが診断され、正しく機能していたら、[124 ページのスキヤナ診断プロット](#)の説明に従って診断プロットを再印刷できます。

診断プロットのスキャンまたはコピー

診断プロットの評価用の2つのオプションがあります (JPEG ファイルのスキャン、または用紙にコピー)。必要に応じて、生成されたファイルがリモート サポート エンジニアによってより簡単に分析できるように、スキャン オプションを使用することを推奨します。プロットをスキャンする場合は、最初にコンピュータのモニタを調整します。診断プロットをスキャンしたら、イメージビューアソフトウェアでスキャンしたファイルを開き、パターンの視覚的評価修正のため 100%のズームを選択します。

コピーする場合は、少なくとも 914mm (36 インチ)幅のロール紙をプリンタに取り付けます。できるなら、診断プロットを印刷するために使用した用紙の種類をコピーにも使用します。

以下の設定を選択する必要があります。

スキャン


- 品質：最高
- ファイルの種類：JPG
- コンテンツの種類：イメージ
- 圧縮：中
- 用紙の種類：診断プロットの印刷に使用した用紙に従って、フォト用紙またはマット紙。不確かな場合はフォト紙を使用します。


コピー

- 品質：高品質
- コンテンツの種類：イメージ
- 用紙の種類：診断プロットの印刷に使用した用紙に従って、フォト用紙またはマット紙。不確かな場合はフォト紙を使用します。

プロットの印刷面を上に向けて、診断プロットをスキャナの入力トレイに挿入します。診断プロットの黒色の矢印は、取り付け方向を示しています。診断プロットがスキューなしで取り付けられ、中央に配置されていること(つまり、スキャナ領域全体をおおっていること)を確認します。

診断プロットをスキャンしたら(スキャン オプションを選択した場合)、イメージビューアソフトウェアでスキャンしたファイルを開き、パターンの視覚的評価修正のため 100%のズームを選択します。

 **注記**：プロットを評価するモニタでキャリブレーションを行うのが理想的です。

 **注記**：後で使用するために診断プロットを保存して、再印刷内容を保存します。

HP Smart アプリからのスキャン

HP Smart App (Android と iOS で使用可能) を使用して、モバイル デバイスに直接スキャンすることもできます。詳しくは、[89 ページの HP Smart アプリから印刷、スキャン、共有](#)を参照してください。

9 カラーマネジメント

- [はじめに](#)
- [色が表される仕組み](#)
- [カラーマネジメントプロセスの概要](#)
- [カラーキャリブレーション](#)
- [プリンタドライバからのカラーマネジメント](#)
- [フロントパネルからのカラーマネジメント](#)

はじめに

カラー マネージメントは、ディスプレイまたは印刷デバイスで可能な限り正確に色を再現できる一連のソフトウェア ツールを使用して実行されます。

加えて、本プリンタは、先進のハードウェアとソフトウェアによって期待通りの信頼できる結果を約束します。

- 一貫した色を再現するためにカラーキャリブレーションを行います。
- フォトペーパーに印刷するときは、フォトブラック インクが純粋な黒を再現します。

色が表される仕組み

カラーは通常、数字の配列で表されます (RGB カラー モデルでは 3 つの数字または CMYK のカラー モデルでは 4 つの数字)。これらの数字は、特定のカラーを生成する混合で使用されるベースカラーの尺度です。RGB は、赤 (Red)、緑 (Green)、青 (Blue) の混合を使用して特定のカラーを生成していることを意味します。CMYK の場合は、シアン (Cyan)、マゼンタ (Magenta)、イエロー (Yellow)、キー (Key) (キーは、歴史的な理由で黒を意味します)。

ほとんどのモニタでは RGB モデルが使用されますが、ほとんどのプリンタでは CMYK カラー モデルが使用されます。

イメージは、あるカラー モデルから別のカラー モデルに変換できます。ただし、一般に変換は完全ではありません。本プリンタは、RGB カラー モデルを使用しています。これは、モニタで使用されているものと同じカラー モデルです。

これにより、カラーのマッチングの問題は単純化されますが、完全に解決されるわけではありません。各デバイスは、たとえ同じカラー モデルを使用していても、他のデバイスとは少し異なるカラーを再現します。ただし、カラー マネジメントソフトウェアから、特定のデバイスの特性に従ってイメージのカラーを調整できます。その際、正しい色を実現するためにデバイスのカラー プロファイルが使用されます。

カラー マネジメント プロセスの概要

正確で一貫した期待どおりの色を得るために、使用する用紙の種類に応じて以下の手順に従ってください。

1. 一貫した色を再現するために、用紙の種類に対してカラーキャリブレーションを行います。キャリブレーションはときどき行う必要があります ([128 ページのカラー キャリブレーション](#)を参照)。また、特に色再現が重要な印刷ジョブの前には、ただちにキャリブレーションを実行します。
2. 印刷時に、使用する用紙の種類に合った適切な用紙プリセットを選択します。用紙プリセットには、カラー プロファイル*と用紙の他のさまざまな特徴が含まれます。 [49 ページの用紙プリセット](#)を参照してください。




*カラー プロファイルにはプリンタ、インク、および用紙の組み合わせが記述されており、これらのカラー変換に必要なすべての情報が含まれています。

カラー キャリブレーション


カラーキャリブレーションを行うことによって、プリンタの特定のプリントヘッド、インク、および使用する用紙の種類に合わせて、また特定の環境条件に応じて、色調を統一することができます。カラーキャリブレーションを行うと、異なる場所にある 2 つのプリンタから同様の印刷物を出力することができます。

用紙の種類によってはキャリブレーションを行うことができない場合があります。それ以外の種類の用紙では、以下の状況の場合にキャリブレーションを行ってください。


- プリントヘッドを交換した場合
- 現在のプリントヘッドでキャリブレーションを実行したことがない新しい用紙の種類を使用する場合
- 環境条件(温度や湿度など)が大きく変化した場合


現在取り付けられている用紙のカラーキャリブレーション状況は、フロントパネルの  をタップし、、、**[カラーキャリブレーション状況]**を順にタップすることで確認できます。ステータスは以下のいずれかになります。

- **推奨**: この用紙でキャリブレーションが実行されていません。

 **注記**: プリンタのファームウェアを更新した場合、すべての用紙のカラーキャリブレーションステータスは**推奨**にリセットされます。

- **失効**: この用紙でキャリブレーションが実行されましたが、プリントヘッドが交換されて現在失効しているため、キャリブレーションをもう一度実行する必要があります。
- **完了**: この用紙でキャリブレーションが実行され、そのキャリブレーションが有効です。
- **無効**: この用紙でキャリブレーションを実行することはできません。

 **注記**: カラーキャリブレーションは、普通紙やすべての種類の透明紙では実行できません。

フロントパネルからカラーキャリブレーションを開始できます。 をタップしてから**[カラーキャリブレーション]**をタップし、**続行**を押します。用紙を選択して**OK**を押します。

キャリブレーションプロセスは完全自動であり、キャリブレーションする種類の用紙(幅が355 mmを超える用紙)を取り付けた後、自動的に実行できます。複数のロールが取り付けられている場合、キャリブレーションに使用するロールの確認が求められます。

この処理には3~5分ほどかかります。以下の手順で実行されます。

1. キャリブレーションチャートが印刷されます。これには、プリンタで使用される各インクのパッチが印刷されています。



2. チャートは、インクが乾いてカラーが安定するまでプリンタに保持されます。この時間は用紙の種類によって異なります。
3. チャートがスキャンされ、計測されます。
4. 計測結果を基に、必要な修正要素が算出され、その用紙の種類で再現性のあるカラー印刷を行うために適用されます。また、その用紙に使用される各インクの最大量も計算されます。


プリンタドライバからのカラーマネジメント

カラーマネジメントオプション


カラーマネジメントの目的は、あらゆるデバイスで色をできるだけ正確に再現することにあります。これによって、イメージを印刷するとき、モニタ上でそのイメージを見たときと限りなく近い色で印刷することができます。

プリンタのカラーマネジメントには2つの基本的な方法があります。

- **[プリンタで管理]** : この場合、アプリケーションプログラムではカラー変換が行われずにイメージがプリンタに送信され、プリンタでカラースペースに合わせて色に変換されます。このプロセスの詳細は、使用しているグラフィック言語によって異なります。HPでは最高の印刷処理と結果を得るために、この設定をお勧めします。
 - **PostScript**: PostScript および PDF インタプリター モジュールでは、プリンタに保存されたプロファイルおよび PostScript ジョブと共に送信された追加の ICC カラー プロファイルを使用してカラー変換を実行します。この種のカラーマネジメントは PostScript または PDF のドライバを使用している場合に実行されます。
 - **PostScript 以外 (PCL3、CALS/G4)** : カラーマネジメントは、保存されたカラー テーブルのセットを使用して実行されます。ICC プロファイルは使用されません。この方法は他の方法よりも用途が限られていますが、使いやすさや速さに優れ、標準的な HP の用紙の種類で良好な結果が得られます。

 **注記** : non-PostScript 印刷では、Windows の場合は sRGB に、Mac OS X の場合は Adobe RGB にそれぞれ変換できます。

- **[アプリケーションで管理]** : この場合、アプリケーションプログラムで、イメージに埋め込まれた ICC プロファイルやプリンタおよび用紙の種類の ICC プロファイルを使用して、プリンタおよび用紙の種類のカラースペースに合わせてイメージの色が変換されます。

 **重要** : ドライバおよびアプリケーションで設定が一致していることをご確認ください。

使用するアプリケーションのカラーマネジメントオプションの使用方法については、HP サポートセンター (226 ページの [HP サポートセンター](#) を参照) を参照することをお勧めします。138 ページの [適切な色を使用してドキュメントを印刷する](#) も参照してください。

[アプリケーションで管理] および [プリンタで管理] を選択するには :

- Windows ドライバのダイアログの場合 : [カラー] タブを選択します。
- 一部のアプリケーションの場合 : アプリケーションで選択できます。

カラーオプション

カラーで印刷

プリンタはデフォルトでカラー印刷を行います。

カラー印刷は、以下の方法で明示的に選択することができます。

- **アプリケーションプログラムでの場合** : 多くのプログラムにこのオプションが用意されています。
- **Windows ドライバのダイアログの場合** : [カラー] タブを開き、[出力カラー] または [カラーオプション] セクション (どちらでもドライバで利用できるもの) を表示します。[カラー印刷] を選択します。

グレースケールで印刷

イメージのすべてのカラーを、以下の方法でグレースケールに変換できます。

- **アプリケーションプログラムでの場合**：多くのプログラムにこのオプションが用意されています。
- **Windows ドライバのダイアログの場合**：[カラー]タブを開き、[出力カラー]または[カラーオプション]セクション(どちらでもドライバで利用できるもの)を表示します。[グレースケールで印刷]を選択します。

白黒のみで印刷

イメージのすべてのカラーを、以下の方法で白黒のみに変換できます。


- **Windows ドライバのダイアログの場合**：[カラー]タブを開き、[出力カラー]または[カラーオプション]セクション(どちらでもドライバで利用できるもの)を表示します。[白黒のみで印刷]を選択します。

HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション

イメージで特定の PANTONE カラーを使用すると、通常、アプリケーションによってそのカラーに近い CMYK または RGB カラーがプリンタに送信されます。ところが、アプリケーションではプリンタや用紙の種類が考慮されないため、PANTONE カラーに一般的に近いカラーが再現されるだけで、異なるプリンタや用紙では違う色に見えます。

[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション]では、プリンタや用紙の種類の特徴を考慮に入れることによって、最も近いカラーを再現することができます。特定のプリンタで特定の用紙を使用して再現されるカラーは、元の PANTONE カラーと可能な限り同じように見えるようになります。この技術は、プリプレスのプロフェッショナルが手作業で設定したエミュレーションと同様のエミュレーションを実現することを目的としています。

[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション]を使用するには、この機能をオンにするだけです。通常は、デフォルトでオンになっています。

- **Windows PostScript/PDF ドライバのダイアログの場合**：[カラー]タブに移動し、[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション]を選択します。
- **フロントパネルで**： をタップし、[デフォルトの印刷設定] > [カラー オプション] > [HP Pantone エミュレート] をタップします。
- **内蔵 Web サーバの場合**：メインメニューから、[カラー]タブを選択します。

HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーションは、プリンタで達成可能な最も近い色を提供するだけでなく、エミュレーションが元のスポットカラーとどれほど近いかに関する明確な情報も提供します。

デフォルトのカラー スペース

文書またはイメージにより、コンテンツが元々帰属する作業カラー スペースが指定されていない場合、ユーザーは複数の規格の中から選択できます。つまりレンダリング処理中におけるカラー マネジメントシステムによってデータがどのように解釈されるべきかをユーザーが指定することが可能です。

ソースプロファイルの設定は以下の方法で行うことができます。

- **Windows PostScript/PDF ドライバのダイアログの場合**：[カラー]タブの [プリンタで管理] を選択します。

これらの情報をカプセル化するための標準的な方法は、ICC プロファイルです。この解決策の一部として、弊社では、さまざまなデバイスで最も共通性の高い標準規格を用意しました。

オプションは以下のとおりです。

デフォルト RGB ソース プロファイル


お使いのプリンタには、以下のカラー プロファイルが用意されています。


- **[なし(ネイティブ)]** は、イミテーションを行いません。カラー変換がアプリケーションまたはオペレーティングシステムによって行われ、データがすでにカラーマネジメントされた状態でプリンタに送られる場合に使用します。PostScript および PDF ドライバでのみ利用可能。
- **[sRGB IEC61966-2.1]** は、一般的な PC モニタの特性をイミテートします。このカラー スペースは、多数のハードウェア メーカーとソフトウェア メーカーから支持されており、さまざまなスキャナ、プリンタ、ソフトウェア アプリケーションに標準装備されるカラー スペースになりつつあります。
- **[Adobe RGB (1998)]** は、RGB カラーの広い色域を再現します。このカラー スペースは、印刷物に幅広い範囲の色が必要な場合に使用します。
- **[ColorMatch RGB]** は、Radius Pressview モニタ固有のカラー スペースをイミテートします。このカラー スペースは、[Adobe RGB (1998)] よりも色域が狭く、印刷製作作業に使用することができます。PostScript および PDF ドライバでのみ利用可能。
- **[Apple RGB]** は、一般的な Apple モニタの特性をイミテートしており、さまざまな DTP アプリケーションで使用されています。このカラー スペースは、Apple モニタでファイルを表示する場合、または古い DTP ファイルを処理する場合に使用します。PostScript および PDF ドライバでのみ利用可能。

デフォルト CMYK ソース プロファイル

プリンタによって認識され、選択された CMYK ソース プロファイルから選択できます。デフォルト CMYK プロファイルは Coated FOGRA39 (ISO 12647 - 2:2004) 規格で、PostScript ドライバでのみ使用可能です。

フロントパネルからのカラーマネジメント

取り付けられている用紙の種類のカラー キャリブレーションは  をタップした後、**[カラー キャリブレーション]**、**[続行]** の順にタップして用紙を選択します。[128 ページのカラー キャリブレーション](#) を参照してください。

フロントパネルにある他のカラー オプションはすべて、 をタップし、**[デフォルトの印刷設定]** > **[カラー オプション]** を選択すると表示できます (**[詳細な印刷設定]** にもあります)。

カラー グレースケール

- **[カラーで印刷]**
- **[グレースケールで印刷]**
- **[ピュアブラックおよびホワイトのみで印刷]**

[RGB 入力プロファイル]

プリンタによって認識され、選択された RGB ソースプロファイルから選択できます。デフォルト: [sRGB IEC 1966-2.1]。

- **[CMYK ソースプロファイルの選択]**: プリンタによって認識され、選択された CMYK ソースプロファイルから選択できます。デフォルト: [Coated FOFRA39 (ISO12647-2:2004)]。
- **[レンダリング用途の選択]**: レンダリング用途を選択できます。デフォルト: [知覚的]。
- **[黒点補正]**: 黒点補正をオンまたはオフにすることができます。デフォルト: [オン]。
- **[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション]**: HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーションをオンまたはオフにすることができます。デフォルト: [オン] (PostScript および PDF ジョブのみ)。

10 実際の印刷の例

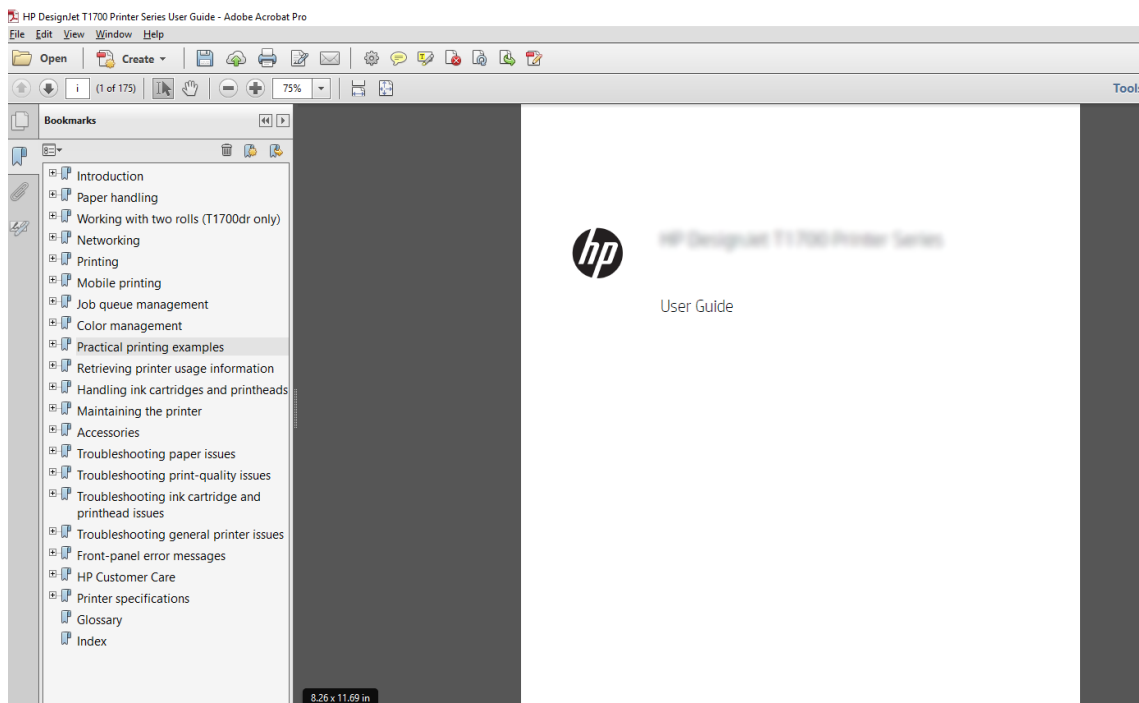
- [正しい倍率で試し印刷する](#)
- [Adobe Acrobat Reader または Adobe Acrobat Pro から PDF 複数ページジョブを印刷します](#)
- [適切な色を使用してドキュメントを印刷する](#)
- [プロジェクトの印刷](#)
- [プレゼンテーションの印刷](#)
- [Microsoft Office からの印刷および拡大縮小](#)

正しい倍率で試し印刷する


このセクションでは、Adobe Acrobat から正しい倍率で試し印刷する方法を示します。

Adobe Acrobat を使用する

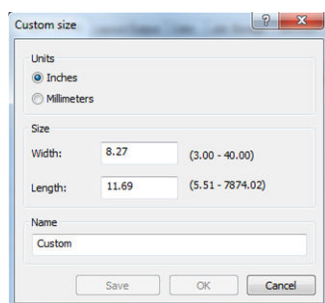
1. Acrobat のウィンドウで、マウスのカーソルをドキュメント ウィンドウの左下隅まで移動してページサイズを確認します。



2. [ファイル] > [印刷] を選択し、[ページサイズと処理] が [実物大] に設定されていることを確認します。

 **注記：** ページサイズは、描画サイズにより自動的に選択されるわけでは **ありません**。

3. [プロパティ] ボタンをクリックし、[用紙/品質] タブを選択します。
4. 使用する [文書サイズ] および [印刷品質] を選択します。新しいカスタム用紙サイズを定義する場合は、[ユーザ定義] ボタンをクリックします。

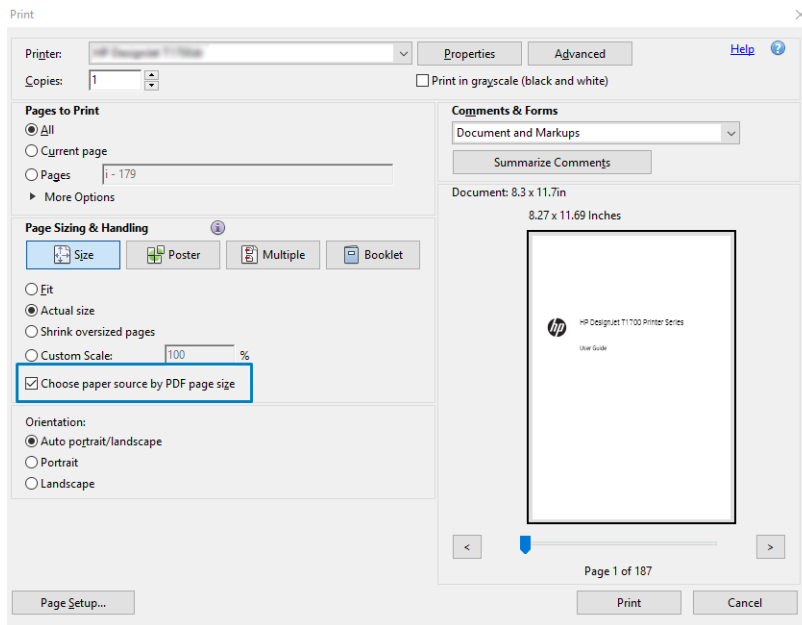


5. [機能] タブを選択し、[自動回転] を選択します。
6. [OK] をクリックし、[印刷] ダイアログ ボックスの印刷プレビューが正しいことを確認します。

Adobe Acrobat Reader または Adobe Acrobat Pro から PDF 複数ページジョブを印刷します

ラスタ ドライバの使用

1. Adobe Acrobat Reader または Adobe Acrobat Pro では複数ページジョブを開きます (常に最新バージョンを使用することをお勧めします)。
2. [ファイル]-[印刷] をクリックします。
3. プリンタとドライバを選択します。
4. [PDF のページサイズにより給紙方法を選択] ボックスをオンにします。



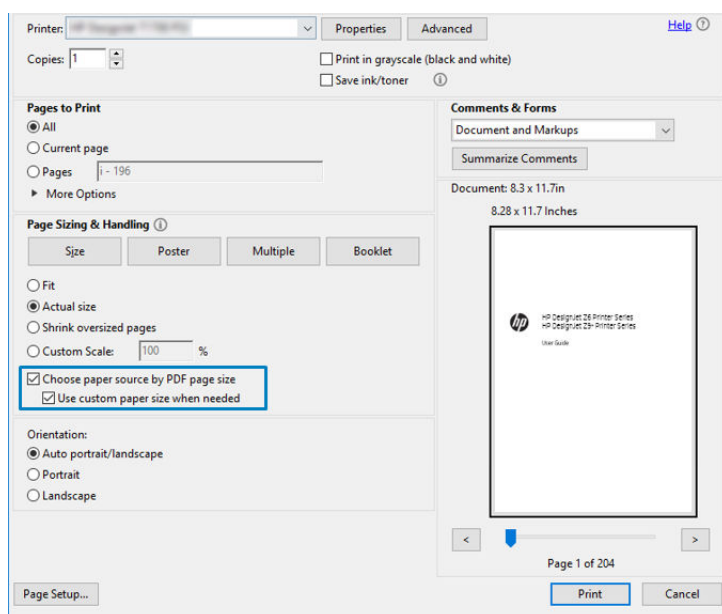
5. 必要に応じて、ドライバのプロパティ ウィンドウで他のプロパティを調整します。
6. [印刷] ボタンをクリックします。

ページが、元のドキュメントのページサイズに最も近いの標準用紙サイズで印刷されます。

PostScript ドライバの使用

1. Adobe Acrobat Reader または Adobe Acrobat Pro では複数ページジョブを開きます (常に最新バージョンを使用することをお勧めします)。
2. [ファイル]-[印刷] をクリックします。
3. プリンタとドライバを選択します。

4. [PDF のページサイズにより給紙方法を選択] ボックスと [必要なときにカスタム用紙サイズを使用] ボックスをオンにします。

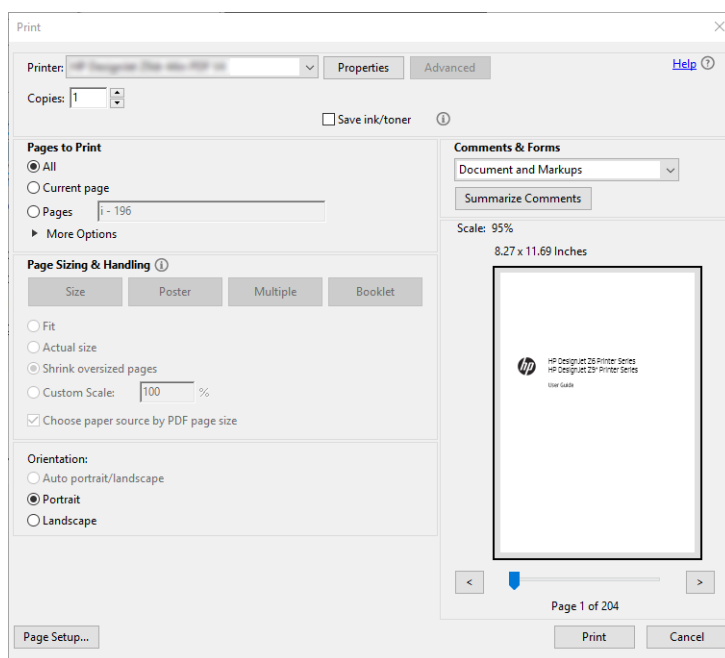


5. 必要に応じて、ドライバのプロパティウィンドウで他のプロパティを調整します。
6. [印刷] ボタンをクリックします。

[必要なときにカスタム用紙サイズを使用] ボックスがオンになっている場合、ページは、元のドキュメントのページサイズに対応する用紙のサイズで印刷されます。

PDF ドライバの使用

Adobe Acrobat Pro または Adobe Acrobat Reader の最新のバージョンでは、これはアプリケーションにより管理され、ページは元のドキュメントのページサイズに対応する用紙サイズに印刷されます。



適切な色を使用してドキュメントを印刷する

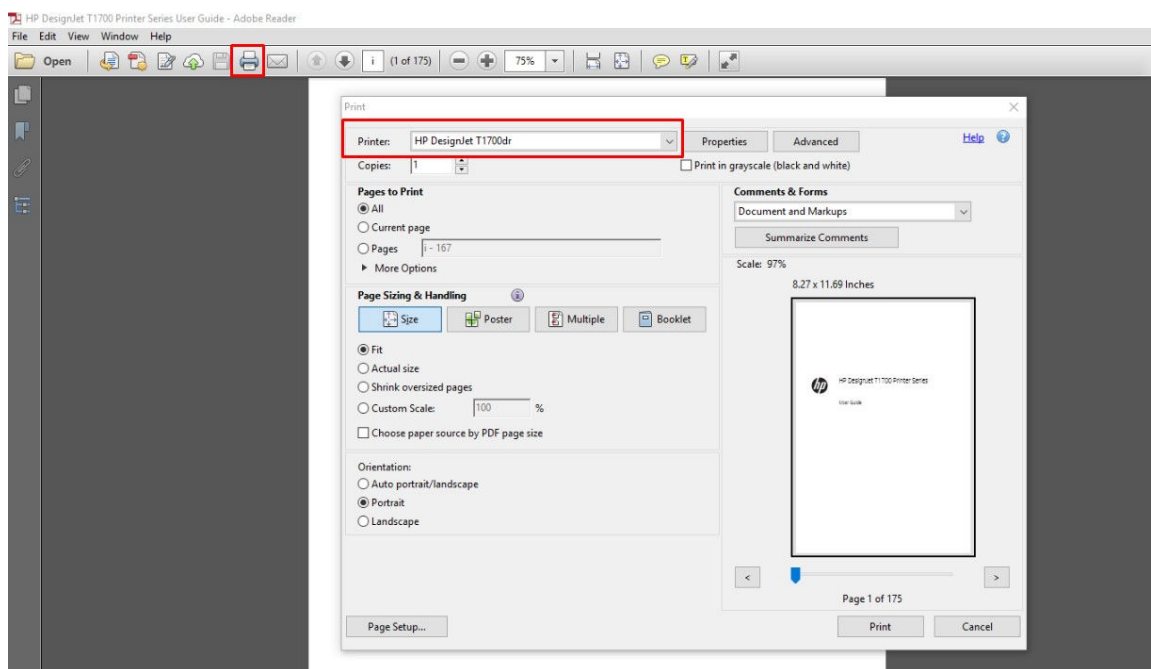
このセクションでは、カラー マネジメントで強調を使用して、Adobe Acrobat および Adobe Photoshop からドキュメントを印刷する方法を示します。

Adobe Acrobat Reader を使用

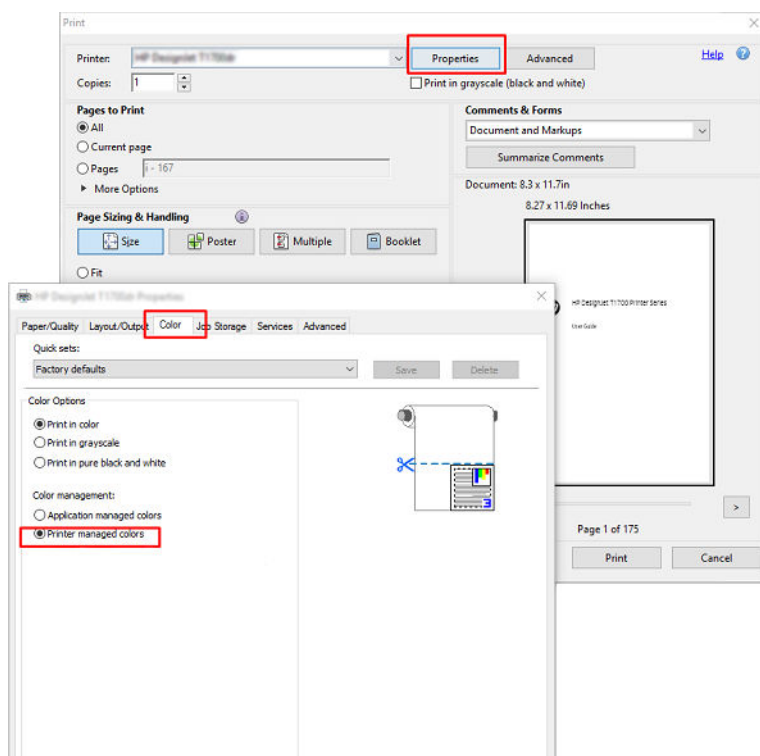
Acrobat Reader は、PDF ファイルの最も基本的なアプリケーションです。より高度なアプリケーションによく付属しているカラー マネジメント ツールは、明確には存在せず、デフォルトでは変更不可のプリセットで動作します。たとえば、作業用カラー スペースを選択する方法はありません。デフォルトのカラー スペース (ほとんどの場合は sRGB) が適用されます。このカラー スペースは、たとえばスクリーンディスプレイなどに使用されます。さらに、後述するように、ファイルによりプロファイルが指定されていない場合の代替のカラー プロファイルとしても使用されます。

印刷のプロセスは非常にシンプルです。

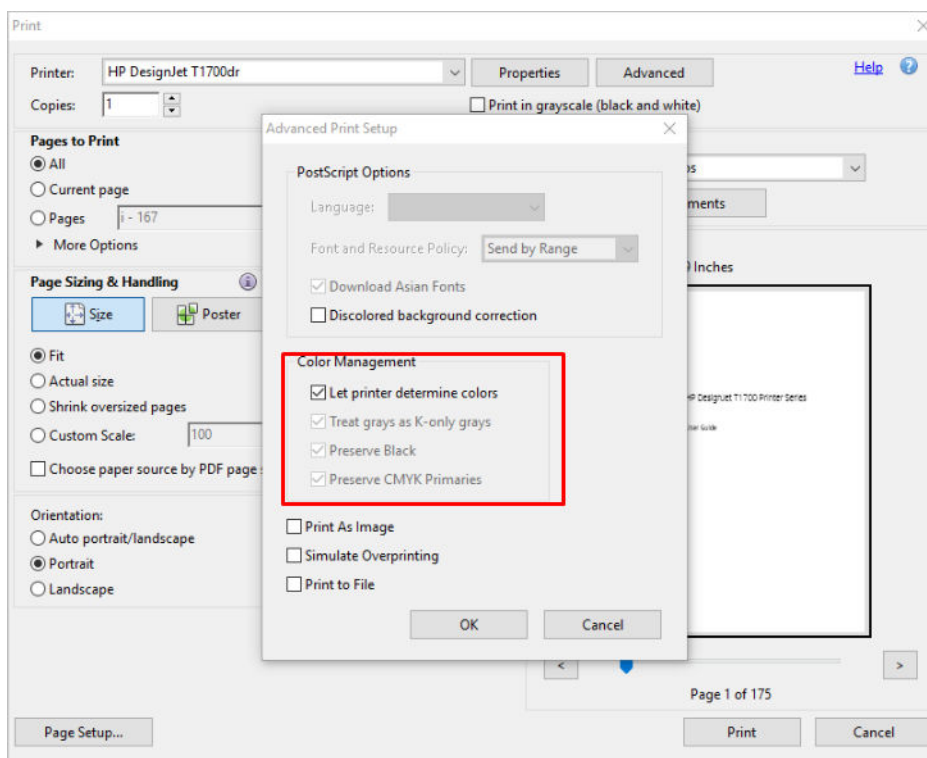
1. [ファイル]-[印刷] をクリックします。
2. [印刷] ダイアログ ボックスの [プリンタ] ドロップダウン メニューからプリンタとドライバを選択します。[プロパティ] ボタンをクリックして、ドライバの設定を調整できます。



3. ドライバのプロパティ ウィンドウでのカラー設定を調整します。[プリント]ダイアログの[プロパティ]ボタンをクリックし、[カラー]タブの[カラー]オプションを設定します。[プリンタで管理]ボックスをオンにし、V4 ドライバを使用している場合は、最も便利なソース プロファイルを選択します。[OK]をクリックします。



4. V3 ドライバを使用する場合は、「プリント」ダイアログボックスの[詳細設定]ボタンをクリックして、カラー マネージメント オプションを設定します。[プリンタによるカラー指定]チェックボックスをオンにします。

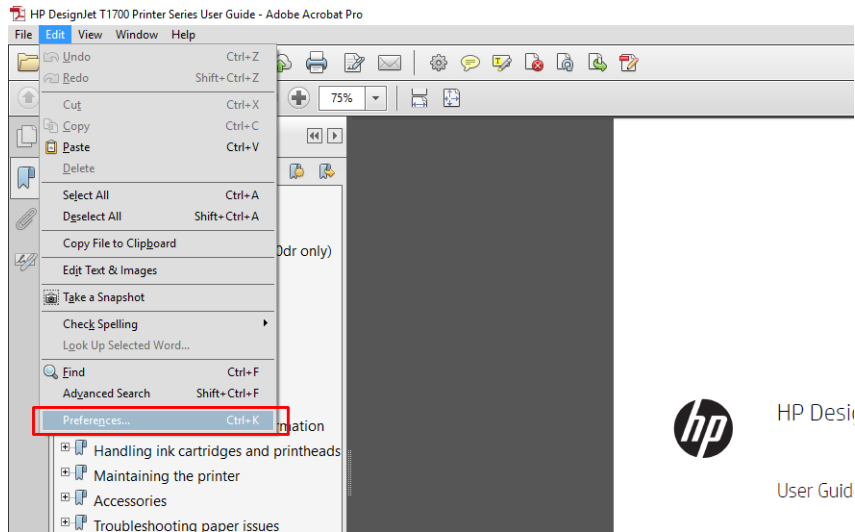


5. ドキュメントに複数のカラー プロファイルが含まれており、結果がはっきりとわからない場合、まずドキュメントを平らにし、画面に表示されたとおりに印刷できます。これを行うには、印刷設定の[詳細設定]ダイアログボックスで[画像として印刷]をオンにします。この場合、ドライバを呼び出す前に Acrobat Reader によりラスタリゼーションが実行されます。一方、このボックスをオンにしない場合、ラスタリゼーションがドライバにより実行されます。したがって、ボックスをオンにすると、印刷されるドキュメントの外観に目に見える影響があります。

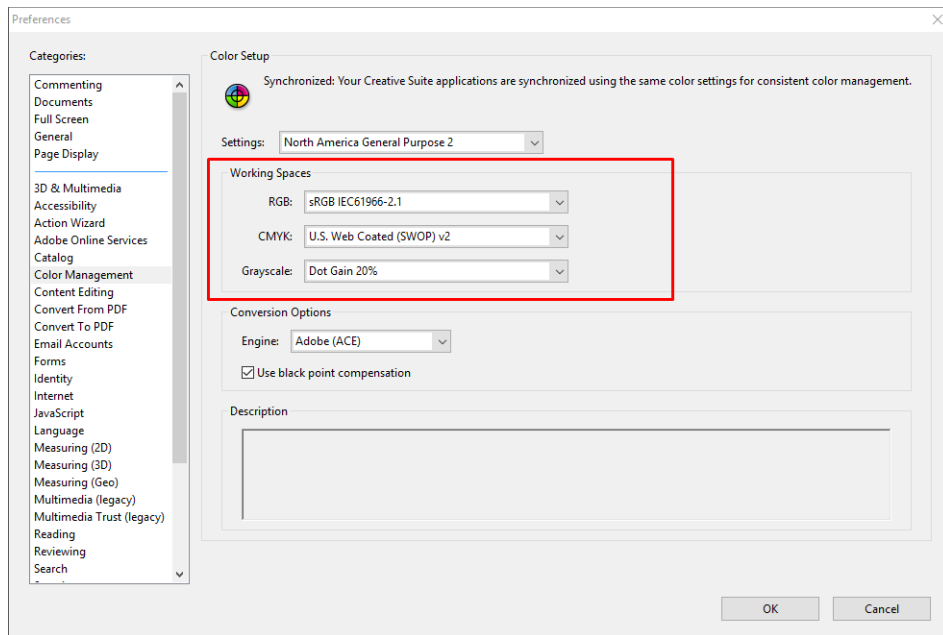
Adobe Acrobat Pro を使用する

Acrobat Pro は、フルカラー マネジメントが可能なプロフェッショナルアプリケーションです。このセクションでは、作業用カラー スペースの選択オプション、イメージを目的のカラー スペースに変換するオプション、印刷オプションについて簡単に説明します。

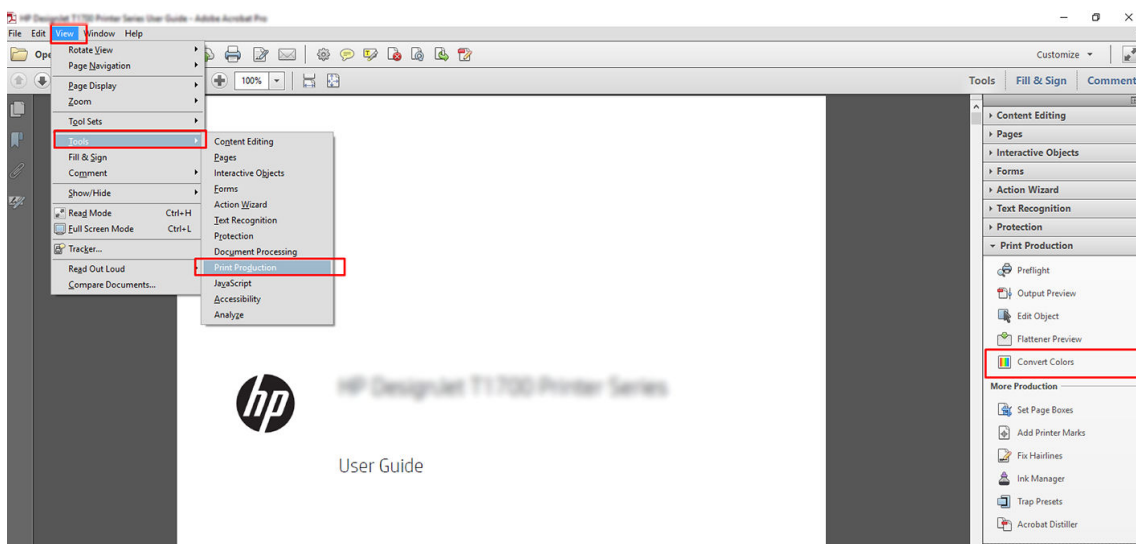
1. PDF ファイルには、カラー プロファイルが含まれていない可能性があります。カラー プロファイルがない場合、Acrobat はデフォルトで作業用カラー スペースを使用します。作業用カラー スペースを選択するには、まず[編集]-[環境設定]をクリックします。



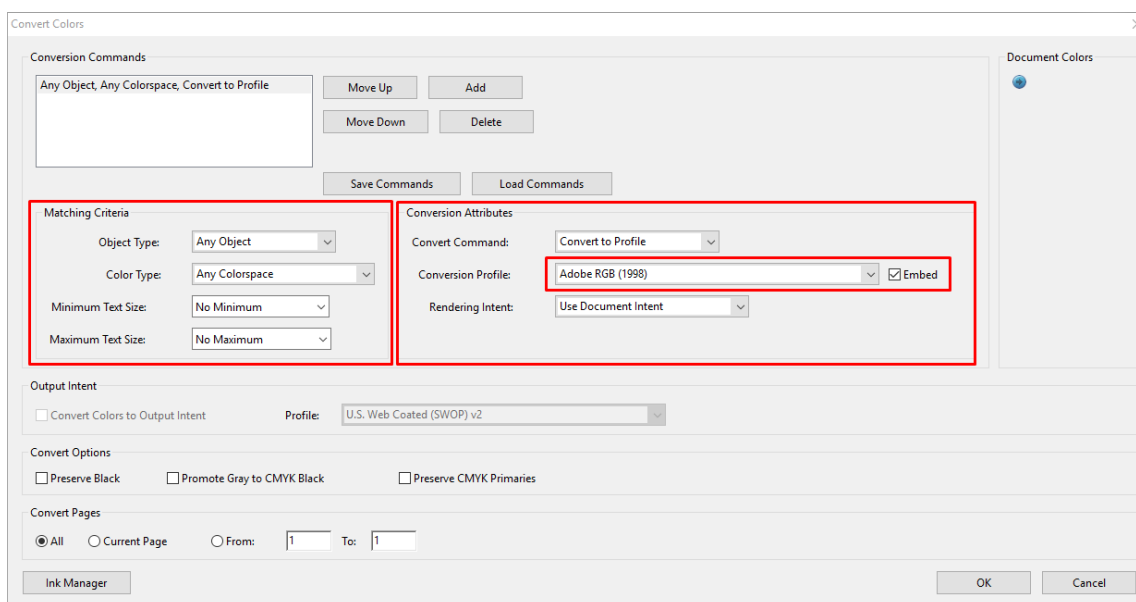
2. [環境設定] ダイアログボックスでは、RGB、CMYK、およびグレースケールの中から作業用カラー空間を選択できます。




3. PDF ファイルには、異なるカラー プロファイルを持つ要素を含めることができます。カラー プロファイルのある要素とない要素を混在させることができます。作業用カラー スペースは、カラー プロファイルのない要素にのみ影響を与えます。特定のカラー プロファイルを文書に添付する場合、以下のように、文書の内容を変換する必要があります。まず、[表示]-[ツール]-[印刷制作] から [カラーを変換] を選択するか、ステータスバーのアイコンをクリックします。



4. 一致基準(オブジェクトの種類やカラーの種類)を指定し、変換属性を選択することにより、変換する要素を選択します。埋め込みカラー プロファイルを変更するには、[一致基準] セクションで [すべてのオブジェクト] と [すべての色空間] を選択します。[変換属性] セクションでは、たとえば Adobe RGB (1998) プロファイルの埋め込みを選択できます。そのためには、[変換プロファイル] として選択して [埋め込む] ボックスをオンにした後、[OK] ボタンをクリックし、ファイルを保存して変更を保持します。保存されたファイルには、埋め込まれた Adobe RGB カラー プロファイルが設定されます。

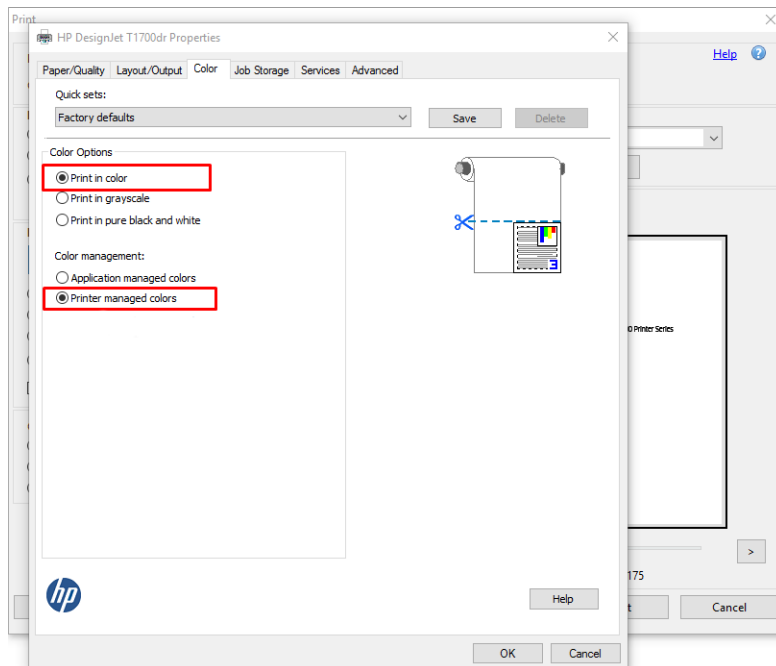


5. ドキュメントを印刷するは、[プリント] ダイアログ ボックスからプリンタを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックして [カラー] タブでカラー オプションを設定します。

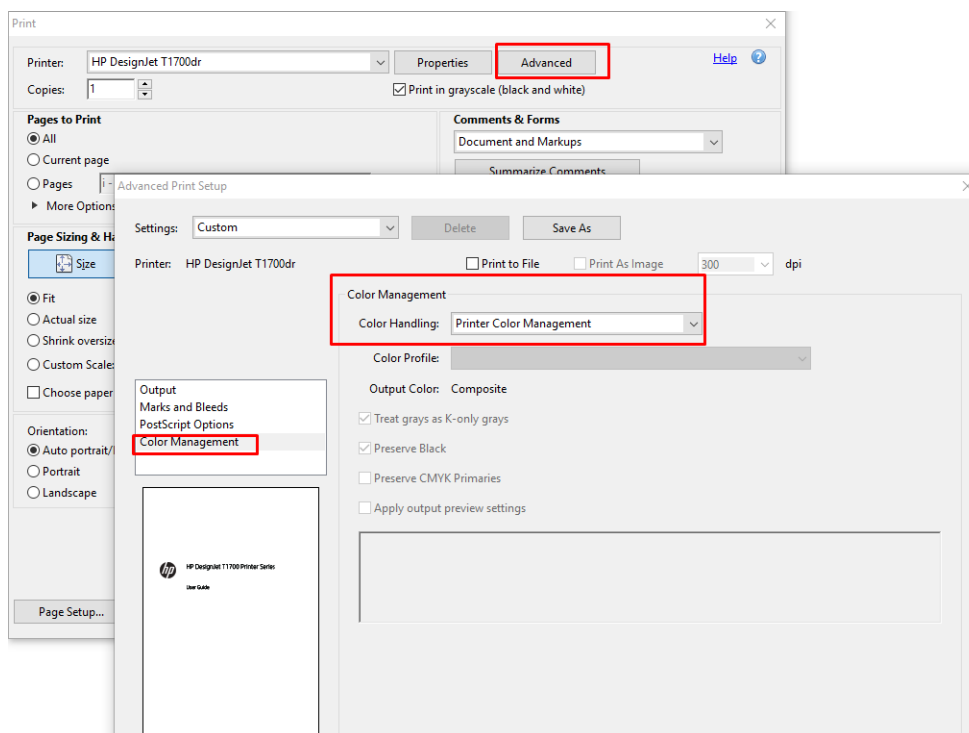
 **重要** : [カラーで印刷] と [プリンタ管理カラー] を選択します。

V4 ドライバを使用する場合は、さらにデフォルトのカラー プロファイルを選択できます。これはカラー プロファイルの指定されていないあらゆる要素に適用されます。HP による推奨は次のとおりです。

- sRGB または Adobe RGB (sRGB はほとんどのファイルで標準です)
- CMYK: Coated FOGRA39 または US Web Coated (SWOP) v2 を選択します。



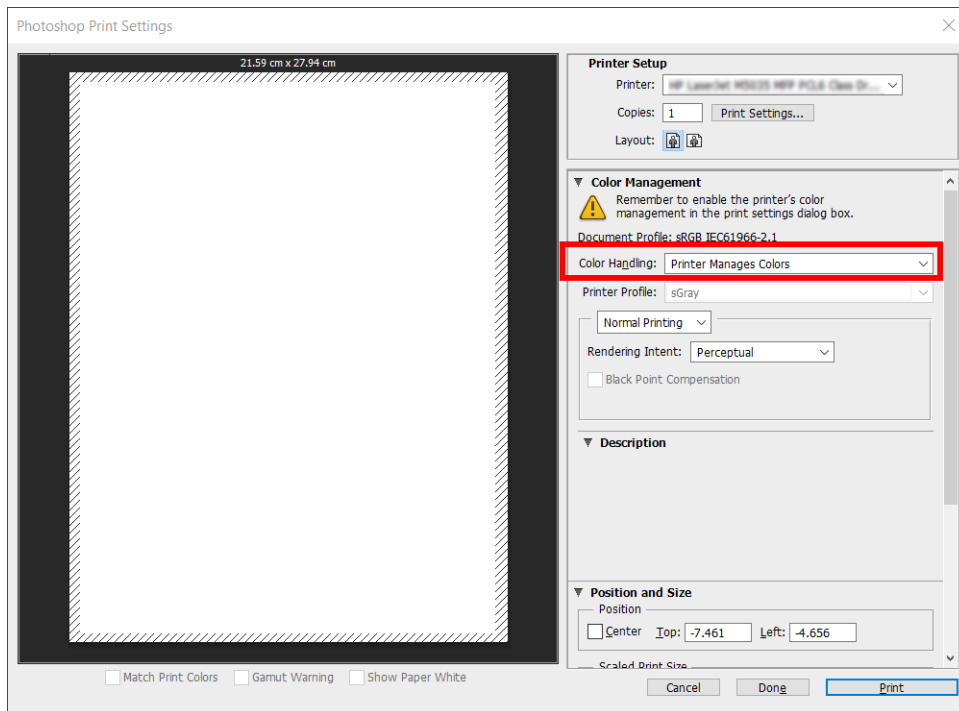
6. V3 ドライバを使用する場合は、「印刷」ダイアログ ボックスで [詳細設定] ボタンをクリックし、[カラー処理] を [プリンタ カラー マネジメント] に設定して、[OK] をクリックします。



7. [印刷] ダイアログ ボックスで、[印刷] ボタンをクリックしてドキュメントを印刷します。

Adobe Photoshop を使用する

1. Photoshop で **[ファイル]** > **[印刷]** を選択し、お使いのプリンタを選択します。
2. **[カラー マネジメント]** セクションでは、カラー処理のオプションを **[プリンタで管理]** に設定します。



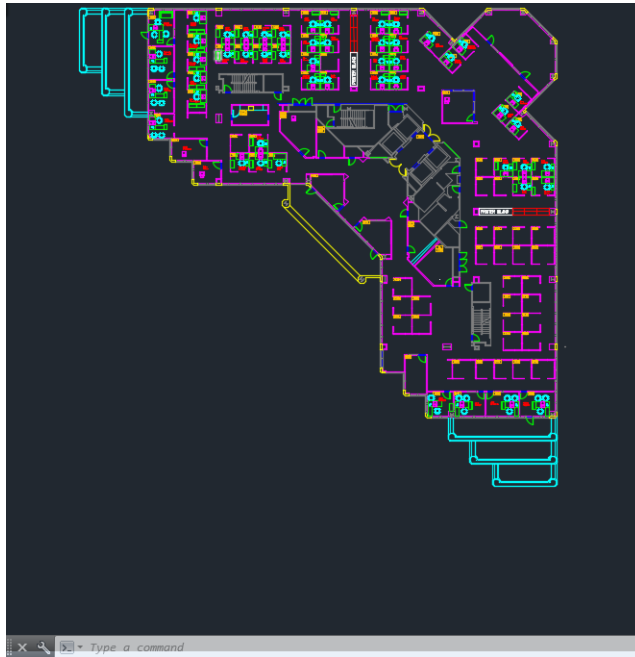
3. ドライバの **[カラー]** タブでは、カラー マネジメント オプションが **[プリンタで管理]** になっていることを確認します。Photoshop ですでに **[プリンタで管理]** を選択しているため、これが適切なオプションになります。

プロジェクトの印刷

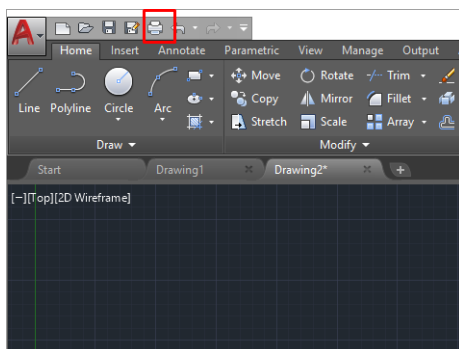
このセクションでは、AutoCAD からプロジェクトを印刷する方法を示します。

Autodesk AutoCAD の使用法

1. AutoCAD ウィンドウには、モデルやレイアウトを表示できます。通常は、モデルではなくレイアウトが印刷されます。

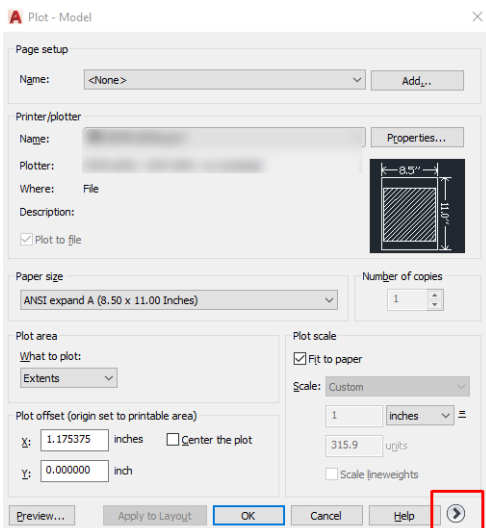



2. ウィンドウの上部の[プロット]アイコンをクリックします。



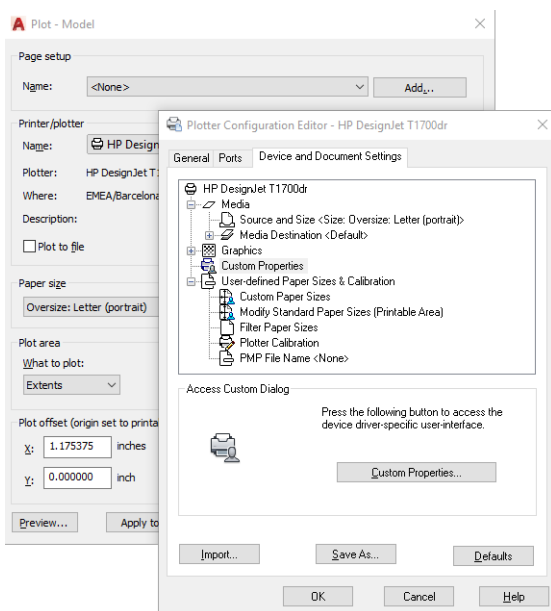
3. [プロット]ウィンドウが開きます。

4. ウィンドウの右下隅の丸いボタンをクリックすることで、追加のオプションを表示できます。




 **注記** : ここでの[品質] オプションは、最終的な印刷品質ではなく、印刷用に送信される AutoCAD ビューポートオブジェクトの品質のことを指します。

5. プリンタを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。
6. [デバイスとドキュメントの設定] タブを選択し、[カスタム プロパティ] ボタンをクリックします。



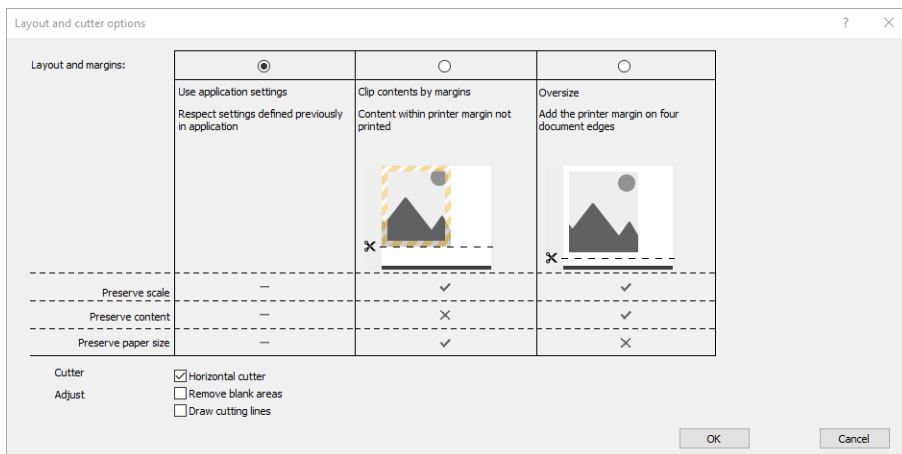
7. [用紙/品質] または [用紙] タブで、使用する用紙の種類を選択します。

 **注記** : 給紙方法と用紙の種類のどちらも選択しなかった場合、プリンタは保護されたどのロール紙にも印刷しません (85 ページの保護する用紙の種類を参照)。

8. 印刷品質 (印刷の速度と品質の間での任意の選択) を選択します。
9. ロール紙に印刷する場合は、プリンタが用紙をカットする場所を決定してください。

- Windows V3 ドライバの場合：[用紙/品質] タブをクリックしてから、マージン/カッターの [設定] ボタンをクリックし、[内容をマージンでクリップ] を選択します。
- Windows V4 ドライバの場合：[レイアウト] タブをクリックします。次に、「レイアウト モード」領域内で[マージンを含める]-[内容をマージンでクリップ] をクリックします。

また印刷後に用紙をカットする場所を指定する切り取り線も調整できます。



10. [レイアウト/出力] タブを選択し、[自動回転] オプションを選択します。自動回転は用紙を節約することに役立ちます。
11. [OK] ボタンをクリックし、PC3 ファイルに設定の変更を保存します。

内容をマージンでクリップする

このマージン オプションは、[詳細設定]-[用紙]-[レイアウト/マージン]-[マージンを含めて印刷]-[レイアウト]-[内容をマージンでクリップ] で選択できます。

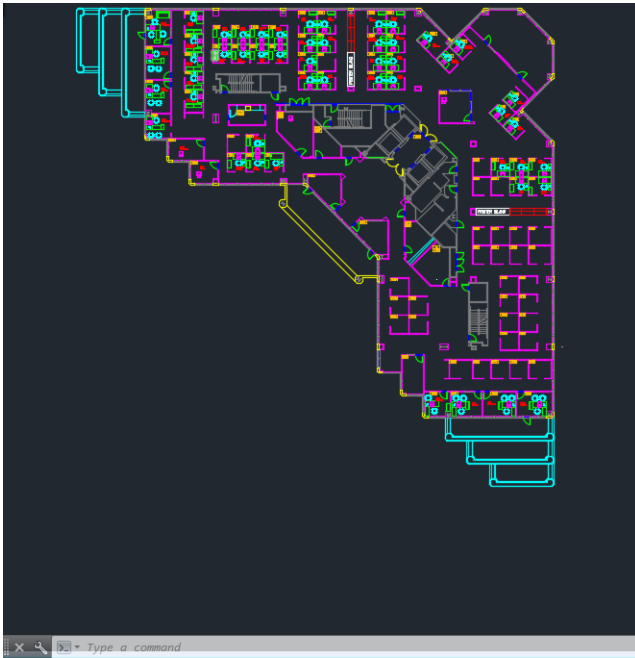
印刷する内容に白いフチがあり、サイズが選択した用紙サイズと同じ場合は、このオプションを使用します。白いフチはプリンタによってマージンとして使用され、ドライバで選択したページサイズと同じサイズのページが得られます。

プレゼンテーションの印刷

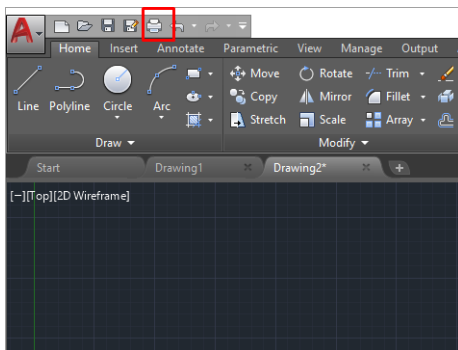
このセクションでは、AutoCAD および Photoshop からプレゼンテーションを印刷する方法を示します。

Autodesk AutoCAD の使用法

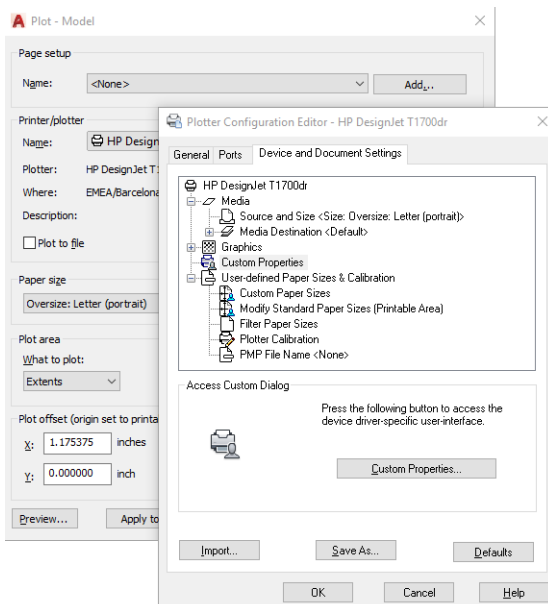
1. AutoCAD ファイルを開いて、レイアウトを選択します。



2. ウィンドウの上部の[プロット]アイコンをクリックします。



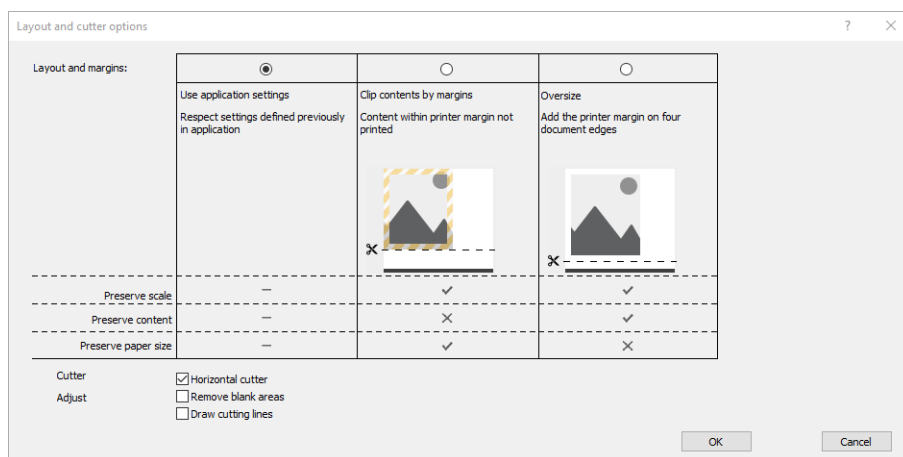
3. 正しいプリンタが選択されていることを確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。
4. [デバイスとドキュメントの設定]タブを選択し、[カスタムプロパティ]ボタンをクリックします。



5. **[用紙/品質]** タブで、使用する用紙の種類を選択します。

 **注記**：給紙方法と用紙の種類のどちらも選択しなかった場合、プリンタは保護されたどのロール紙にも印刷しません (85 ページの**保護する用紙の種類**を参照)。

6. 印刷品質 (印刷の速度と品質の間での任意の選択) を選択します。
7. ロール紙に印刷する場合は、プリンタが用紙をカットする場所を決定してください。
 - Windows V3 ドライバの場合：**[用紙/品質]** タブをクリックしてから、**マージン/カッターの [設定]** ボタンをクリックし、**[内容をマージンでクリップ]** を選択します。
 - Windows V4 ドライバの場合：**[レイアウト]** タブをクリックします。次に、「レイアウト モード」領域内で**[マージンを含める]**-**[内容をマージンでクリップ]** をクリックします。

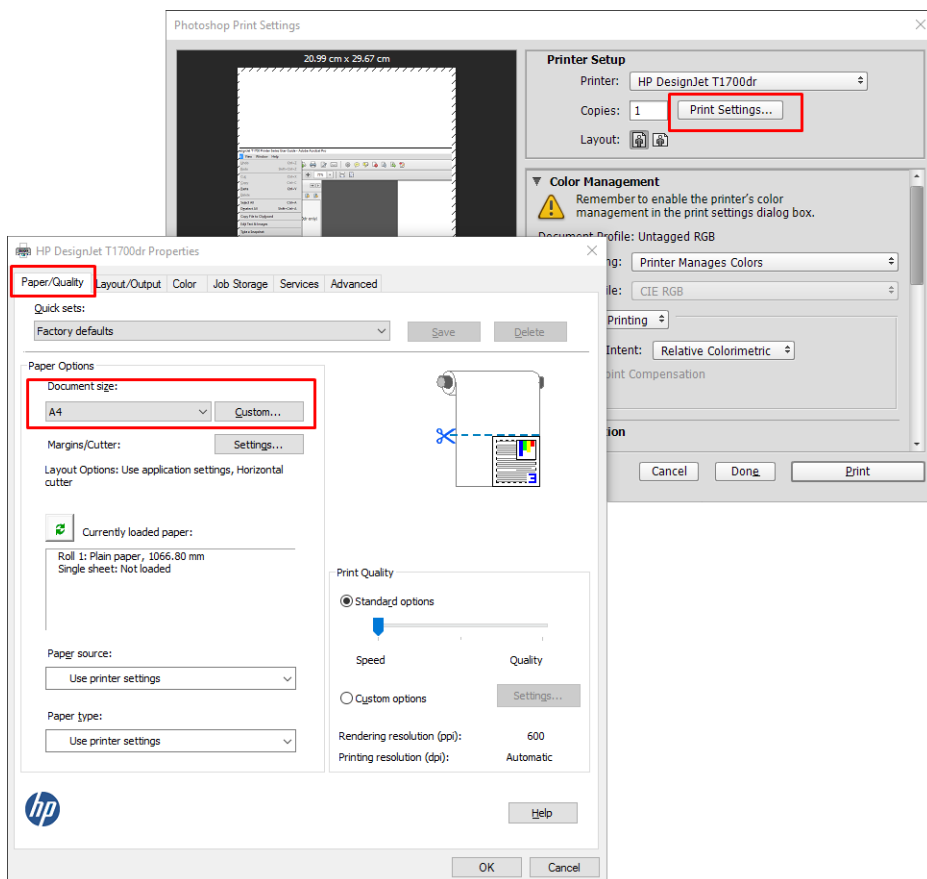


8. **[レイアウト/出力]** タブを選択し、**[自動回転]** オプションを選択します。自動回転は用紙を節約することに役立ちます。
9. **[OK]** ボタンをクリックし、PC3 ファイルに設定の変更を保存します。

Adobe Photoshop を使用する

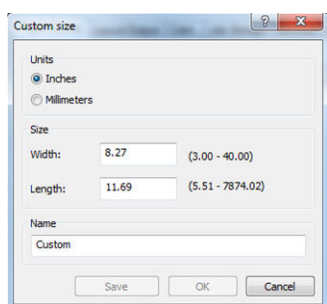
1. Photoshop で**[ファイル]** > **[印刷]** をクリックし、お使いのプリンタを選択します。

2. **[印刷設定]** をクリックし、**[用紙/品質]** タブを選択します。



3. 使用できる用紙サイズから選択します。

使用する用紙サイズが見つからない場合は、**[カスタム]** ボタンをクリックします。カスタム用紙サイズの幅、長さ、および名前を入力します。**[保存]** ボタンおよび**[OK]** ボタンをクリックします。



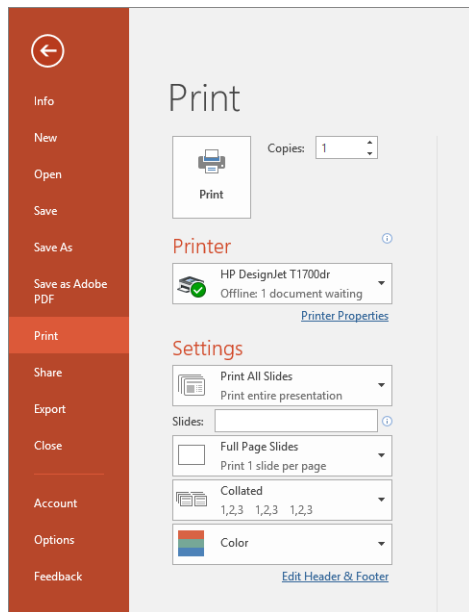
4. **[印刷プレビューの表示]** を選択します。また、デフォルトの給紙方法、用紙の種類および印刷品質を変更できます。
5. Photoshop で**[プリンタで管理]** を選択しているため、**[カラー]** タブのカラー マネジメント オプションは、デフォルトの**[プリンタで管理]** が正しいオプションとなります。

Microsoft Office からの印刷および拡大縮小

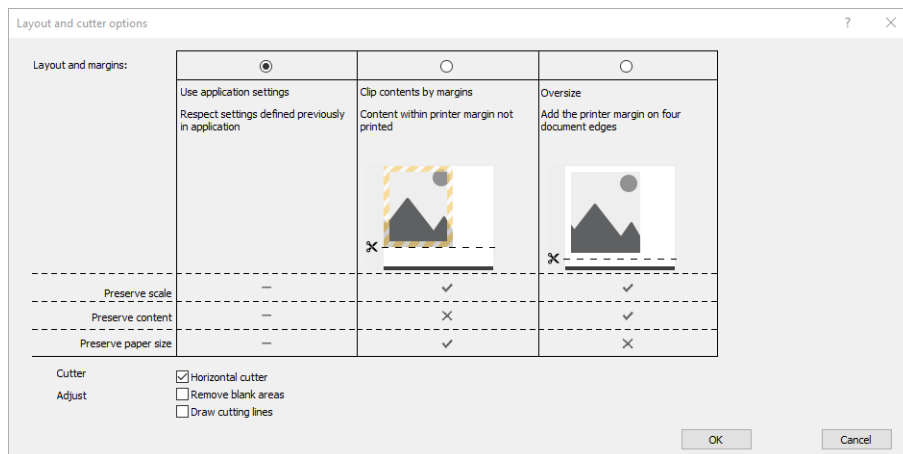
このセクションでは、Microsoft Office 2013 から印刷および拡大縮小する方法を示します。

Microsoft PowerPoint の使用法

1. [ファイル]-[印刷] を選択し、プリンタ名をクリックします。



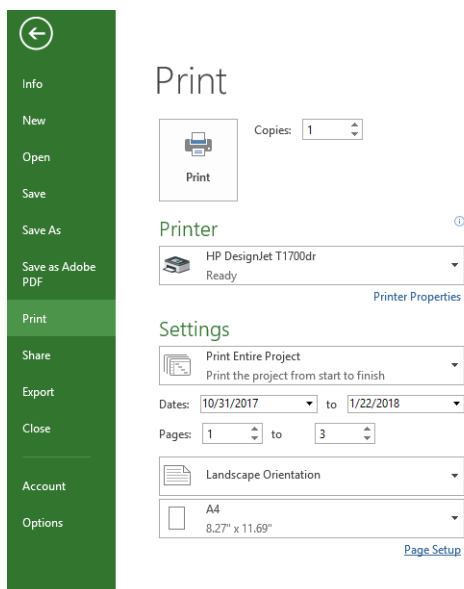
2. [プリンタ プロパティ]>[レイアウト/出力]>[サイズ変更オプション] をクリックして、特定のサイズに合わせて文書を拡大縮小します。
3. [用紙/品質] タブを選択し、[給紙方法] および [用紙の種類] を選択します。
4. 内容をマージンでクリップするには：
 - Windows V3 ドライバの場合：[用紙/品質] タブをクリックしてから、マージン/カッターの [設定] ボタンをクリックし、[内容をマージンでクリップ] を選択します。
 - Windows V4 ドライバの場合：[レイアウト] タブをクリックします。次に、「レイアウト モード」領域内で [マージンを含める]-[内容をマージンでクリップ] をクリックします。



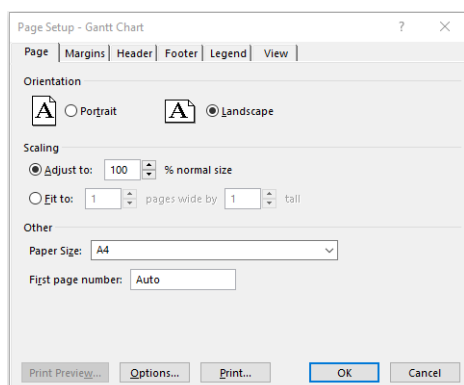
Microsoft Project の使用法

1. [ファイル]-[印刷] をクリックします。
2. お使いのプリンタ名を選択します。

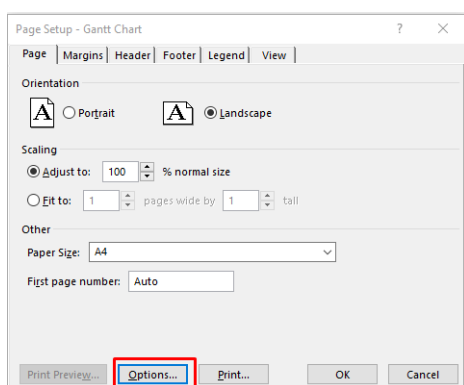
3. [設定] セクションでは、印刷するページ、印刷の向き、用紙のサイズを選択できます。



4. [ページ設定] をクリックし、使用する [用紙サイズ] を選択します。



5. [オプション] を選択して、プリンタ ドライバに移動します。

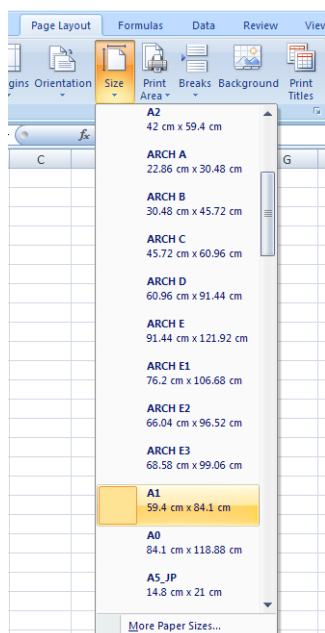


[用紙/品質] タブでは、多くの場合、デフォルトのオプションである、[用紙トレイ]:[プリンタ設定の使用]と [用紙の種類]: [プリンタ設定の使用] を選択します。

6. [レイアウト/出力] > [サイズ変更オプション] をクリックして、特定のサイズに合わせて文書を拡大縮小します。代わりに、Project で文書を拡大縮小することもできます。

Microsoft Excel の使用法

1. [ファイル]-[印刷]をクリックします。プリンタの名前を選択し、戻る矢印をクリックして[ファイル]メニューを終了します。
2. [ページレイアウト]タブを選択して[サイズ]を選択し、必要な用紙サイズを選択します。



3. [ファイル]>[印刷]>[プリンタ プロパティ]をクリックし、プリンタ ドライバに移動します。[用紙/品質]タブを選択し、[給紙方法]、[用紙の種類]、および[印刷品質]を選択します。
4. [レイアウト/出力]>[サイズ変更オプション]をクリックして、特定のサイズに合わせて文書を拡大縮小します。代わりに、Excel で文書を拡大縮小することもできます。

11 プリンタの使用状況に関する情報を取得する


プリンタのアカウントティング情報

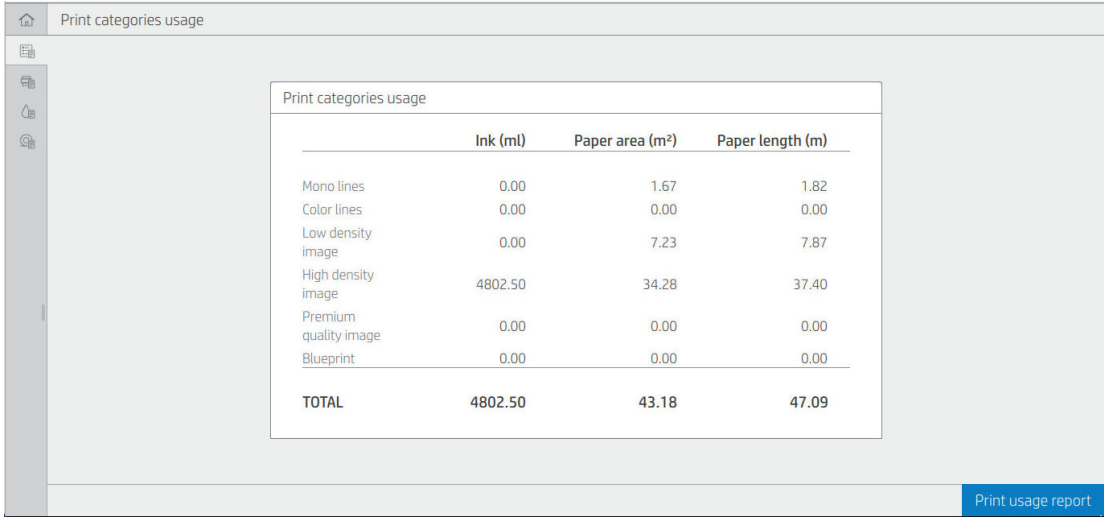
プリンタからアカウントティング情報を取得するには、複数の方法があります。

- プリンタの使用期間全体のプリンタの使用状況に関する情報を表示します ([154 ページの使用状況に関する情報を確認する](#)を参照)。
- 最近のジョブのインクおよび用紙の使用状況を個別に表示する。 [157 ページのジョブの使用状況に関する情報を確認する](#)を参照。
- インターネットを介してプリンタからプリンタ ステータス、プリンタの使用状況、またはジョブのアカウントティングデータを要求するには、サードパーティアプリケーションを使用してください。プリンタは、必要に応じていつでもアプリケーションに XML でデータを提供します。HP では、このようなアプリケーションの開発を促進するためにソフトウェア開発キットを提供しています。

使用状況に関する情報を確認する

フロントパネルで使用状況を確認する

フロントパネルで  をタップし、使用状況に関する情報を表示します。



	Ink (ml)	Paper area (m ²)	Paper length (m)
Mono lines	0.00	1.67	1.82
Color lines	0.00	0.00	0.00
Low density image	0.00	7.23	7.87
High density image	4802.50	34.28	37.40
Premium quality image	0.00	0.00	0.00
Blueprint	0.00	0.00	0.00
TOTAL	4802.50	43.18	47.09

次の情報が取得できます。

- 印刷カテゴリの使用状況タブでは、インク、用紙領域、用紙の長さの使用量をカテゴリ別で表示できます。

- モノクロライン：非ホワイトピクセル使用量 0%～10%、標準用紙に印刷、カラーピクセル使用量 1%未満
 - カラーライン：非ホワイトピクセル使用量 0%～10%、標準用紙に印刷、カラーピクセル使用量 1%超
 - 低濃度イメージ：非ホワイトピクセル使用量 10%～50%、標準用紙に印刷
 - 高濃度イメージ：非ホワイトピクセル使用量 50%超、標準用紙に印刷
 - プレミアム品質イメージ：プレミアム用紙に印刷された任意のコンテンツの種類
 - 青写真：ブループリント用紙に印刷されたあらゆる種類のコンテンツ
- スキャン使用状況：コピーおよびスキャンの使用状況 (m²) と総使用量。

Scan usage		
TOTAL	32.75 m²	51.92 m
<hr/>		
Copy	32.63 m ²	51.43 m
Scan	0.12 m ²	0.48 m

- インクの使用状況：各カートリッジのインクの消費量(ml)と総消費量

Ink usage	
TOTAL	5323.44 ml
<hr/>	
Photo black	1466.39
Gray	1555.61
Matte black	567.43
Cyan	761.54
Magenta	750.22
Yellow	222.23

- 用紙の使用状況：以下の用紙カテゴリまたはファミリーごとの使用量と総使用量(最初に表示)使用状況はレベルごとに確認できます。



Paper usage		
TOTAL	5.21 m²	47.02 m
<hr/>		
Deleted paper	0.02 m ²	41.38 m
OTHER	0.02 m ²	41.38 m
Bond and Coated Paper	5.18 m ²	5.64 m
Plain Paper	5.18 m ²	5.64 m

[使用状況レポートの印刷]ボタンをタップすると、「使用状況レポートはジョブキューに送られ、すぐに印刷されます」というメッセージが表示されます。

すべてのデータは、インチまたはメートルの単位で表示されます。

使用状況に関する情報の印刷

フロントパネルのホーム画面から使用状況に関する情報を印刷するには、2通りの方法があります。

-  をタップして使用状況に関する情報の画面を表示し、[使用状況レポートの印刷] ボタンをタップします。
-  をタップし、[内部印刷] > [ユーザ情報の印刷] > [使用状況レポートの印刷]をタップします。

内蔵 Web サーバから使用状況を確認する

フロントパネルと同じ情報を内蔵 Web サーバからも取得できます。


1. 内蔵 Web サーバにアクセスします([13 ページの内蔵 Web サーバ](#)を参照)。
2. サイドのメニューから **[使用状況]** をクリックします。

使用状況ページではプリンタ使用状況の情報を各種表に分割して表示します。

- **サマリ**：インクの合計使用量と用紙の合計使用量(面積および長さ)。
- **印刷カテゴリの使用状況**：各種印刷カテゴリ(モノクロ線画、カラー線画、プレミアム品質イメージ、青写真など内容の種類)毎のインクと用紙の使用状況、および印刷されたページ数。この表の情報は、プリンタの **[アプリケーションカテゴリーを表示]** 設定が有効になっている場合にのみ表示されます。以下の設定に応じて、他の状況も存在します。
 - － 用紙の印刷状況は、**[用紙の使用領域と用紙の印刷領域]** 設定が有効になっている場合に表示されます。
 - － 青写真カテゴリは **[青写真カテゴリを有効にする]** 設定が有効になっている場合に表示されます。

- プレミアム品質イメージカテゴリは、[プレミアム品質イメージカテゴリを有効にする]設定が有効になっている場合に表示されます。
- 印刷用紙列の情報が表示されている場合、用紙の使用領域フィールドのテキストが「用紙領域 (m²使用)」に変わります。それ以外は、「用紙領域 (m²)」というテキストが表示されます。
- **インクの使用状況**：プリンタの全使用期間に渡るインク使用量 (概算値)。インク消費量表では、色ごとに消費されたインクが並んでいます。この際、カートリッジの製品番号は無視されます。
- **用紙の使用状況**：プリンタの全使用期間にわたって使用された用紙の合計。

ジョブの使用状況に関する情報を確認する

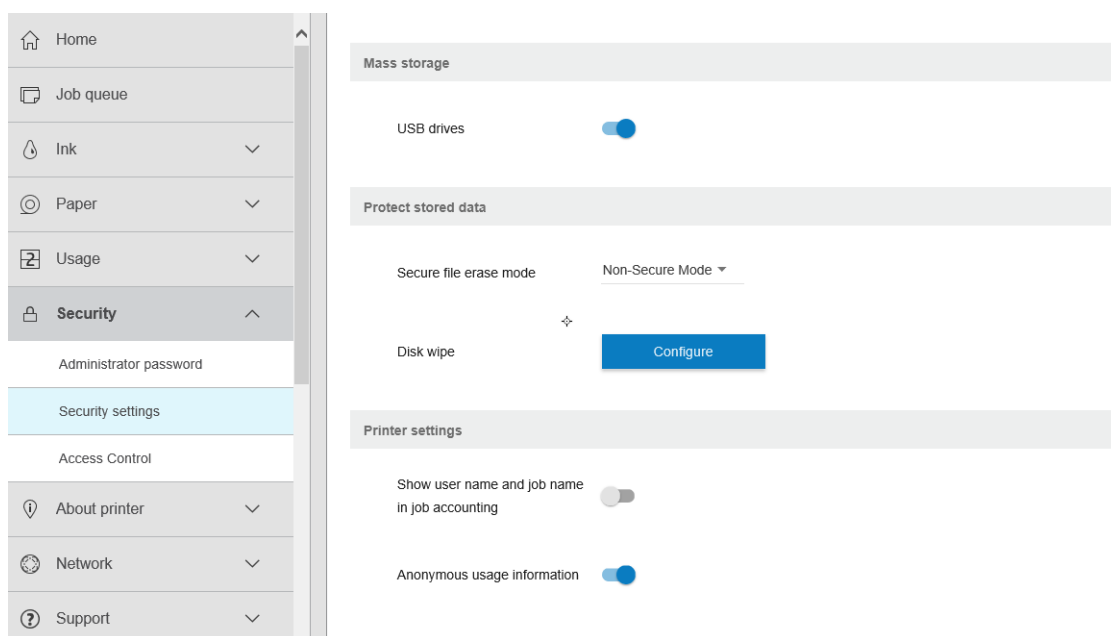
 **注記**：使用状況に関する情報の正確性は保証されていません。

1. 内蔵 Web サーバにアクセスします([13 ページの内蔵 Web サーバ](#)を参照)。
2. サイドのメニューで [使用状況] > [アカウントिंग] の順にクリックします。

アカウントिंग ページでは最新の印刷ジョブの表が表示され、ジョブ毎 (ページ毎ではなく) に以下の情報が表示されます。

- **名前**：ジョブの名前

ジョブ名は、[セキュリティ]-[セキュリティ設定] で [ジョブアカウントにユーザー名とジョブ名を表示する] 設定が有効になっている場合にのみ表示されます。



- **数**：ジョブの数。
- **日時**：ジョブが完了した日時。
- **ユーザ**：ジョブを送信したユーザの名前 (この項目は、対応するセキュリティの設定が有効になっている場合にのみ表示されます)。

ユーザー名は、[セキュリティ]-[セキュリティ設定] で [ジョブアカウントにユーザー名とジョブ名を表示する] 設定が有効になっている場合にのみ表示されます。

- **Type (タイプ)**：ジョブのタイプ (印刷)
- **出典**：ジョブのソース：USB、ネットワークなど

- **印刷品質**: ジョブの印刷に使用された印刷品質
- **部数**: 要求された印刷部数 (再印刷すると累積されます)
- **ページ**: ジョブの完了ページ数
- **ステータス**: ジョブのステータス: 印刷済み、ユーザがキャンセルなど
- **合計コスト**: ジョブの合計コスト (コスト割り当て機能が有効になっている場合に表示)
- **用紙の種類**: ジョブに使用された用紙の種類
- **用紙領域**: ジョブに使用された用紙領域
- **用紙の長さ**: ジョブで使用された用紙の長さ
- **インク使用量**: ジョブにより消費されたインクの量


ジョブはすべてのページが印刷されるか、ユーザの指示によりキャンセルされるか、プリンタ自体によってキャンセルされると完了したとみなされます。実行中のジョブ (印刷待機中、印刷中、キャンセル中、プレビュー待ち状態など) はこのリストには表示されません。

アカウントページに表示されるジョブは、ページ内のドロップダウン コントロールを使って絞り込みできます。このコントロールはビューを変更するだけのものであり、プリンタ内に保存されたジョブのアカウント情報は削除されません。基本的に、このページは最後の N 個のジョブ (完了ジョブの数が少ない場合はそれ以下) について報告します。「N」はこの設定パラメータの数値になります。デフォルトでは「N」は 10 です。

アカウントページには 2 つのボタンが表示されます。


- **[ヘルプ]**: ヘルプ情報を表示するウィンドウを開くボタンです。
- **[CSV へのエクスポート]**: このボタンを押すと進捗バーのあるウィンドウが開き、CSV ファイルが生成されダウンロードできるようになります。ダウンロードしたファイルは、アカウントページのような情報を CSV 形式で提供します。コストの割り当てが有効な場合は、CSV にジョブのコストに関する詳細情報が表示されます。

コストの割り当ての確認

 **注記**: 使用状況に関する情報の正確性は保証されていません。

1. 内蔵 Web サーバにアクセスします([13 ページの内蔵 Web サーバ](#)を参照)。
2. **[メイン]**タブに移動します。
3. **[使用状況]**-**[コストの割り当て設定]**をクリックします。

コストの割り当てページでは、ページ上部の**[アカウント割り当て設定の有効化]**の横にあるチェックボックスを使用して、コスト割り当て設定のオン/オフを行うことができます。設定が有効になると、以下セクションのコストを挿入・編集することができます。

 **注記**: 設定を保存するにはこれらセクションの内 1 つ以上が有効になっている必要があります。

- **[単位]**

- **[通貨]**: 3文字の通貨コードを入力してください。
- **[用紙の使用状況]**: 単位を選択します(インチ・ヤード法、メートル法)。
- **[印刷カテゴリのコスト]**: 有効または無効にできます。有効の場合、各カテゴリにコストを個別に割り当てることができ、またコストの単位(ミリメートル単位、もしくは前述の**[単位]**セクションで選択したオプション)を選択できます。コストは小数点以下2桁の数値です。無効化されたカテゴリはグレーアウトされます。
- **[インクの使用コスト]**: 有効または無効にできます。インクの使用コストを適用でき、使用可能なインクとコストを指定するフィールドが表示されます。
- **[用紙の使用コスト]**: 有効または無効にできます。表示中の用紙にコストを適用することができます。対応する用紙の一覧から用紙を追加できます。コストは削除や編集が可能です。空欄のままにはできません。ただし「0」は指定できます。単位の選択は印刷カテゴリと同じです。
- **[固定コスト]**: 有効または無効にできます。すべての印刷、スキャン、およびコピー ジョブに固定コストを追加することができます。

コスト割り当て設定を有効化することで、アカウントリング情報に合計コスト列が追加され、エクスポートされる CSV ファイルに詳細情報が追加されます。

12 インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い


- [インクカートリッジについて](#)
- [インクカートリッジのステータスを確認する](#)
- [インクカートリッジを取り外す](#)
- [インクカートリッジを取り付ける](#)
- [プリントヘッドについて](#)
- [プリントヘッドのステータスを確認する](#)
- [プリントヘッドを取り外す](#)
- [プリントヘッドを挿入する](#)
- [匿名の使用状況に関する情報の格納](#)
- [セーフモード](#)

インクカートリッジについて

インクカートリッジにはインクが収められており、用紙にインクを噴射するプリントヘッドに接続されています。追加のカートリッジの購入については、[181 ページの「サプライ品とアクセサリ」](#)を参照してください。

⚠ 注意：インクカートリッジは静電気放電敏感性デバイスであるため、取り扱いには注意が必要です ([234 ページの用語集](#)を参照)。ピン、リード、および内部回路に触れないようにしてください。

インクカートリッジのステータスを確認する

インクカートリッジのインク量を表示するには、 をタップし、情報を確認したいカートリッジをタップします。希望する場合には、インク情報ページに **[インクカートリッジの交換]** オプションがあります ([161 ページのインクカートリッジを取り外す](#)も参照)。

インクカートリッジの詳細を表示するには、情報を確認するカートリッジの色を押します。

HP Utility または内蔵 Web サーバーから情報を取得することもできます。

インクカートリッジのステータス メッセージの詳細は、[216 ページのインクカートリッジのステータスメッセージ](#)を参照してください。

HP Utility の手順

- HP DesignJet Utility (Windows) では、**[概要]** タブに移動すると、**サプライ品ステータス-カートリッジ**の下に、各カートリッジのステータスが表示されます。
- HP Utility (Mac OS X) では、**[情報]** グループの **[サプライ品のステータス]** を選択します。

インクカートリッジを取り外す

インクカートリッジの取り外しが必要になる場合は、次の3点があげられます。

- カートリッジのインクが僅かで、無人印刷を実行するために満杯のカートリッジに交換する必要がある場合 (元のカートリッジは都合のよいときに使い切ることができます)
- インクカートリッジが空になったか問題があり、印刷を続行するために交換する場合
- プrintヘッドを交換するが、インクカートリッジ内に残ったインクが足りないため Printヘッド交換プロセスを完了できない場合 (この場合、カートリッジが空でなければもう一度使用することができます)

⚠ 注意：印刷中はインクカートリッジを取り外さないでください。

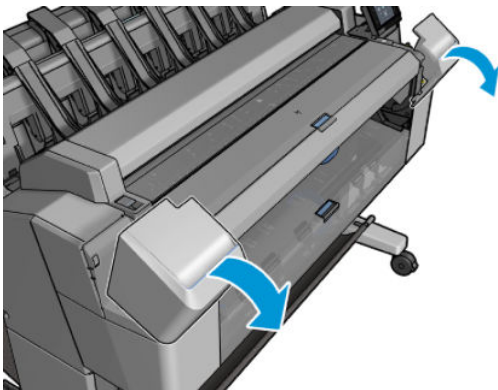
注意：インクカートリッジを取り外す場合は、新しいインクカートリッジを用意してから行ってください。

注意：プリンタのキャスターがロックされ (ブレーキレバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

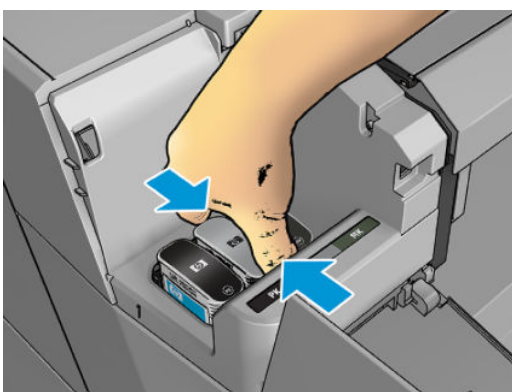
📖 注記：カートリッジがインク切れになると、現在のジョブは自動的にキャンセルされます。手動でキャンセルした場合を除いて、空のカートリッジを交換すると印刷が再開されます。カートリッジの交換が遅れると、印刷物にバンディングが入ることがあります。

1. フロントパネルから、 を押して、**[交換]** を押します。

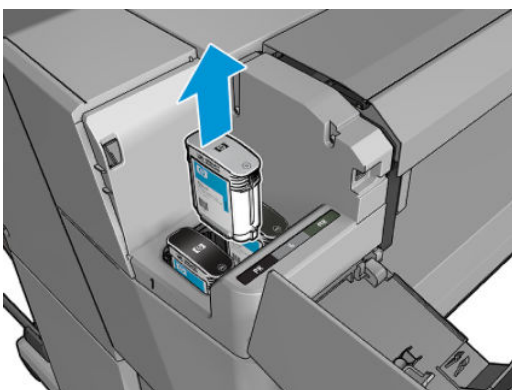
2. プリンタの左側または右側にあるインクカートリッジカバーを開きます。





3. 取り外すカートリッジをつかみます。



4. カートリッジを真上に引き上げます。



 **注記**：プリンタとの接続部分には触らないでください。接続部分にインクが付着している場合があります。

 **注記**：一部使用済みのインクカートリッジは保管しないようにしてください。

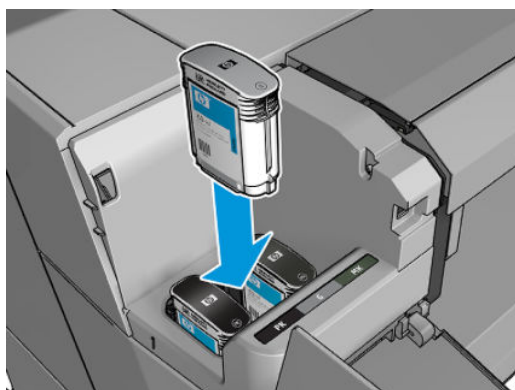
5. フロントパネルに、取り付けられていないインクカートリッジが表示されます。

インクカートリッジを取り付ける

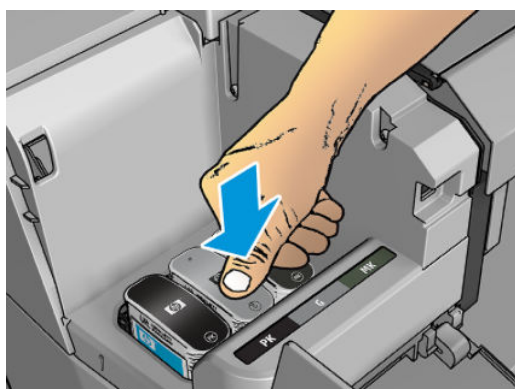
1. インクカートリッジは、袋から取り出す前によく振ります。



2. 新しいインクカートリッジを取り出し、ラベルを参照してインクの色を確認します。空いたスロットに印された文字(このイラストの場合、マゼンタを意味する M)と、カートリッジのラベルの文字が同じであることを確認します。
3. インクカートリッジをスロットに取り付けます。フォトブラック、グレー、マットブラックを左側に、シアン、マゼンタ、イエローを右側に取り付けます。

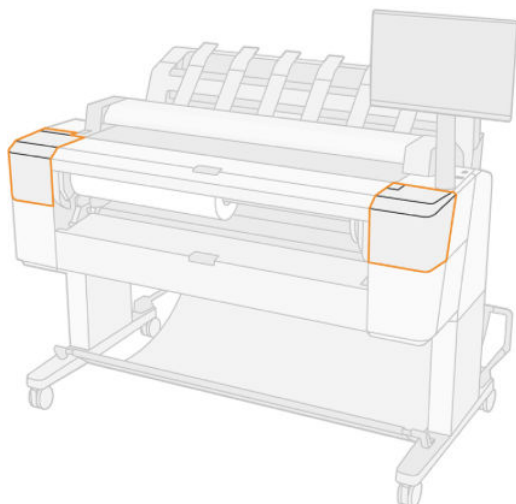


4. 音がして固定されるまでカートリッジをスロットに押し込みます。カートリッジが取り付けられると、ブザーが鳴り、確認メッセージが表示されます。



取り付けにくい場合は、[216 ページのインクカートリッジを取り付けられない](#)を参照してください。

- すべてのカートリッジを取り付けたら、カバーを閉めます。



- フロントパネルに、すべてのカートリッジが正しく取り付けられたことが表示されます。

HP 製品以外のインクカートリッジを使用できますが、以下の重大な欠点があります。インク量またはインクカートリッジの再利用、補充、または偽造のステータスを確認できない場合があります。結果としてサービスや修理が必要となった場合は、保証の対象とはなりません。システムのインクのフラッシング、カラー キャリブレーション、およびプリントヘッドの位置合わせが推奨されます。印刷品質の問題が発生する場合は、HP 純正インクへの変更をお勧めします。



プリントヘッドについて

プリントヘッドはインクカートリッジに接続されており、用紙にインクを噴射します。

⚠注意：プリントヘッドは静電気放電敏感性デバイスであるため、取り扱いには注意が必要です ([234 ページの用語集](#)を参照)。ピン、リード、および内部回路に触れないようにしてください。

プリントヘッドのステータスを確認する

印刷が終わるごとに、プリンタは自動的にプリントヘッドの確認と保守を行います。使用しているプリントヘッドの詳細を確認するには、以下の手順を実行します。

- フロントパネルで  をタップし、次に  をタップして、情報を確認するプリントヘッドをタップします。
- フロントパネルには以下の情報が表示されます。
 - カラー
 - 製品名
 - 製品番号
 - シリアル番号
 - ステータス ([224 ページの「フロントパネルエラーメッセージ」](#)を参照)
 - 使用済みインク量
 - 保証期限

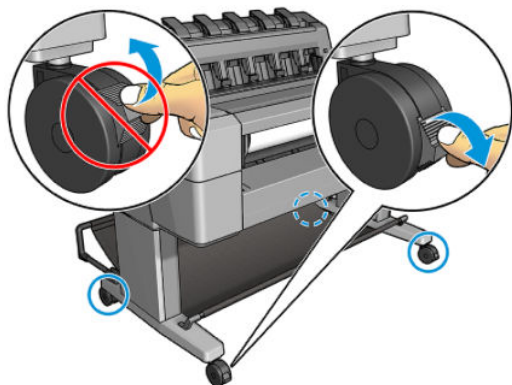
HP Utility からこの情報の一部を取得できます。

プリントヘッドのステータスメッセージの詳細は、[218 ページのプリントヘッドのステータスメッセージ](#)を参照してください。

保証期限が「**保証に関する注記を参照**」の場合は、期限切れのインクが使用されていることを示します。保証期限が「**保証対象外**」の場合は、HP 製以外のインクが使用されていることを示します。保証の詳細は、プリンタに付属している限定保証書を参照してください。

プリントヘッドを取り外す


⚠ 注意： プリンタのキャスターがロックされ(プレーキレバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。



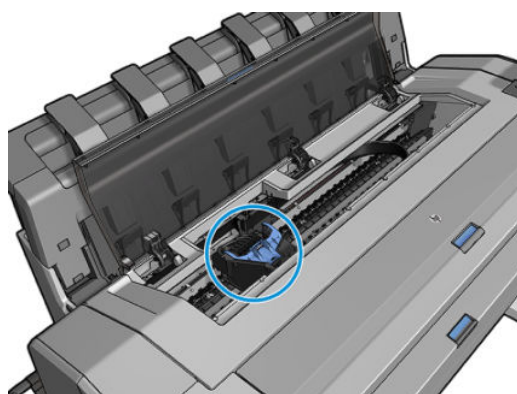
⚠ 注意： プリントヘッドの交換は、プリンタの電源を入れた状態で行ってください。

1. フロントパネルから、、 の順に押し、**[交換]** を押します。

フロントパネルに、交換用のプリントヘッドが新品か中古品かを確認するメッセージが表示されることがあります。

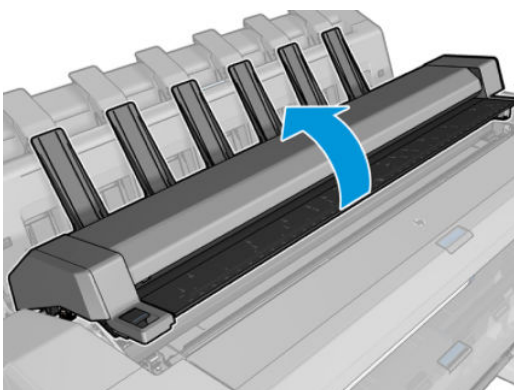
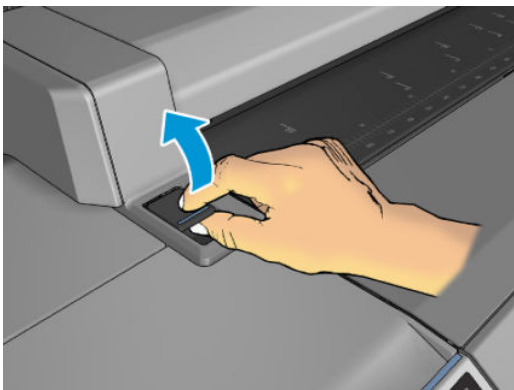
📄 注記： このプロセスは、 を押すことでいつでもキャンセルできます。

2. キャリッジが自動的にプリンタの左端に移動します。

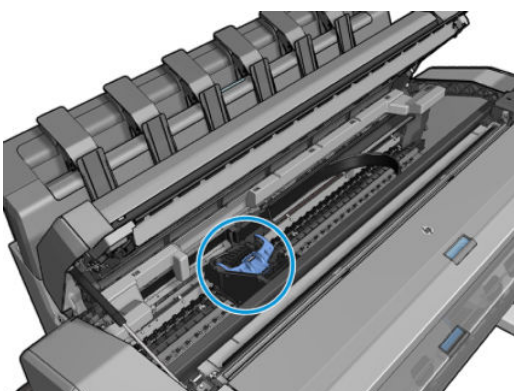


⚠ 注意： キャリッジは、取り外し位置に移動してからプリントヘッドの取り付けや取り外しが行われずに3分以上放置されると、右端の通常の位置に戻ります。

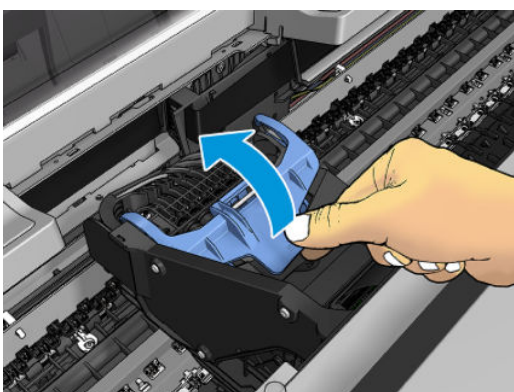
3. フロントパネルにスキャナを持ち上げるように要求するメッセージが表示されます。



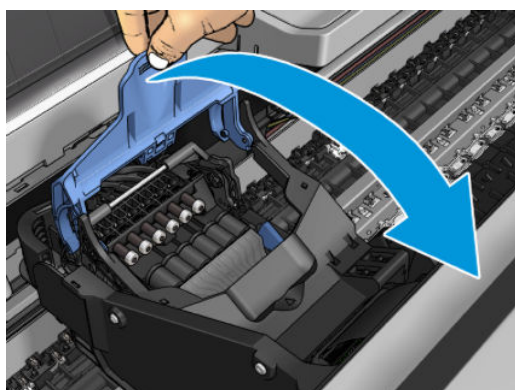
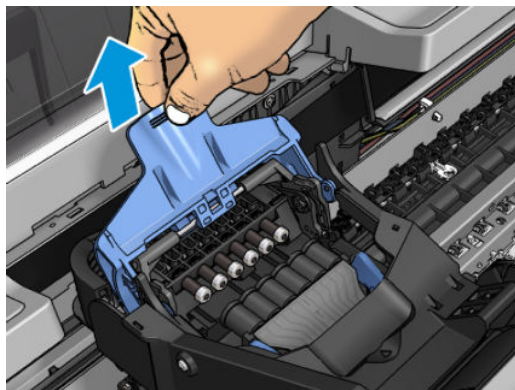
4. プリントヘッドキャリッジを確認します。



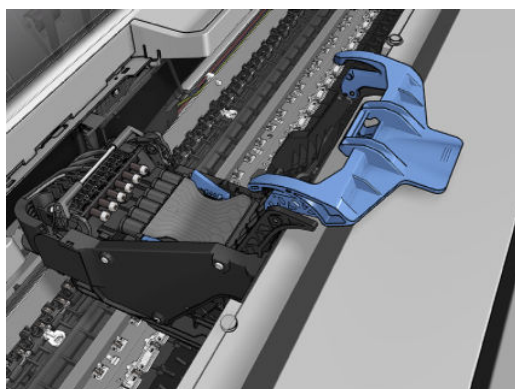
5. 青のプリントヘッドカバーを引き上げます。



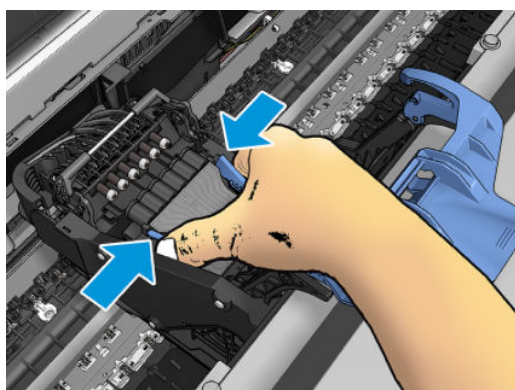
6. 青のカバーを手前に引き戻し、取り付けられている黒の部品を持ち上げます。



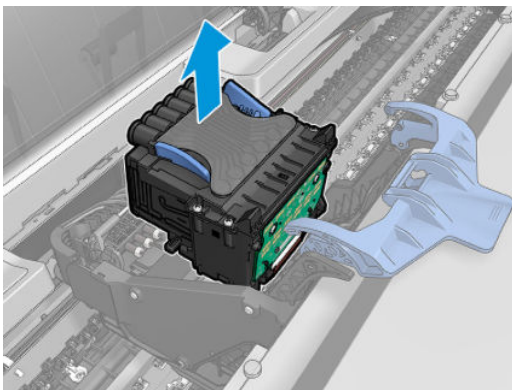
7. 黒の部品をほぼ垂直方向のままにします。




8. プリントヘッドの両側の青の部品をつかみます。




9. プリントヘッドをカートリッジから持ち上げます。

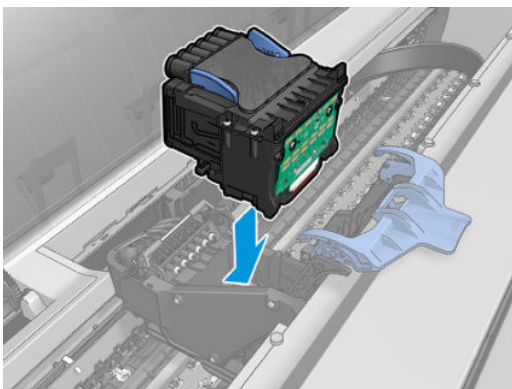


プリントヘッドを挿入する

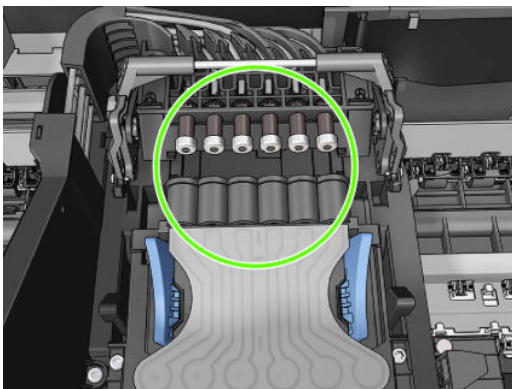
 **注記**：装着されたインクカートリッジにプリントヘッド交換プロセスを完了するのに必要なインクがない場合、新しいプリントヘッドを正常に取り付けることができません。この場合は、インクカートリッジを交換してから、新しいプリントヘッドを取り付けてください。インクが少し残っている場合は、古いカートリッジを後で使用することができます。

1. 新しいプリントヘッドを取り付けます。

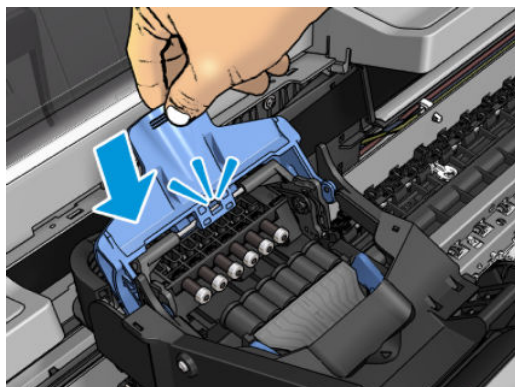
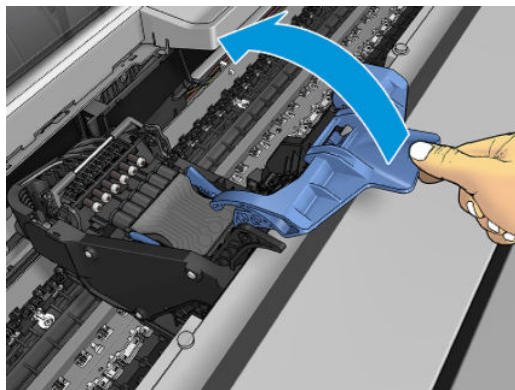
 **注意**：プリントヘッドは、ゆっくりと垂直に下ろして取り付けてください。急に下ろしたり、斜めに取り付けたり、取り付ける際に回したりすると、破損することがあります。



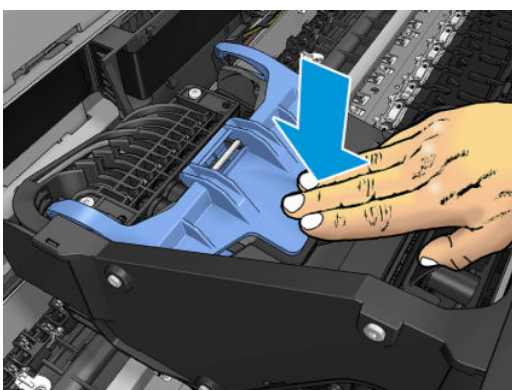
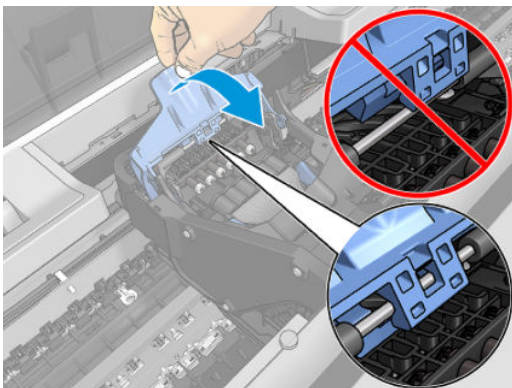
2. プリントヘッドがインクコネクタと正しく合っていることを確認します。




3. 黒の部品をプリントヘッドの上にはげます。



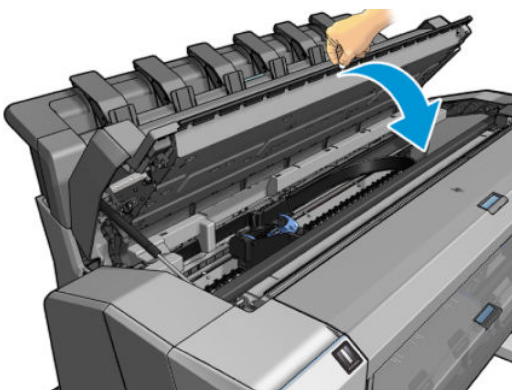
4. 青のカバーを閉じ、正しく閉じていることを確認します。



プリントヘッドが正しく取り付けられ、プリンタがそれを認識すると、プリンタのブザーが鳴ります。

 **注記**：プリントヘッドを取り付けてもブザーが鳴らず、フロントパネルに[交換して下さい]というメッセージが表示された場合は、プリントヘッドを取り付け直してください。

5. スキャナを下げます。



6. フロントパネルに、プリントヘッドが正しく取り付けられたことが表示されます。プリントヘッドの確認と準備が開始されます。デフォルトの準備プロセスには10分かかります。プリントヘッドの準備中に問題が発見された場合、この処理に最大で45分ほどかかることがあります。用紙が取り付けられていれば、プリントヘッドの確認と準備の終了後に、プリントヘッドの軸合わせが自動的に実行されます。[217ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。
7. 新しいプリントヘッドを取り付けたら、カラーキャリブレーションを実行することをお勧めします。[128ページのカラーキャリブレーション](#)を参照してください。

匿名の使用状況に関する情報の格納

各インクカートリッジには、プリンタの操作を支援するメモリチップが含まれます。また、このメモリチップはプリンタの使用状況について、以下を含む限定された内容の匿名情報を収集します。カートリッジが最初に取り付けられた日、カートリッジが最後に使用された日、カートリッジを使用した印刷部数、印刷適用範囲、印刷頻度、使用された印刷モード、発生した印刷エラー、および製品モデル。この情報は、お客様の印刷に関するニーズに対応する今後の製品の設計に役立ちます。

メモリチップから収集された情報には、カートリッジやプリンタのお客様やユーザの特定に利用可能な情報は含まれていません。

HP は、HP の無料回収およびリサイクルプログラム (HP Planet Partners : <http://www.hp.com/recycle>)。今後の HP 製品の改善のため、収集されたメモリチップを読み取り、研究しています。


インクカートリッジのリサイクルを支援する HP のパートナーも、この情報にアクセスすることができます。カートリッジを保有する任意の第三者が、メモリチップ上の匿名情報にアクセスできる可能性もあります。


この匿名情報の提供を望まれない場合は、メモリチップに情報が保存されないようにプリンタを設定できます。これを行うには、内蔵 Web サーバーにアクセスし、**[セキュリティ]** > **[セキュリティ設定]** を選択し、**[プリンタ設定]** セクションで **[匿名使用情報]** に切り替えます。これにより、その他の点でカートリッジの正常な動作が妨げられることはありません。ただし、後で工場出荷時のデフォルト設定に戻し、プリンタの使用状況に関する情報の収集を再開することもできます。


セーフモード

環境仕様外でのプリンタの動作など、特定の条件の下で、またはインクカートリッジの再利用、補充、偽造が検出された場合、プリンタは「セーフ」モードで動作します。HP は、環境使用外で動作する印刷システムや、使用済み、補充または偽造インクカートリッジが取り付けられた印刷システムのパフォーマンスは保証できません。セーフモードは、プリンタとプリントヘッドを予期しない状態による損傷から保護するためのモードであり、プリンタのフロントパネルと内蔵 Web サーバおよび HP Utility にアイコンが表示されているときはセーフモードで動作しています。

パフォーマンスを最大限に高めるため、HP 純正インクカートリッジを使用してください。HP 純正インクとプリントヘッドを含む HP DesignJet 印刷システムは、どのような印刷でも妥協のない印刷品質、一貫性、パフォーマンス、耐久性、および価値を実現できるようにセットで設計されています。

 **注記** : このプリンタは、再利用可能なインクシステムを使用するには設計されていません。印刷を再開するには、インク連続供給システムを取り外し、HP 純正カートリッジ(または互換性があるカートリッジ)を取り付けます。

 **注記** : このプリンタは、インクカートリッジが空になるまで使用するように設計されています。空になる前にカートリッジを補充すると、プリンタが故障する可能性があります。このような場合、印刷を続行するには新しいカートリッジ(正規版の HP カートリッジまたは互換性があるカートリッジ)を取り付けます。

 **注記** : 本プリンターはダイナミック・セキュリティを搭載しています。HP 純正チップを使用したカートリッジのみでの使用を想定しています。HP のチップが搭載されていないプリントカートリッジは使用出来ない場合があります。現在使用が可能な場合でも、将来的に使用出来なくなる場合があります。詳細については以下をご参照下さい。(<http://www.hp.com/go/learnaboutsupplies>) からインストールパッケージにアクセスします。

13 プリンタの保守

- [プリンタ ステータスを確認する](#)
- [プリンタの外部をクリーニングする](#)
- [インクカートリッジを保守する](#)
- [プリンタを移動または保管する](#)
- [ファームウェアをアップデートする](#)
- [ソフトウェアをアップデートする](#)
- [プリンタ保守キット](#)
- [安全なファイル消去](#)
- [ディスク拭取り](#)

プリンタ ステータスを確認する

プリンタの現在のステータスは、以下のさまざまな方法で確認できます。

- 内蔵 Web サーバにアクセスすると、プリンタの全般的なステータスに関する情報が表示されます。【メイン】タブの【サプライ品】ページに、用紙およびインク サプライ品のステータスが表示されます。
- フロントパネルにトップレベルの画面は3つあり、指をスライドさせることで切り替えることができます。メイン画面からは、最も重要な機能に直接アクセスできます。画面を左にスワイプしてウィジェット ページを表示すると、インク、用紙のサプライ、ジョブ キューのステータスを確認できます。

現在アラートがある場合には、ホーム画面の上部行に、優先度が最も高いアラートが表示されます。ダッシュボードを下にスワイプすると、【ステータスセンター】が表示され、操作を実行できます。

- HP Utility を起動して、使用するプリンタを選択すると、プリンタ、用紙、インク サプライ品のステータスが記述されたページが表示されます。

プリンタの外部をクリーニングする

プリンタの外部や、通常の操作で触れるその他の部分のクリーニングには、湿らせたスポンジや柔らかい布と、研磨剤の入っていない液状の石鹼など、刺激の少ない家庭用洗剤を使用します。

⚠ 警告！ 感電を防ぐために、クリーニングの前に、プリンタの電源がオフになっていて、電源コードが抜いてあることを確認してください。プリンタ内部に水が入らないようにしてください。

⚠ 注意： プリンタに研磨剤入り洗剤を使用しないでください。

インクカートリッジを保守する

インクカートリッジは、通常の使用期間内であれば特別な保守は必要ありません。ただし、最高の印刷品質を維持するため、使用期限に達したカートリッジは交換してください。カートリッジが使用期限に達すると、プリンタのフロントパネルに表示されます。

カートリッジの使用期限はいつでも確認できます。[173 ページのプリンタ ステータスを確認する](#)を参照してください。

[160 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」](#)も参照してください。

プリンタを移動または保管する

プリンタを移動したり、保管したりする必要がある場合は、損傷を防ぐために適切な準備作業を行ってください。プリンタの準備作業を行うには、以下の手順に従います。

1. インクカートリッジ、プリントヘッドは取り外さないでください。
2. 用紙が取り付けられていないことを確認します。
3. プリンタがアイドル状態であることを確認します。
4. ネットワークやコンピュータにプリンタを接続しているすべてのケーブルを取り外します。
5. プリンタが出入口を通るときスタッカが邪魔になりそうな場合は、2本のねじを取り外すことで折りたたむことができます。

長期間プリンタの電源をオフのままにする必要がある場合は、以下の追加手順を実行します。

1. フロントパネルの **電源** ボタンを押して、電源をオフにします。
2. プリンタの電源ケーブルを取り外します。

⚠ 注意：プリンタを逆さにすると、プリンタ内部にインクが漏れてプリンタに重大な故障が発生することがあります。

電源ケーブルを再度接続するときは、必ずケーブルを背面のガッタに沿ってきれいに配線してください。

プリンタの電源を入れ直すと、プリンタの初期化、およびプリントヘッドの確認と準備に約3分かかります。プリントヘッドの準備は、通常、1分強かかります。ただし、プリンタを6週間以上使用していない場合は、プリントヘッドの準備に最大45分かかることがあります。

⚠ 注意：プリンタの電源を6週間以上オフのままにしておいた場合、プリントヘッドが使用できなくなる可能性があります。この場合、プリントヘッドを交換する必要があります。

💡 ヒント：プリントヘッドの準備と除去では時間とインクが消費されるので、プリントヘッドの状態を良好に保つために、プリンタの電源を常にオン、またはスリープモードにしておくことを強くお勧めします。どちらの場合も、随時プリンタは自動的に起動し、プリントヘッドが保守されます。そのため、プリンタを使用する前に、準備処理に長い時間をかけずに済みます。

ファームウェアをアップデートする

プリンタのさまざまな機能は、プリンタ内のファームウェアによって制御されています。

ファームウェアのアップデートは、随時、HP から入手することができます。これらのアップデートによって、プリンタの機能が強化されます。小さい問題が修正されることもあります。

📌 重要：最新の開発機能を活用するため、ファームウェアを定期的に更新することを強く推奨します。

ファームウェアのアップデートをダウンロードおよびインストールするには、下記のようなさまざまな方法があります。最も便利な方法を選択できます。自動アップデートと手動アップデートの2つのカテゴリに分けることができます。

自動ファームウェア アップデート

自動ファームウェア アップデートは、Web 接続プリンタで使用すると便利です。プリンタで最新のファームウェアリリースを自動的にダウンロードし、インストールすることができます。

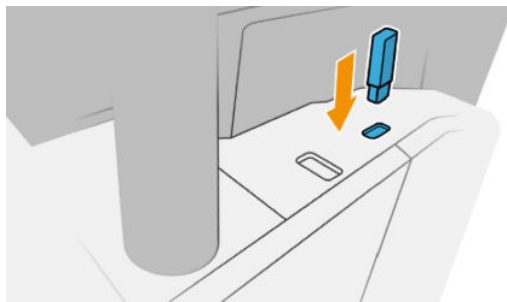
重要な注意事項

- プリンタがインターネットに接続されている必要があります。[19 ページのプリンタサービスのセットアップ](#)を参照してください。
- 自動ファームウェア アップデートを設定するには、フロントパネルまたは内蔵 Web サーバを使用します。[19 ページのプリンタサービスのセットアップ](#)を参照してください。
- 管理者パスワードが設定されている場合は、これらの設定を変更する必要があります。
- ファームウェア アップデートのパッケージは大きい可能性があります。ネットワーク接続またはインターネット接続に何らかの影響がないかどうかを検討してください。
- ファームウェア アップデートはバックグラウンドでダウンロードされます。プリンタでは、同時に印刷することができます。ただし、バックグラウンドでインストールすることはできません。印刷を停止する必要があります。

手動ファームウェアアップデート

手動ファームウェアアップデートは、以下のいずれかの方法で実行できます。

- 内蔵 Web サーバーを使用して、**[プリンタについて]** タブを選択し、**[手動ファームウェアアップデート]** を選択します。新しいファームウェアが入手可能な場合は、そのファームウェアに関する情報が表示されるので、必要に応じて、ダウンロードしてインストールすることができます。
- Windows で HP DesignJet Utility を使用して、**[管理者]** タブを選択し、**[ファームウェアアップデートの開始]** を選択します。
- HP Web Jetadmin を使用して、ファームウェアのアップデートを手動で行うことができます。また、自動アップデートを要求することもできます。
- USB フラッシュドライブを使用して、<http://www.hp.com/go/DesignJetT2600/firmware> から USB フラッシュドライブにファームウェアファイルをダウンロードし、それをフロントパネルのそばにある高速 USB ホストポートに挿入します。ファームウェアのアップデートアシスタントがフロントパネルに表示され、アップデート処理手順を説明します。



ソフトウェアをアップデートする

プリンタのプリンタドライバおよび他のソフトウェアをアップデートするには、<http://www.hp.com/go/DesignJetT2600/drivers> を参照してください。

- Windows では、HP Software Update によってソフトウェアのアップデートが定期的に行われます。HP DesignJet Utility が再起動されたときに、自動アップデートが行われることもあります。
- Mac OS X では、Apple SW Update によりソフトウェアアップデート (利用可能な場合) が行われま
す。

プリンタ保守キット

プリンタには2種類の保守キットが用意されており、長期間使用したコンポーネントを交換できます。コンポーネントの交換が必要なときは、フロントパネルにメッセージが表示されるか、HP Utility によってメッセージが表示されます。

メッセージが表示されたときは、HP サポート ([227 ページの HP のサポートに問い合わせる](#)を参照) までお問い合わせの上、保守キットを入手してください。キットをインストールできるのは、サービスエンジニアだけです。

安全なファイル消去

プリンタのハードディスクは、印刷ジョブの一時的な格納領域として使用されます。[Secure File Erase] (安全なファイル消去) では、ハードディスクから一時ファイルを消去して、権限のないアクセスから保護できます。有効にするとすぐに消去されますが、すでにハードディスク上にあった古い一時ファイルがさかのぼって消去されることはありません。古いファイルも消去する場合は、[176 ページのディスク拭取り](#)を参照してください。

[安全なファイル消去]機能では、次の3つのセキュリティレベルを設定できます。

- **Non-Secure (非セキュア)**：情報の参照元がすべて消去されます。情報そのものは、その情報が入っているディスク領域が他の目的で必要になるまでハードディスクに残りますが、その後は上書きされます。情報はディスクに残りますが、ほとんどのユーザにとってアクセスすることは困難です。ただし、特定の目的で設計されたソフトウェアを使用すればアクセス可能です。これは、ほとんどのコンピュータシステムでファイルが消去される通常の方法です。最も高速ですが、最も安全性が低くなります。
- **Secure Fast Erase (1 pass) (セキュア高速消去 (1 パス))**：情報の参照元がすべて削除され、情報そのものも固定された文字パターンで上書きされます。[Non-Secure] (非セキュア) よりは時間がかかりますが、より安全な方法です。それでも、磁気の痕跡を検出する特殊なツールを使用すれば、消去した情報の断片にアクセスすることが可能な場合があります。
- **Secure Sanitizing Erase (5 passes) (セキュアサニタイジング消去 (5 パス))**：情報の参照元がすべて削除され、情報そのものもすべての痕跡を除去するために作られたアルゴリズムを使用して繰り返し上書きされます。最も時間はかかりますが、最も安全な方法です。セキュアサニタイジング消去は、米国国防総省の、ディスクメディアの消去およびサニタイジングの要件 (5220-22.m) に適合しています。安全なファイル消去を使用する際は、これがデフォルトのセキュリティレベルです。

ファイルの消去中は、プリンタのパフォーマンスに影響が及ぶ可能性があります。

安全なディスク消去は、HP から無料で提供されている Web ベースの印刷管理ソフトウェア Web JetAdmin の機能の 1 つです。詳細は、<http://www.hp.com/go/webjetadmin> を参照してください。


Web JetAdmin から安全なファイル消去を行うときに問題が発生したときは、HP サポート ([227 ページの HP のサポートに問い合わせる](#)を参照) にお問い合わせください。

安全なファイル消去の設定は、Web JetAdmin または内蔵 Web サーバーから変更できます ([**セキュリティ**] > [**セキュリティ設定**])。

ディスク拭取り

ディスク拭取りは、安全なファイル消去と同じですが ([175 ページの安全なファイル消去](#)を参照)、古い一時ファイルを含むすべての一時ファイルが消去される点が異なります。

ファイル拭取りの設定は、Web JetAdmin または内蔵 Web サーバーから変更できます ([**セキュリティ**] > [**セキュリティ設定**])。

 **注記**：ハードディスク全体を消去すると、処理中に何度かプリンタの再起動を要求される場合があります。この処理は、安全なファイル消去では約 6 時間、セキュアサニタイジング消去では約 24 時間かかります。

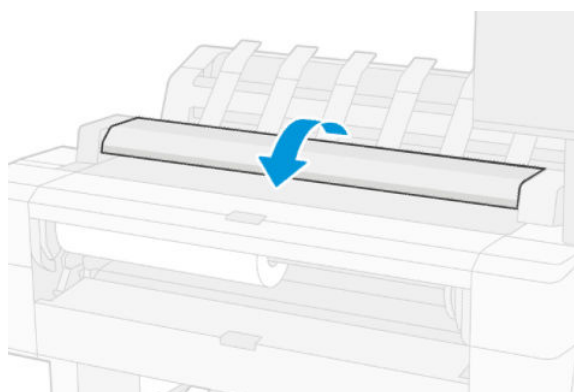
14 スキャナの保守

- [スキャナのガラスプレートをクリーニングする](#)
- [スキャナのキャリブレーションを行う](#)

スキャナのガラスプレートをクリーニングする

スキャナを使用する頻度に応じて、スキャナのガラスプレートを定期的にクリーニングすることを推奨します。

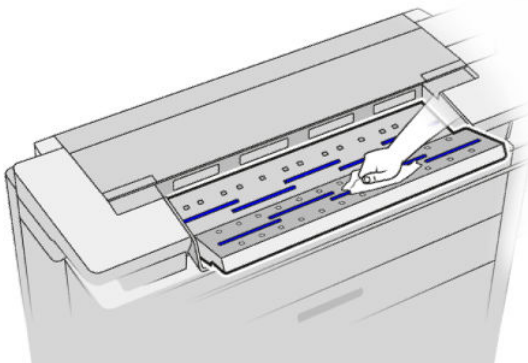
1. 前面にある **電源ボタン** を使用してプリンタの電源をオフにして、背面にある電源スイッチもオフにして、電源ケーブルを取り外します。
2. スキャナの背面の左側に小さなレバーがあります。レバーを上方にスライドさせて、スキャナカバーを開きます。



⚠ 警告！ スキャナカバーが開いているときは、スキャナを持ち上げないでください。指や手をはさんだり傷つけたりする恐れがあります。

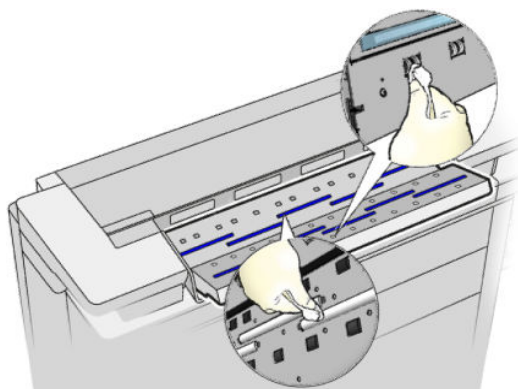
3. 糸くずの出ない布を水で湿らせて、ガラスプレートと周辺部分を丁寧に拭いてから、布を絞って水気を取ります。製品に適した布が付属しています。

⚠ 注意：研磨剤、アセトン、ベンゼン、またはこれらの化学物質を含む液体を使用しないでください。スキャナのガラスプレートやスキャナのその他の場所に、液体を直接スプレーしないでください。

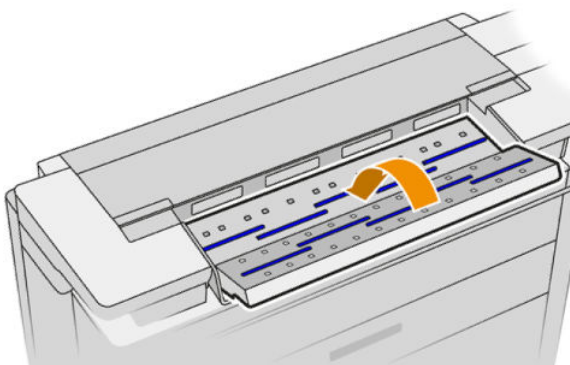


ガラスに水滴が多少ついていても、蒸発するので気にしないでください。

4. 必要に応じて、さらに詳細なクリーニングを行うには：
 - ガラスプレートを取り外して、その両側をクリーニングします。
 - 加圧ローラーおよび給紙ローラーをクリーニングします。



5. スキャナのカバーを閉じて、それをゆっくり下方に押し込んで所定の位置に固定します。




6. スキャンする前にスキャンするシートを置く、スキャナのすぐ前の部分をクリーニングします。
7. プリンタの電源ケーブルを再接続して、背面にある電源スイッチをオンにし、電源ボタンを使用してプリンタの電源をオンにします。

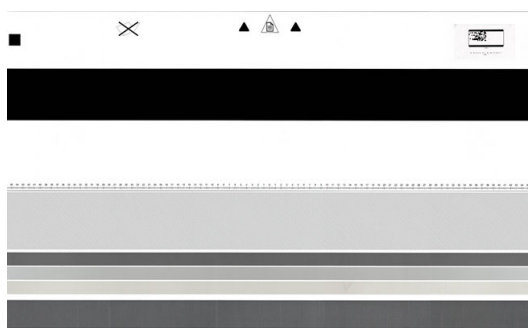
スキャナのキャリブレーションを行う

スキャナは出荷時にキャリブレーションされており、CIS スキャナは理論的には製品寿命までに再度キャリブレーションする必要がありません。ただし、環境の変化によって、スキャナでイメージの問題が発生し、スキャナを再度キャリブレーションすることで簡単に修正できることがあります。この手順全体で10分もかかりません。また、CIS技術の限界についてこのガイドですでに説明していることを念頭において、スキャンしたファイルまたはコピーに望ましくない影響や品質の劣化が見られる場合には常に、スキャナに再度キャリブレーションを実行することを推奨します。キャリブレーションを正常に実行してもまだイメージ品質に問題がある場合、[113 ページのスキャナのトラブルシューティング](#)を参照してください。または、CCD スキャナの購入をご検討ください。

スキャナのキャリブレーションを実行するには

1. スキャナをクリーニングします。[177 ページのスキャナのガラスプレートをクリーニングする](#)を参照してください。
2. フロントパネルで  をタップし、[スキャナの環境設定] > [スキャナのキャリブレーション] を選択します。
3. フロントパネルに表示される指示に従ってください。

スキャナのキャリブレーションを実行するのに必要な付属の保守シートは、以下のように見えます。



保守シートの表を上にし、中央に、できるだけスキューを少なくして、スキャナに取り付けます。キャリブレーションが終わったら、保守シートを注意深く頑丈なカバーに入れて、風通しのよい、湿気のない場所に保存してください。それを怠ると保守シートが損傷する場合があります。今後のスキャナの操作に影響を及ぼす可能性があります。スキャナのキャリブレーションを実行する前に、保守シートに汚れや、しわ、傷がないか、折れていないかを確認します。必要に応じて、サポート担当者に連絡し、新しい保守シートを依頼してください。

キャリブレーションが失敗する場合

1. プリンタの電源がオンになっていて、通常の操作を行う準備ができていることを確認します。
2. スキャナが正しく動作していることを確認します。それをテストするには、小さいドキュメントをファイルにスキャンします。
3. キャリブレーションを実行する前に、スキャナが汚れていないことを確認します。不確かな場合は、スキャナをクリーニングしてから、キャリブレーション処理を再開します。
4. キャリブレーションシートを取り出して、汚れがない良好な状態であり、表を上にして、スキャナの完全に中央に配置していることを確認して、再度取り付けます。

5. 上記の手順が役立たない場合は、シートを取り出して、プリンタを再起動します(電源をオフにしてからオンにします)。システムが再起動したら、キャリブレーションを繰り返します。
6. 3回連続して試しても正しくキャリブレーションを実行できない場合は、サポート担当者に連絡して、フロントパネルに表示されるエラーコードを報告してください。

15 サプライ品とアクセサリ

- [サプライ品およびアクセサリの注文方法](#)
- [アクセサリ](#)

サプライ品およびアクセサリの注文方法

サプライ品とアクセサリには、次の2つの注文方法があります。

- <http://www.hp.com> にアクセスし、プリンタを選択して、アクセサリ ボタンをクリックします。
- HP サポート ([227 ページの HP のサポートに問い合わせるを参照](#)) に問い合わせ、必要なものがお住まいの地域で入手可能であることを確認する

以下は、執筆時点でご使用いただけるサプライ品およびアクセサリと製品番号のリストです。

インク サプライ品について

このプリンタ対応のインク サプライ品は以下のとおりです。

インクカートリッジ


カートリッジ	製品番号
HP 730 130ml シアン DesignJet インクカートリッジ	P2V62A
HP 730 130ml マゼンタ DesignJet インクカートリッジ	P2V63A
HP 730 130ml イエロー DesignJet インクカートリッジ	P2V64A
HP 730 130ml マットブラック DesignJet インクカートリッジ	P2V65A
HP 730 130ml グレー DesignJet インクカートリッジ	P2V66A
HP 730 130ml フォトブラック DesignJet インクカートリッジ	P2V67A
HP 730 300ml シアン DesignJet インクカートリッジ	P2V68A
HP 730 300ml マゼンタ DesignJet インクカートリッジ	P2V69A
HP 730 300ml イエロー DesignJet インクカートリッジ	P2V70A
HP 730 300ml マットブラック DesignJet インクカートリッジ	P2V71A
HP 730 300ml グレー DesignJet インクカートリッジ	P2V72A
HP 730 300ml フォトブラック DesignJet インクカートリッジ	P2V73A

プリントヘッド

プリントヘッド	製品番号
HP 732 プrintヘッド	B3P06A

用紙について

このプリンタに現在対応している用紙は以下のとおりです。

 **注記：**以下の表の内容は、将来変更される場合があります。最新情報については、<http://www.hp.com> を参照してください。

 **注記：**HP でサポートしていない用紙の種類もプリンタで使用できます。

販売国/地域を示すコード

- (A) アジア(日本を除く)で販売されている用紙を示します。
- (C) 中国で販売されている用紙を示します。
- (E) ヨーロッパ、中東、およびアフリカで販売されている用紙を示します。
- (J) 日本で販売されている用紙を示します。
- (L) 南米で販売されている用紙を示します。
- (N) 北米で販売されている用紙を示します。

製品番号に括弧が付いていない場合、その用紙はすべての地域で販売されています。

ロール紙

用紙の種類	g/m ²	長さ	幅	製品番号	
HP 普通紙とコート紙					
HP プラススーパー厚手マット紙	210	30.4m	610mm	Q6626B (ELN)	
			914mm	Q6627B (AELN)	
HP スタンダード普通紙	80	45.7m	594mm (A1)	Q8003A (AJ)	
			610mm	Q1396A	
				SA025A (2 個パック) (J)	
			914mm	Q1397A	
			91.4m	594mm (A1)	Q8004A (EAJ)
				840mm (A0)	Q8005A (EAJ)
			914mm	C6810A	
HP インクジェット用上質普通紙	90	45.7m	419mm	Q1446A (EJ)	
			594mm (A1)	Q1445A (EJ)	
			610mm	C1860A (LN)	
			610mm	C6035A (EAJ)	
			840mm (A0)	Q1444A (EAJ)	
			914mm	C6036A (EAJ)	
			914mm	C1861A (LN)	
91.4m	914mm	C6810A			
HP 厚手コート紙	130	30.4m	610mm	C6029C	
			914mm	C6030C	
HP コート紙	90	45.7m	594mm (A1)	Q1442A (AEJ)	
			610mm	C6019B	
			840mm (A0)	Q1441A (EJ)	
			914mm	C6020B	
			91.4m	914mm	C6980A
HP スタンダードコート紙	90	45.7m	610mm	Q1404B	

ロール紙 (続き)

用紙の種類	g/m ²	長さ	幅	製品番号
			914mm	Q1405B
HP スタンダード厚手コート紙	131	30.4m	610mm	Q1412B
			914mm	Q1413B
HP テクニカル用紙				
HP 半透明ポンド紙	63	45.7m	610mm	C3860A (LN)
			914mm	C3859A (AJLN)
HP モノクロ&カラートレーシングペーパー	90	45.7m	594mm (A1)	Q1439A (J)
			610mm	C3869A
			914mm	C3868A
HP フィルム (テクニカル&グラフィック)				
HP クリアフィルム	174	22.8m	610mm	C3876A
			914mm	C3875A
HP マットフィルム	160	38.1m	610mm	51642A
			914mm	51642B
HP インクジェット専用紙	131	45.7m	610mm	51631D (ELN)
			914mm	51631E
HP フォト用紙				
HP ユニバーサル光沢フォト用紙	200	30.4m	610mm	Q1426B
			914mm	Q1247B
HP ユニバーサル サテン フォト用紙	200	30.4m	610mm	Q1420B
			914mm	Q1421B
HP スタンダード速乾性光沢フォト用紙	200	30.4m	610mm	Q6574A
			914mm	Q6575A
HP プレミアム速乾光沢フォト紙	235	30.5m	610mm	Q7991A (AELN)
			914mm	Q7993A (AELN)
HP ユニバーサル速乾性半光沢フォト用紙	200	30.4m	610mm	Q6579A
			914mm	Q6580A
		60.9m	1066 mm	Q8755A (AELN)
HP プレミアム速乾半光沢フォト紙	235	30.5m	610mm	Q7992A (AELN)
			914mm	Q7994A (AELN)
HP プレミアムマットフォト用紙	210	30.4m	610mm	CG459B
			914mm	CG460B
HP 粘着紙				
HP エブリデイ ポリプロピレン粘着マット紙	120	22.8m	610mm	COF18A (AELN)
	168 (裏地を含む)		914mm	COF19A (AELN)

ロール紙 (続き)

用紙の種類	g/m ²	長さ	幅	製品番号
HP エブリデイ ポリプロピレン 粘着マット紙、3 インチ コア	120	30.5m	914mm	D9R24A (ELN)
HP エブリデイ ポリプロピレン 粘着光沢紙	140	22.8m	914mm	COF28A (AELN)
	190 (裏地 を含む)			
HP スタンダード粘着ビニール	160	20m	914mm	C2T51B (2 個パック) (ELN)
	300 (裏地 を含む)			
HP サイン&バナー				
HP エブリデイ ポリプロピレン マット紙	120	30.4m	610mm	CH022A
			914mm	CH023A (AELN)
			60.9m	914mm
メディア名 : HP エブリデイ ポ リプロピレンマット紙 (3 イン チ コア)	120	61m	914mm	D9R28A (ELN)
HP プレミアム ポリプロピレン マット紙	140	22.9m	914mm	C2T53A (ELN)
HP 高耐性合成素材のバナー	133	22.9m	914mm	COF12A (LN)
HP 高耐性合成素材のバナー、3 インチ コア	133	30.5m	914mm	1AF09A (LN)
HP エブリデイ ブロックアウト ディスプレイ フィルム	220	30.5m	914mm	Y3Z17A (ELN)

アクセサリについて

お使いのプリンタ用にご使用いただけるアクセサリは以下のとおりです。

商品名	製品番号
HP USB 3.0 - Gigabit LAN アダプタ	N7P47AA
HP DesignJet PostScript®/PDF のアップグレードキット	CO666C
HP DesignJet 3 インチ スピンドルアダプタ キット	CN538A
HP DesignJet 36 インチ スピンドル	L4R66A
HP HD Pro 42 インチ スキャナ	G6H51B
HP SD Pro 44 インチ スキャナ	G6H50B

アクセサリ

PostScript アップグレード

PostScript アップグレードを使用すると、T2600MFP は、PDF ファイルや PostScript ファイル、スキャンからの PDF ファイルの生成 (PDF にスキャン) など、T2600MFP PS と同じファイルの種類を印刷できま

す。PostScript アップグレードは、プリンタの USB ホストに接続できます。永続的に接続したままにする必要はありません。一度接続するだけで、プリンタは永続的にアップグレードされます。

スピンドル

追加のスピンドルがあれば、用紙の種類をすばやく変更できます。

3 インチ スピンドル アダプタ キット

このアダプタがあれば、ロール紙の直径がプリンタの仕様内に収まっていれば、3 インチ芯のロール紙を使用することができます。

16 用紙に関するトラブルシューティング

- 用紙がうまく給紙されない
- 用紙の種類がドライバに含まれていない
- プリンタが間違った用紙の種類に印刷した
- 自動カットを使用できない
- 適当な用紙を待っています
- 用紙が印刷プラテンに詰まっている
- 用紙がスタッカに詰まっている
- プリンタからスタッカがいっぱいであることが予期せず報告される
- 帯が排紙トレイに残り、紙詰まりが発生する
- プリンタに用紙があるときに用紙切れと表示される
- 印刷物がバスケットにきちんと排出されない
- 印刷が完了してもカット紙がプリンタに留まる
- 印刷が完了すると用紙がカットされる
- カッターで正しくカットされない
- ロール紙がスピンドルでたるむ
- 用紙送りのキャリブレーションを行う

用紙がうまく給紙されない


- 用紙が取り付けられていないことを確認します。
- 用紙がプリンタの奥まで十分に差し込まれていることを確認します。十分に差し込まれている場合、プリンタに用紙が固定されているように感じられます。
- フロントパネルに指示が表示されない限り、位置合わせの処理中に用紙をまっすぐにしないでください。用紙はプリンタによって自動的にまっすぐにされます。
- 用紙がしわになっている、歪んでいる、または曲がっている可能性があります。
- 特に固い用紙を上部のロールから挿入することは困難な場合があります。下部のロールに移動してみてください。

ロール紙の取り付け失敗の問題

- 用紙が取り付けられない場合、用紙の先端が曲がっているかまたは汚れており、切り揃える必要があります。ロール紙の先端の 2cm を切り取ってもう一度試してください。新しいロール紙の場合でもこの処理が必要な場合があります。
- 用紙の端がスピンドルの端にしっかりと固定されていることを確認します。
- スピンドルが正しく挿入されていることを確認します。
- スピンドルに用紙が正しく取り付けられていることを確認します。[37 ページのロール紙をスピンドルに取り付ける](#)を参照してください。
- ロール紙の端の接続部がすべて取り除かれていることを確認します。
- 用紙がロールにしっかりと巻き取られていることを確認します。
- 位置合わせの処理中は、ロール紙または用紙に触れないでください。
- ロール紙を取り付けるときは、閉じるように要求するメッセージがフロントパネルに表示されるまで、ロールカバーを開いたままにする必要があります。

用紙がまっすぐ取り付けられていない場合、プリンタがロール紙をまっすぐにしようと試みます。

用紙の取り付けをやり直す場合、フロントパネルで処理をキャンセルし、ロール紙の端がプリンタから外れるまで、スピンドルの端からロール紙を巻き戻します。

 **注記：**ロール紙が芯の周りでゆるくなっていると、プリンタに用紙を取り付けることができません。

カット紙の取り付けに失敗する

- 特に厚手の用紙の場合は、プリンタが最初にカット紙を給紙するときにカット紙の位置を揃えます。
- カット紙の位置が、ロールカバー上の基準線に合っていることを確認します。
- フロントパネルに指示が表示されない限り、用紙の取り付けの処理中にカット紙をまっすぐにしないでください。
- はさみなどを使用して切ったカット紙 (形が不揃いである可能性があります) は使用せず、購入したカット紙のみを使用します。
- カット紙がゆがんでいないことを確認します。

問題が発生した場合は、フロントパネルディスプレイに表示される指示に従ってください。

用紙の取り付けをやり直す場合は、フロントパネルで処理をキャンセルします。用紙がプリンタから排紙されます。


用紙の取り付けのエラーメッセージ

用紙の取り付けに関連するフロントパネルメッセージと、推奨する処理の一覧を以下に示します。

フロントパネルメッセージ	推奨する処理
用紙の取り付けエラー	用紙が正しく取り付けられていません。用紙を取り除きます。
取り付け用紙にスキューが多すぎます	用紙の取り付け中に、用紙にスキュー（歪み）が多すぎることが検出されました。フロントパネルに表示される指示に従ってください。
用紙が芯に対してゆるくなっています	ロール紙の芯の周りがゆるくなっています。用紙を芯にしっかりと巻きつけるか、新しいロール紙を挿入します。
用紙が検出されませんでした	用紙の取り付け中に、用紙が検出されませんでした。用紙が完全に取り付けられており、透明ではないことを確認します。
用紙の取り付け中にロールカバーが閉じました	フロントパネルに指示が表示されるまで、ロールカバーを閉じないでください。
カット紙が大きすぎます	カット紙の取り付け中に、カット紙の幅が広すぎるか、長さが長すぎることが検出されたため、プリンタに正しく取り付けられません。フロントパネルに表示される指示に従ってください。
カット紙が小さすぎます	カット紙の取り付け中に、カット紙の幅が狭すぎるか、長さが短すぎることが検出されたため、プリンタに取り付けることができません。フロントパネルに表示される指示に従ってください。
上部のロール紙が取り付けられましたが、単独のカット紙経路に差し込まれています	ロール紙をカット紙スロットに差し込まないでください。

用紙の種類がドライバに含まれていない

ドライバに含まれない用紙に印刷する場合、既にドライバに存在するプリセットの1つとして用紙を使用することもできますが、透明か半透明か、光沢紙かマット紙かを指定する必要があります。

 **注記：**光沢紙にマットブラックインクを使用してもうまく印刷できません。光沢紙を使用する場合は、[用紙の種類] に光沢紙を指定することが重要です。

光沢紙

フォト用紙を使用する場合は、[**フォト用紙**] カテゴリを使用します。

マット紙

マット紙の場合は、[**普通紙とコート紙**] カテゴリのいずれかの用紙を使用してください。用紙がツヤ消しフォト用紙に分類される場合、カテゴリはマットブラックインクに対応しているか否かで異なります。このような場合は、[**厚手コート紙**] および [**半光沢/サテンフォト用紙**] を選択することで最適な結果が得られます。

汎用の用紙

- トレーシングペーパーの場合は、用紙の重さに応じて用紙の種類に [**汎用モノクロ&カラートレーシングペーパー 薄口**] または [**汎用モノクロ&カラートレーシングペーパー 厚口**] を選択します。
- 薄い用紙 (<90g/m²) (たとえば、普通紙またはインクジェット普通紙) の場合は、用紙の種類として [**普通紙とコート紙**] - [**普通紙**] を選択します。

- 薄いコート紙 (< 110g/m²) を使用する場合は、用紙の種類に、**[普通紙とコート紙] - [HP コート紙]** を選択します。
- 厚手コート紙 (< 200g/m²) を使用する場合は、用紙の種類に、**[普通紙とコート紙] - [厚手コート紙]** を選択します。
- しわの出ない、非常に厚手のコート紙 (> 200 g/m²) を使用する場合は、用紙の種類に、**[普通紙とコート紙] - [スーパー厚手コート紙]** を選択します。

触ると、黒インクが簡単に落ちる

これは、使用している用紙にマット ブラック インクとの互換性がない場合に起こります。マット以外の黒色インクを使用するには、**[フォト用紙]** カテゴリのいずれかの用紙を選択します。

印刷後、用紙がしわになるか、インクが多すぎる

これはインクの使用量が多すぎるときに発生します。使用されるインクの量を減らすには、より薄いカテゴリを選択します。マット紙のカテゴリを薄いものから順に並べると次のようになります。


- 普通紙
- コート紙
- 厚手コート紙
- スーパー厚手コート紙

その他のイメージ品質の問題については、[199 ページの「印刷品質に関するトラブルシューティング」](#)を参照してください。

プリンタが間違った用紙の種類に印刷した

意図した用紙を取り付ける前にジョブが印刷されてしまう場合は、プリンタ ドライバで**[用紙の種類]** に**[プリンタ設定の使用]** が選択されていることがあります。どちらが選択されている場合でも、プリンタではどのような用紙が取り付けられているかにかかわらず、即座に印刷が実行されます。意図した用紙を取り付け ([36 ページの「用紙の取り扱い」](#)を参照)、ドライバで用紙の種類を具体的に選択します。

- **Windows ドライバのダイアログの場合:** **[用紙/品質]** または **[用紙]** タブ (ドライバのバージョンによって異なります) を選択して、「用紙の種類」 リストから該当する用紙の種類を選択します。


 **注記:** **[プリンタ設定の使用]** (Windows) または **[すべて]** (Mac OS X) がドライバのデフォルトです。

自動カットを使用できない

一部の用紙の種類は、自動カッターでカットできません。このような用紙の種類が取り付けられていて有効になっている場合、プリンタは他のロール紙に自動的に切り替えることができません。有効なロール紙を最初に手動で取り外す必要があります。

適当な用紙を待っています

ジョブの送信時に設定可能な条件 ([96 ページの用紙の不一致を解決する](#)を参照) の設定に基づいて、取り付けられているどのロール紙がジョブの印刷により適しているかをプリンタが判断します。どの条件にも合致するロール紙がない場合、プリンタはジョブを一時停止させます。手動でジョブを再開すると、当初指定した用紙とは異なる用紙に強制的に印刷できます。それ以外の場合は、一時停止されたままになります。

 **注記** : カットできないロール紙が有効な場合、カットできないロール紙を手動で取り外すまで、他の給紙方法に送信されたすべてのジョブは一時停止します。

どのロール紙にジョブが印刷されるかを決定するのにどの基準が使用されますか？

ユーザはジョブの送信時に、必要な用紙の種類をドライバで設定することができます。プリンタはジョブを、選択した用紙の種類のリール紙、および描画が途切れない十分な大きさのあるロール紙に印刷します。ジョブを印刷できるすべての基準を満たしているロール紙が複数ある場合、設定によってロール紙が選択されます。これらは、フロントパネルから設定できます。[95 ページのリールポリシー](#)を参照してください。

ジョブはいつ一時停止しますか？

用紙が一致しない場合の動作が **[一時停止して確認する]** に設定されていると ([96 ページの用紙の不一致を解決する](#)を参照)、ジョブは以下の場合に一時停止します。

- ユーザが選択した用紙の種類が、指定されたロールに(または、ロールが指定されていない場合はどちらのロールにも)現在取り付けられていない。
- ユーザが選択した用紙の種類が、指定されたロールに取り付けられているが、描画が大きすぎてそのロール紙に(または、ロールが指定されていない場合はどちらのロール紙にも)収まらない。

新しいロール紙を取り付けた場合、一時停止しているジョブは自動的に印刷されますか？

はい。新しいロール紙が取り付けられるたびに、取り付けられたロール紙で印刷可能なジョブがあるかどうかプリンタによって確認されます。

ジョブを一時停止させたくありません。この動作を防ぐことはできますか？

はい、フロントパネルから行うことができます。[96 ページの用紙の不一致を解決する](#)を参照してください。

ジョブの幅はプリンタに取り付けられているロール紙の幅とまったく同じですが、それでもジョブが一時停止します。

マージンを管理する方法はファイルの種類によりさまざまです。

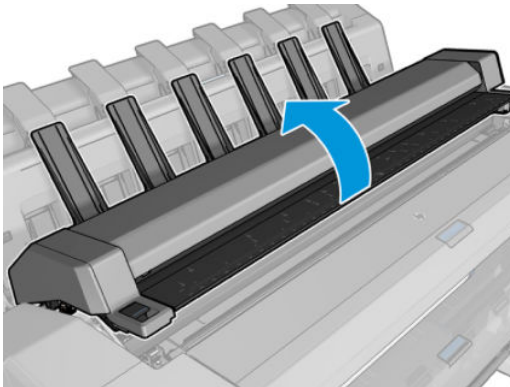
- HP-GL/2 および HP RTL ファイルの場合、デフォルトでは、マージンは描画の内側に含まれます。したがって、914mm の HP-GL/2 および HP RTL ファイルは 914mm のロール紙で印刷でき、一時停止しません。
- ただし、PostScript、PDF、TIFF、または JPEG などその他のファイル形式の場合、描画の外側にマージンを追加する必要があるとプリンタによってみなされます(通常、これらのファイル形式は写真やその他のマージンを含まないイメージで使用されます)。これは、914 mm の TIFF を印刷するには、プリンタがマージンを追加する必要があり、描画を印刷するには 925 mm の用紙が必要であることを意味します。このため、プリンタに取り付けられている用紙の幅が 914 mm しかない場合、ジョブが保留になる可能性があります。

描画の外側にマージンを余分に追加しないでこれらのファイル形式を印刷する場合、**[内容をマージンでクリップ]** オプションが使用できます。このオプションによって、マージンは描画の内側に設定されます。したがって、914mm の TIFF は 914mm のロール紙に一時停止することなく印刷できます。ただし、描画の境界線に余白が含まれていない場合、マージンによって内容の一部が印刷されない可能性があります。

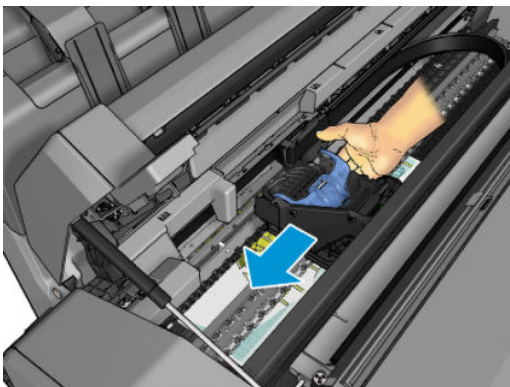
用紙が印刷プラテンに詰まっている

紙詰まりが起これると、通常、「紙詰まりの可能性が有ります」というメッセージがフロントパネルに表示されます。フロントパネルで紙詰まりウィザードが起動し、紙詰まりが発生した場所とその解決方法が表示されます。各ウィザード画面の指示に従って、紙詰まりを取り除いてください。

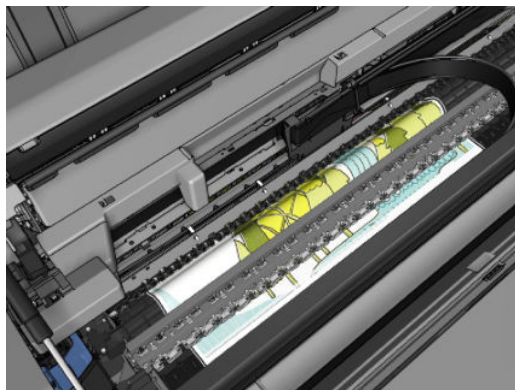
1. フロントパネルでプリンタの電源をオフにします。
2. スキャナを持ち上げます。



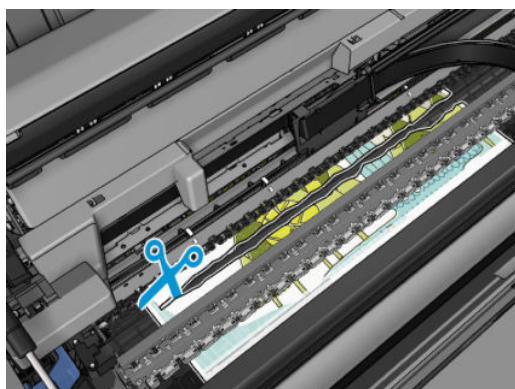
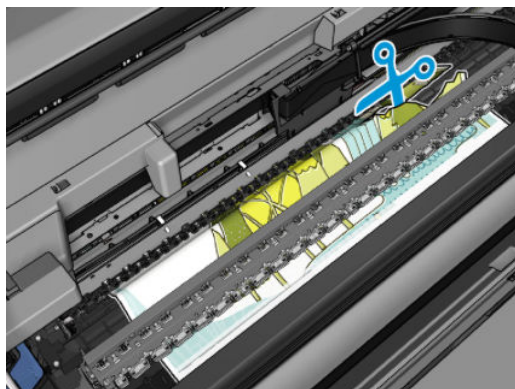
3. 可能な場合は、キャリッジをプリンタの左側に手動で移動します。



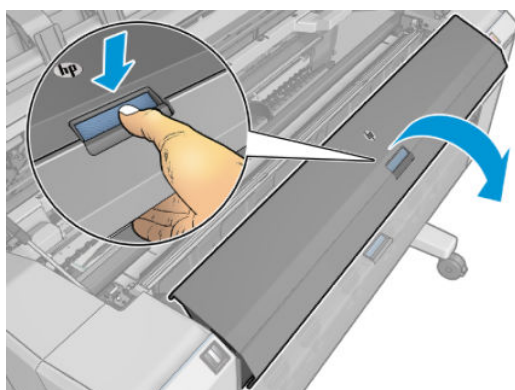
4. 用紙経路を確認します。



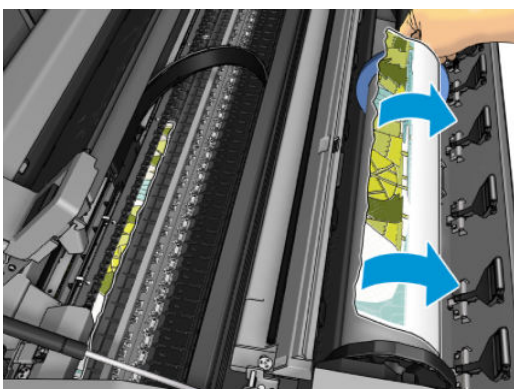
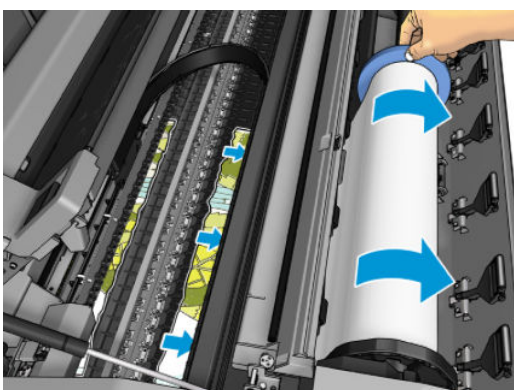
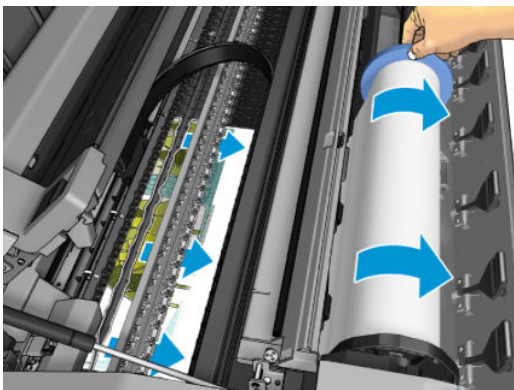
5. はさみで用紙を切り取ります。



6. ロールカバーを開きます。



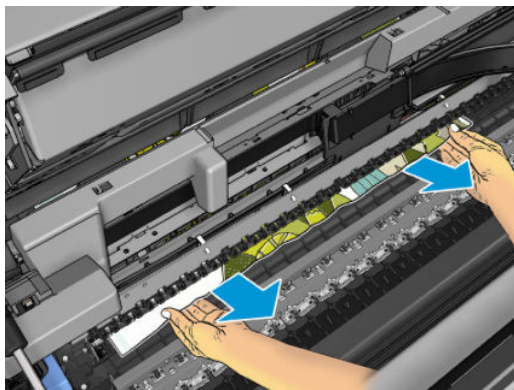
7. 用紙を手動でロールに巻き戻します。



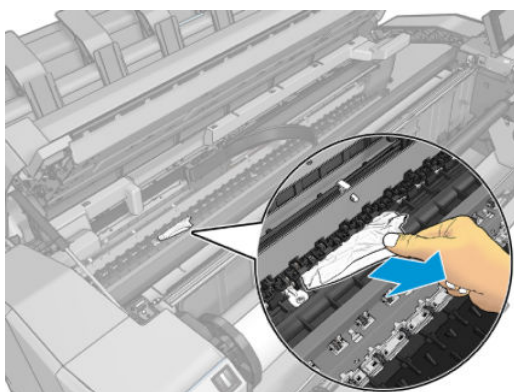
8. 用紙の先端がぼろぼろになっている場合は、はさみで丁寧に整えます。



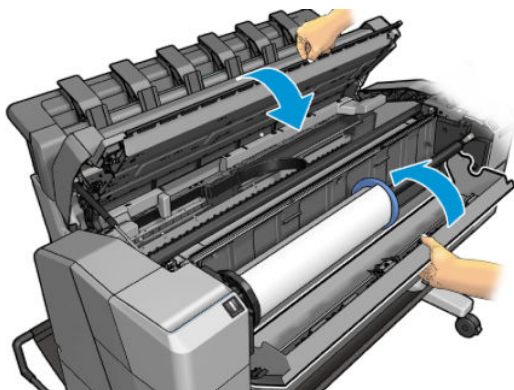
9. プリンタに残っている用紙を取り除きます。




10. 用紙の断片がすべて取り除かれたことを確認します。



11. スキャナを下げ、ロールカバーを閉じます。



12. 電源ボタンを数秒間押し続けてプリンタを再起動します。
13. ロール紙を取り付け直すか、新しいカット紙を取り付けます (36 ページの「用紙の取り扱い」を参照)。

 **注記**：プリンタ内に障害の原因となる用紙がまだ残っている場合は、作業をやり直し、用紙の切れ端すべてを慎重に取り除きます。

用紙がスタッカに詰まっている

スタッカで紙詰まりが検出されると、印刷が一時停止し、フロントパネルにスタッカカバーを開いて、用紙を引き出すことで紙詰まりを取り除くように勧めるメッセージが表示されます。

スタッカカバーを閉じたときに、紙詰まりが検出されない場合、印刷を続行するかどうかの確認を求めるメッセージがフロントパネルに表示されます。

プリンタからスタッカがいっぱいであることが予期せず報告される

プリンタでは、以下の状況の場合にスタッカがいっぱいであることを報告することがあります。

- スタッカで紙詰まりが発生している
- 厚手コート紙など、非常に薄いまたは非常に硬い用紙を使用している
- A3 縦や A2 横など、小さいサイズの用紙をスタッカに送っている

帯が排紙トレイに残り、紙詰まりが発生する

フチ無し印刷の前(新しいロール紙の場合)や後、またはフロントパネルオプションの【移動/カット】が使用された後などに小さな用紙(200mm以下)がカットされるとき、カットされた帯が排紙トレイに残ります。プリンタが印刷していないときのみ、トレイから帯を取り除いてください。

プリンタに用紙があるときに用紙切れと表示される

ロール紙が芯の周りでゆるくなっている場合、プリンタで正しく給紙されず、用紙が取り付けられませんが、可能であれば、用紙を芯にしっかりと巻きつけるか、新しいロール紙を取り付けます。

印刷物がバスケットにきちんと排出されない

- バスケットが正しく取り付けられていることを確認します。
- バスケットが開いていることを確認します。
- バスケットが満杯になっていないことを確認します。
- 用紙は最後の部分でカールすることが多いため、出力の問題が発生します。新しいロール紙を取り付けるか、印刷が完了したら手で取り出します。

印刷が完了してもカット紙がプリンタに留まる

印刷物を乾かすため、カット紙は印刷後プリンタに保持されます(51 ページの[乾燥時間を変更する](#)を参照)。乾燥時間が過ぎても用紙の一部分しか排出されない場合、用紙をゆっくりとプリンタから引き出します。自動カッターが無効になっている場合、フロントパネルの【移動/カット】オプションを使用します。52 ページの[クリーンカット](#)を参照してください。

印刷が完了すると用紙がカットされる

デフォルトでは、乾燥時間が過ぎると用紙はプリンタでカットされます(51 ページの[乾燥時間を変更する](#)を参照)。カッターを無効にすることもできます(51 ページの[自動カッターのオン/オフを切り替える](#)を参照)。

カッターで正しくカットされない

デフォルトでは、乾燥時間が過ぎると、プリンタは用紙を自動的にカットするよう設定されています。カッターの使用がオンになっていても正しくカットされない場合は、カッターレールに汚れや障害物がないことを確認します。

カッターの使用がオフになっていると、**[移動/カット]** ボタンを押しても用紙はカットされずに排出されるだけです。このオプションを使用して、手動で水平に端をカットしたり、はさみを使用してカットできる位置まで、用紙をプリンタ前面から十分に引き出します。

ロール紙がスピンドルでたるむ




ロール紙を交換するか、取り付け直す必要があります。

正しい芯を使用していることを確認し、必要であれば HP DesignJet 3 インチ コア アダプタを使用します。


用紙送りのキャリブレーションを行う

正確な用紙送りは、用紙に対して適切にドットを配置するための制御要素の1つであるため、優れた印刷品質を得るのに重要です。プリントヘッドが通過する間に用紙が適当な距離で送られない場合、明るいまは暗い帯が印刷に現われ、イメージの粒状感が増える場合があります。


プリンタは、フロントパネルに表示されるすべての用紙で用紙が正しく送られるようにキャリブレーションされます。取り付けられている用紙の種類を選択すると、印刷中に用紙を送る間隔がプリンタにより調整されます。ただし、用紙のデフォルトのキャリブレーションに満足できない場合、用紙を送る間隔を再度キャリブレーションする必要があります。拡張精度のキャリブレーションによって問題が解決できるかどうかを判断する手順については、[199 ページの「印刷品質に関するトラブルシューティング」](#)を参照してください。


現在取り付けられている用紙の用紙送りのキャリブレーション状況は、フロントパネルで  をタップし、、、**[キャリブレーション状況]** を順にタップすることで、いつでも確認できます。ステータスは以下のいずれかになります。


- デフォルト：キャリブレーションが実行されていない用紙が取り付けられた場合に、このステータス画面が表示されます。フロントパネルに表示される HP 用紙はデフォルトで最適化されているため、印刷したイメージにバンディングや粒状感などイメージ品質の問題が発生していない限り、再度、拡張精度のキャリブレーションをすることは推奨しません。
- OK：このステータスは、取り付けられた用紙に対するキャリブレーションがこれまでに実行されたことがあることを示します。ただし、バンディングや粒状感など印刷品質の問題が発生しているときは、キャリブレーションを再度実行する必要があります。

 **注記：** プリンタのファームウェアを更新した場合は、拡張精度キャリブレーション値は工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます ([174 ページのファームウェアをアップデートする](#)を参照)。


拡張精度のキャリブレーションを再度行う

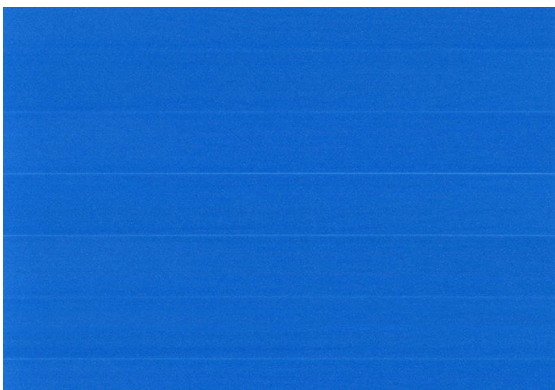
 **注意：** 透明紙やフィルムを使用している場合は、以下の手順 3 へ進みます。

1. フロントパネルで  をタップし、[用紙送りのキャリブレーション]>[続行]をタップします。プリンタにより自動的に用紙送りのキャリブレーションが再度行われ、拡張精度のキャリブレーションイメージが印刷されます。
2. フロントパネルにステータスページが表示されるのを待ち、再度印刷します。

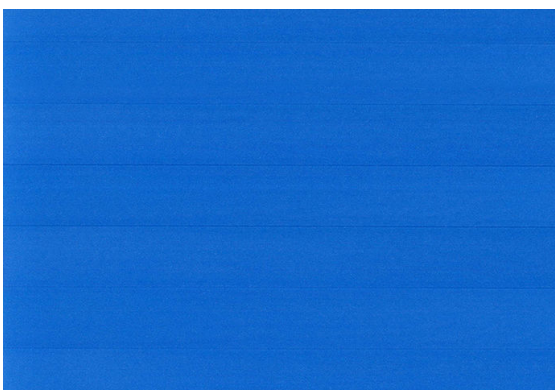
 **注記**：再キャリブレーションの処理には、約3分かかります。拡張精度のキャリブレーションイメージの印刷結果は気にする必要はありません。フロントパネルには、処理中のあらゆるエラーが表示されます。

満足できる印刷結果が得られた場合、用紙の種類に合わせて引き続きこのキャリブレーションを使用します。印刷品質に改善が見られる場合、手順3に進みます。満足できる再キャリブレーションの結果が得られない場合は、デフォルトのキャリブレーションに戻します ([198 ページのデフォルトのキャリブレーションに戻す](#)を参照)。

3. キャリブレーションを微調整したい場合、または透明紙を使用している場合は  をタップし、[用紙送りキャリブレーション]>[続行]をタップします。
4. -100% ~ +100%の間で選択します。明るいバンディングを修正する場合は、パーセントを小さくします。






暗いバンディングを修正する場合は、パーセントを大きくします。



デフォルトのキャリブレーションに戻す

デフォルトのキャリブレーションに戻すと、拡張精度のキャリブレーションで行ったすべての補正が0に設定されます。デフォルトの拡張精度のキャリブレーション値に戻す場合は、キャリブレーションをリセットする必要があります。

1. フロントパネルで 、、、[キャリブレーションのリセット]の順にタップします。
2. フロントパネルに作業が正常に終了したことが表示されるまで待ちます。

17 印刷品質に関するトラブルシューティング

- 一般的なヒント
- イメージに横線 (バンディング) が見られる
- イメージ全体がぼやけているかざらついている
- 用紙が平らになっていない
- 印刷が擦り切れる、または傷がつく
- 用紙にインクが残る
- 黄色の背景に黒色の横線
- 印刷部に触れると黒インクが擦れる
- オブジェクトの端が段状になっているかまたは鮮明ではない
- オブジェクトの端が予期したよりも暗い
- カット紙の端に横線が印刷される
- 異なる色の縦線が印刷される
- 印刷物に白色の点がある
- 色が正確に再現されない
- カラーの色あせ
- イメージが不完全 (下部の一部が印刷されない)
- イメージがクリップされます
- 一部のオブジェクトがイメージ内に印刷されない
- 描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない
- 線画が段状またはギザギザに表示される
- 線画が二重または間違っただけで印刷される
- 線が不連続になる
- 線がぼやけている
- 線の長さが不正確
- イメージ診断の印刷

- 問題が解決されない場合

一般的なヒント

印刷の品質に問題がある場合は、以下の項目を確認してください。

- プリンタで最高のパフォーマンスを実現するために、HP 純正のサプライ品とアクセサリをお使いください。これは、純正品では信頼性とパフォーマンスが十分に検証されており、トラブルなく最高品質の印刷を実現できるためです。推奨する用紙についての詳細は、[182 ページの用紙について](#)を参照してください。
- フロントパネルで選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください([49 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照)。同時に、使用する用紙の種類に対応したキャリブレーションが済んでいることを確認します。また、ソフトウェアで選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認します。

⚠ 注意：誤った用紙の種類を選択すると、印刷品質の低下やカラーの問題が発生し、プリントヘッドが破損する可能性があります。


- 目的に最も適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します([71 ページの「印刷時」](#)を参照)。印刷品質の低下が起こりやすいのは、[印刷品質]のスライダを[速度]の端に移動させるか、またはカスタムの印刷品質レベルを[高速]に設定した場合です。
- 環境状況(温度、湿度)が推奨する範囲内にあることを確認します。[233 ページの動作環境の仕様](#)を参照してください。
- インクカートリッジおよびプリントヘッドが使用期限を超過していないことを確認します([173 ページのインクカートリッジを保守する](#)を参照)。

イメージに横線(バンディング)が見られる

以下のように、印刷イメージに横線が現れる場合(色は異なる場合があります)は、下の手順に従います。




1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。[49 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
2. 目的に適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します([71 ページの「印刷時」](#)を参照)。場合によっては、より高い印刷品質のレベルを選択することにより印刷品質の問題を解決できる場合があります。たとえば、[印刷品質]のスライダを[速度]に設定している場合は、[品質]に設定します。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。

3. 「イメージ診断の印刷」を印刷し、[211 ページのイメージ診断の印刷](#)の手順に従い、推奨される場合はプリントヘッドのクリーニングも行います。
4. プリントヘッドが正しく機能している場合は、フロントパネルで  をタップし、次に [用紙送りのキャリブレーション] > [続行] をタップして用紙を選択します。[197 ページの用紙送りのキャリブレーションを行う](#)を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

イメージ全体がぼやけているかざらついている



1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。[49 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
2. 正しい印刷面に印刷しているかどうかを確認してください。
3. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認してください ([71 ページの「印刷時」](#)を参照)。場合によっては、より高い印刷品質のレベルを選択することにより印刷品質の問題を解決できる場合があります。たとえば、[印刷品質]のスライダを [速度] に設定している場合は、[品質] に設定します。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
4. プリントヘッドの軸合わせを再度行います。[217 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。軸合わせを行って問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
5. フロントパネルで  をタップし、[用紙送りキャリブレーション] をタップして用紙を選択します。[197 ページの用紙送りのキャリブレーションを行う](#)を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

用紙が平らになっていない

プリンタから排紙されるときに、用紙が浅く波打って平らになっていない場合に、印刷されたイメージに垂直のすじが現れるなどの問題が起こることがあります。これは、印刷されたインクを吸収しきれないほど薄い用紙を使用した場合に発生することがあります。



1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。[49 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
2. HP 厚手コート紙または HP プラススーパー厚手マット紙などの厚い紙に変更してみてください。
3. 取り付けた用紙よりわずかに薄い用紙の種類を選択します。これにより、プリンタが使用するインクの量が減ります。用紙の種類を薄い順に並べると、普通紙、コート紙、厚手コート紙、プラススーパー厚手マット紙となります。

印刷が擦り切れる、または傷がつく

黒の顔料は、指やペンなどで触れると、擦り切れたり傷がついたりします。これは特に、コート紙の場合にみられます。

光沢紙は、インクの使用量と印刷時の環境条件によっては、スタッカなどの印刷直後に触れるものに対して非常に敏感になる場合があります。

擦り切れや傷のリスクを減らすには、以下のことに従います。

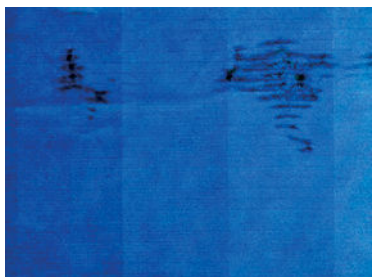
- 印刷物を慎重に取り扱ってください。
- 印刷物が互いに貼り付かないようにしてください。
- 印刷された用紙がカットされたらすぐに取り出し、バスケットに入らないようにします。または、別のカット紙をバスケットに入れたままにしておき、新たに印刷されたカット紙がバスケットに直接触れないようにします。

用紙にインクが残る

この問題は、いくつかの原因によって発生します。

コート紙の表面に水平方向の汚れがある

普通紙およびコート紙に使用するインクが多すぎると、インクが用紙に吸収され広がります。プリントヘッドは、用紙の上を移動するときに用紙に触れるため、印刷イメージが汚れる場合があります。この問題は、通常、カットされた紙でのみ発生します(ロール紙では発生しません)。



この問題に気付いたら、直ちに印刷ジョブをキャンセルしてください。❌をタップして、コンピュータアプリケーションのジョブもキャンセルします。インクが染み込んだ用紙により、プリントヘッドが損傷する可能性があります。

この問題を解決するには、以下の推奨方法を実行します。


1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。[49 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
2. 推奨する用紙の種類 ([182 ページの用紙について](#)を参照) および正しい印刷設定を使用します。
3. カット紙を使用している場合、用紙を 90 度回転させます。用紙の繊維方向が品質に影響します。
4. HP 厚手コート紙または HP プラススーパー厚手マット紙などの厚い紙に変更してみてください。
5. 取り付けた用紙よりわずかに薄い用紙の種類を選択します。これにより、プリンタが使用するインクの量が減ります。用紙の種類を薄い順に並べると、普通紙、コート紙、厚手コート紙、プラススーパー厚手マット紙となります。
6. ソフトウェアアプリケーションを使用してイメージをページの中央に移動させ、マージン設定を広くしてみてください。

用紙の裏にインクが付着する

柔らかい布でプラテンのクリーニングを行います。リブの間の発泡体に触れずにそれぞれのリブのクリーニングを行います。

黄色の背景に黒色の横線

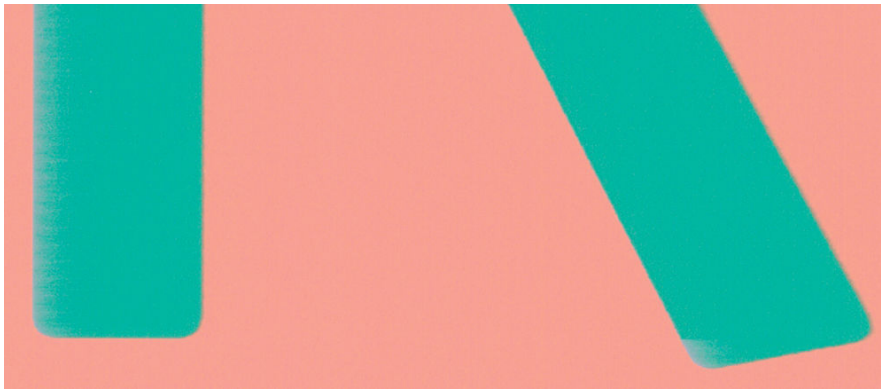
この問題は、低温の環境でプリンタを保管する際に発生する場合があります。

フロントパネルに移動し、、**[プリントヘッドのクリーニング]**をタップします。

印刷部に触れると黒インクが擦れる

問題の原因として、光沢紙にマットブラックインクで印刷したことが考えられます。このプリンタでは、用紙にマットブラックインクが乗らないことがわかると、マットブラックインクは使用されません。マットブラックインクを使用しないようにするには、用紙の種類でフォト用紙カテゴリの用紙を選択します。

オブジェクトの端が段状になっているかまたは鮮明ではない



1. オブジェクトや線画の端が不十分に定義されていたり濃度が明るい場合、および印刷品質のスライダをプリント ダイアログですでに**【品質】**に設定している場合は、カスタムの印刷品質オプションを選択し、品質レベルを**【標準】**に設定してみてください。[71 ページの「印刷時」](#)を参照してください。
2. 問題は印刷の向きに関連している可能性があります。イメージを回転してみます。これによって結果が向上する場合があります。

オブジェクトの端が予期したよりも暗い



1. オブジェクトの端が予期したよりも暗く、**【印刷品質】**のスライダをドライバのダイアログで既に**【品質】**に設定している場合は、カスタムの印刷品質オプションを選択し、品質レベルを**標準**に設定してみてください。[71 ページの「印刷時」](#)を参照してください。
2. 問題は印刷の向きに関連している可能性があります。イメージを回転してみます。これによって結果が向上する場合があります。

カット紙の端に横線が印刷される

用紙の端から約 30mm 以内の、印刷の最後の部分にのみ不具合が発生することがあります。極細の横線が印刷物に少し見られる場合があります。

この問題を解消するには、以下の手順に従います。

1. イメージの周囲のマージンを大きくします。
2. **【イメージ診断の印刷】**を印刷します。[211 ページのイメージ診断の印刷](#)を参照してください。
3. ロール紙で印刷します。

異なる色の縦線が印刷される

印刷の周囲に異なる色の縦線が帯状に表示される場合は、以下の手順に従います。

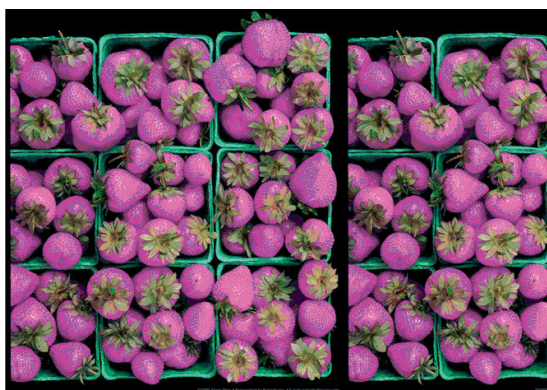
1. HP 厚手コート紙やHP スーパー厚手コート紙など、推奨する用紙の種類から厚手の用紙を選択して使用します。[182 ページの用紙について](#)を参照してください。
2. 印刷品質のレベルを上げて使用します(71 ページの「印刷時」を参照)。たとえば、[印刷品質]のスライダを[速度]に設定している場合は、[品質]に設定します。

印刷物に白色の点がある




印刷に白色の点が見られる場合があります。これはおそらく、用紙の繊維やほこりによるものか、用紙のコーティングが落ちやすいことが原因です。この問題を解消するには、以下の手順に従います。

1. 印刷前にブラシを使用して用紙を手動でクリーニングし、繊維や紙粉を取り除きます。
2. プリンタのカバーは常に閉じておいてください。また、プリンタカバーの上で用紙を取り扱ったりカットしたりなど、プリンタにほこりが入る可能性がある操作を行わないでください。
3. ロール紙やカット紙は、袋または箱に保存して保護します。

色が正確に再現されない



印刷物の色が予想したものと一致しない場合、以下の方法を試してください。

1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。[49 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
2. 、、、[キャリブレーション状況]の順にタップして、カラーキャリブレーション状況を確認します。ステータスが「ペンディング」または「失効」の場合、カラーキャリブレーションを実行する必要があります([128 ページのカラーキャリブレーション](#)を参照)。変更を加えて問題が解決した場合、ジョブを再印刷する必要があります。
3. 正しい印刷面に印刷しているかどうかを確認してください。
4. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認してください(71 ページの「印刷時」を参照)。**[速度]**または**[高速]**オプションを選択した場合、最も正確な色が得られない場合があります。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
5. アプリケーションカラーマネジメントを使用している場合、選択した用紙の種類および印刷品質設定に合ったカラープロファイルを使用しているかどうか確認してください。使用するカラー設定が不明の場合、[127 ページの「カラーマネジメント」](#)を参照してください。
6. グレースケールイメージにあるグレーの影の一部に色かぶりが見られる場合、ドライバで[カラー]-[グレースケール]の順にクリックします。

7. 印刷物とモニタ間の色の差異に関する問題が発生する場合は、モニタのキャリブレーションを実行してみてください。問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
8. [イメージ診断の印刷]を印刷します。[211 ページのイメージ診断の印刷](#)を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。



カラーの色あせ

速乾性フォト用紙に印刷した場合は、短時間で色あせします。2 週間以上用紙を保存する場合には、ラミネート加工しておけば色あせを防ぐことができます。

また HP スタンダード光沢フォト用紙や HP スタンダード半光沢フォト用紙などの膨張性コート紙へ印刷した場合は、色あせの速度が大きく減退します。

ラミネート加工を行うことで、加工の種類によってはあらゆる種類の用紙に対する印刷の寿命を延ばすことができます。詳しくは、ラミネートの業者にお問い合わせください。

イメージが不完全 (下部の一部が印刷されない)

- プリンタがすべてのデータを受信する前に、 をタップした可能性があります。その場合は、データの転送が終了しているため、ページを再度印刷する必要があります。
- [I/O タイムアウト] 設定が短すぎる可能性があります。この設定により、ジョブが終了したとプリンタが判断する前に、コンピュータがデータをさらに送信するまでのプリンタの待ち時間が決まります。この場合、フロントパネルで、[I/O タイムアウト] 設定を長くして、データを再度送信して印刷します。 をタップし、[接続] > [ネットワーク] > [I/O タイムアウト] をタップします。
- コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある可能性があります。USB またはネットワークケーブルを確認してください。
- ソフトウェアの設定が、現在使用しているページサイズ (長尺印刷など) に対して正しいかどうかを確認してください。
- ネットワークソフトウェアを使用している場合は、タイムアウトが発生していないかどうかを確認してください。

イメージがクリップされます

イメージの欠落は通常、取り付けられている用紙の実際の印刷可能な範囲と、ソフトウェアで認識されている印刷可能な範囲が一致していない場合に発生します。多くの場合、印刷をプレビューすることにより、この問題を印刷前に確認することができます ([81 ページの印刷をプレビューする](#)を参照)。


- 取り付けられた用紙サイズの実際の印刷可能領域を確認します。
印刷可能領域 = 用紙サイズ - マージン
- ソフトウェアが認識する印刷可能な領域 (「印刷領域」または「印刷可能領域」とも呼ばれます) を確認します。たとえば、ソフトウェアアプリケーションによっては、このプリンタで使用される印刷可能な範囲よりも広い範囲を標準と想定している場合があります。
- マージンがきわめて狭いカスタム ページを定義した場合、プリンタ自体により最小マージンが上書きされ、イメージが少し途切れる場合があります。より大きい用紙サイズを使用する必要があるかもしれません。

- 印刷するイメージ自体にマージンが含まれている場合は、**[内容をマージンでクリップ]**を使用することによって正常に印刷できることがあります ([79 ページのマージンオプションを選択する](#)を参照)。
- ロール紙を使用して長いイメージを印刷する場合、ソフトウェアがそのサイズのイメージに対応しているかどうかを確認してください。
- ソフトウェアが処理可能なサイズより大きいイメージを印刷すると、イメージの下部がクリップされる可能性があります。イメージ全体を印刷するには、以下の推奨方法を実行します。
 - － ファイルを TIFF や EPS など別の形式で保存し、別のアプリケーションで開きます。
 - － RIP を使用してファイルを印刷します。
- 用紙サイズの幅が足りない場合、用紙の向きを縦から横に変更するように要求されることがあります。
- 必要に応じて、ソフトウェアアプリケーションでイメージやドキュメントのサイズを小さくして、マージン間にびったり収まるようにします。

一部のオブジェクトがイメージ内に印刷されない

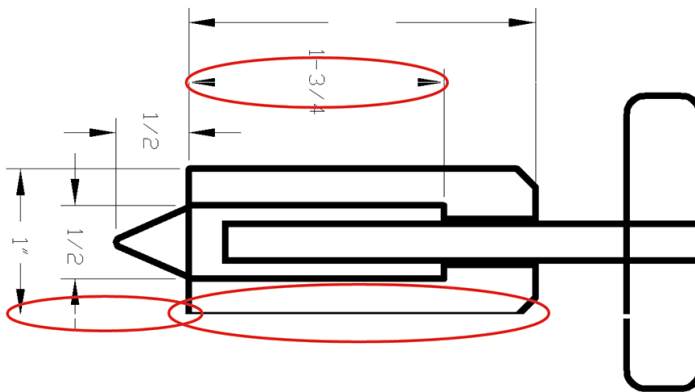
高品質で大判の印刷ジョブを印刷するには大量のデータが必要になるため、特定のワークフローでは、一部のオブジェクトが出力されなくなる問題が発生することがあります。この問題を防ぐための推奨方法は、次のとおりです。



- ドライバまたはフロントパネルで、希望する最終ページサイズに応じてより小さいページサイズを選択します。
- ファイルを TIFF や EPS など別の形式で保存し、別のアプリケーションで開きます。
- HP Click ソフトウェアを使用してファイルを印刷します。
- RIP を使用してファイルを印刷します。
- USB フラッシュドライブからの印刷を試みます。
- お使いのアプリケーションでビットマップイメージの解像度を下げます。
- 印刷されるイメージの解像度を下げのために、より低い印刷品質を選択します。

 **注記** : Mac OS X 上で作業している場合は、上記のどのオプションも使用できません。

上記のオプションはトラブルシューティングのために提案されているものであり、最終的な出力品質や、プリントジョブを生成するために必要な時間に影響する場合があります。したがって、上記の設定でも問題を解決できなかった場合は、オプションを無効にしてください。

描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない

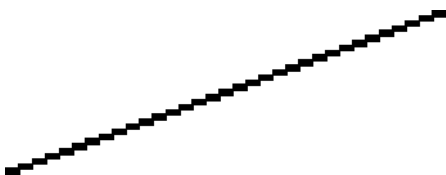


1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。[49 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
2. 目的に適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します ([71 ページの「印刷時」](#)を参照)。ドライバのダイアログでカスタム印刷の品質オプション (使用できる場合) を選択し、**[高精細]** オプションをオンにします。問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
3. イメージの解像度が印刷解像度よりも高い場合、線品質が低下する場合があります。
4. 線画が細すぎる、または印刷されない場合は、**[イメージ診断の印刷]** を印刷します。[211 ページのイメージ診断の印刷](#)を参照してください。
5. 問題が解決しない場合は、フロントパネルで 、**[プリントヘッドの軸合わせ]** の順にタップして、プリントヘッドの軸合わせを実施します。[217 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。軸合わせを行って問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
6. フロントパネルで  をタップし、用紙送りキャリブレーションを実施します。[197 ページの用紙送りのキャリブレーションを行う](#)を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

線画が段状またはギザギザに表示される

印刷時にイメージの線が段状になる場合、またはギザギザになる場合は、以下の手順に従ってください。

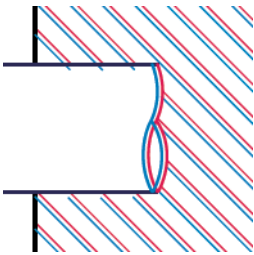


1. イメージ自体に問題がある場合もあります。イメージの編集に使用しているアプリケーションで、イメージの品質を向上させます。
2. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。[71 ページの「印刷時」](#)を参照してください。
3. ドライバのダイアログでカスタム印刷の品質オプション (使用できる場合) を選択し、**[高精細]** オプションをオンにします。

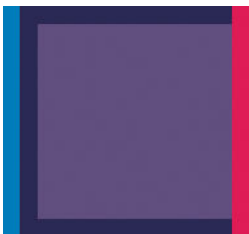
線画が二重または間違った色で印刷される

この問題では、以下のようなさまざまな症状が現れる場合があります。

- 色付きの線画が別の色で二重に印刷される。



- 色付きのブロックの境界線の色が間違っている。



この問題を修正するには、以下の手順に従います。

1. プリントヘッドを取り外してから再度挿入して、プリントヘッドを再度取り付けます。[165 ページのプリントヘッドを取り外す](#)および[168 ページのプリントヘッドを挿入する](#)を参照してください。
2. プリントヘッドの軸合わせを行います。[217 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。

線が不連続になる

以下の図のように、線が不連続になる場合は、以下の手順に従います。



1. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。[71 ページの「印刷時」](#)を参照してください。
2. プリントヘッドを取り外してから再度挿入して、プリントヘッドを再度取り付けます。[165 ページのプリントヘッドを取り外す](#)および[168 ページのプリントヘッドを挿入する](#)を参照してください。
3. 問題が発生している用紙でプリントヘッドの軸合わせを行います。[217 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。

線がぼやけている



湿度は、インクのにじみや線がぼやけて不鮮明になる原因となります。以下の操作を行います

1. 環境状況(温度、湿度)が高品質の印刷に適しているかどうかを確認します。[233 ページの動作環境の仕様](#)を参照してください。
2. フロントパネルで選択した用紙の種類が、実際に使用している用紙の種類と同じかどうかを確認します。[49 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
3. カスタムの印刷品質オプションを選択し、使用できる場合は**[高品質]**および**[高精細]**を選択します。[82 ページの高品質で印刷する](#)を参照してください。
4. HP 厚手コート紙または HP プラススーパー厚手マット紙などの厚い紙に変更してみてください。
5. 取り付けた用紙よりわずかに薄い用紙の種類を選択します。これにより、プリンタが使用するインクの量が減ります。用紙の種類を薄い順に並べると、普通紙、コート紙、厚手コート紙、プラススーパー厚手マット紙となります。
6. 光沢紙を使用している場合は、別の種類の用紙に変更してみてください。
7. プリントヘッドの軸合わせを行います。[217 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。

線の長さが不正確


印刷した線の長さを測定して、長さが正確でなかった場合は、次の方法で長さの正確さを向上できる場合があります。

1. HP マットフィルムに印刷します。この場合、プリンタで印刷する線の長さの精度を指定できます。[230 ページのプリンタ機能の仕様](#)を参照してください。
ポリエステルフィルムは、大きさの精度が通常の用紙よりも約 10 倍ほど安定しています。ただし、HP マットフィルムより厚いフィルムや、薄いフィルムでは、線の長さの正確さが低下します。
2. [印刷品質]のスライダを**[品質]**に合わせます。
3. 室温を常に 10 ~ 30°C (50 ~ 86°F) に保ちます。
4. フィルムのロールを取り付け、5 分以上経ってから印刷を行います。
5. それでも満足のいく結果が得られなかった場合は、拡張精度のキャリブレーションをやり直してください。[197 ページの用紙送りのキャリブレーションを行う](#)を参照してください。

イメージ診断の印刷

イメージ診断の印刷では、プリントヘッドの信頼性の問題を明確にするためのパターンが印刷されます。これにより、現在コンピュータに取り付けられているプリントヘッドのパフォーマンスをチェックし、目詰まりやその他の問題を起こしているプリントヘッドがないかどうかを判断できます。

「イメージ診断の印刷」を印刷するには、以下の手順を実行します。

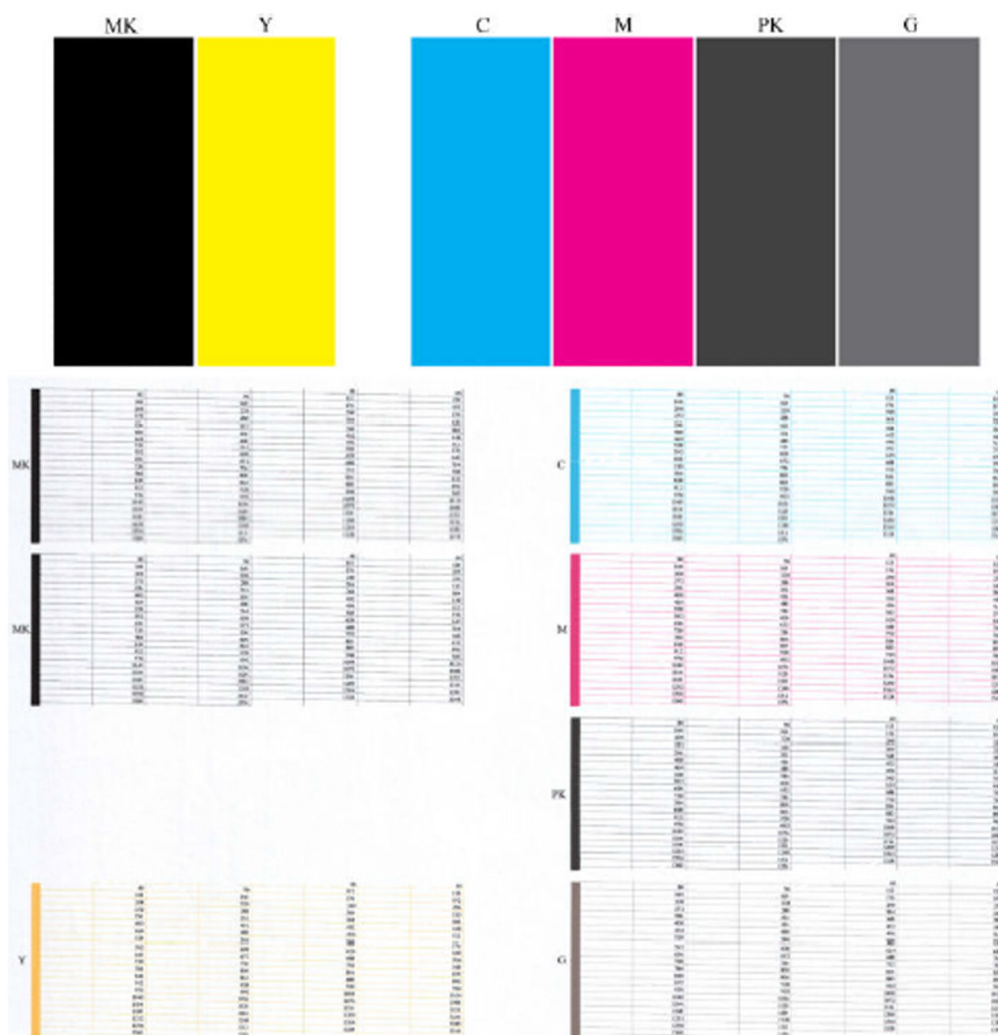
1. 問題が検出された時と同じ用紙の種類を使用します。
2. 選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください。[49 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
3. プリンタのフロントパネルで、をタップし、**[診断のプリント]**をタップします。

「イメージ診断の印刷」の印刷には2分ほどかかります。

印刷は2つの部分に分かれており、いずれもプリントヘッドのパフォーマンスをテストします。

- パート1(上部)は純粋なカラーの長方形から構成され、それぞれのカラーは各プリントヘッドに対応しています。このパートは、各カラーから得られる印刷品質を表しています。
- パート2(下部)は小さな破線から構成され、それぞれの破線は各プリントヘッドのノズルに対応しています。このパートはパート1を補完するものであり、特に、各プリントヘッドの問題のあるノズルの個数を検出することを目的としています。

印刷を注意深く確認してください。カラーの名前が長方形の上と破線パターンの中央に表示されます。



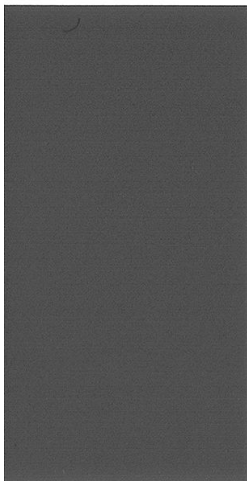
最初に印刷の上部を見てください(パート1)。各カラーの長方形の色は、水平の線がなく均一である必要があります。

次に、印刷の下部を見てください(パート 2)。各カラーのパターンに、破線の大部分が表示されているかどうかを確認します。

パート 1 に水平の線が表示され、パート 2 に同じカラーの破線の一部が印刷されない場合、問題のあるプリントヘッドをクリーニングする必要があります。ただし、長方形が塗りつぶされている場合は、パート 2 の破線の一部が印刷されなくても気にする必要はありません。ノズルが多少目詰まりを起こしてもプリンタで補正されるため、問題はありません。

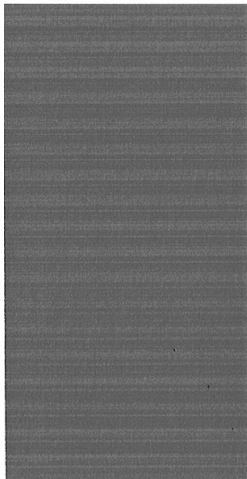
以下は、良い状態のグレーのプリントヘッドの印刷例です。

G



以下は、悪い状態の同じプリントヘッドの印刷例です。

G



解決のための処置

1. 問題のあるプリントヘッドをクリーニングします ([217 ページのプリントヘッドをクリーニングする](#)を参照)。次に、イメージ診断の印刷を再印刷し、問題が解決したかどうかを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドをもう一度クリーニングしてから、イメージ診断の印刷を再印刷し、問題が解決したかどうかを確認します。

3. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドを手動でクリーニングしてみてください ([217 ページのプリントヘッドをクリーニングする](#)を参照)。印刷がうまくいく場合は、現在の印刷ジョブを再印刷することもできます。
4. 問題がまだ解決しない場合は、問題のあるプリントヘッドを交換するか ([160 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」](#)を参照)、HP サポートにお問い合わせください ([227 ページの HP のサポートにお問い合わせる](#)を参照)。

問題が解決されない場合

この章のヒントを適用しても印刷品質の問題が解決しない場合は、次のいずれかを実行してください。

- 印刷品質オプションのレベルを上げます。 [71 ページの「印刷時」](#)を参照してください。
- 印刷に使用しているドライバを確認します。HP 製以外のドライバをご使用の場合、ドライバベンダーにお問い合わせの上、問題についてご確認ください。可能であれば、適切な HP ドライバを試します。最新の HP ドライバは、<http://www.hp.com/go/DesignJetT2600/drivers> からダウンロードできます。
- HP 製以外の RIP を使用している場合、RIP の設定が正しくない可能性があります。RIP に収録されているマニュアルを参照してください。
- プリンタのファームウェアが最新のものであるかどうかを確認します。 [174 ページのファームウェアをアップデートする](#)を参照してください。
- ソフトウェアアプリケーションの設定が正しいかどうかを確認します。

18 インクカートリッジとプリントヘッドに関するトラブルシューティング

- [インクカートリッジを取り付けられない](#)
- [インクカートリッジのステータスメッセージ](#)
- [プリントヘッドを取り付けられない](#)
- [フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される](#)
- [プリントヘッドをクリーニングする](#)
- [プリントヘッドの軸合わせ](#)
- [プリントヘッドのステータスメッセージ](#)

インクカートリッジを取り付けられない

1. 正しいカートリッジ(モデル番号)を使用しているかどうかを確認します。
2. カートリッジのラベルの色がスロットのラベルの色と同じであるかどうかを確認します。
3. カートリッジの向きが正しいかどうか、カートリッジのラベルを示す文字や文字列の右側が上になっていて読み取れるかどうかを確認します。

⚠注意：インクカートリッジスロットの内部はクリーニングしないでください。

インクカートリッジのステータスメッセージ

表示されるインクカートリッジのステータスメッセージには、以下のものがあります。

- **OK**：カートリッジは問題なく正常に動作しています。
- **未装着です**：カートリッジがまったく取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。
- **低**：インクの残量が少なくなっています。
- **残量が僅かです**：インクの残量がきわめて少なくなっています。
- **インクがありません**：カートリッジが空です。
- **再度取付けて下さい**：カートリッジをいったん取り外して、取り付け直してください。
- **交換して下さい**：新しいカートリッジと交換することをお勧めします。
- **使用期限切れ**：カートリッジの使用期限が切れました。
- **異常**：カートリッジはこのプリンタと互換性がありません。メッセージには、互換性のあるカートリッジの一覧が表示されます。
- **HP 製以外**：再利用、補充、または偽造されたカートリッジです。

プリントヘッドを取り付けられない

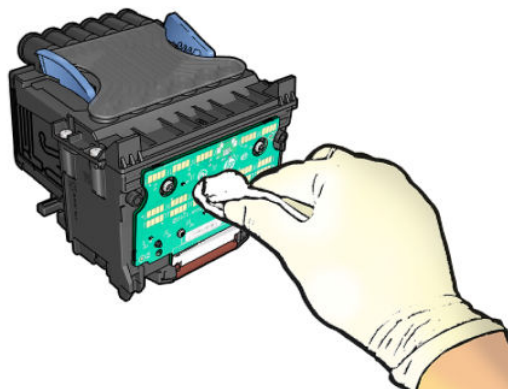
1. 正しいプリントヘッド(モデル番号)を使用しているかどうかを確認します。
2. プrintヘッドの向きが正しいことを確認します。
3. プrintヘッドのカバーが正しく閉じられ、ラッチで固定されているかどうかを確認します。
[168 ページのプリントヘッドを挿入する](#)を参照してください。

フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される

1. プrintヘッドを取り外します ([165 ページのプリントヘッドを取り外す](#)を参照)。

2. プリントヘッドの裏面にある電極部分を、糸くずの出ない布でクリーニングします。残留物を取り除くために水分が必要な場合、電極部分に見ずベースの洗浄剤を使用しないでください。そのような洗浄剤によって電気回路が損傷する可能性があります。一部の地域では、洗浄剤の使用が規制されています。使用する洗浄剤が連邦、州、地域の規定に従っていることを確認してください。


△注意：デリケートな処理のため、プリントヘッドが破損する場合があります。プリントヘッドの底面のノズルは、特にアルコールで触れないようにしてください。



3. プリントヘッドを再度取り付けます (168 ページの [プリントヘッドを挿入する](#) を参照)。
4. フロントパネルのメッセージを確認します。問題が解決しない場合は、新しいプリントヘッドを取り付けてみてください。

プリントヘッドをクリーニングする

プリンタの電源が常にオンになっている限り、定期的に自動クリーニングが実行されます。これによりノズル内に新しいインクが確保され、ノズルの目詰まりを防止し、印刷品質が保たれます。印刷品質に問題がある場合は、続行する前に [211 ページのイメージ診断の印刷](#) を参照してください。

プリントヘッドをクリーニングするには、フロントパネルで 、**[プリントヘッド]** の順にタップし、クリーニングが必要なカラーを含むカラーグループを選択します (**[すべてクリーニング]**、**[MK-Y のクリーニング]**、**[C-M-PK-G のクリーニング]**)。


プリントヘッドの軸合わせ


プリントヘッドの正確な軸合わせは、高いカラー精度、なめらかなカラーグラデーション、およびグラフィック要素の鮮明なエッジを実現する上で重要です。このプリンタには、プリントヘッドの入手または交換時に、プリントヘッドの軸合わせ処理を自動で行う機能があります。

紙詰まりが発生した後や、印刷品質の問題が生じている場合、プリントヘッドの軸合わせを行う必要があることがあります。

1. 使用する用紙を取り付けます ([36 ページの「用紙の取り扱い」](#) を参照)。ロール紙またはカット紙を使用できます。白い普通紙が推奨されます。

△注意：プリントヘッドの軸合わせの際は、透明または半透明な用紙は使用しないでください。普通紙またはボンド紙をお勧めします。

2. スキャナが下げられていることを確認します。プリントヘッドの軸合わせ中に強い光源がプリンタの近くにあると、軸合わせが影響を受けることがあります。
3. フロントパネルで、 をタップし、フロントパネルオプションから **[プリントヘッドの軸合わせ]** をタップします。

 **注記**：プリントヘッドの軸合わせは、内蔵 Web サーバ ([サポート]-[印刷品質のトラブルシューティング])、または HP Utility (Windows : [サポート]-[印刷品質のトラブルシューティング]、Mac OS X : [情報と印刷品質]-[位置調整]) から開始することもできます。

4. 十分な用紙が取り付けられている場合、プリンタによって軸合わせが実行され、軸合わせのパターンが印刷されます。
5. この処理には 5 分ほどかかります。フロントパネルに処理の完了が表示されてから、プリンタを使用します。

プリンタがプリントヘッドの軸合わせを正常に完了できない場合は、プリントヘッドのクリーニングをもう一度行うように求められることがあります。

プリントヘッドのステータスメッセージ

表示されるプリントヘッドのステータスメッセージには、以下のものがあります。

- **OK**：プリントヘッドは問題なく正常に動作しています。
- **未装着です**：プリントヘッドがまったく取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。
- **再度取付けて下さい**：プリントヘッドを一旦取り外してから、再度取り付けてください。メッセージが消えない場合は、電極部分をクリーニングします ([216 ページのフロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示されるを参照](#))。それでもメッセージが消えない場合は、新しいプリントヘッドと交換します。([165 ページのプリントヘッドを取り外すおよび168 ページのプリントヘッドを挿入するを参照](#))。
- **交換して下さい**：プリントヘッドに問題があります。動作するプリントヘッドと交換します ([165 ページのプリントヘッドを取り外すおよび168 ページのプリントヘッドを挿入するを参照](#))。
- **交換が不完全**：プリントヘッド交換プロセスが正常に完了しませんでした。交換プロセスを再度行って、完全に完了してください。
- **取り外して下さい**：プリントヘッドが印刷用途に適していません。
- **HP 製以外のインク**：使用済み、補充、または偽造されたインクカートリッジからのインクがプリントヘッドを通過しました。保証の詳細は、プリンタに付属している限定保証書を参照してください。

19 一般的なプリンタに関するトラブルシューティング

- [印刷されない](#)
- [フロントパネルが初期化に失敗する](#)
- [プリンタが遅く感じる](#)
- [コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある](#)
- [内蔵 Web サーバにアクセスできない](#)
- [インターネットに接続できない](#)
- [Web サービスの問題](#)
- [ファイルシステムの自動確認](#)
- [アラート](#)

印刷されない

すべてが正常な状態であっても(用紙およびインクを正しく装着し、ファイルのエラーがない状態)、コンピュータから送信されたファイルが正しく印刷されない場合があります。

- 電源に問題がある可能性があります。プリンタが動作せず、フロントパネルに何も表示されない場合は、電源ケーブルが正しく接続され、ソケットに電源が供給されているかどうかを確認してください。電源ボタンを5秒間押し続けてプリンタをリセットします。
- 強力な電磁場や重大な電気障害など、異常な電磁現象が発生している場合、プリンタが異常な動作をしたり、動作を停止することがあります。このような場合は、フロントパネルの電源ボタンを押してプリンタの電源を切り、電源コードを抜き、電磁的な環境が正常に戻るまで待機してから、電源を入れ直してください。問題が解決しない場合は、HPのサポート窓口にお問い合わせください。
- ネスティングがオンになっている場合があります。適切なネストの計算までの指定されたネスト待機時間をプリンタが待っています。このような場合は、フロントパネルにネスティングまでの残り時間が表示されます。
- グラフィック言語の設定が間違っている場合は、[34 ページのグラフィック言語の設定を変更する](#)を参照してください。
- プリンタに適したドライバがコンピュータにインストールされていない可能性があります。[セットアップ手順](#)を参照してください。
- カット紙に印刷する場合は、プリンタドライバで給紙方法に**[単一のカット紙]**を指定する必要があります。
- 適切な用紙情報([190 ページの適当な用紙を待っています](#)を参照)やアカウントID情報([32 ページのアカウントIDの要求](#)を参照)が指定されるまでジョブが保留されている可能性があります。
- プリンタドライバから印刷プレビューの実行を要求した可能性があります。プレビューは、イメージが目的のイメージになっているかどうかを確認するための機能です。この場合、プレビューは画面に表示されるため、**[印刷]** ボタンをクリックして印刷を開始する必要があります。

フロントパネルが初期化に失敗する

プリンタが起動しない場合(フロントパネルに何も表示されないか、診断LEDがすべて消灯)、次の方法でファームウェアを交換することをお勧めします。

1. HP サポートセンターにアクセスして([226 ページの HP サポートセンター](#)を参照)、ファームウェアをダウンロードします。
2. ファームウェアをUSBフラッシュドライブに保存します。可能であれば、USBフラッシュドライブは空にし、FATファイルシステムでフォーマットしてください。
3. プリンタの電源がオフになっていることを確認してください。USBフラッシュドライブをフロントパネルのそばの高速USBホストポートに接続し、プリンタの電源をオンにします。
4. プリンタがファームウェアファイルを読み取るのに約1分かかり、USBフラッシュドライブを取り外すよう求めるメッセージが表示されます。
5. プリンタに新しいファームウェアが自動的にインストールされ、再起動します。

プリンタが遅く感じる

この場合、いくつかの原因が考えられます。

- 印刷品質を **[高品質]** または **[高精細]** に設定している場合。[高品質] および [高精細] での印刷は時間がかかります。
- 用紙を取り付けたときに、正しい用紙の種類を指定しなかった場合。用紙の種類によっては、さらに印刷に時間がかかります。たとえば、フォト用紙およびコート紙では、パス間の乾燥時間が長くなる場合があります。プリンタに現在設定されている用紙の種類を確認するには、[49 ページの用紙に関する情報を表示する](#) を参照してください。
- プリンタがネットワーク経由で接続されている場合、ネットワーク上のすべてのコンポーネント (ネットワーク インタフェースカード、ハブ、ルータ、スイッチ、およびケーブル) が高速動作に対応しているかどうかを確認します。ネットワーク上の他のデバイスのトラフィック量も確認してください。
- フロントパネルで乾燥時間を **[長い]** に設定している場合。乾燥時間を **[最適]** に変更してみてください。

コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある

問題の例を以下に示します。


- プリンタに画像を送信しても、フロントパネルのディスプレイに **受信中** というメッセージが表示されない。
- 印刷しようとする、コンピュータにエラー メッセージが表示される。
- 通信が確立された状態で、コンピュータまたはプリンタのいずれかがハングしている (アイドル状態)。
- 印刷結果に不規則なエラーまたは原因不明なエラーが発生する (線が正しく表示されない、グラフィックの一部だけ表示されるなど)。

通信の問題を解決するには、以下の処理を実行します。

- アプリケーションで正しいプリンタを選択していることを確認します ([71 ページの「印刷時」](#) を参照)。
- 問題が起きているアプリケーションとは別のアプリケーションで印刷した場合に、プリンタが正しく動作することを確認します。
- 大判印刷の場合は、受信、処理、印刷に時間がかかる場合があります。
- プリンタとコンピュータの間に、スイッチ ボックス、バッファ ボックス、ケーブル アダプタ、ケーブル コンバータなどの中間デバイスがある場合は、それらを取り外し、プリンタとコンピュータを直接接続して印刷してみます。
- インタフェースケーブルを別のものに変えて試してみます。
- グラフィック言語の設定が正しいことを確認します ([34 ページのグラフィック言語の設定を変更する](#) を参照)。
- プリンタがネットワークで接続されている場合、プリンタに静的 IP アドレスが割り当てられていることを確認します。DHCP を使用していると、電源がオンになるときに IP アドレスが変化することがあります。この場合、ドライバーではプリンタの IP アドレスを検出できないことがあります。

内蔵 Web サーバにアクセスできない

まだお読みでない場合は、まず[13 ページの内蔵 Web サーバ](#)をお読みください。

フロントパネルで  をタップし、[セキュリティ]>[内蔵 Web サーバ]をタップします。

プロキシサーバを使用している場合は、プロキシサーバを経由せずに内蔵 Web サーバに直接アクセスします。

- Windows 版の Internet Explorer 6 を使用している場合は、[ツール]-[インターネット オプション]-[接続]-[LAN の設定]をクリックし、[ローカルアドレスにはプロキシサーバを使用しない]ボックスをオンにします。さらに高度な設定を行うには、[詳細設定]ボタンをクリックし、プロキシサーバを使用しないように、プリンタの IP アドレスを例外の一覧に追加します。
- Mac OS X の Safari を使用している場合は、[Safari]>[環境設定]>[詳細]をクリックし、プロキシの[設定の変更]ボタンをクリックします。「[これらホストとドメインにプロキシ設定を使用しない]」フィールドの除外リストにプロキシサーバを使用しないプリンタの IP アドレスまたはドメイン名を追加します。

それでも接続できない場合は、フロントパネル上の電源ボタンを使ってプリンタの電源を入れ直します。

インターネットに接続できない

プリンタのインターネットへの接続が困難な場合、接続ウィザードが自動的に起動される場合があります。

接続ウィザードは一連のテストを自動的に実行します。

いずれかのテストが失敗した場合、プリンタは問題および推奨される解決方法を示します。設定が保護されていない場合を除き、設定を変更して再度テストを行うことができます。

Web サービスの問題

HP ePrint に問題がある場合は、HP Connected を参照してください：<http://www.hpconnected.com>。

ファイルシステムの自動確認

プリンタの電源がオンになると、フロントパネルに次のメッセージが表示される場合があります：**ファイルシステムの確認**。

ファイルシステムの確認が実行されます。これには最大 40 分かかることがあります。完了するまでお待ちください。

⚠ 注意：ファイルシステムの確認が完了する前にプリンタの電源を切ると、ファイルシステムに重大な損傷が発生し、ハードディスクが使用できなくなることがあります。いずれにせよ、再びプリンタの電源を入れると、ファイルシステムの確認が最初から開始されます。

ファイルシステムの確認は、ハードディスクのファイルシステムの完全性を維持するため、90 日ごとに実行されるようにスケジュールされています。

🔧 注記：プリンタの電源を入れ直すと、初期化、およびプリントヘッドのチェックと準備に約 3 分かかります。しかし、プリンタが長期間使用されておらず、プリントヘッドの準備にさらに時間がかかるなど、状況によっては最大で 40 分かかることがあります。


アラート

このプリンタは、次の2種類のアラートを発信します。

- **エラー**：主に、プリンタが正常に動作できないことを警告します。ただしプリンタドライバでは、プリンタで印刷が可能な場合でも、イメージの途切れなど、印刷結果を損なう状態についても警告します。
- **警告**：キャリブレーションなどの調整、または予防保守やインク残量が少なくなったなど、要注意の状態である場合に警告します。

プリンタのシステム内には、4つの異なる警告装置があります。

- **フロントパネル表示**：フロントパネルには、関連性が最も高い警告のみが表示されます。警告の場合は時間が経過すると表示されなくなります。プリンタがアイドル状態になる場合や、より重大な警告がない場合は、「カートリッジのインク残量が少なくなっています」など、常時表示される警告が再表示されます。

 **ヒント**：フロントパネルの画面から、用紙の不一致のアラートを設定することができます ([96 ページの用紙の不一致を解決する](#)を参照)。

- **内蔵 Web サーバ**：内蔵 Web サーバのウィンドウの右上隅には、プリンタのステータスが表示されます。プリンタ内に警告がある場合、警告内容がステータスに表示されます。
- **ドライバ**：最終出力で問題を発生させる可能性のあるジョブ設定について警告します。プリンタで印刷の準備ができていない場合は、警告が表示されます。
- **HP DesignJet Utility**：アラートを表示するには、**[概要]** タブに移動して、右側に **[要注意の項目]** リストを確認します。

デフォルトでは、印刷中にのみアラートが表示されます。アラートが有効になっている状態でジョブの完了を妨げる問題が発生すると、ポップアップウィンドウが表示され、問題の理由が説明されます。必要な結果を得るには、指示に従って操作します。

20 フロントパネルエラー メッセージ

プリンタは随時システム エラーを表示します。これは 12 桁の数字コードと推奨される措置で構成されています。

ほとんどの場合、プリンタを再起動することが求められます。プリンタが起動すると問題がより適切に診断され、自動的に解消される場合があります。それでも問題が解決しない場合は、サポート担当者にお問い合わせください。その際には、エラーメッセージの数字コードをお手元にご用意ください。

エラーメッセージにその他の推奨事項が含まれている場合は、プリンタの手順に従ってください。

システム エラー ログ

このプリンタは以下の方法でアクセス可能なシステム エラーのログを保存します。

USB フラッシュ ドライブを使用する

1. FAT32 でフォーマットされた標準 USB フラッシュ ドライブを使用します。
2. USB フラッシュ ドライブに空のファイルを作成し (右クリックして **[新規作成]** - **[テキスト文書]** を選択)、pdipu_enable.log という名前を付けます。
3. エラー メッセージがフロントパネルに表示されたら、USB フラッシュ ドライブをプリンタの前面にある高速 USB ホスト ポートに挿入します。ログが自動的にドライブにコピーされます。フロントパネルにメッセージが表示されたら、USB フラッシュ ドライブを取り外すことができます。
4. サポートに連絡し ([227 ページの HP のサポートにお問い合わせる](#)を参照)、USB フラッシュ ドライブに作成されたファイルを共有してください。

内蔵 Web サーバを使用する

1. ご使用の Web ブラウザで、<https://プリンタのIPアドレス/hp/device/support/serviceSupport> に移動します。
2. **[ダウンロード]** ボタンをクリックして、診断パッケージを入手します。
3. お使いのコンピュータにパッケージを保存し、サポートに連絡します ([227 ページの HP のサポートにお問い合わせる](#)を参照)。

21 HP Customer Care

- [はじめに](#)
- [HP プロフェッショナルサービス](#)
- [カスタマーセルフリペア](#)
- [HP のサポートに問い合わせる](#)

はじめに

HP Customer Care は、その優れたサポート内容が評価され、受賞経験もあります。お使いの HP DesignJet から常に最高の結果を得られるようなサポートをご提供します。弊社は、サポートに関する幅広く信頼性の高い専門知識をもち、常に新しい技術を効果的に使用することで、細かなサポートをご提供します。サービスには、セットアップおよびインストールのサポート、トラブル解決のための情報提供、アップグレード保証、修理および交換サービス、電話と Web によるサポート、ソフトウェアのアップデート、自己保守サービスなどがあります。HP Customer Care についての詳細は、弊社 Web サイト ([227 ページの HP のサポートに問い合わせる](#)) をご覧ください。

保証を登録するには、<http://register.hp.com/> をご覧ください。

HP プロフェッショナルサービス

HP サポートセンター

専用のサービスとリソースを十分にご活用いただくことで、HP DesignJet プリンタおよびソリューションに関して最高のパフォーマンスを実現することができます。

HP サポートセンターの HP コミュニティにご登録ください。大判印刷に携わる方々のコミュニティでは以下のリソースをいつでもご利用になれます。

- マルチメディア チュートリアル
- 使用方法に関する手順書
- ダウンロード：プリンタの最新ファームウェア、ドライバ、ソフトウェア、用紙プリセットなど
- 技術サポート：オンラインのトラブルシューティング、HP カスタマー・ケアへのご連絡など
- 特定のソフトウェア アプリケーションからさまざまな印刷作業を完了させるためのワークフローおよび詳細なヒント
- HP の専門技術者や他の上級ユーザと直接連絡することのできるフォーラム
- オンラインでの保証の確認。いつでも確認できるので安心です。
- 最新の製品情報：プリンタ、サプライ品、アクセサリ、ソフトウェアなど。
- インクと用紙に関するすべての情報を確認できるサプライセンター

HP サポートセンターについては[を参照してください](#)。

購入製品とビジネス分野に合わせて登録内容をカスタマイズし、ご希望の連絡方法を設定することができます。

プリンタ ソフトウェアをダウンロードする

<http://www.hp.com/go/DesignJetT2600/drivers> からプリンタ ソフトウェアをインストールします。ソフトウェア インストール手順に従ってください。

HP Care Pack および保証期間の延長

HP Care Pack および保証期間の延長により、標準期間を超えてプリンタの保証を延長できます。

HP Care Pack および保証期間の延長には、リモートサポートが含まれます。必要に応じて、2つの対応時間のオプションをお選びいただけるオンサイトサービスもご提供します。

- 翌営業日
- 同日営業日の4時間以内(一部の国ではご利用いただけません)

プリンタを箱から取り出してセットアップし、接続するHPインストレーションサービスが用意されています。

HP Care Packの詳細は、弊社Webサイト(<http://cpc.ext.hp.com/portal/site/cpc>)をご覧ください。

カスタマーセルフリペア

HPのカスタマーセルフリペアプログラムは、お客様に保証または契約に基づく最も迅速なサービスを提供します。このプログラムでは、HPが交換部品をお客様(エンドユーザー)に直接お送りし、お客様が部品を交換できます。このプログラムを使用すれば、お客様の都合のよいときに部品を交換できます。

便利、簡単に使用できる

- HPのサポート担当者は、不具合のあるハードウェアコンポーネントに対処するために交換部品が必要であるかどうかを判断します。
- 交換部品は速達で送られ、多くの在庫部品はHPに連絡したその日に発送されます。
- 現在保証期間中または契約対象になっているほとんどのHP製品にてご利用いただけます。
- ほとんどの国でご利用いただけます。


カスタマーセルフリペアの詳細については、<http://www.hp.com/go/selfrepair>を参照してください。

HPのサポートに問い合わせる

HPサポートはお電話でご利用いただけます。お問い合わせになる前に、以下を行ってください。

- 本書で紹介されているトラブルの解決手段を再度確認してください。
- 関連ドライバのマニュアルを参照してください。
- サードパーティ製のソフトウェアドライバおよびRIPをインストールしている場合は、それぞれのマニュアルを参照してください。
- HPのサポート窓口にお問い合わせの際は、お客様のご質問により迅速にお答えできるよう、下記の事項をご確認ください。
 - お使いの製品の情報(製品の背面のラベルに記載されている、製品番号とシリアル番号)
 - フロントパネルにエラーコードが表示される場合は、エラーコードをメモに取り、[224ページの「フロントパネルエラーメッセージ」](#)を参照してください。
 - お使いのコンピュータ。
 - お使いの特別な機器やソフトウェア(スプーラ、ネットワーク、スイッチボックス、モデム、特別なソフトウェアドライバなど)。
 - 製品でお使いのインタフェースの種類(USB、またはネットワーク)。

- 現在使用中のソフトウェアとドライバ名およびバージョン番号
- プリンタのメンテナンス情報。これは内蔵 Web サーバから取得できます。Web ブラウザを開き、お使いのプリンタの IP アドレスを入力して、内蔵 Web サーバにアクセスします。**[サポート]>[サービス サポート]>[サービス情報]>[表示]**の順にクリックします。電子メールで情報を送信する必要がある場合、ブラウザから情報をファイルとしてダウンロードできるので、後でそのファイルを送信してください。

 **注記:** **[表示]**をクリックすると、お使いのブラウザによりそのポップアップウィンドウがブロックされる場合があります。このような場合は、ブラウザオプションを探してウィンドウを開く必要があります。

その他の方法としては、次の方法でブラウザからページを直接送信することもできます。**[ファイル]>[送信]>[ページを電子メールで]**をクリックします。

電話番号

HP サポートの電話番号は、Web で提供しています。http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html を参照してください。

22 プリンタ仕様

- [プリンタ機能の仕様](#)
- [モバイル印刷仕様](#)
- [物理的仕様](#)
- [メモリの仕様](#)
- [電源の仕様](#)
- [動作環境の仕様](#)
- [動作音に関する仕様](#)

プリンタ機能の仕様

HP インクサプライ品

プリントヘッド	プリントヘッドx1(マットブラック用の二重ノズル付き)
インクカートリッジ	130mlのインク容量カートリッジ: グレー、フォトブラック、マットブラック、イエロー、マゼンタ、シアン 300mlのインク容量カートリッジ: グレー、フォトブラック、マットブラック、イエロー、マゼンタ、シアン

用紙サイズ

	最小	最大
ロール紙の幅	279mm	914mm
ロール紙の長さ		91m
ロールの直径		140mm**
ロールの重量		11.9kg
カット紙の幅	210mm	914mm
カット紙の長さ	279mm	1676mm
カット紙の幅(スキャナ)		914mm
カット紙の長さ(スキャナ)		15m(49.21 フィート)で200dpi、TIFFファイル形式と24インチ幅
ロール紙の厚さ		0.5 mm
カット紙の厚さ		0.5 mm
用紙の重さ	60g/m ²	328g/m ²

*手動モードでは出力スタックトレイに最大0.6mmまで印刷可能。

**ロールの芯の直径51mm(2インチ)。ロールの芯の直径が76mmの用紙は、HP DesignJet 3 インチ スピンドルアダプタキットと使用すると使用できます([186 ページの3 インチスピンドルアダプタキット](#)を参照)。

印刷解像度

印刷品質	高精細	グラフィック言語	レンダリング解像度 (ppi)	印刷解像度 (dpi)
高品質(フォト用紙*)	オン	HP PCL3GUI PostScript/PDF	600 × 600	2400 × 1200
	オフ	任意	600 × 600	1200 × 1200
高画質(その他の用紙)	オフ	任意	600 × 600	1200 × 1200
標準	オフ	HP PCL3GUI、 PostScript/PDF	600 × 600**	1200 × 1200
高速(厚手コート紙、フォト用紙)	オフ	HP PCL3GUI、 PostScript/PDF	600 × 600**	1200 × 1200

印刷解像度 (続き)

印刷品質	高精細	グラフィック言語	レンダリング解像度 (ppi)	印刷解像度 (dpi)
高速 (普通紙、コート紙、ナチュラルトレーシングペーパー)	オフ	HP PCL3GUI、PostScript/PDF	600 × 600**	600 × 1200
エコノモード	オフ	任意	300 × 300	600 × 1200

*サポートされている用紙については、[182 ページの用紙について](#)を参照してください。

**バックライト紙 (300 × 300 ppi) を除く。

スキャナ解像度 : 200、300、600ppi

マージン

上左右のマージン	5 mm (デフォルト)/3 mm (オプション)
下マージン (用紙の下端)	5 mm (デフォルト)/3 mm (オプション) (ロール紙) 22mm (カット紙)

機構的な精度

指定ベクトル長 $\pm 0.1\%$ または $\pm 0.2\text{mm}$ (いずれか大きい方)、気温 23°C、相対湿度 50 ~ 60%、E/A0 サイズの印刷物に [高品質] または [標準] で HP マットフィルム ロールフィードを使用して印刷。

サポートされているグラフィック言語

HP DesignJet	言語
T2600MFP	HP PCL3GUI、HP-GL/2 および HP RTL、CAL S G4、TIFF、JPEG、URF
T2600MFP PS	HP PCL3GUI、HP-GL/2 および HP RTL、CAL S G4、TIFF、JPEG、URF、Adobe PDF 1.7、Adobe PostScript 3

モバイル印刷仕様

モバイル印刷

モバイル印刷	HP プリント サービス プラグインを搭載した Android から直接可能
HP モバイル印刷によりサポートされるモバイルデバイス	スマートフォンとタブレット
サポートされるオペレーティングシステム	iOS、Android、Windows
OS のバージョン	iOS 7.0 以降、Android 4.4 以降、すべての Windows
接続要件	プリンタとモバイル デバイスは、同じネットワークを使用する必要があります。
サポートされているファイル形式	PDF、JPEG

電子メール印刷

サポートされているモバイルデバイス	スマートフォン、タブレット、PC
サポートされるオペレーティングシステム	電子メールに対応しているものすべて
接続要件	クラウド接続
クラウド機能	電子メールを通じたリモート印刷
サポートされているファイル形式	PDF、JPEG、TIFF
最大ファイルサイズ	10 MB

物理的仕様

プリンタの物理的仕様

重量	109kg
幅	1535 mm
奥行き	920mm (スタッカとバスケットが開いた状態) 760 mm (スタッカとバスケットが閉じた状態)
高さ	1240mm (スタッカとフロントパネルを展開した状態)

メモリの仕様

メモリの仕様

HP DesignJet	物理 DRAM	ファイル処理メモリ	ハードディスク
T2600MFP プリンタシリーズ	8 GB	128 GB	500 GB 暗号化

電源の仕様

プリンタの電源の仕様

入力電圧	100 ~ 240V AC \pm 10%、自動判別
周波数	50/60Hz
最大電流	< 2A
電源	< 120W

動作環境の仕様

プリンタの動作環境の仕様

動作温度	5 ~ 35°C
推奨動作温度	15 ~ 35°C (用紙の種類により変動)
保管温度	-25 ~ 55°C
推奨動作湿度	20 ~ 80% RH (用紙の種類により変動)
保管湿度	0 ~ 95% RH

動作音に関する仕様

HP DesignJet T2600 プリンタ シリーズの定格騒音放射レベル。バイスタンダ位置での音圧レベルと ISO 7779 により測定された電源レベル。

プリンタの動作音に関する仕様

操作時の音圧	42 dB(A) (普通紙、線画、標準モード) 51 dB(A) (カラー スキャン)
操作時の動作音	\leq 5.9 B(A) (普通紙、線画、標準モード) \leq 6.6 B(A) (カラー スキャン)
アイドリング時の音圧	32 dB(A) (レディ時) <17 dB(A) (スリープ時)
アイドリング時の動作音	\leq 4.9 B(A) (レディ時) <3.5 B(A) (スリープ時)

用語集

AppleTalk

Apple Computer が 1984 年に開発したコンピュータ ネットワーク用のプロトコルツール。Apple は、現在では TCP/IP および Bonjour ネットワークを推奨しています。HP DesignJet 製品は AppleTalk をサポートしていません。

Bonjour

IETF のゼロコンフィギュレーション仕様フレームワークの実装に関する Apple Computer 株式会社の商標で、Apple の Mac OS X バージョン 10.2 以降で使用されているコンピュータ ネットワーク技術。ローカルエリアネットワークで使用可能なサービスを検索するために使用され、当初は Rendezvous と呼ばれていました。

色の精度

元のイメージにできるだけ忠実な色あいを印刷する機能。色域はすべてのデバイスで限定されているため、特定のカラーについて色を完全に一致させることができない場合があります。

色の一貫性

大量の出力でも、またプリンタを変えても、特定の印刷ジョブの同じカラーを印刷する機能。

カラー モデル

RGB または CMYK など、数値でカラーを想定したシステム。

カラー スペース

各カラーが一連の固有の数値で表されるカラー モデル。また、複数のカラー スペースで同じカラー モデルを使用することもできます。例えば、通常、モニタは RGB カラー モデルを使用しますが、特定の RGB 数値セットがさまざまなモニタ上でさまざまなカラーとなるので、モニタはさまざまなカラー スペースを持ちます。

カッター

プラテン上を前後にスライドし、用紙をカットするプリンタのコンポーネント。

ESD

静電気の放電。静電気は、日常的に頻繁に発生します。自動車ドアに触れた時に火花を発生させたり、衣服を張り付けたりします。制御された静電気には役に立つ用途がありますが、未制御の静電気の放電は電子製品の主な障害のひとつとなります。したがって、破損を防ぐには、プリンタを設定したり、静電気放電に敏感なデバイスを扱う際に、いくつかの手順が必要です。このような損傷によって、デバイスの耐用年数が短くなる場合があります。未制御の静電気放電を最小限にして、このような破損を減らす方法の 1 つは、静電気放電に敏感なデバイス(プリントヘッドまたはインクカートリッジなど)を扱う前に、プリンタの接地した箇所(主に金属部分)に触れることです。また、身体での帯電の発生を減らすには、カーペットを敷いた場所での作業を避け、静電気放電に敏感なデバイスを扱う際に身体の移動を最小限に抑えます。さらに、湿度の低い環境での作業を避けます。

イーサネット

ローカルエリア ネットワーク用の一般的なコンピュータ ネットワーク技術。

ファームウェア

プリンタの機能を管理し、プリンタに半永久的に保存されます(アップデート可能)。

ガモット

プリンタまたはモニタなど、出力デバイス上で再現可能な色および濃度値の範囲。

ギガビット イーサネット

最大 1 ギガビット/秒でデータを転送できるイーサネット ネットワーク。ギガビットイーサネット インタフェースは、より古いイーサネット デバイスとの互換性のために必要に応じて、より低速なネゴシエートが可能です。

HP-GL/2

HP Graphics Language 2 : HP 社が定義するベクトルグラフィック描画用の言語。

HP RTL

HP Raster Transfer Language : HP 社が定義するラスタ(ビットマップ)グラフィック描画用の言語。

I/O

入出力 : デバイス間におけるデータのやり取りを説明する用語です。

ICC

カラー プロファイルの標準化に同意している企業の団体である、国際カラーコンソーシアムの略称です。

インクカートリッジ

取り外し可能なプリンタ コンポーネント。特定カラーのインクが収められておりプリントヘッドに提供します。

IP アドレス

IPv4 アドレス(最も一般的)または IPv6 アドレスを指します。

IPSec

ネットワーク上でノード間に送信される IP パケットを認証し、暗号化することによって、ネットワーク セキュリティを提供する高度なメカニズム。各ネットワーク ノード(コンピュータまたはデバイス)には IPSec が設定されています。アプリケーションは通常、IPSec が使用されているか否かを認識しません。

IPv4 アドレス

IPv4 ネットワーク上で、特定のノードを識別するための固有の識別子。IPv4 アドレスは、4 組の整数から構成され、各組はピリオドで区切られています。世界中のほとんどのネットワークは、IPv4 アドレスを使用しています。

IPv6 アドレス

IPv6 ネットワーク上で、特定のノードを識別するための固有の識別子。IPv6 アドレスは最大 8 グループの 16 進数字で構成され、それぞれがコロンで区切られています。各グループには最大 4 つの 16 進数字が含まれます。世界中のごく少数の新たなネットワークで、IPv6 アドレスを使用しています。

Jetdirect

HP 社のプリントサーバシリーズの商品名。直接ローカル エリア ネットワークへ接続することが可能になります。

LED

発光ダイオード : 電気的な刺激が与えられると発光する半導体デバイスです。

MAC アドレス

Media Access Control address の略。ネットワーク上で、特定のデバイスを識別するために使用される固有の識別子です。IP アドレスよりも下位レベルの識別子であり、デバイスは MAC アドレスおよび IP アドレスの両方を持つ場合があります。

ネットワーク

ネットワークはコンピュータとデバイス間でデータのやり取りをする接続セットです。あらゆるデバイスは、同じネットワークの他のすべてのデバイスと通信できます。これにより、データがコンピュータとデバイス間を移動することができ、プリンタのようなデバイスを多くのコンピュータ間で共有することができます。

ノズル

プリントヘッドにある多数の小さな穴の一つ。印刷に使用するインクが通過します。

用紙

書くため、または印刷用に作られた薄くて平らな物質。通常は繊維をパルプ化し、乾燥させ、プレスして作られます。

プラテン

プリンタ内にある平らな面。印刷中に用紙がプラテン上を通過します。

プリンタドライバ

生成フォーマットされた印刷ジョブを、特定のプリンタに適したデータに変換するソフトウェア。

プリントヘッド

取り外し可能なプリンタ コンポーネント。対応するインクカートリッジから1つまたは複数のインクを吸収し、ノズルの集合体を通して用紙に付着させます。プリンタでは、各プリントヘッドが2つの異なるカラーを印刷します。

スピンドル

印刷に使用されるロール紙を支えるための棒。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol: インターネットのベースとなる通信プロトコルです。

USB ホストポート

コンピュータ上のソケットのような長方形の USB ソケット。プリンタはこのようなポートに接続される USB デバイスを制御できます。プリンタには2つの USB ホストポートがあり、アクセサリや USB フラッシュ デバイスを制御するために使用します。

USB

Universal Serial Bus (ユニバーサル シリアルバス) の略。コンピュータに接続するために設計された標準シリアルバスです。

索引

A

アカウントティング 154
Acrobat、印刷 135
Acrobat、複数ページを印刷 136
Acrobat Pro、印刷 140
Acrobat Reader、印刷 138
アラート
 エラー 223
 警告 223
AutoCAD、プロジェクトの印刷 144
AutoCAD、プレゼンテーションの印刷 147

B

バンディングの問題 197
バスケット
 排出の問題 196
ぼやけた線 211

C

キャリブレーション
 カラー 128
 スキャナ 179
プラテンのクリーニングを行う 204
カラーマネジメント
 フロントパネルから 132
 プロセス 128
カラー
 利点 128
 キャリブレーション 128
 CMYK 128
 正確に再現されない 206
 プロファイル 128
 RGB 128
 スペース 131
コンピュータの通信
 コンピュータとプリンタ間の通信問題 221
設定
 HP ePrint 接続 20

コピーモード 109
コストの割り当て 158
切り取り線 82
カスタマー・ケア 226
カスタマーセルフリペア 227

D

DHCP 設定 58
DNS 設定 59
試し印刷 81

E

節約
 インク 85
 用紙 83
電子メール印刷
 hp eprint の有効化 19
 HP ePrint ジョブのポリシー 20
電子メール印刷 232
電子メールサーバー
 設定 29
内蔵 Web サーバ
 アクセスできない 222
 コストの割り当て 158
 ジョブ単位の使用状況 157
 使用状況に関する情報 154
内蔵 Web サーバ
 プリントジョブキュー 97
 スキャンジョブキュー 100
エラーメッセージ
 フロントパネル 224

F

ファイルシステムの確認 222
フロントパネルオプション
 ファームウェアアップデート 12
フロントパネルオプション
 プリントヘッドの軸合わせ 217
 プリントヘッドのクリーニング 217

ディスプレイの輝度 11
乾燥時間 51
内蔵 Web サーバ 64
有効化 50
排紙/カット 52
水平カッター 51
言語 11
用紙の移動 51
プリンタのスリープ 11
プリントヘッド情報 164
印刷および管理 64
 交換 161, 165
フロントパネルオプション
 アカウント ID が必要 32
 用紙送りの調整 198
 黒点の補正 133
 拡張精度のキャリブレーション 198
CMYK ソースプロファイル 133
カラーキャリブレーション 129
内蔵 Web サーバ 222
切り取り線の有効化 82
エコノモードの有効化 81
高精細の有効化 82
I/O タイムアウト 207
マージンレイアウト 79
マージ 81
待ち時間の選択 85
PANTONE エミュレーション 133
用紙サイズ 77
診断のプリント 212
カラーで印刷 132
グレースケールで印刷 132
印刷品質 77
保護された用紙の種類 85
ピュアブラックおよびホワイト 132
レンダリングインテント 133

- キャリブレーションのリセット 198
 - サイズ変更 80
 - RGB ソース プロファイル 133
 - グラフィック言語の選択 34
 - 用紙の種類の選択 189, 190
- H**
- HP Care Pack 226
 - HP Customer Care 226
 - HP DesignJet ユーティリティ
アクセス 12
 - HP ePrint 接続
設定 20
 - hp eprint
有効化 19
 - HP ePrint ポリシー
印刷 20
 - HP 印刷プレビュー 12
 - HP サポートセンター 226
 - HP サポート 227
 - HP Utility
アクセス 12
アクセスできない 64
- I**
- イメージの問題
印刷されないオブジェクト
208
 - 用紙プリセットのインポート 49
 - インクカートリッジ
仕様 230
 - インク
節約して使用 85
使用状況 157
 - インターネット接続
トラブルシューティング 222
 - IPSEC ステータス 60
 - IPv6 設定 59
 - IP アドレス 58
- L**
- ラベル、警告 5
 - 線の長さの正確さ 211
 - 線の太さ 209
 - 用紙の取り付け
ロール紙を取り付けられない
188
カット紙が取り付けられない
188
- M**
- マージン
仕様 231
 - 機構的な精度 231
 - Microsoft Office、印刷 150
 - 色がずれる 210
 - モバイル印刷 232
印刷 87
 - モバイルの仕様 90
 - モバイル仕様 232
 - マルチロールプリンタ 53
- N**
- ネスティング 83
 - ネットワークフォルダに
アクセスできない 123
 - ネットワーク接続 56
 - ネットワーク
Mac に接続 18
- O**
- 適当な用紙を待っています 190
有効/無効 191
 - 注文
用紙 182
 - 重なった線 80
 - 夜間印刷 86
- P**
- ページサイズ 77
 - PANTONE エミュレーション 131
 - 用紙の種類 182
 - 用紙
用紙送りのキャリブレーション 197
 - クリーンカット 52
 - プリセットのダウンロード 49
 - 節約して使用 83
 - カットされた帯で詰まる 196
 - 取り付けのエラー メッセージ 189
 - バスケットへの排出の問題
196
 - 取り付けられている用紙への印刷 80
 - 種類の選択 80
 - サイズ 77
 - 使用状況 157
 - Photoshop、プレゼンテーションの印刷 149
 - Photoshop、印刷 144
 - プラテンのクリーニング 204
- PostScript アップグレード 185
- 印刷をプレビューする 81
 - 印刷およびコピー キュー 92
 - プリンタ モデル 2
 - プリンタ ソフトウェア
Mac OS X AirPrint のインストール
15
 - モバイルからの印刷 87
 - からの印刷
My Home 75
 - 印刷元
プリンタドライバ 76
 - プリントヘッドクリーナー
仕様 230
 - プリントヘッド
仕様 230
 - プリント ジョブ キュー
内蔵 Web サーバー 97
 - 印刷 71
 - 印刷ジョブ
ネスティング 83
 - いますぐいんさつ 95
 - 印刷プレビュー 81
 - 印刷品質の問題
バンディング 201
 - 黒インクが擦れる 204
 - ぼやけた線 211
 - 印刷物の下部 205
 - 連続していない線 210
 - 端が予期したよりも暗い 205
 - 端が段状になっているかまたは
鮮明ではない 205
 - 一般的 201
 - 横線 201
 - 不正確な線の長さ 211
 - インクが残る 203
 - 線の太さ 209
 - 色がずれる 210
 - 段状の線画 209
 - 異なる色の縦線が印刷される
205
 - 白色の点 206
 - 印刷品質
選択 76
 - 保護する用紙の種類 85
- Q**
- 品質、高い 82
- R**
- 印刷を拡大縮小する 80
 - ロール紙に関するポリシー 95

- S**
 安全ラベル 5
 印刷を拡大縮小する 80
 スキャナ
 キャリブレーション 179
 ネットワークフォルダにアクセスできない 123
 ガラスプレートをクリーニングする 177
 スキャンジョブキュー
 内蔵 Web サーバー 100
 スキャンキュー 93
 仕様
 電子メール印刷 232
 インク サプライ 230
 マージン 231
 機構的な精度 231
 モバイル印刷 232
 モバイル 232
 情報
 コストの割り当て 158
 ジョブ単位の使用状況 157
 使用状況 154
 段状の線画 209
 サポート サービス
 HP Care Pack 226
 HP Customer Care 226
 HP サポート センター 226
 HP サポート 227
 保証期間の延長 226
- T**
 TCP/IP 設定 58
 電話番号 228
 2 本のロール紙 53
- U**
 無人での印刷 86
- W**
 警告ラベル 5
 保証期間の延長 226
 Web サービス
 トラブルシューティング 222
 Wi-Fi アクセサリ 65
 Wi-Fi ネットワークへのプリンタの選択 67
 データ速度 65
 機能 65
 取り付け 65
 詳細 70
- Wi-Fi Direct を使用した印刷 68
 Wi-Fi Direct のオン/オフ 69
- あ**
 アカウント ID
 要求する 32
 アクセサリ
 注文する 185
 アクセス制御 30
 安全なファイル消去 175
- い**
 イメージの問題
 一部のイメージ 207
 下部の一部が印刷されない 207
 イメージ診断の印刷 211
 インクカートリッジ
 詳細 161
 ステータス 161
 ステータスメッセージ 216
 注文する 182
 取り付けられない 216
 取り付ける 162
 取り外す 161
 保守 173
 印刷解像度 230
- え**
 エラー メッセージ
 ログ 224
- か**
 カッター
 オン/オフ 51
 カット紙
 挿入する 43
 カラー マネジメント
 オプション 130
 プリンタ ドライバから 130
 乾燥時間
 変更する 51
- き**
 キューの一時停止 94
- く**
 クイックセット 102
 グラフィック言語 231
 グレー階調 131
- こ**
 コピー 108
- コンピュータの通信
 コンピュータとプリンタ間の通信問題 63
- さ**
 サポート サービス
 プリンタ ソフトウェア 226
- し**
 仕様
 印刷解像度 230
 機能 230
 グラフィック言語 231
 電源 233
 動作音 233
 動作環境 233
 ハードディスク 232
 物理的 232
 メモリ 232
 用紙サイズ 230
 情報
 インクカートリッジ 161
 ジョブキュー
 フロントパネル 92
 ジョブキューのオプション 96
 ジョブキューへの操作 94
 ジョブの削除 97
 ジョブの詳細 95
 ジョブを再印刷する 95
 ジョブ、印刷するタイミング 95
- す**
 スキャナ
 スキャンが遅い 124
 トラブルシューティング 114
 最適化 113
 診断プロット 124
 スキャン 102
 スキャン品質の問題
 20cm 幅の縦方向の黒いバンディング 121
 CIS モジュール間の色の差異 116
 エッジ検出 123
 ゴースト 121
 しわや折れ 115
 縮小 122
 色が正確に再現されない 118
 色ぶち 119
 振動の影響 119
 線が不連続になる 115
 線の太さがまちまち 117

損傷された原稿 121
多すぎるスキュー 123
不規則な縦線 114
用紙送り 120
スタッカ 46
スピンドル 186
 ロール紙の取り付け 37
スピンドルアダプタキット 186
スリープモード 11

せ
セーフモード 171
セキュリティ 30
 ネットワーク設定 60

そ
ソフトウェアアップデート 175
ソフトウェア、ダウンロード 226

ち
注文する
 アクセサリ 185
 インクカートリッジ 182
 プリントヘッド 182

て
ディスク拭取り 176
デモ印刷 13
電源の仕様 233

と
動作音に関する仕様 233
動作環境の仕様 233
ドライバ 33
ドライバに含まれない用紙 189
ドライバの環境設定 34

ね
ネスティングの処理をしています
 オン/オフにする 84
ネットワーク
 セキュリティ設定 60
 プロトコル 58
 リンク速度 60
ネットワークのトラブルシューテ
 ィング 61

は
ハードディスクの仕様 232
バスケット 48

ふ
ファームウェアのアップデート
 174
ファームウェアのアップデートで
 は
 手動設定 20
ファイアウォールの状態 60
ファイル消去、安全 175
ファイルを安全に消去 175
物理的仕様 232
プリンタが印刷しない 220
プリンタが起動しない 220
プリンタ機能の仕様 230
プリンタサービス
 設定する 19
プリンタ ステータス 173
プリンタソフトウェア
 Windows でのアンインストール 15
 Windows での設置 15
プリンタソフトウェア、ダウンロー
 ド 226
プリンタのコンポーネント 6
プリンタの主なコンポーネント 6
プリンタの特性 2
プリンタを移動する 173
プリンタをクリーニングする
 173
プリンタを保管する 173
プリンタを接続する
 一般的 14
プリントヘッド
 クリーニング; パージ 217
 交換する、取り付け直す 216
 軸合わせ 217
 詳細 164
 ステータス 164
 ステータスメッセージ 218
 挿入する 168
 注文する 182
 取り付けられない 216
 取り外す 165
プロキシサーバの設定 59
プロトコル、ネットワーク 58
フロントパネル 8
 ジョブキュー 92
 ユーザ補助機能 35
 言語 11
フロントパネルオプション
 スピーカ音量 11
 言語 11
工場出荷時の設定に戻す 12

単位の選択 11
日付と時刻オプション 11
非アクティブ時の自動オフ 11
用紙の種類を選択 189
フロントパネルオプション
 用紙の取り外し 43
フロントパネルが起動しない
 220

ほ
保守キット 175

ま
マージン 79

め
メモリの仕様 232

よ
用紙
 移動 50
 サイズ(最大と最小) 230
 情報の表示 49
 情報を表示する 50
 スタッカが予期せずいっぱい
 ある 196
 スタッカの紙詰まり 195
 プラテンの紙詰まり 192
 プリセット 49
 プリセットのダウンロード 49
 保守 51
用紙の取り付け
 一般的なヒント 37
 カット紙 43
 スピンドルへの取り付け 37
 プリンタへの取り付け 40
用紙の取り外し
 ロール紙 43

り
リンク速度 60

ろ
ロール紙
 スピンドルの取り付け 37
 挿入する 40
 取り外す 43

ん
安全に関する注意事項 3
一部のイメージ 207
印刷が遅い 64, 221

- 印刷元
 - USB フラッシュドライブ 72
- 印刷設定
 - デフォルト 96
- 印刷品質の問題
 - 黄色に黒線 204
 - 擦り切れる 203
 - 傷がつく 203
 - 用紙が平らになっていない 203
 - 粒状感 202
- 下部の一部が印刷されない 207
- 環境設定、Windows ドライバ 34
- 警告 5
- 言語 11
- 擦り切れた印刷 203
- 次に印刷 95
- 傷がついた印刷 203
- 前面図 6
- 注意 5
- 調光モード 10
- 電源
 - オン/オフ 7
- 内蔵 Web サーバ 13
 - アクセスできない 64
 - ユーザ補助機能 35
- 背面図 7
- 白黒 131
- 用紙
 - スピンドルでロール紙がたるむ 197
 - ドライバに含まれない用紙 189
 - プリンタ別に保持 196
 - 印刷後カット 196
 - 間違った用紙への印刷 190
 - 取り付けられている用紙への印刷 190
 - 取り付けられない 188
 - 正しくカットされない 197
 - 平らになっていない 203
 - 用紙がない 196
- 用紙の取り付け
 - ドライバに含まれない用紙 189
 - 取り付けられない 188
- 用紙の取り付けの問題 188
- 用紙の不一致 96
- 用紙を取り付けられない 188
- 粒状感 202